

南琉球八重山語波照間方言辞典に関する中間報告*

セリック・ケナン[†] 麻生玲子[‡] 中澤光平[§]

キーワード：八重山語、波照間方言、辞典

概要

本稿は筆者らが 2019 年度より編集してきた南琉球八重山語波照間方言の語彙に関する中間報告（小辞典）である。本辞典には 3614 項目を掲載し、3,189 項目についてアクセント情報を記載した。本辞典に収録されている項目は、語数として平山 (1988) で報告されたものと同程度のものであるが、動詞を多く取り入れた点（500 語強対 1,300 語強）やアクセント情報を記載した点に特徴がある。本稿は波照間方言のまとまった形での初めてのアクセント付き辞典と言える。

1 はじめに

波照間方言は南琉球八重山語の下位方言に分類され、沖縄県竹富町に属する波照間島で伝統的に話されることばである（系統的な位置付けについてローレンス (2000) を参照されたい）。波照間島内の集落（「^{ふか}富嘉」、「^{ないし}名石」、「前」、「南」、「北」）間の方言差は小さい一方、系統的に近い^{しらほ}白保方言を除き、八重山語の他の方言とは相互理解が成り立たないほど言語差が大きい（麻生 2020:10）。近年、八重山語の各方言の大型辞典が続々と出版されており（池間ほか 1998, 宮城 2003, 前新ほか 2011, 宮里 2018, 加治工 2020）、八重山語全体の語彙体系が明らかになりつつある。しかし、八重山語の中で著しい言語差を示す波照間方言に関しては今日までこのような大型辞典はない。

これまで波照間方言の語彙を収録している代表的な先行研究には、宮良 (1930)、平山ほか (1967)、沖縄県教育委員会 (1975)、中松 (1987)、平山 (1988) がある。この中で特に平山 (1988) は 4,410 語（重複も含む）を収録しており、八重山語の他の大型辞典には劣るものの、波照間方言の先行研究の中では他を圧倒する語数を収録している¹。また、当該先行研究には例文も豊富に記されており、非常に詳しい語彙集だと言える。

* 本研究は JSPS 科研費 18K12390、19K13174、19H00530、20H01259、21H00353、22F22305 および国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本・琉球語諸方言におけるイントネーションの多様性解明のための実証的研究」（代表：五十嵐陽介）、「消滅危機言語の保存研究」（代表：山田真寛）の助成を受けたものです。本辞典の作成にあたり、本田昭正氏の多大なる協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。また、数多くの有益なコメントを下された黒木邦彦氏にも感謝を申し上げます。

[†] 国立国語研究所

[‡] 名城大学

[§] 信州大学

¹ なお、他の出典のそれぞれの収録語数は宮良 (1930) が 828 語、平山ほか (1967) が 620 語、沖縄県教育委員会 (1975) が 762 語、中松 (1987) が 1,161 語である 161 語である。

一方で、平山 (1988) はアクセント情報を欠いている点と、動詞の収録数が少ない点が課題として指摘できよう。平山ほか (1967) ではアクセントが記されていたにもかかわらず、平山 (1988) でアクセントが記されなかった理由は定かではない。ただし、同南琉球の宮古語諸方言を対象とした平山 (1983) もアクセントを記していないのに対して、北琉球の方言を対象とした平山 (2013) がアクセントを記しているところを見ると、南琉球諸方言のアクセント体系の観察の難しさが関係している可能性が指摘できる。平山 (1988) に収録されている動詞は、名詞が語数全体の約 4 分の 3 を占める 2,989 語収録されているのに対して、動詞は 546 語であった。

本辞典は、平山 (1988) に見られる上記 2 つの問題をなるべく解消できるよう編集されたものである。

2 本辞典の編集過程とデータ

本節では本辞典の編集過程および収録データについて述べる。本辞典のもとになっているのは、本田昭正氏（波照間島^{ふか}富嘉出身、昭和 10 年生）が 2019 年までに自身で編集した『波照間方言語彙集』（本田 2019）である。筆者らは本田氏の下承のもと、語彙集原稿を受け取り、本辞典の編集に取りかかった。

本辞典を編集するにあたっては、通常の面接調査に頼らず、編集作業に必要となるデータ収集等のすべてを麻生ほか (2022) で提示されているハイブリッド遠隔型の調査方法で実施した。面接調査を実施したのは、辞典編集期間中、最終確認のための 1 回（2 時間弱）のみである。この点は、特筆すべきであろう。ハイブリッド遠隔型の調査方法とは、調査にかかる作業工程を明確に分け、研究者と被調査者でそれらの作業を分担し、各自、各地で実施するという方法である（麻生ほか 2022:90）。我々は 2020 年 4 月から本調査方法にて語彙調査を実施している。

本辞典を編集する流れは次の通りである。まずはセリック・大浦 (2022) の琉和辞典フォーマットに従って元の辞典原稿を適宜構造化し、その後、収録語彙およそ 3,000 項目について本田氏に音声化を委託し、その結果に基づき語形を整えた。さらに、原稿全体を点検し、品詞付け、意味記述の整理、重複項目の解消などの作業を行った。その後、アクセント認定に特化した音声化を委託し、その結果をもとにアクセント認定を行った。同時に、項目を追加するにあたり、我々は近隣方言の語彙資料を用いた原稿作成法（麻生ほか 2022:94）を採用した。具体的には、宮城 (2003) から未調査の動詞を抜き出し元原稿を作成し、本田氏が当該原稿を参照しながら石垣方言から波照間方言に翻訳し、その結果を原稿に追加した。これまでの音声化を通じて項目の単独発話 7,417 点、アクセント資料 3,599 点を含む音声データベースを構築している。

本辞典は、これまでに詳細な報告のないハイブリッド遠隔型の語彙調査事例と言える。どのようなスケジュールで原稿あるいは音声データのやり取りがあったか、さらにその手書き原稿あるいは音声データ処理をどのように実施したかという点について 2022 年 10 月から 12 月の調査事例を下記のとおり報告する。話者との基本的なやり取りは、レターパックを利用したものである。

- 話者：2022 年 10 月 7 日（着）～10 月 25 日（発送） 1,191 項目の動詞原稿作成

- アルバイト委託：2022年11月11日 手書き原稿入力
- 研究者：入力原稿を含めた音声化用調査セットの準備
- 話者：2022年10月31日(着)～11月2日(発送) 224項目の形容詞(終止形・否定形)の音声化、67項目の擬音語(原形・例文)の音声化
 - アルバイト委託：2022年11月18日～11月29日 PraatのTextGridファイルの作成及び発話とIDの紐付け
 - 研究者：音声確認・各種情報の認定後、辞典原稿への反映
- 話者：2022年11月23日(着)～12月2日(発送) 1,189項目の動詞(終止形・否定形)の音声化
 - アルバイト委託：2022年12月6日～12月21日 PraatのTextGridファイルの作成及び発話とIDの紐付け
 - 研究者：音声確認・各種情報の認定後、辞典原稿への反映

3 本辞典の波照間方言の概説

3.1 音韻体系

波照間方言の音韻論については麻生(2020)に詳しい報告がある。本田氏の発音は数点の細かい違いを除き、基本的に麻生(2020)で記述されている音韻体系と変わらない。本節では、本田氏の発音の観察に基づき、その音韻的特徴について簡単に述べておく。なお、以下では音韻表記を//、音声表記を[]で囲って示す。

3.1.1 子音

子音音素の目録は麻生(2020)で報告されているものと同じである(表1)。表では子音の音韻表記を示したが、音韻表記に使う記号が国際音声記号と異なる場合は該当する国際音声記号も示した。なお、/i/の前では/c/、/s/、/z/が口蓋化し、それぞれ[tʃi]、[ʃi]、[dʒi]と発音される。

表1 本田氏の子音体系

		唇音	歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
閉鎖音	無声	/p/	/t/		/k/	
	有声	/b/	/d/		/g/	
破擦音	無声		/c/ [ts]			
	有声		/z/ [dz]			
摩擦音		/f/	/s/			/h/
鼻音		/m/	/n/			
はじき音			/r/			
接近音		/w/		/j/		

本田氏の発音では、[ti] および [di] の音節が認められる。ただし、これらの音節の分布は非常に限られており、借用語と思われる数語にしか見られない(1)(2)。

(1) [ti] を含む語

- a. [aiti] 「相手」
- b. [du:katti] 「自分勝手」
- c. [miati] 「目当て」
- d. [sattimu] 「大変だ」
- e. [tigara] 「獲物」
- f. [timma] 「伝馬船」

(2) [di] を含む語

- a. [do:diŋ] 「どうぞ」
- b. [sadifuka] 「ハマオモト (植物名)」

これに対して、波照間の固有語では [ti] や [di] の音節は見つからない。麻生 (2020:18-20) で論じられるように、固有語では形態論的な観点で音韻的に /ti/、/di/ と解釈できる [tʃi]、[dʒi] の音節が存在する。つまり、借用語の層と固有語の層とで少し異なる音韻体系を想定する必要があるということになる。しかし、本辞典では固有語・借用語の層を分けていないため、[tʃi]、[dʒi] の全ての音節を /ci/、/zi/ と表記する。

/p, b, k, g, c, z, s, m, n, r/ の子音は /j/ と結合できる。ただし、/cj/、/zj/、/sj/ の場合は子音が口蓋化し、[tʃ]、[dʒ]、[ʃ] と発音される(3)。

(3) /Cj/を含む語例 (「C」は任意の子音)

- a. /pjaagu/ [pja:gu] 「百」
- b. /bjooha/ [bjo:ha] 「痒い」
- c. /kjuu/ [kju:] 「今日」
- d. /gjoorecu/ [gjo:retsu] 「行列」
- e. /biicjaa/ [bi:tʃa:] 「酔っ払い」
- f. /kanzjaa/ [kandʒa:] 「鍛冶屋」
- g. /oosja/ [o:ʃa] 「村番所」
- h. /mjagu/ [mjagu] 「脈」

/n/ は音節の核あるいはコーダの位置に立ちうる。その場合、/n/ の調音点が後続子音の調音点と同化する。後続する子音がない場合は [ŋ] ~ [N] と発音される(4)。

(4) 音節の核やコーダの位置を占める /n/ の語例

- a. /inanpata/ [inampata] 「海辺」

b. /nta/	[nta]	「土」
c. /tanka/	[taŋka]	「真向い」
d. /nman/	[mman]	「馬」

3.1.2 母音

本田氏の母音体系は麻生 (2020) で記述されている体系とは異なる点が観察され、未解決の課題として残っている。本節では仮の分析を提示する。母音音素の目録を表 2 に示す。

表2 本田氏の母音体系

	前舌	中舌	後舌
狭	/i/	/i/ [i] ~ [u] ~ [ɯ]	/u/
中	/e/		/o/
広		/a/	

まず、本田氏の発音では /ë/ [ɜ] の母音が観察されない。/ë/ が期待される音節は全て /e/ で発音され、/ë/ が /e/ に合流したと考えられる。これは波照間方言の若年層において /ë/ と /e/ の対立がなくなる傾向があるという先行研究の指摘と一致している (パップラルド 2012)。なお、古い語彙資料 (平山 1988) を見ると、/ë/ の分布がもっと広がったことが確認できる (表 3)。

表3 /ë/の対応 (「-」は未詳)

	平山 (1988)	麻生 (2020)	本田氏
「米」	/mëë/	/mëë/	/mee/
「灰」	/pëë/	/pëë/	/pee/
「鋤」	/pëë/	-	/pee/
「卵」	/këë/	-	/kee/
「南」	/pëë/	/pee/	/pee/
「井戸」	/këë/	/kee/	/kee/
「前」	/mee/	/mee/	/mee/
「陰」	/kee/	-	/kee/

次に、/i/ の分布および実現が麻生 (2020) で記述されているものと異なっており、そもそも母音として立てるべきかどうかについて議論が必要である。まず、麻生 (2020) が記述している変種では /i/ が /p, c, z, s, n, r/ の子音と結合できるが、本田氏の発音では /ni/ と /ri/ の音

節はなく、/i/ を立てたとしてもその分布がより狭い²。

続いて、/si/、/ci/、/zi/ に該当すると思われる音節は環境によって音声的な実現が大きく異なる。語頭音節や語中音節の位置において後続する音節の母音に従って音価が同化し、[i] ~ [u] のように実現する (5)-(7)。

- (5) a. /sikun/ [sukun] 「聞く」
 b. /siki/ [ʃiki] 「聞いて」
 c. /sikanu/ [sukanu] 「聞かない」
- (6) a. /kacirin/ [kaʃirin] 「飢える」
 b. /kacirunu/ [kaʃurunu] 「飢えない」
- (7) a. /taziniru/ [taʒinirun] 「尋ねる」
 b. /taziniru/ [taʒununu] 「尋ねないて」

上の例で分かるように、/i/ は /u/ の前に /u/ と、そして、/i/ の前に /i/ と完全に中和する。次に、語末音節の位置では単独発音において3項の対立があるが、/i/ を含む音節の実現が揺れており、/i/ を含む音節と中和する発音もしばしば観察される(8)。つまり、その環境では/i/ と /i/ の対立は必ずしも明瞭であるとは言えない。狭母音の環境別の実現を表4にまとめる。

- (8) a. /mimizi/ [mimidzi] ~ [mimidzi] 「ミミズ」
 b. /mugazi/ [mugadzi] 「百足」
 c. /nanazu/ [nanazu] 「七十」

表4 /i, i, u/ の環境別実現

環境	_Ca	_#	_Ci	_Cu
/i/	[i]	[i]	[i]	[i]
/i/	[u]			
/u/	(未詳)	[u]	[u]	[u]

結論として、/i/ や /u/ とは別に /i/ を立てることが妥当であると考えられるが、広範囲に渡る中和があるため、表層形の観察だけではどの母音音素であるかが決められない場合が多い。どの母音音素かを決定するためには実現の交代を引き起こす形態統語的操作による観察が必要であるが、編集の現段階ではそこまでの観察には至っていない。さらに、「_Ca」の環境では /i/ と /u/ が対立するかどうかについて未詳である。従って、中間報告となる本辞典では表層形の提示にとどめた上で、観察が困難な [u] と [u] の違いを区別しなかった。つまり、/i/ に対して [i] か [u] のように書き起こした。

² /pi/ が認められる可能性があるが、[pi] とも発音されており、現段階では判断を保留している。

3.1.3 無声化

波照間方言では、無声子音に後続する分節音が広く無声化するという現象がよく知られている(平山ほか 1967, 加治工 1996, 大野 1989, 狩俣 2008, 麻生 2020)。語頭という環境では無声子音に後続する母音 (/i, i, u, a/) が無声化し、その上で後続する有声子音も無声化する傾向がある。すなわち、元の有声子音の /*b, *d, *z/ は無声化母音の後で通時的に /p, t, c/ に合流している(9)(狩俣 2008:67-70)。また、/m, r, n/ も(10)のように無声化して実現する。

(9) 波照間方言における通時的な無声化

a. [sapa] 「鱧」

b. [kaɾʃi] 「風」

(狩俣 (2008:15) より)

(10) 波照間方言における無声化

a. /pini/ [p̥ini] 「髯」

b. /sima/ [ʃi̥ma] 「島」

c. /simi/ [ʃi̥mi] 「爪」

d. /s̥inu/ [s̥i̥nu] 「着物」

e. /pari/ [pḁri] 「針」

f. /tani/ [tḁni] 「種」

g. /kamun/ [kḁmun] 「噛む」

h. /tumarun/ [tu̥marun] 「泊まる」

(平山ほか (1967:128) より、音韻表記一部改変)

本田氏の発音も同様であるが、Pappalardo (2016:340) で(相対的に)若い世代の発音について指摘されている通り、無声化した母音の後に後続する流音や鼻音は無声化しない傾向がある。本辞典ではこの傾向を考慮して母音のみに無声化の記号を付与した。

3.2 アクセント

3.2.1 概要

波照間方言のアクセント体系に関する最も詳細な記述は、北集落で話される言語変種を対象とした麻生・小川 (2016) である。富嘉出身の本田氏のアクセント体系は基本的にこの研究の記述と一致する。すなわち、「平進型」、「上昇型」、「下降型」の3つのアクセント型が対立する。それぞれのアクセント型の一般的な実現は次の通りである。平進型は語全体がやや高く平たく発音される。上昇型は語頭から次末モーラまで低く発音され、語末モーラが高く発音される。下降型は語頭から第2拍までやや高く発音され、第2拍の後でピッチが下がっていく(ただし、第1拍から低く始まり、語全体がほとんど低平で発音されることもしばしばある)。以下では、平進型、上昇型、下降型の所属を語形の後に付与する「1」「1」「\」の記号で表し、各型の語例とその

実現を(11)(12)および図 1に示す。

- (11) a. zi̯l̥ 「乳」
 b. zii̯M 「土地」
 c. zii̯V 「血」
- (12) a. aman̥l̥ 「ヤドカリ」
 b. agan̥M 「芋」
 c. agon̥V 「木の一種」

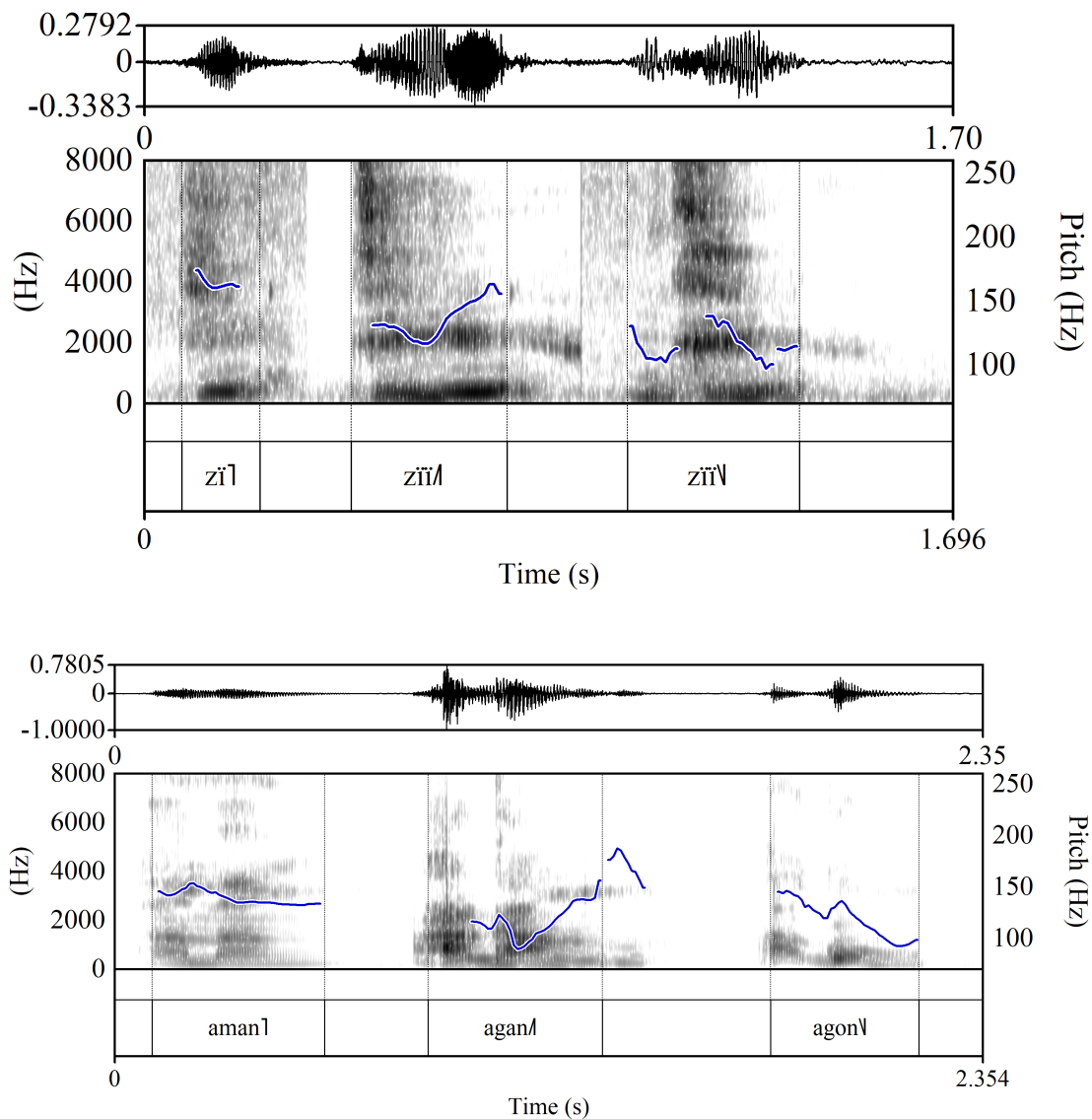


図1 3つのアクセント型の実現
 (上「乳」「土地」「血」、下「ヤドカリ」「芋」「木の一種」)

麻生・小川 (2016) が指摘している通り、平進型と上昇型の所属は語頭の分節音と強く関連している。すなわち、平進型に所属する語は母音あるいは無声子音で始まる傾向があるのに対して、上昇型に所属する語は有声子音で始まる傾向がある。しかし、先行研究の指摘の通り、この相関関係から外れる語も幾らか存在し、最小対も得られるため、両型を対立する型として分析するほかない(13)(14)。

(13) 無声子音または母音始まり・上昇型の例

- a. *peeru* 「酔」 (cf. *peeru* 「入る」)
- b. *hii* 「家」
- c. *agan* 「芋」

(14) 有声始まり・平進型の例

- a. *mana* 「今」
- b. *mintama* 「目玉」
- c. *minkaa* 「つんぼ」
- d. *muci* 「顔」 (cf. *muci* 「持って」)
- e. *mun* 「思う」
- f. *buunan* 「大波」 (*buu* 「大」を含む 1 単位の合成語は全て平進型)
- g. *nzifuni* 「出船」
- h. *nbusin* 「蒸す」

動詞、形容詞は名詞と同様に 3 つのアクセント型が対立する (15)(16) (形容詞は対立が最も明瞭に現れる語形を提示する)。

(15) 動詞における 3 つのアクセント型

- a. *nzin* 「出る」
- b. *ncin* 「満ちる」
- c. *ngun* 「行く」

(16) 形容詞における 3 つのアクセント型

- a. *mussaha* 「面白く」
- b. *messaha* 「心地よく」
- c. *nadaragaha* 「平坦に」

少数の名詞において、平進型、上昇型、下降型のいずれの型にも当てはまらない「低高低」のパターンが観察される。このパターンは数語にしか見られないため、それを例外と考え「特殊型」と名付ける。特殊型の例とその実現を(17)および図 2 に示す (ピッチの局所的な上昇と下降をそれぞれ「↑」「↓」の記号で表す)。

(17) 特殊型の語例

- a. ni^ɾzi^ɾkjoo 「ウイキョウ」
- b. na^ɾri^ɾsa 「砂利」
- c. koo^ɾni^ɾi 「男の子」

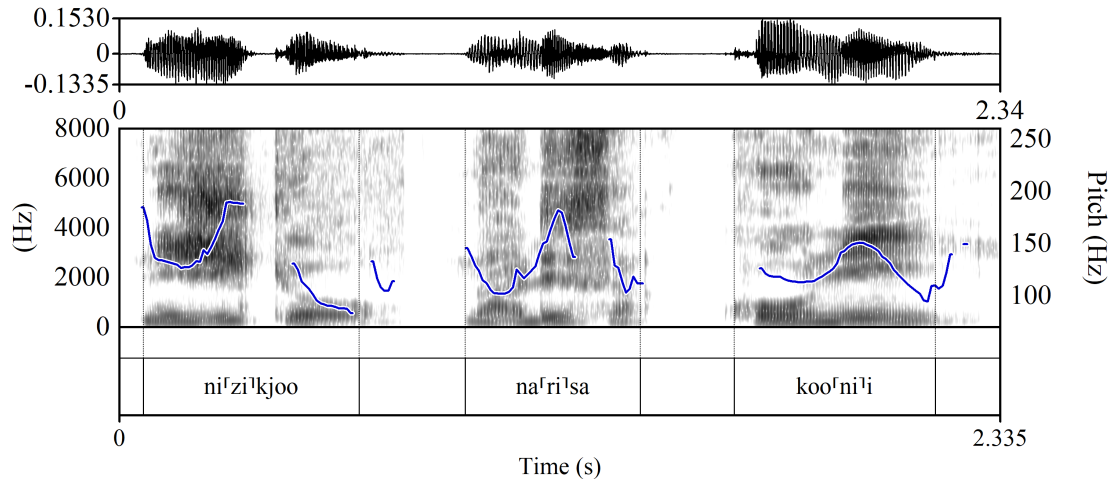


図2 特殊型の実現

上記の語のうち **koonii** 「男の子」はその音調が第2拍の後にピッチの下降が実現する下降型と著しく異なっている（比較のため、下降型の実現を示す図4を参照されたい）。そのため、下降型として分析できないことが明らかである。これに対して、**nizikjoo** 「ウイキョウ」と **narisa** 「砂利」は第2拍の後にピッチの下降が実現するため、一見下降型の変種と見ることが可能かもしれない。しかし、次の3つの理由からそのようには分析しない。第一に、特殊型に所属する語の中で、上昇型でも発音される語が確認されている(18)。第二に、特殊型と下降型が「下降」という共通点を持っていながらも、それぞれの型の実現が著しく異なっている（図3）。すなわち、3拍の下降型では第1拍と第2拍のピッチの高さは少しの違いが認められても、殆ど同じレベルであるのに対して、特殊型では第1拍の後にはっきりとした、幅の大きいピッチの上昇が実現している（図4に3拍の下降型の他の例を示す）。第三に、後述するように、同じ「低高低」というパターンがほかに副詞にも観察されている。そのため、下降型とは別に、「低高低」というパターンが波照間方言のアクセント体系の中で定着していると考えられる。

(18) na^ɾri^ɾsa ~ narisa^ɾ 「砂利」

副詞の中では「低高低」や「高低」のパターンで実現する語がある(19)(20)。その実現を図5に示す。

(19) 「低高低」のパターンを示す副詞

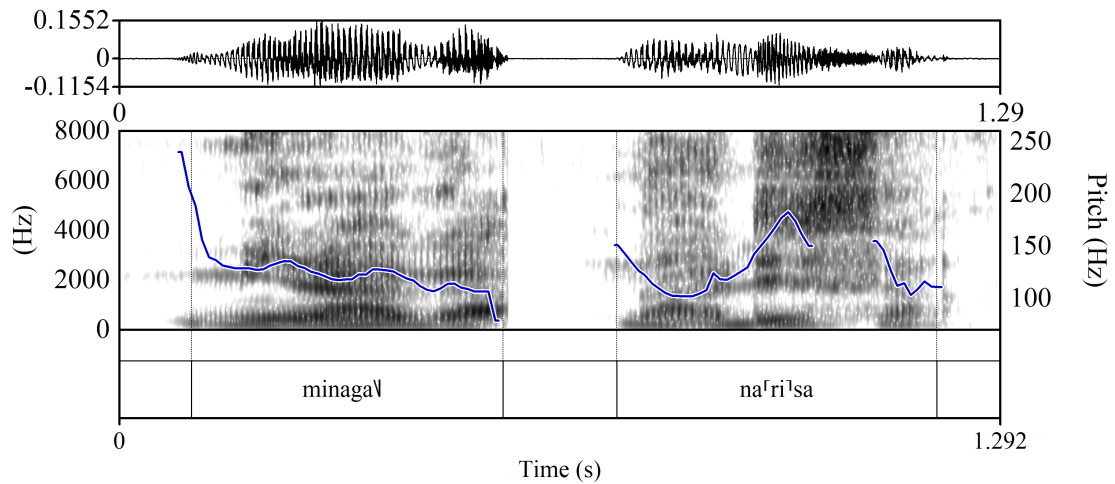


図3 下降型 (minagaV 「庭」) と特殊型 (na^ri^sa 「砂利」) の実現

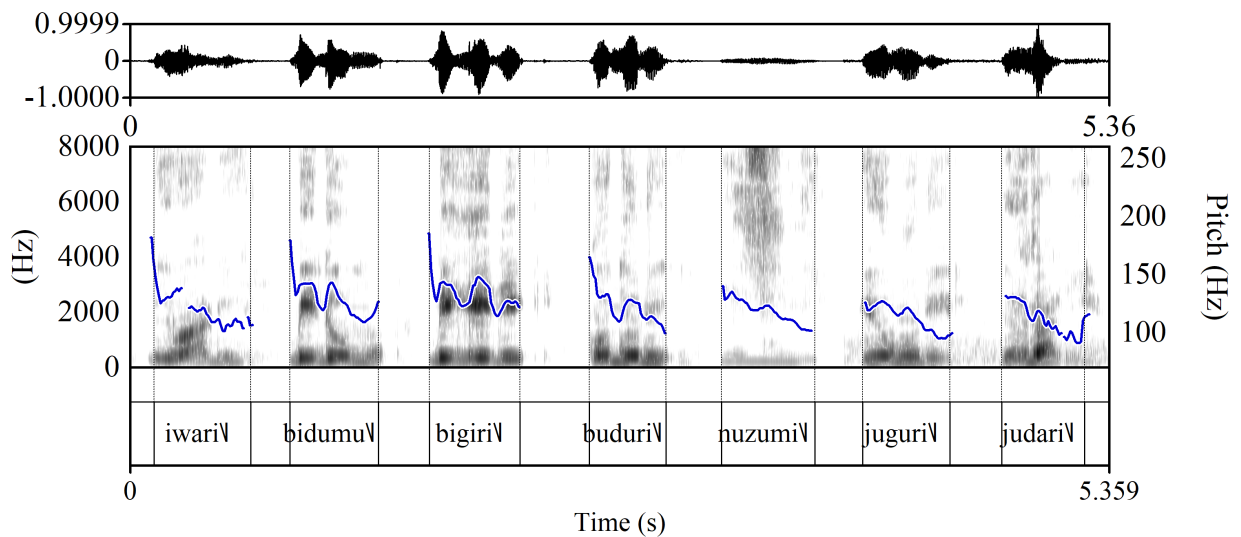


図4 3拍の下降型の実現例
 (「謂れ」、「男」、「男の兄弟」、「踊り」、「望み」、「汚れ」、「涎」)

- a. i^ci^n 「いつも」
- b. jac^ci^n 「必ず」
- c. ja^maa^si 「ゆっくり」

(20) 「高低」のパターンを示す副詞

- a. ^bee^bi 「たいそう」
- b. ^doo^din 「是非」

上述の特殊型と同様に、これらの副詞の音調を下降型としては分析できない。「低高低」に関

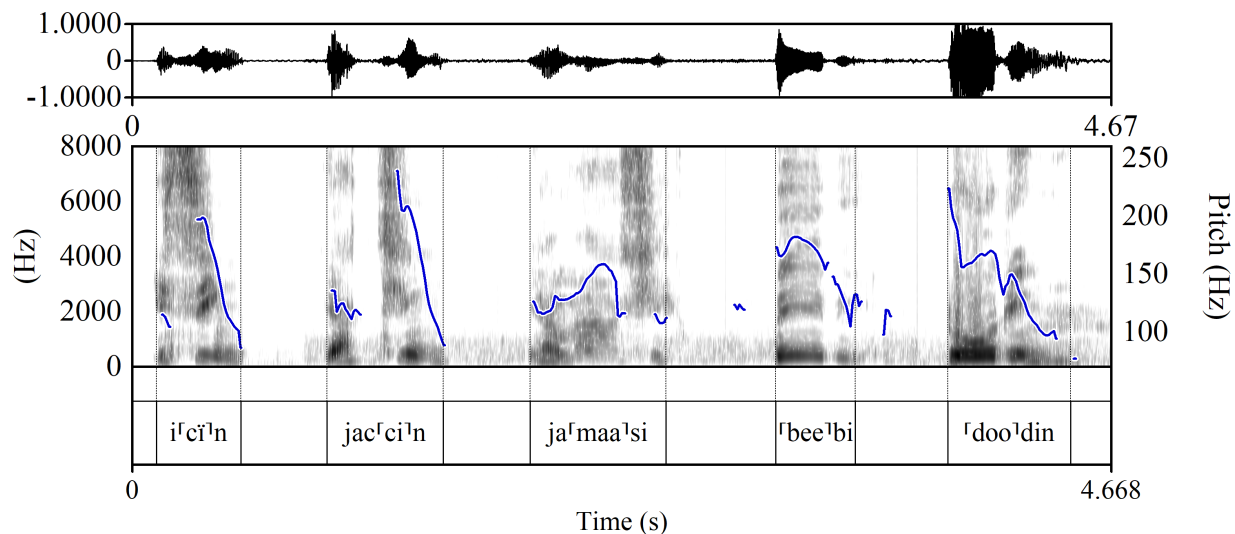


図5 副詞の「低高低」・「高低」パターン
 (「いつも」「必ず」「ゆっくり」「少し」「是非」)

しては特殊型と同じく、語頭における上昇の有無という点で音調が異なるため、下降型と区別する必要がある。さらに「高低」が果たして下降型の変種かどうかという点についても議論の余地がある。「高低」と下降型とで、その実現も聴覚的印象も大きく異なる(図6)。すなわち「高低」においては語頭におけるピッチの高さは下降型に比べ高く、また実現するピッチの下降は下降型に比べ幅が大きい。そのため、本辞典では副詞に現れる「高低」のパターンを下降型と区別しておく。なお、3.2.2節で述べるように複合語においても下降型とは異なると考えられる「高低」のパターンが認められる。

重複形はピッチの下降が形態素境界で実現する「低高低」のパターンで現れる(21)。

(21) 重複形の音調

- a. ta'maa'tama 「たまに」
- b. du'gu'dugu 「あまり」

3.2.2 複合語のアクセント

2つの単純語から構成される複合語はその多くで複合アクセント法則が成立しており、語全体のアクセント型が前部要素のアクセント型で決まる(表5)。

一方で、それぞれの構成要素のアクセント型が実現する2単位の複合語も観察される(表6)。麻生・小川(2016:94-95)も2単位の複合語について報告しており、当該データにおいて2単位で実現する複合語では、後部要素が下降型に限られることを指摘し、これらを複合アクセント法則の「例外」として解釈している。しかし、少なくとも本田氏のアクセント体系に関しては、2単位の複合語が一定数見つかる上、後部要素に平進型、上昇型、下降型の3つの所属語が見

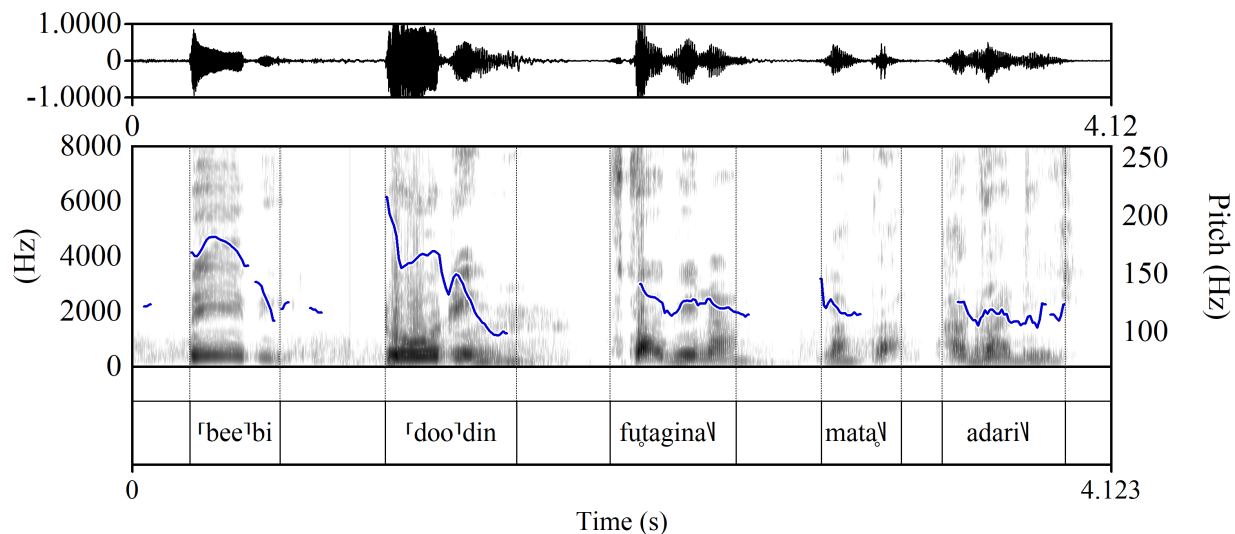


図6 「高低」と下降型の副詞の実現
 (「少し」「是非」「直ちに」「又」「いたずらに」)

表5 複合アクセント法則が成立する例

型 (X)	型 (Y)	X	Y	複合語
	平進	uciṽ 「打ち」	amiṽ 「雨」	uci + amiṽ 「侵入する雨」
平進	上昇	amiṽ 「雨」	nigeeṽ 「祈願」	ami + nigeeṽ 「雨乞い祈願」
	下降	peeriṽ 「入り」	fuṭciṽ 「口」	peri + fuṭciṽ 「入口」
	平進	meeṽ 「前」	panṽ 「足」	mee + panṽ 「前足」
上昇	上昇	maamiṽ 「豆」	nanṽ 「菜」	maami + nanṽ 「モヤシ」
	下降	nigeeṽ 「祈願」	fuṭciṽ 「口」	nigee + fuṭciṽ 「祈願の言葉」
	平進	mataṽ 「又」	icifuṽ 「従兄弟」	mata + icifuṽ 「又従兄弟」
下降	上昇	isjooṽ 「漁」	daaguṽ 「道具」	isjoo + daguṽ 「漁具」
	下降	tunṽ 「妻」	butuṽ 「夫」	tun + butuṽ 「夫婦」

られる。ただし、2 単位となる複合語はアクセント型の組み合わせに一定の偏りがあるようである。例えば、前部要素が上昇型の場合、後部要素がいずれのアクセント型に所属する 2 単位の複合語もよく観察される。これに対して前部要素・後部要素がともに下降型に所属する 2 単位の複合語は見つかっていない。なお、前部要素・後部要素の両方が平進型に所属する 2 単位の複合語が存在すると考えられるが、音調の実現からは当然のことながら 1 単位のものと区別はできない。

以上のパターン、すなわち複合アクセント法則が成立する 1 単位のパターンと、それぞれの構成要素のアクセントが実現する 2 単位のパターンに加えて、幾つかの複合語において下降型

表6 2単位の複合語

型 (X)	型 (Y)	X	Y	複合語
平進	上昇	kaaraŋ 「瓦」	hiiŋ 「家」	kaaraŋ + hiiŋ 「瓦葺の家」
	下降	ucizaŋ 「親戚」	mariŋ 「生まれ」	ucizaŋ + mariŋ 「親戚」
上昇	平進	mugasiŋ 「昔」	paŋasiŋ 「話」	mugasiŋ + paŋasiŋ 「昔話」
	上昇	bataŋ 「お腹」	jamiŋ 「痛み」	bataŋ + jamiŋ 「腹痛」
	下降	nooriŋ 「豊穰」	juuŋ 「世」	nooriŋ + juuŋ 「豊年」
下降	上昇	iriŋ 「入り」	muguŋ 「婿」	iriŋ + muguŋ 「入り婿」
		ara-ŋ 「荒い」	muniŋ 「言葉」	araŋ + muniŋ 「荒い言葉」

とは分析できない「高低」のパターンが認められる(表7)。図7で確認できるように、これらの複合語は前部要素全体が高く、後部要素全体が低く発音される。

表7 「高低」で実現する複合語(一部)

複合語	X	Y
'in ¹ + duri	「海鳥」	*in ³ 「海」 turiŋ 「鳥」
'ainaa ¹ + joi	「結婚式」	ainaaŋ 「花嫁」 joiŋ 「祝い」
'sɨkama ¹ + buci	「宵の明星」	sɨkamaŋ 「仕事」 ⁴ puɕiŋ 「星」
'sinzi ¹ + fuɕiri	「煎じ葉」	sinzirunŋ 「煎じる」 fuɕiriŋ 「葉」
'taborari ¹ + munu	「頂き物」	taboorarinŋ 「頂く」 munuŋ 「物」

表7に挙げた複合語の音調は下降であるものの、次の2つの理由で下降型として分析できない。第一に、下降型におけるピッチの下降が(長い語において)基本的に第2拍の後に実現するのに対して、表7に示した複合語はピッチの下降がその拍数(2拍~4拍)に関わらず前部要素の後に実現するからである。第二に、表7のすべての複合語が平進型の語を前部要素としているため、表5で見た複合語の音調規則からすると、語全体が下降型で実現することが期待される環境ではないからである。

複合語におけるこの「高低」のパターンは、既に松森(2015:78-81)で2語報告されており、当該研究では通常の平進型とは別のアクセント型として分析されている(22)。

(22) a. usinaa + pituŋ 「沖縄人」(平進型)

b. 'taruma¹ + pitu 「多良間人」

³ 共時的に単独の in 「海」はないが、*in 「海」と *naga 「中」の複合語に由来する inagaŋ 「海」より *inŋ と再建できる。

⁴ 共時的には「仕事・労役」を意味するが、他の南琉球琉球の多くの方言では「昼間・午後」などの意味も持っている。「sɨkama¹ + buci 「宵の明星」はすなわち「明るいうちに現れる星」である。

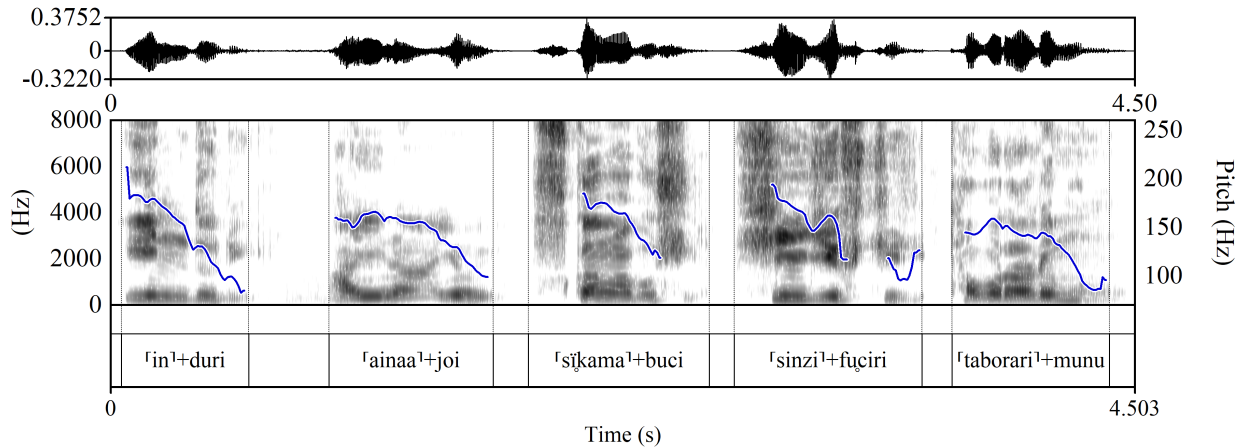


図7 「高低」の複合語の実現
 (「海鳥」「結婚式」「宵の明星」「煎じ菓」「頂き物」)

c. 'takiduu¹ + pītu 「竹富人」

(松森 (2015:79) より、表記を一部改変)

この報告に対して麻生・小川 (2016) は別の解釈を提示した。上記のパターンが出現する 2 語の複合語は後部要素が下降型であることを指摘した上で、*usinaa*¹「沖縄」と *takiduu*¹「竹富」の音調を対象とした追加調査の結果に基づき、(22-bc)の複合語を平進型と下降型の 2 単位として分析できることを主張した(23)。つまり、新たなアクセント型を認めないという立場を取っている。

(23) 麻生・小川 (2016) による解釈

a. *usinaa* + *pītu*¹ 「沖縄人」(平進型の 1 単位)

b. *takiduu*¹ + *pītu*¹ 「竹富人」(平進型と下降型の 2 単位)

しかし、これまで見てきたとおり、麻生・小川 (2016) が提示している解釈は、本田氏のアクセント体系について成立しないことが明らかである。なぜならば、表 7 に挙げた、「高低」のパターンで実現する複合語は後部要素が下降型に限らないからである。ただし、現時点では代わりとなる解釈を持たないため、解釈の問題を今後の課題とし、本辞典ではそのパターンで実現すると思われる語の指摘に留める。

3.2.3 平山ほか (1967) に含まれるアクセント型の所属情報の評価

平山ほか (1967) は、波照間方言の 620 語 (重複も含む) についてそのアクセント型の所属を報告しているが、本辞典の認定結果とは異なる点が生じていることを指摘する。このような違いが生じた理由は、平山ほか (1967) では、2 つのアクセント型、すなわち「低平型」(本辞典の下降型に該当) と「尾高型」(本辞典の上昇型に該当) しか認めておらず、この 2 つのアクセン

ト型と対立する平進型を認めていないからである。その結果、提示されている「尾高型」の所属語例に、本辞典で平進型に所属する語が混在している(24)。

(24) 「尾高型」の所属例 (平山ほか 1967:53)

- a. *mugu* 「婿」
- b. *min* 「目」
- c. *juru* 「夜」
- d. *jama* 「山」
- ... 以上、本辞典で上昇型に所属
- e. *ami* 「網」
- f. *mma* 「馬」
- g. *pəri* 「針」
- h. *kəta* 「肩」
- ... 以上、本辞典で平進型に所属

さらに、逆のケースも観察される。つまり「低平型」に認定された語の中に本辞典で平進型と認定される語が混在している(25)。これらの語に関しては、本辞典でも平山ほか (1967) でも、平板に発音されているという観察は一致しているが、「低平」「尾高」の2項対立の枠組みを採用した結果、平山ほか (1967) では「低平」として分類されたと考えられる。

(25) 本辞典で平進型に所属する「低平型」の語例

- a. *ʔamasikuri* 「頭」
- b. *ʔo:tta* 「目」
- c. *pe:kəʔʃi* 「南風」
- d. *kannari* 「雷」
- e. *ʔasipə* 「泡」
- f. *ʃindzo:* 「天井」
- g. *sʃi* 「煤」
- h. *pʃitumuʃi* 「一回」
- i. *pʃituri* 「一人」等々

以上見てきたように、認定するアクセント型の違いにより、各語のアクセント型の認定結果は、本辞典と平山ほか (1967) で異なる部分がある。

3.3 語彙素のカテゴリー

麻生 (2020) では、表 8に示す基準に従って、波照間方言の品詞として、動詞、名詞、指示連体詞、副詞、指示様態詞、感嘆詞の6つを認めている。上記6つに加え、必ず他の語句と用いられる語や接語を助詞と呼んでいる。

表8 品詞分類の基準 (麻生 2020:87)

	動詞	名詞	指示連体詞	副詞	指示様態詞	感嘆詞
活用する	○					
項となる句の主要部になる		○			○	
項となる句の主要部を修飾する			○		○	
述語を修飾する				○	○	
上記以外						○

本辞典でも、麻生 (2020) に倣い、基本的には上記 6 つの品詞と助詞を認める。一方で、辞典という本稿の特徴から利便性を考慮した結果、先行研究とは異なる立場を取る点が 2 点ある。1 つ目は、動詞に含まれる語のうち、3.4 節でクラス 4 に分類される語は、便宜的に「形容詞」として区別したという点である。2 つ目は、副詞に含まれる語のうち擬態語・擬音語を区別したという点である⁵。

3.4 動詞・形容詞の活用

麻生 (2020) では、波照間方言の動詞語幹に後続する接辞の異形態の現れ方 (活用) によって 4 つの動詞語幹クラスを認めている。本田氏の動詞活用体系も同様に、交替語幹の有無と、接辞の異形態によって、大きく 4 つのクラスが認められる (表 9)。

ただし、現時点では、本田氏のすべての動詞活用体系を調査しきれていないため、本辞典では活用体系全体の記述や動詞の活用クラスの情報提示を省略する。

⁵ 麻生 (2020) 節を合わせて参照されたい。

表9 動詞・形容詞の語幹クラス (麻生 (2020:147) をもとに筆者らが改変)

	語幹 意味	交替語幹	異形態の例	
			非過去接辞	否定接辞
クラス 1	jum 「読む」	-	-u	-an
	hak 「書く」	-		
	ng 「行く」	-		
クラス 2	arah 「洗う」	aras(i)	-∅	-an
	nah 「産む」	nas(i)		
	marah 「死ぬ」	maras(i)		
クラス 3	iri(r) 「入れる」	ir	-∅/-u	-un
	ndi(r) 「出る」	nd		
	uti(r) 「落ちる」	ut		
クラス 4 (形容詞)	agaha(r) 「赤い」	-	-∅/-u	-en
	takaha(r) 「高い」	-		
	maroha(r) 「低い」	-		

4 凡例

4.1 収録語

本辞典は南琉球八重山語波照間方言の母語話者である本田昭正氏 (富嘉^{ふか}出身、昭和 10 年生) のことばを収録したものである。全部で 3,614 項目 (発音の揺れも含む) を収録した。

4.2 見出し語

見出し語はアクセント記号付き仮名表記、音声表記、品詞、活用、意味記述、備考から構成されている。

4.3 配列

項目は仮名表記を基に五十音順に並べた (配列の際は分かち書きの空白を無視している)。

4.4 仮名および音韻表記

波照間方言を仮名で表記するにあたって概ね本田氏の方針に従った。注意点として同じ音声的な実現に対して複数の表記が使われることがある。音声表記は本田氏の実際の発音に基づき、決めた。母音の無声化は音声表記においてのみ示した⁶。高母音の書き起こしに関する注意点は 3.1.2 節を参照されたい。また、音声表記において音節境界が曖昧になる場合、音節境界を「.」の記号で示した (例えば *nna.awari* 「無駄骨」)。

⁶ 無声化の書き起こしに関する注意点については 3.1.3 節も参照されたい。

4.5 アクセント

名詞、動詞、形容詞を中心に 3,189 項目についてアクセント情報を示した。アクセント型の情報は仮名表記に記載し、平進型、上昇型、下降型のそれぞれの所属を語の後に付与する「↑」「↓」「↘」の記号で示した。2 単位の項目については、アクセント単位 (1 つのアクセント型が実現するドメイン) ごとに記号を付与した(26)。

(26) 2 単位項目の表示例

- a. あが↘んた↑ [aganta] 「赤土」
- b. ばた↑やみ↑ [batajami] 「腹痛」
- c. むがしい↑びいと↘ [mugaʃipitu] 「昔の人。古人」

また、平進型、上昇型、下降型のいずれの型にも収まらないパターンは単独発音で実現するピッチの局所的な変動を「↑」(局所の上昇)と「↓」(局所の下降)の記号で示した。形容詞(クラス 4 動詞)は語尾がアクセント単位をなすため、アクセント記号を語幹末に記してある。なお、(引用形において)平進型に所属する語尾のアクセント記号は省略した。

アクセント型の認定は次のように行った。名詞は単独発音および「～の話」の粹文、動詞は終止形や否定形の単独発音、形容詞はアクセント型の対立が最も明瞭に観察できる「～くなる」の粹文に基づき、認定した。他の品詞については単独発音に基づき、認定した。認定において十分な確信が得られなかった場合はアクセント情報を省略した(未調査の項目も若干数ある)。

4.6 品詞

見出し語に対し、3.3節で述べた通り次の品詞を設定した(27)。右に使用した略号を示す。

- (27) a. 動詞：動
 b. 形容詞：形
 c. 名詞：名
 d. 指示連体詞：連体
 e. 副詞：副
 f. 擬態語・擬音語：擬
 g. 指示様態詞：指示様態
 h. 感嘆詞：感
 i. 助詞：助

これらに加え、上記に分類される語内に含まれる語根以外の形態素として次の範疇も設けた(28)⁷。

⁷ 句として分類されているものには 1 語化して語(名詞や動詞など)として認定できるものや、逆に動詞や名詞として分類したものの中に句であるものが紛れている可能性がある。韻律や形態統語的な調査を進め、今後、より

- (28) a. 接頭辞：接頭
b. 接尾辞：接尾
c. 句：句（複数の語、あるいは語と助詞から成る項目）
d. 未定：-

なお、品詞の認定に際し先行研究とは異なる点が2つある。まず、麻生 (2020) では形容詞という品詞は認定されておらず、「大きい」「小さい」といった性質を意味する多くの語は、形態統語的な根拠から動詞の下位分類と見なされている。しかし、本辞典では語幹クラス4に分類される動詞を便宜的に「形容詞」として立項した。次に、擬態語・擬音語に関してである。擬態語・擬音語は麻生 (2020) では副詞に含まれているが、本辞典では独立した品詞としてまとめた。

4.7 活用

動詞は項目の最後に〔否〕で導入される否定形（～しない）を示した。ただし、否定形が未調査の場合は否定形の提示を省いた。

4.8 意味記述

意味は相当する共通語を示した上、必要な場合に解説を加えた。多義語は「①②③…」など番号を付けて意味を分けて示した。

4.9 備考

必要に応じて見出し語に関する備考を加えた。

4.10 共通語引き

利便性を考慮し、辞典本体の後に共通語引きを用意した。

精密な認定がなされることが期待される。

表10 仮名・発音記号一覧

あ	[a]	い	[i]	う	[u]	え	[e]	お	[o]
か	[ka]	き	[ki]	く	[ku]	け	[ke]	こ	[ko]
が	[ga]	ぎ	[gi]	ぐ	[gu]	げ	[ge]	ご	[go]
きゃ	[kja]			きゅ	[kju]			きょ	[kjo]
								ぎょ	[gjo]
さ	[sa]	し~しい	[ʃi]	す~すう	[su]	せ	[se]	そ	[so]
ざ	[dza]	じ~じい	[dʒi]	ず	[dzu]	ぜ	[dze]	ぞ	[dzo]
しゃ	[ʃa]			しゅ	[ʃu]			しょ	[ʃo]
じゃ	[dʒa]			じゅ	[dʒu]			じょ	[dʒo]
た	[ta]	てい	[ti]	とう	[tu]	て	[te]	と	[to]
だ	[da]	でい	[di]	どう	[du]	で	[de]	ど	[do]
ちゃ	[tʃa]			ちゅ	[tʃu]	ちえ	[tʃe]	ちょ	[tʃo]
つあ	[tʃa]	ち~ちい	[tʃi]	つ	[tsu]	つえ	[tʃe]	つお	[tʃo]
な	[na]	に	[ni]	ぬ	[nu]	ね	[ne]	の	[no]
にゃ	[nja]								
は	[ha]	ひ	[hi]			へ	[he]	ほ	[ho]
ば	[ba]	び	[bi]	ぶ	[bu]	べ	[be]	ぼ	[bo]
ぱ	[pa]	ぴ~ぴい	[pi]	ぷ	[pu]	ぺ	[pe]	ぽ	[po]
ぶわ	[bwa]							びょ	[bjo]
ぴゃ	[pja]							ぴょ	[pjo]
ふあ	[fa]	ふい	[fi]	ふ	[fu]	ふえ	[fe]	ふお	[fo]
ふわ	[fwa]								
ま	[ma]	み	[mi]	む	[mu]	め	[me]	も	[mo]
みゃ	[mja]							みょ	[mjo]
や	[ja]			ゆ	[ju]	いえ	[je]	よ	[jo]
ら	[ra]	り	[ri]	る	[ru]	れ	[re]	ろ	[ro]
りゃ	[rja]								
わ	[wa]								
ん	[m] ~ [n] ~ [ŋ] ~ [N]								
(無声化)	[◌̚]			(語頭において) しっ(さ) ~ す(さ)	[s(sa)]				
ー	[◌̚]			(語頭において) ふっ(ふあ)	[f(fa)]				
っ		子音を重ねる							

5 本文

- あー [a:] [感] ^あ 嗚呼。
- あーい [a:i] [感] ^{いや} いいえ。嫌。
- あーいし [a:iʃi] [名] 砂岩。「栗石」の義。
- あーさ [a:sa] [名] ヒトエグサ。海藻名。食用。
- あーしみるん [a:ʃimirun] [動] 合わせる。会うようにさせる。[否] あーすうむぬ
- あーすん [a:sun] [動] ① 合わせる。② 戦わせる。[否] あーはぬ
- あーらすん [a:rasun] [動] ① 騒がす。騒がしくする。② 急き立てる。急がせる。[否] あーらはぬ
- あーらすん [a:rasun] [動] 研ぐ。臼の歯を削る。のこぎりの歯を研ぐ。
- あーらすん [a:rasun] [動] 蒸す。餅や菓子類などを蒸す。[否] あーらはぬ
- あーり [a:ri] [名] 蟻。
- あーり [a:ri] [名] 東。東方。
- あーるん [a:run] [動] 騒ぐ。[否] あーらぬ
- あい [ai] [名] 藍。染料。
- あい [ai] [感] おや。はて。
- あいさち [aisatʃi] [名] 挨拶。
- あいじ [aidʒi] [名] 蜻蛉。
- あいず [aidʒi] [名] 合図。
- あいずみ [aidzumi] [名] 藍染。
- あいち [aitʃi] [名] ^{きづち} 木槌。
- あいてい [aiti] [名] 相手。
- あいなー [aina:] [名] 花嫁。
- あいなー すん [aina: sun] [句] ^{めと} 娶る。嫁をもらう。嫁として縁組する。
- 「あいなー」よい [aina:joi] [名] 結婚式。結婚祝い。
- あいま [aima] [名] あいま。隙間。
- あいるん [airun] [動] 会える。逢える。[否] あるぬ
- あいるん [airun] [動] 和える。混ぜる。混ぜ合わせる。
- あか [aka] [名] ^{あか} 塗。船底に溜まった海水。船舶用語。
- あがー [aga:] [感] いたっ。痛い。
- あかー すん [aka: sun] [句] 赤くなる。赤らむ。人についてだけ言う。
- あかーいる [aka:iru] [名] 赤色。
- あ「かー」し [aka:ʃi] [副] 赤く。
- あ「かー」し なるん [aka:ʃi narun] [句] 赤くなる。赤らむ。
- あがしい [agaʃi] [名] 松の根の芯。昔は燈明に使われた。
- あかしきぶし [akafʃikibuʃi] [名] 明けの明星。
- あかしきん [akafʃikin] [名] ^{あかつき} 暁。
- あがすん [agasun] [動] 仲裁する。[否] あがはぬ
- あがたま [agatama] [名] 赤ん坊。赤子。[備] 前部要素に下降型の〈あが〉「赤い」を含んでいると考えられるが、アクセントが平進型となっている。これは〈たま〉「指小辞」の影響によると思われる。
- あがだん [agadan] [名] 赤ダニ。牛などに付くダニ。
- あがでーぐに [agade:guni] [名] ニンジン。「赤い大根」の義。
- あがぱーち [agapa:tʃi] [名] スズメバチ。
- あがはん [agahan] [形] 赤い。
- あがまーみ [agama:mi] [名] ^{あずき} 小豆。
- あがますん [agamasun] [動] 赤くする。
- あがみるん [agamirun] [動] 崇める。敬う。
- あがむん [agamun] [動] 赤らむ。赤くなる。[否] あがまぬ
- あがやー [agaja:] [感] 残念。惜しい。
- あがよー [agajo:] [感] とても痛い。また強く

- 嘆き悲しむさまにも使う。〈あがよーあがよー〉はその強調。
- あがよーあがよー** [agajo:agajo:] [感] 強く痛み嘆くさま。嘆き悲しむさま。
- あがらすん** [agarasun] [動] ① 明るくする。照らす。② (夜を) 明かす。[否] あがらぬ
- あがり** [agari] [名] 灯り。
- あがりゃん** [agarjan] [動 (継)] 明るい。
- あがるん** [agarun] [動] ① 明るくなる。② 明ける。[否] あがらぬ
- あがるん** [agarun] [動] 上がる。昇る。〈しなあがるん〉「太陽が昇る」。[否] あがらぬ
- あがん** [agan] [名] さつま芋。甘藷。
- あがゝんた** [aganta] [名] 赤土。赤い粘土。
- あがんたま** [agantama] [名] 赤ん坊。赤子。[備] 前部要素に下降型の〈あが〉「赤い」を含んでいると考えられるが、アクセントが平進型となっている。これは〈たま〉「指小辞」の影響によると思われる。
- あぎごっこー** [agigokko:] [名] 三十三年忌。最後の法事。〈あぎしょっこー〉とも。
- あきさみよー** [akisamijo:] [感] なんとることか。
- あぎさり** [agisari] [名] 明け方。夜明け前。
- あぎひ** [agihi] [名] 空家。
- あぎまーすん** [agima:sun] [動] 騙す。欺く。[否] あぎまーはぬ
- あぎやしき** [agijafiki] [名] 空き屋敷。
- あきりるん** [akirurun] [動] 飽きる。
- あきりん** [akirin] [動] 飽きる。
- あきるん** [akirun] [動] 呆れ果てる。呆れる。
- あぎるん** [agirun] [動] (戸を) 開ける。
- あぎるん** [agirun] [動] (油で) 揚げる。
- あぎん** [agin] [動] 開ける。[否] あぐぬ
- あく** [aku] [名] 悪いこと。悪口。
- あぐん** [agun] [動] 開く。[否] あがぬ
- あごん** [agon] [名] アコウ。樹木名。
- あざーぎるん** [adza:girun] [動] 片付けてきれいにする。
- あざぎしゃ** [adzagi] [名] きれいな好きだ。清潔だ。
- あざぎしゃはん** [adzagi:han] [形] きれい好きだ。清潔だ。
- あざぎしゃはん** [adzagi:han] [形] こざっぱりする。
- あさどおり** [asaduri] [名] ^{あさなぎ} 朝凧。
- あさはん** [asahan] [形] 浅い。海や川の水深をさす。
- あざまぐ** [adzamagu] [名] 按司。島の古語。古代の豪族の名につく。
- あさむぬ** [asamunu] [名] 朝食。
- あさらごー** [asarago:] [名] 潮干狩り。
- あざらはーん** [adzaraha:n] [形] (刺、木やつるが多くて) 通りにくい。(荒れて) 通れない。
- あさるん** [asarun] [動] 漁る。探す。
- あざん** [adzan] [名] 薊。海辺の植物名。
- あし** [aji] [名] 汗。
- あじ** [adzi] [名] 味。
- あじ すん** [adzi sun] [句] 味わう。味をみる。
- あし ふきん** [aji fukin] [句] 汗ばむ。汗をかく。
- あしきるん** [ajikurun] [動] 預ける。[否] あすくぬ
- あしけー** [ajike:] [名] シャコガイ。貝の種類。
- あした** [ajita] [名] 下駄。東の村では〈あすたん〉と言う。
- あしび** [ajipi] [名] 遊び。大人が歌や踊りで楽しむこと。宗教的な行事にも言う。
- あしふさ** [ajifusa] [名] 汗臭い。
- あじまぎ** [adzimagi] [名] たすき。
- あしみじ** [ajimidzi] [名] 汗水。
- あしみるん** [ajimirun] [動] 集める。[否] あすむぬ

- あしやぼー¹ [aʃabo:] [名] 汗疹。
- あすうとう¹ [asʉtu] [名] 明後日。
- あすかるん¹ [asʉkarun] [動] 預かる。[否] あすからぬ
- あすぺー¹ [asʉpe:] [名] 泡。
- あずま¹はん [adzumahan] [形] 甘い。
- あすまるん¹ [asʉmarun] [動] 集まる。[否] あすまらぬ
- あた¹ [ata] [副] 急に。突然。
- あ¹た¹すま [ata:sʉma] [副] いっとき。^{しばら}暫く。
- あたあみ [ata.ami] [名] ^{にわか}俄雨。
- あたしに [ataʃini] [名] 急死。
- あ¹た¹め¹すん [atame:sun] [動] 保管する。大事にしまう。[否] あため¹さぬ
- あだら¹ [adara] [-] 汚い。体が汚れているときに。
- あたら¹さん [atarasan] [形] 惜しい。可愛らしい。
- あたらは¹ [ataraha] [句] 大切に。
- あだり¹ [adari] [副] いたずらに。無為に。
- あたるん¹ [atarun] [動] 当たる。正しい。つり合う。合格にも言う。[否] あたらぬ
- あたるん¹ [atarun] [動] 身に応える。[否] あたらぬ
- あちいゆ¹ [atʃiju] [名] 湯。熱湯。
- あちすん¹ [atʃisun] [動] 当てにする。期待する。[否] あちさぬ
- あちらいん¹ [atʃirain] [動] 誂える。[否] あちらはぬ
- あちるん¹ [atʃirun] [動] 当てる。[否] あとらぬ
- あつあすとう¹ [atsa.asʉtu] [名] ① 明後日。② 近いうち。
- あつあ¹すん¹ [atsa:sun] [動] ^{あたた}温める。[否] あつあ¹はぬ
- あつあすとうむち¹ [atsasʉtumutʃi] [名] 明日の朝。翌朝。
- あつあは¹なるん¹ [atsaha narun] [句] 熱くなる。温まる。
- あつあむさ¹はん [atsamusahan] [形] 暑がりやだ。
- あつあゆ¹ [atsaju] [名] 明日の夜。明晩。
- あつあ¹ー¹ [attsɑ:] [名] あす。明日。
- あつあすん¹ [attsasun] [動] (食べ物を)^{あたた}温める。[否] あつあはぬ
- あつあ¹はん [attsahan] [形] 暑い。熱い。
- あ¹て¹し [ate:ʃi] [副] 温かく。温く。
- あと¹う¹ [atu] [名] ① 後。② 跡。
- あど¹う¹ [adu] [名] ^{かかと}踵。
- あとうあとう¹ [atu.atu] [副] 後々。行く末。
- あとう¹ちぎ¹ [atutʃigi] [名] 後継ぎ。後継者。
- あとさき¹ [atosaki] [名] 後先。前後。[備] アクセントは「平進型」と「下降型」の2単位の可能性もある。
- あなどるん¹ [anadorun] [動] 侮る。嘲る。[否] あなどらぬ
- あ¹な¹ば¹り¹ひー [anabarihi:] [名] 掘っ立て小屋。
- あなぶ¹ [anabu] [名] 沼。溜め池。牛馬の飲み水や農具の洗い場、農道にそって点在。
- あば¹ [aba] [名] 油。食油。燃料油。
- あばず¹ー¹さーん [abadzu:sa:n] [形] 脂っこい。
- あばたしみるん [abataʃimirun] [動] 急き立てる。[否] あばたすむぬ
- あばだり¹ [abadari] [名] 裸。裸体。
- あばちかんち¹すん¹ [abatʃikantʃi sun] [句] 大慌てする。慌てふためく。
- あばちるん¹ [abatʃirun] [動] 慌てる。急ぐ。
- あばりしゃ¹はん [abariʃahan] [形] (容姿が)美しい。美人だ。人の容姿の美しさに言う。
- あばんぐん¹ [abangun] [動] 仰向く。仰向けになる。[否] あばんがぬ
- あぴら¹ [apira] [名] 家鴨。

あぶㇿ [abu] [名] ドリーネ。雨水の吸い込み穴。

あふあㇿさん [afasan] [形] 薄味だ。塩味不足。

あふくんㇿ [afukun] [動] 息切れになる。息がはずむ。[否] あふかぬ

あぶしㇿ [abusi] [名] 畦。田の畔。

あふらん [afuran] [動 (継)] 溢れる。

あぶるんㇿ [aburun] [動] ① 炙る。② 焼く。
[否] あぶらぬ

あぶわㇿ [abwa] [名] 母。母親。

あまㇿ [ama] [名] 姉。

あまいるんㇿ [amairun] [動] 喜ぶ。楽しむ。[否]
あまいるぬ

あまおしきㇿ [ama.oʃiki] [名] 雨天。曇天。

あまㇿくまㇿ [amakuma] [副] あちらこちら。

あまじㇿ [amadzi] [名] 髪。頭髮。

あますなㇿ [amasuna] [名] サトウキビ。甘蔗。

あますん [amasun] [動] 浴びせる。[否] あま
はぬ

あまだりㇿ [amadari] [名] 庇。

あまだりんㇿ [amadarin] [動] 滴る。

あまっすくるㇿ [amasukuru] [名] 頭。頭部。

あまっすくるㇿやみㇿ [amasukurujami] [句] 頭
が痛い。頭痛。

あまばんぎㇿ [amapanigi] [名] 軒端。軒先。

あまふもんㇿ [amafumon] [名] 雨雲。

あまみじㇿ [amamidzi] [名] 真水。淡水。

あまむりㇿ [amamuri] [名] 雨漏り。

あまらすんㇿ [amarasun] [動] 余す。余らす。
[否] あまらはぬ

あまりㇿ [amari] [名] 余り。余分。

あまるんㇿ [amarun] [動] 余る。[否] あまら
ぬ

あまんㇿ [aman] [名] ヤドカリ。

あみㇿ [ami] [名] 雨。「梅雨」は〈ゆどあみ〉。

あみじわーㇿ [amidziwa:] [名] 祈年祭。次年
の豊作を祈る豊年祭。

あみにげーㇿ [aminige:] [名] 雨乞い祈願。〈ふ
つあまらー〉「仮面神」が登場。

あみんㇿ [amin] [動] 浴びる。[否] あむぬ

あむんㇿ [amun] [動] 編む。紐で編む。竹の
時は〈ふむん〉。[否] あまぬ

あやかーるんㇿ [ajaka:run] [動] 肖る。

あやかるんㇿ [ajakarun] [動] 肖る。似ること
を願う。[否] あやからぬ

あやついさーん [ajassa:n] [形] 怪しい。疑わ
しい。

あやつふあㇿさーん [ajaffwasa:n] [形] 薄暗い。

あやつふわみㇿ [ajaffwami] [名] たそがれ時。

あやみるんㇿ [ajamirun] [動] 傷つける。損な
う。[否] あやむぬ

あよーㇿ [ajo:] [名] 古謡の一種。[備] 宮古語
の〈あやぐ〉〜〈あーぐ〉「(一般的な)歌」に
対応。〈あやぐ〉 > 〈あやう〉 > 〈あよー〉
のように変化した。

あらㇿ [ara] [名] 粗。(白米中の) 粃粒。

あらすんㇿ [arasun] [動] 荒らす。[否] あらは
ぬ

あらすんㇿ [arasun] [動] 洗う。洗濯する。[否]
あらはぬ

あらだているんㇿ [aradaturun] [動] 荒立てる。
[否] あらだつぬ

あらたみるんㇿ [aratamirun] [動] 改める。改
善する。[否] あらたむぬ

あらとうしㇿ [aratyʃi] [名] 新年。

あらなんㇿ [aranan] [名] 荒波。荒海。大波は
〈ぶーなん〉〈むさん〉。

あらぬㇿ [aranu] [動] 違う。そうではない。

あらはん [arahan] [形] (波、動作、粉末な
どが) 荒い。粗い。

あらむにㇿ [aramuni] [名] 荒い言葉。暴言。

あらもーぎㇿ [aramo:gi] [名] 大儲け。

あらわりるんㇿ [arawarirun] [動] 現れる。[否]
あらわるぬ

ありかた^ㄨ [arikata] [名] 東側。東方。
 ありしあぎるん^ㄨ [arifi.agirun] [動] 開墾する。
 [否] ありしあぐぬ
 ありしぴてー^ㄨ [aripite:] [名] 開墾畑地。
 ありすむち^ㄨ [arisumutji] [名] 米粉の蒸し菓子。
 ありるん^ㄨ [arirun] [動] ① 荒れる。② 暴れる。
 [否] あーるぬ
 あるぐん^ㄨ [arugun] [動] 歩く。[否] あるがぬ
 あるふた^ㄨ [arufuta] [名] 塵。ごみ。
 あわり^ㄨ [awari] [名] 難儀。苦勞。
 あん^ㄨ [an] [動] 有る。[否] ねーぬ
 あん^ㄨ [an] [名] 粟。
 あん^ㄨ [an] [名] 網。魚網など。
 あん^ㄨ [an] [名] 餡。餡子。
 あんぎるん^ㄨ [angirun] [動] 上げる。高いところ
 にあげる。[否] あんぐぬ
 あんざーりるん^ㄨ [andzarirun] [動] もつれる。
 [否] あんざーるぬ
 あんざらすん^ㄨ [andzarusun] [動] 交差させる。
 [否] あんざらはぬ
 あんざらだーぐ^ㄨ [andzarada:gu] [名] 釣竿の
 工夫。釣針の根かかり防止工夫。
 あんざるん^ㄨ [andzarun] [動] 絡まる。もつれ
 る。こんがらがる。[否] あんざらぬ
 あんじるん^ㄨ [andzirun] [動] 交差させる。あ
 ざなう。
 あんだしい^ㄨ [andaji] [名] アダンの気根。繩
 のよい材料。
 あんだに^ㄨ [andani] [名] 阿旦。
 あんだみしゅ^ㄨ [andamisu] [名] 油味噌。味噌
 を油でいため豚肉など入れた保存食。
 あんむち^ㄨ [ammutji] [名] 餡餅。
 いー^ㄨ [i:] [名] 飯。ご飯。
 「いー^ㄨくとう [i:kutu] [名] 良いこと。慶事。
 いーしきるん^ㄨ [i:ʃikirun] [動] 告げる。知ら
 せる。[否] いーすくぬ

いーのーすん^ㄨ [i:no:sun] [動] 言いなおす。[否]
 いーのーはぬ
 「いー^ㄨば [i:ba] [副] 好都合。
 いーばぎ^ㄨ [i:bagi] [名] 言い訳。
 いーまーり^ㄨ [i:marri] [名] 飯茶碗。
 いーまかすん^ㄨ [i:makasun] [動] 言い負かす。
 [否] いーまかはぬ
 いかすく [ikasuku] [副] どれほど。
 いがすん^ㄨ [igasun] [動] 生かす。[否] いがは
 ぬ
 いがすん [igasun] [動] 蘇らせる。
 いがばり^ㄨ [igabari] [名] 胸焼け。
 いがばりゃん [igabarjan] [句] (胸のあたりが
 何となく) 変な具合だ。(胸がむかついて)
 吐き気がする。
 いがふちるん^ㄨ [igafutʃirun] [動] (水を) ぶっ
 かける。[否] いがふとうぬ
 いぎだる [igidaru] [句] 生きている。
 いきら^ㄨさん [ikirasun] [形] 少ない。わずか。
 いぎるん^ㄨ [igirun] [動] (花などを) 生ける。
 [否] いぐぬ
 いぎるん^ㄨ [igirun] [動] 生きる。[否] いぎら
 ぬ
 いきろー^ㄨ [ikiro:] [名] 生霊。呪い。
 いぎん^ㄨ [igin] [動] 生きる。
 いげーるん^ㄨ [igerun] [動] 行き会う。[否] い
 げーらぬ
 いさすうま^ㄨ [isasuma] [名] 石垣島。地名。
 いざり^ㄨ [idzari] [名] 漁り。
 いざんだ^ㄨ [idzanda] [副] 一生懸命。
 いし^ㄨ [iji] [名] 石。
 いし^ㄨ [iji] [名] 息。
 いじい^ㄨ [idzi] [名] 意地。勇氣。
 いじい ねーぬ [idzi ne:nu] [句] 小胆だ。臆
 病だ。勇氣がない。
 いじいぬ^ㄨ ねーぬ^ㄨ [idzinu ne:nu] [句] 小胆
 だ。臆病だ。勇氣がない。

- いしうし [iʃi.ʌʃi] [名] 石臼。沖縄では引き臼が主。
- いしかぼ [iʃikabo] [名] ハリセンボン。とげに覆われた魚。
- いしなが [iʃinaga] [名] 背中。
- いしふく [iʃifuku] [名] 小石。礫。
- いしまーし [iʃima:ʃi] [名] 石垣。
- いじみるん [idʒimirun] [動] 虐める。虐待する。[否] いじむぬ
- いしゃがーたま [iʃaga:tama] [名] 幼い子。幼児。
- いしゃがはん [iʃagahan] [形] 小さい。
- いしゃば [iʃaba] [名] オニオコゼ。刺に毒を持つ魚。
- いしゃん [iʃan] [名] 医者。
- いしゃんが はかるん [iʃanga hakarun] [句] 治療する。医者にかかるの義。
- いしょー [iʃo:] [名] 衣装。踊りなどの衣装を指す。
- いしょー [iʃo:] [名] 漁労。[備] 日本語の「磯」に対応。
- いしょーだぐ [iʃo:dagu] [名] 漁具。
- いしょーぶさ [iʃo:busa] [名] 神行事の漁労係。
- いしょん [iʃon] [名] 砂。
- いしんたま [iʃintama] [名] 小石。砂利。〈たま〉は小さなものの愛称。
- いすがすん [isugasun] [動] 急がせる。[否] いすがはぬ
- いすぐん [isugun] [動] 急ぐ。[否] いすがぬ
- いすぱん [isupan] [名] 一番。一番座。一番狂言など。
- いすぱんこんぎ [isupankongi] [名] 一番狂言。豊作祈願の狂言。
- いすぱんどうし [isupandufi] [名] 親友。一番親しい友人の意。
- いすむし [isumufi] [名] 生き物。動物。
- いた [ita] [名] 板。
- いたすきばら [itasukibara] [名] 悪霊払いの一つ。悪霊を払う行事。お盆の翌日に行く。
- いたちり [itatjiri] [-] (液体や小粒の物を) 勢いよく移すさま。
- いたちるん [itatjirun] [動] ① (液体を残らず) 零す。液体を皆こぼすときに言う。② 空にする。空ける。全部移してしまう。
- いたふに [itafuni] [名] くり舟。
- いたますん [itamahun] [動] 損なう。傷つける。[否] いたまはぬ
- いたみるん [itamirun] [動] 損なう。傷つける。
- いためー [itame:] [名] 床下。
- いたんだ [itanda] [名] 只のもの。無代。
- いちい [itʃi] [名] 何時。
- い^いちい^いん [itʃin] [副] 何時も。常に。
- いちふ [itʃifu] [名] 従兄弟。
- い^いちふ^いぶい [itʃifubui] [名] 叔父叔母の孫。
- いちむん [itʃimun] [名] 一門。一族。
- いちゆ [itʃu] [名] 絹。
- いちゆすぬ [itʃusunu] [名] 絹の着物。
- いっし [iʃʃi] [名] 五つ。
- いっふえー [iffɛ:] [名] ものもらい。目の腫物。
- いとう [itu] [名] 糸。
- いなー [ina:] [名] 海。
- いなが [inaga] [名] 海。
- いなさひー [inasahi:] [名] 昔の船待ち小屋。
- いなしき [inaʃiki] [名] 杵。
- いなむん [inamun] [感] 無念。残念。
- い^いなん^いぱた [inampata] [名] 海辺。海岸付近。
- いに [ini] [名] 稲。
- いぬ [inu] [名] 犬。
- いぬ [inu] [名] 戌。十二支の戌(いぬ)。
- いのー [ino:] [名] 礁池。リーフ内側の浅い

- 海。
- いのーㄨ [ino:] [名] 竜巻。
- いばちㄨ [ibatʃi] [名] 種取祭の山盛飯。
- いばりすくんㄨ [ibarisʊkʊn] [動] 威張る。高尚ぶる。
- いばるんㄨ [ibarun] [動] 威張る。[否] いばらぬ
- いびㄨ [ibi] [名] ^{えび}海老。
- いびるんㄨ [ibirun] [動] 植える。[否] いぶぬ
- いふつあㄨ [ifʊtsa] [名] 戦争。戦い。
- いふつあーㄨ すんㄨ [ifʊtsa: sʊn] [句] 戦争する。
- いふなーㄨ [ifʊna:] [名] 変だ。おかしい。
- いふなー やっさーㄨ [ifʊna: jassa:] [句] 変だ。変わっている。悪い意味に使う。
- いべーㄨ [ibe:] [名] 位牌。
- いましみるんㄨ [imaʃimirun] [動] 戒める。説教する。教える。[否] いますむぬ
- いましみるんㄨ [imaʃimirun] [動] 戒める。説教する。教える。[否] いますむぬ
- いみㄨ [imi] [名] 夢。
- いみㄨ [imi] [名] 忌。喪。
- いみうち [imi.utʃi] [名] 忌中。
- いみはかるんㄨ [imihakarun] [動] 喪に服する。忌中だ。[否] いみはからぬ
- いみるんㄨ [imirun] [動] 催促する。督促する。ねだる。
- いやㄨ [ija] [名] 父。父親。
- いやぐㄨ [ijagu] [名] 權。
- いらㄨ [ira] [名] (粟刈りの) 小鎌。
- いらㄨ [ira] [名] クラゲ。
- いらぶんㄨ [irabun] [動] 選ぶ。選択する。[否] いらばぬ
- いりㄨ [iri] [名] 西。西方。
- いりㄨ [iri] [名] 錐。
- いりかーるんㄨ [irika:run] [動] 入れ代わる。[否] いりかーらぬ
- いりかいㄨ すんㄨ [irikai sʊn] [句] 入れ換える。入れ換える。
- いりかいるんㄨ [irikairun] [動] 入れ換える。
- いりぎㄨ [irigi] [名] 鱗。
- いりぐんㄨ [irigun] [動] 煎る。[否] いりがぬ
- いりしなㄨ [irifina] [名] 入日。日光が室内に差し込むこと。
- いりびたるんㄨ [iribitarun] [動] 入り浸る。[否] いりびたらぬ
- いりむぐㄨ [irimugu] [名] 入り婿。養子に行く婿。
- いりむちㄨ [irimutʃi] [名] 西表。西表島。八重山諸島の島の名。
- いりむんㄨ [irimun] [名] 入れ物。容器。
- いりんㄨ [irin] [動] 入れる。[否] いるぬ
- いるㄨ [iru] [名] 色。色彩。
- いるすそーㄨはん [irusso:han] [形] 色が白い。色白だ。
- いるんㄨ [irun] [動] 要る。必要だ。[否] いらぬ
- いるんㄨ [irun] [動] 射る。撃つ。[否] いらぬ
- いわりㄨ [iwari] [名] 謂れ。由来。
- いんㄨ [in] [名] 洞穴。洞窟。
- いんㄨ [in] [名] 印。印鑑。
- いんㄨ [in] [名] 犬。
- いんㄨ [in] [名] ^{いぬ}戌。十二支の戌(いぬ)。
- 「いん」どりㄨ [induri] [名] 海鳥。
- いんぬㄨ まらㄨ [innu mara] [句] 鍾乳石。
- うーㄨ [u:] [名] 卵。十二支の卵。
- うー [u:] [接頭] 幾〜。何〜。助数詞や可算名詞と結合し、数の疑問詞を作る。〈うーび〉「幾つ」、〈うーむし〉「何回」など。
- うーぐとう [u:gutʊ] [名] 大事。一大事。
- うーちいㄨ [u:ʃi] [名] ① 幾つ。② 何歳。
- うーとーとう [u:to:tu] [感] ああ尊し。祈りの冒頭のことば。
- うーびㄨ [u:bi] [名] 幾つ。幾ら。

- うーむし [u:muʃi] [名] 何回。
- うい¹ [ui] [動] 泳ぐ。〈ういっしょん〉「泳げる」。[否] うわぬ
- うい² [ui] [名] 上。上方。目上。
- うい³ [ui] [名] 銚。
- うい⁴ [ui] [名] 老い。老いること。
- ういが¹ [uiga] [句] 上へ。上方へ。
- ういくむん¹ [uikʉmun] [動] 追い込む。[否] ういくまぬ
- ういし¹ [uifi] [名] 訓戒。「御意志」の意味で国王の命令か。
- ういし うがますん [uifi ugamasun] [句] 訓戒する。「御意志を拝ませる」の意味で国王の命令を伝えたことからか。
- ういすくん¹ [uisʉkun] [動] 追いつく。[否] ういすかぬ
- ういなん¹ [uinan] [名] 牝牛。
- ういぬ¹ ぴいと¹ う¹ [uinu piʉtu] [句] 上役。上司。
- ういぬぐん¹ [uinugun] [動] 追い抜く。追い越す。[否] ういぬがぬ
- ういばー¹ [uipa:] [名] 曾祖母。
- ういばろーん¹ [uiparo:n] [動] 追っ払う。
- ういぶや¹ [uibuja] [名] 曾祖父。
- ういぶら¹ [uipura] [名] 耄碌。痴呆。
- ういぶり¹ [uiburi] [動] 老いぼれる。[否] ういぶらぬ
- ういぶん¹ [uibun] [動] 及ぶ。叶う。
- ういまーすん¹ [uima:sun] [動] 追い回す。追い立てる。[否] ういまーさぬ
- ういるん¹ [uirun] [動] 老いる。年を取る。[否] ういぬ
- ういわっきるん¹ [uiwakkirun] [動] 追い散らす。[否] ういわっくぬ
- ういんぐん¹ [uinʉgun] [動] 追っかけていく。[否] ういんがぬ
- ういんだすん¹ [uindasun] [動] 追い出す。[否] ういんだはぬ
- うか¹ [uka] [名] 負債。負い目。
- うかさ¹ はーん [ukasaha:n] [形] 醜い。見苦しい。
- うがじい¹ [ugadzi] [名] 神占い。米粒で占う。
- うがすん¹ [ugasun] [動] 起こす。[否] うがはぬ
- うがすん¹ [ugasun] [動] ① 動かす。② 移動する。[否] うがはぬ
- うか¹ と [ukatto] [副] うっかり。
- うか¹ と すん [ukatto sun] [句] 軽率だ。
- うか¹ と すん¹ [ukatto sun] [句] ぼんやりする。うっかりする。
- うがみ¹ [ugami] [名] ① 拝み。拝むこと。② 祈願。
- うがむん¹ [ugamun] [動] 拝む。[否] うがまぬ
- うがり¹ [ugari] [名] 高地。小高い台地。
- うがん¹ [ugan] [名] 祈願。
- うがんじゅ [ugandʒu] [名] 拝所。
- うがんちゅむん¹ [ugantʃumun] [動] くたばる。参る。[否] うがんちゅまぬ
- うき¹ [uki] [名] 木桶。水桶。
- うきしゃ¹ はん [ukifahan] [形] 恰好悪い。不美人。
- うきと¹ うるん¹ [ukitʉrun] [動] ① 受け取る。② 引き受ける。[否] うきとらぬ
- うきむつん¹ [ukimutsun] [動] 受け持つ。[否] うきむつあぬ
- うきるん¹ [ukirun] [動] 受ける。請け負う。[否] うきらぬ
- うぎるん [ugirun] [動] 起きる。目覚める。
- うぎん¹ [ugin] [動] 起きる。目覚める。[否] うぐぬ
- うく¹ [uku] [名] 奥。奥の方。
- うく¹ たるん¹ [ukutarun] [動] 怠る。油断する。[否] うくたらぬ

- うくびよー¹さーん [ukubjo:sa:n] [形] 臆病だ。
うくらすん¹ [ukurasun] [動] 遅らせる。[否]
うくらはぬ
うくりん¹ [ukurin] [動] 遅れる。
うぐるぴん¹ [ugurupin] [名] お盆の最終日。
うぐるん¹ [ugurun] [動] 送る。葬式を済ませ
る。[否] うぐらぬ
うぐん¹ [ugun] [動] 動く。[否] うがぬ
うさぎむぬ¹ [usagimunu] [名] 献上品。
うさぎるん¹ [usagirun] [動] 差し上げる。敬
語。[否] うさぎぬ
うさまるん¹ [usamarun] [動] 治まる。[否] う
さまらぬ
うさみるん¹ [usamirun] [動] ① 納める。納
入する。② 治める。統治する。[否] うさむ
ぬ
うし¹ [uji] [名] 牛。「雄牛」はくぐちえー、
「牝牛」はくういなん。
うし¹ [uji] [名] 丑。十二支の丑。
うし¹ [uji] [名] 白。搗き白と引き白がある。
うじ¹ [udzi] [名] 腕。
うじ¹ [udzi] [名] 蛆。
うしあんぎるん¹ [uji.angirun] [動] 押し上げ
る。[否] うしあんぐぬ
うしかいすん¹ [ujikaisun] [動] 押し返す。[否]
うしかいさぬ
うしくみるん¹ [ujikumirun] [動] 押し込める。
[否] うしくむぬ
うしくむん¹ [ujikumun] [動] 押し込む。詰め
込む。へし込む。力を入れて強く押し込む。
[否] うしくまぬ
うしくるばすん¹ [ujikurubasun] [動] 押し転
ばす。押し転がす。[否] うしくるばはぬ
うししきるん¹ [ujisikirun] [動] 押し付ける。
強いる。[否] うしすくぬ
うししきん¹ [ujisikin] [動] 押さえ込む。[否]
うしいすくぬ
うしたま¹ [ujitama] [名] 彼ら。あいつら。
うしとーすん¹ [ujito:sun] [動] ① 突き飛ばす。
② 押し倒す。[否] うしとーはぬ
うしとー¹ [ujitu] [名] 年寄り。老人。
うしとー¹ なるん¹ [ujitu narun] [句] 老人に
なる。歳を取る。
うしとーばー¹ [ujitupa:] [名] 老婆。おばあ
さん。
うしとーぶや¹ [ujitubuja] [名] 老爺。おじい
さん。
うしび¹ [ujipi] [名] 風呂敷。
うしむどうすん¹ [ujimudusun] [動] 押し戻
す。[否] うしむどうさぬ
うじゃうじゃ [udza.udza] [擬] うようよ。虫
などのたくさんいるさま。
うしゆがなし¹ [ufuganaši] [名] 御主加那志。
国王。琉球国王をさす。
うしゆく [ufuku] [副] それほど。
うしゆしるん¹ [ujijurun] [動] 押し寄せる。
うず¹ [udzu] [名] 布団。
うすくみん¹ [usukumin] [動] 仕舞う。収納す
る。[否] うすくむぬ
うすくん¹ [usukun] [動] 置く。[否] うすかぬ
うすな¹ [usuna] [名] 沖繩。沖繩本島。地名。
うすなすん¹ [usunasun] [動] なくす。失う。
[否] うすなはぬ
うすぴらがすん¹ [usupiragasun] [動] 踏み潰
す。
うすふかすん¹ [usufukasun] [動] 伏せる。下
に向けて置く。[否] うすふかはぬ
うすふくん¹ [usufukun] [動] 俯く。[否] う
すふかぬ
うすまさん [usumasan] [形] ものすごい。恐
ろしい。
うずまるん¹ [udzumarun] [動] 埋もれる。埋
まる。[否] うずまらぬ
うずみるん¹ [udzumirun] [動] 埋める。

- うずら¹ [udzura] [名] ウズラ。小鳥の一種。
- うすん¹ [usun] [動] ① 押す。押さえる。② 覆う。[否] うさぬ
- うせー¹ [use:] [名] ^{さかな}肴。
- うせーるん¹ [use:run] [動] 軽蔑する。
- うせーん¹ [use:n] [動] 貶す。馬鹿にする。[否] うせーるぬ
- うた¹ [uta] [名] 歌。民謡。
- うたーり¹ [utari] [名] いくたり。何人。
- うだぎ [udagi] [副] その程度。それだけ。
- うたげーるん¹ [utage:run] [動] 疑う。疑問に思う。[否] うたげーぬ
- うたごーん¹ [utago:n] [動] 疑う。[否] うたがーぬ
- うたさんしん¹ [utasanjin] [名] 音曲。歌三線。
- うたすん¹ [utasun] [動] 落とす。[否] うたはぬ
- うだち¹ [udatji] [名] 海への降り口。
- うたま¹ [utama] [名] 子。子供。「子供たち」は〈うたまんじ〉。
- うたま¹ すかなすん¹ [utama sūkanasun] [句] 子育てする。
- うたま¹ なすん¹ [utama nasun] [句] 子供を産む。出産する。
- 「うたま¹」んじ [utamandzi] [名] 子たち。子供たち。
- うち¹ [utji] [名] 内。内側。
- うちあみ¹ [utji.ami] [名] (室内に) 打ち込む雨。
- うちあん¹ [utji.an] [名] 投げ網。投網。
- うちくむん¹ [utjikumun] [動] 投げ込む。放り込む。[否] うちくまぬ
- うちくる¹ [utjikuru] [名] 押入れ。
- うちざ¹ [utjidza] [名] 兄弟姉妹。「姉妹」は〈ぶなり〉という。
- うちざ¹まり¹ [utjidzamari] [名] 親戚。親類。
- うちすくん¹ [utjisukun] [動] 落ち付く。[否] うちすかぬ
- うちばっさん [utjibassan] [動 (継)] うち忘れる。忘れるを強めた語。
- うちまかすん [utjimakasun] [動] 打ち負かす。
- うちよー¹ [utjo:] [名] 獲った魚を紐に通す漁具。
- うちん¹ [utjin] [動] 落ちる。[否] うとぅぬ
- うっす¹ [ussu] [名] 後頭部。
- うつすん¹ [utsusun] [動] ① 写す。② 感染させる。[否] うつさぬ
- うったいん¹ [uttain] [動] 訴える。
- うったち [uttatji] [名] 打ち身。ぶつつける。
- うつつあーすん¹ [uttsa:sun] [動] 打ち付ける。[否] うつつあーさぬ
- うつるん¹ [utsurun] [動] ① 移る。② 引越す。③ (病気が) うつる。感染する。④ 映る。⑤ 似合う。[否] うつらぬ
- うつん¹ [utsun] [動] 打つ。[否] うたぬ
- うつん¹ [utsun] [動] 射撃する。[否] うたぬ
- うとー¹ [uto:] [名] 音。物音。
- うとーとう¹ [utu:tu] [名] 年下の兄弟。弟。妹。
- うどーがすん¹ [udugasun] [動] ① 脅す。② どやす。[否] うどーがはぬ
- うとーさた¹ [utuşata] [名] 音沙汰。音信。消息。
- うとーだが¹はん [utudagahan] [形] 名高い。有名だ。
- うとーなさ¹はん [utunasahan] [形] 大人しい。穏和だ。
- うとーるいるん¹ [uturuirun] [動] 衰える。[否] うとーるあぬ
- うどーるぎ¹ [udurugi] [名] 驚き。
- うどーるぐん¹ [udurugun] [動] 驚く。[否] うどーるがぬ
- うとーるさ¹はん [uturusahan] [形] 怖い。恐ろしい。

- うとうるん [uturun] [動] 劣る。[否] うと
うらぬ
- 「うなー」ぐ [una:gu] [名] 安心。安堵。
- うなーぐ しゃーん [una:gu ja:n] [句] (心配
事がなくなり) ほっとする。
- 「うなー」ぐ なるん [una:gu narun] [句] 安
心する。安堵する。ほっとする。
- うなん [unan] [名] ウナギ。
- うぬ [unu] [連体] あの。その。〈うぬ-ぴと
う〉「あの人」など。
- うぬ まーま [unuma:ma] [句] そのまま。
- うぶい [ubui] [名] 覚え。記憶。
- うぶいるん [ubuirun] [動] 覚える。
- うぶいん [ubuin] [動] 覚える。
- うぶりるん [uburirun] [動] 溺れる。[否] う
ぶるぬ
- うむいきすん [umuikisun] [動] ① 思い切る。
決心する。② 諦める。③ 果たす。
- うむいくがりん [umuikugarin] [動] 思い焦
がれる。深く思う。[否] うむいくがるぬ
- うむいくむん [umuikumun] [動] 思い込む。
[否] うむいくまぬ
- うむいすくん [umuisukun] [動] 思い付く。
[否] うむいすかぬ
- うむいたつん [umuitatsun] [動] 思い立つ。
[否] うむいたたぬ
- うむいつみるん [umuitsumirun] [動] 思い詰
める。[否] うむいつむぬ
- うむいつみん [umuitsumin] [動] 思い詰め
る。[否] うむいつむぬ
- うむいぬぐすん [umuinugusun] [動] 思い
残す。[否] うむいぬぐはぬ
- うむいのーすん [umuino:sun] [動] 思い直
す。[否] うむいのーさぬ
- うむいんだすん [umuindasun] [動] 思い出
す。[否] うむいんだるぬ
- うや [uja] [名] 親。肉親。王府時代には役人
にも。
- うやかた [ujakata] [名] 親方。
- うやぎ [ujagi] [名] 富裕。金持ち。
- 「うやぎ」ひー [ujagih:] [名] 富裕者。金持ち
の家。
- うやぐ [ujagu] [名] 親族。親戚。[備] 親子
の転訛か。
- うやだり [ujadari] [名] 公務。公事。王府時
代役人の指示した公事、公務。
- うやっすり [ujassuri] [名] 祈り。祈願。
- うやびいとう [ujapitu] [名] 先祖の霊。先祖
神。
- 「うや」ふあ [ujafa] [名] 親子。
- うやまいるん [ujamairun] [動] 敬う。尊敬
する。[否] うやまーるぬ
- うやめーるん [ujame:run] [動] 敬う。尊敬
する。[否] うやめーぬ
- うゆぶん [ujubun] [動] ① 及ぶ。② 相応す
る。[否] うゆばぬ
- うら [ura] [名] 灣。王府時代は「蔵元」を指
した。
- うらがいすん [uragaisun] [動] 裏返す。
- うらげーすん [urage:sun] [動] 裏返す。[否]
うらげーさぬ
- うらすん [urasun] [動] 降ろす。下ろす。[否]
うらはぬ
- うらすん [urasun] [動] 刻む。刃物で切って
細かくする。[否] うらはぬ
- うらんだー [uranda:] [名] 欧米人。西洋人。
- うり [uri] [名] あれ。それ。
- うりー [uri:] [名] 潤い。畑が潤うこと。
- うりげー [urige:] [名] 降り井戸。降りて水
を汲む式の井戸。
- うりじん [uridzin] [名] 春。春季。「潤いの
季節」から。
- うりん [urin] [名] 胡瓜。
- うる [uru] [名] 珊瑚。^{さんご}珊瑚の石。

うるばたぎ¹ [urubatagi] [名] 田虫。皮膚病名。
 うるん¹ [urun] [動] 織る。機を織ること。[否] うらぬ
 うるんがに¹ [urungani] [名] 指輪。
 うるんぺー¹ [urumpe:] [名] 石灰。「サンゴの灰」の義。
 うわー¹ [uwa:] [名] 豚。
 うわるん¹ [uwarun] [動] 終わる。仕舞う。[否] うわらぬ
 うわん¹ひー¹ [uwanhi:] [名] 豚小屋。
 うん¹ [un] [名] 鬼。
 うん¹ [un] [名] 運。幸運。
 うん¹ [un] [名] 海栗。
 うんしゆく¹ [unʃuku] [副] それほど。
 うんつえー [untse:] [名] エンサイ。野菜名。
 「うん¹とう [untu] [副] しっかり。精一杯。
 うんどうん¹ [undun] [名] 位牌をまとめた大きな位牌。
 うんぬ¹ ねーぬ¹ [unnu ne:nu] [句] 運がない。不運だ。
 えー¹ [e:] [名] 絵。図画。絵画。
 えー [e:] [感] そう。軽い肯定。
 「えー¹ しみるん¹ [e: ʃimirun] [句] そうさせる。
 えー¹ すん¹ [e: sun] [句] そうする。
 「えー¹ やちゃら [e: jatʃara] [句] そうなら。それなら。
 「えー¹ やばん [e: jaban] [句] そうでも。
 えーさ [e:sa] [感] そうだよ。
 えーちゅー [e:ʃu:] [感] ~だそうだ。
 えーなー [e:na:] [感] そうか。なるほど。
 「えー¹ぬ [e:nu] [句] そんな。そんなこと。
 「えー¹ばぎる [e:bagiru] [句] そうしか。〈えーばぎる-なる〉など。
 えーるやろ [e:rujaro] [感] そうだ。その通りだ。

「え¹した [eʃita] [句] そうして。
 えすか [esuka] [句] だが。しかし。けれども。
 「えす¹がら [esugara] [句] だから。そうだから。
 えちー¹ [etʃi:] [句] そうだから。
 えちる [etʃiru] [接続] そうだから。
 えにすかすん¹ [enisukasun] [動] 言って聞かせる。指図する。説き聞かせる。教訓する。[否] えにすかはぬ
 えぬ むぬ [enu munu] [句] そんなもの。
 えぬばち [enubatʃi] [句] ^{）箸(はず)} その。
 えぬふあ¹ [enufa] [名] アイゴ。魚の種類。
 えぬん¹ [enun] [動] 言う。[否] えなぬ
 えん¹ [en] [名] 来年。来る年。東村の発音。
 えんだりるん¹ [endarirun] [動] 喧嘩する。争う。[否] えんだるぬ
 えんだりん¹ [endarin] [動] 喧嘩する。争う。[否] えんだるぬ
 おー [o:] [感] はい。目上に対しての返事。敬語。目下には〈くん〉と返事する。
 おーがーるん¹ [o:garun] [動] 浮かぶ。浮かれる。[否] おーがーらぬ
 おーがるん¹ [o:garun] [動] 浮かぶ。浮遊する。[否] おーがらぬ
 おーぎるん¹ [o:girun] [動] 浮ける。浮かべる。浮かせる。漂わす。[否] おーぐぬ
 おー¹し [o:ʃi] [副] 青々と。緑色に。
 おーし おるん [o:ʃi orun] [句] 召し上がる。お上がりになる。「食べる」の尊敬語。
 おー¹し なるん¹ [o:ʃi narun] [句] 青ばむ。青味を帯びる。
 おーしゃ¹ [o:ʃa] [名] 村番所。村事務所。王府時代の村番所。
 おーじゃなー¹ [o:dzana:] [名] 青大将。へびの種類。無毒。
 おーすむぬ¹ [osumunu] [名] 献上品。
 おーすん¹ [o:sun] [動] (牛馬に荷物を) 背負

- わす。[否] おーはぬ
- おーすん¹ [osun] [動] 差し上げる。謙讓語。
[否] おさぬ
- おーばー¹ [o:ba:] [名] 余り。余分。
- おーぱーと¹ [o:pa:to] [名] 青鳩。
- おーふつあ¹はーん [o:futsaha:n] [形] 青臭い。
生臭い。魚や牛、豚などの肉の臭さなどに言う。
- おーむん¹ [o:mun] [動] 青む。青ばむ。青くなる。
- おーらが¹ [o:raga] [句] 風上へ。風上へ向かうこと。
- おーるん¹ [o:run] [動] 来られる。いらっしゃる。「来る」「行く」などの尊敬語。[否] おーらぬ
- おこらすん¹ [okorasun] [動] (人を) 刺激して怒らせる。[否] おこらはぬ
- おこるん¹ [okorun] [動] 怒る。叱る。[否] おこらぬ
- おこるん¹ [okorun] [動] 起こる。[否] おこらぬ
- おしき¹ [ofiki] [名] 天気。天候。
- おった¹ [otta] [名] 蛙。オタマジャクシはくたらく。
- おび¹ [obi] [副] それだけ。それまで。終わり。
- おま¹はん [omahan] [形] 気分が悪い。頭痛がする。
- おわるん¹ [owarun] [動] 終わる。終了する。
[否] おわらぬ
- おん¹ [on] [名] 恩。恩義。
- おん¹ [on] [名] 団扇。扇。^{うちわ おうぎ}
- おんぎ¹ [ongi] [名] 団扇。扇。^{うちわ おうぎ}
- おんぐん¹ [ongun] [動] 扇ぐ。[否] おんがぬ
- おんだ¹ [onda] [名] 畚。^{もっこ} 縄製の運搬具。
- おんだ¹ [onda] [名] 海水浴。水泳。
- が [ga] [助] ~の方へ。〈ありが〉「東の方へ」など。
- かー¹ [ka:] [名] 匂い。香り。
- がー¹ [ga:] [名] 我。^が 根性。忍耐。
- がーがー [ga:ga:] [擬] ① がやがや。やかましくしゃべるさま。② かーかー。カラスが鳴くさま。
- かーき¹ [ka:ki] [名] 約束。賭け。
- かーぎ¹ [ka:gi] [名] 鉤の手。
- がーし [ga:ʃi] [助詞] ~だけ。~ばかり。
- がーし¹ [ga:ʃi] [名] 飢饉。餓死。飢饉は蛾死につながった。
- がーずさはん [ga:dzusahān] [形] ① 忍耐力が強い。我慢強い。② 強情だ。
- かーすん¹ [ka:sun] [動] 匂う。匂いがする。
[否] かーさぬ
- かーち¹ [ka:tʃi] [名] 夏至。
- かーぬ すさはぬ [ka:nu ssahanu] [句] 匂いが強い。
- かーま¹むがし¹ [ka:mamugaʃi] [名] 大昔。太古。
- かーみん¹ [ka:min] [名] 一重瞼。
- かーら¹ [ka:ra] [名] 船の竜骨。キール。
- かーら¹ [ka:ra] [名] 川。河川。
- かーら¹ [ka:ra] [名] 瓦。
- がーら¹だま¹ [ga:radama] [名] 勾玉。^{まがたま}
- かーら¹ひー¹ [ka:rahi:] [名] 瓦葺きの家。
- かーり¹ [ka:ri] [名] 代わり。
- がーりすきん¹ [ga:risukin] [動] 威張る。氣勢を上げる。[否] がーりすくぬ
- がーん [ga:n] [感] まさか。嘘だ。強い否定。
- がい¹ [gai] [名] 害。
- がい¹ すん¹ [gai sun] [句] 害する。
- がいじい¹ [gaidʒi] [名] 容器名。茅と竹ひごで編む物入れ。
- かぎ¹ [kagi] [名] 影。陰。
- かきあうん¹ [kaki.aun] [動] 談判する。抗議する。[否] かきあわぬ

かぎじん1 [kagidzin] [名] 陰膳。旅の人の無事を祈るため。
 かぐ1 [kagu] [名] 籠。^{かご}
 がく [gaku] [名] 学校。「学校」の略化。
 がくたま [gakutama] [名] 学童。生徒。「学童」の方言化。
 がくむん1 [gakumun] [名] 学問。
 かさなるん1 [kasanirun] [動] 重ねる。
 かさばるん1 [kasabarun] [動] 重なる。[否] かつあばらぬ
 かさびるん1 [kasabirun] [動] 重ねる。[否] かつあびらぬ
 がざまに1 [gadzamani] [名] ガジュマル。植物名。
 かざまやー1 [kadzamaja:] [名] 風車。
 かじ1 [kadzi] [名] 数。
 かしー1 [kaʃi:] [名] 加勢。手伝い。
 がしいどうしい [gaʃiduʃi] [名] 餓死の年。凶作の年。収穫が不作の年。
 'かしがー'ふくる [kaʃiga:fukuru] [名] 南京袋。
 かしき1 [kaʃiki] [名] おこわ。こわ飯。
 かしきるん1 [kaʃikirun] [動] 駆ける。全力で走る。[否] かしくぬん
 かじまやー1 [kadzimaja:] [名] 九十七歳の長寿祝い。
 かしみるん1 [kaʃimirun] [動] 売る。販売する。[否] かすむぬ
 かしら1 [kaʃira] [名] 頭。頭領。旗頭。
 かずいるん1 [kadzuirun] [動] 数える。
 'がす'た [gasuta] [副] ^{みんな}皆。全部。
 かた1 [kata] [名] 型。
 かた1 [kata] [名] 肩。
 かたうや1 [kata.uja] [名] 片親。
 かたが1 [kataga] [名] 風除け。庇護。
 がたがた [gatagata] [擬] ① がたがた。震えるさま。② 揺れ動くさま。

かたぐ1 [katagu] [名] 片方。片一方。
 かたすか1 [katasuka] [名] 片付け。整理。
 かたずぐん1 [katadzugun] [動] きちんと整理される。[否] かたずがぬ
 かたすぶる1やみ1 [katasupurujami] [名] 片頭痛。
 かたすん1 [katasun] [動] 組する。味方する。[否] かたさぬ
 かたち1 [katatʃi] [名] 形。姿。恰好。
 かたな1 [katana] [名] 刀。包丁。
 かた1はん [katahan] [形] 濃い。濃厚だ。密集している。
 かたぱん1 [katapan] [名] 片足。
 かたふかすん [katafukasun] [動] 傾ける。
 かたふきるん1 [katafukirun] [動] 傾ける。[否] かたふかぬ
 かたふくん1 [katafukun] [動] 傾く。傾斜する。[否] かたふかぬ
 かたぶり1 [kataburi] [名] 片降り。局所的に降る雨。
 かたまるん1 [katamarun] [動] 固まる。硬くなる。[否] かたまらぬ
 かたみるん1 [katamirun] [動] (肩に) 担ぐ。[否] かたむぬ
 かたみるん1 [katamirun] [動] 固める。[否] かたむぬ
 かたるん1 [katarun] [動] 語る。話す。語らう。[否] かたらぬ
 かたん1 [katan] [名] バッタ。昆虫名。
 かし1 [kaʃi] [名] すじ。繊維。
 かし1 [kaʃi] [名] 勝ち。勝つこと。
 かし1 [kaʃi] [名] 舵。
 かし1 [kaʃi] [名] 風。
 かし1 [kaʃi] [名] 海栗。
 かしいら1 [kaʃira] [名] 蔓。
 かしふき1 [kaʃifuki] [名] 暴風。台風。「風吹き」の意味。

かちまーりㄴ [kaɕjima:ri] [名] 風廻り。風向の急変のこと。

かちみるんㄴ [kaɕjimin] [動] 保管する。大事にしまう。

かちむんㄴ [kaɕjimun] [名] おかず。[備] 直訳「糧物」。

かちゅㄴ [kaɕju] [名] ^{かつお} 鰹。

かちゅぶしㄴ [kaɕjubuʃi] [名] ^{かつお} 鰹節。

かちゅぶにㄴ [kaɕjubuni] [名] ^{かつお} 鰹漁船。

かちょㄴはん [kaɕjo:han] [形] 風が強い。

かちりるんㄴ [kaɕjirirun] [動] 飢える。餓える。ひもじい思いをする。[否] かつるぬ

かちりんㄴ [kaɕjirin] [動] 飢える。餓える。[否] かつるぬ

かつあㄴ [kaɕtsa] [名] 蚊帳。

かつあㄴ [kaɕtsa] [名] 笠。

かつあなるんㄴ [kaɕsanarun] [動] 重なる。[否] かつあならぬ

かつあびるんㄴ [kaɕsabirun] [動] 重ねる。

かつあまㄴはん [kaɕsamaha:n] [形] 喧しい。

かつあみるんㄴ [kaɕsamirun] [動] 仕舞い込む。隠す。[否] かつあむぬ

かつあむんㄴ [kaɕsamun] [動] 嵩む。数、量が増える。

かつありㄴ [kaɕsari] [名] 飾り。装飾。

かつえーㄴ [kaɕse:] [名] 鍛冶。鍛冶屋。

かつえーぶなㄴ [kaɕse:buna] [名] 鍛冶屋祭。ふいご祭。

がっきゃㄴ [gakkja] [名] 鎌。

かつんㄴ [kaɕtsun] [動] 勝つ。[否] かつあぬ

かとーしㄴ [kaɕto:ʃi] [名] 梳き櫛。

かどうㄴ [kadu] [名] 角。隅。

かなㄴ [kana] [名] 匏。大工道具。

かなㄴさーん [kanasa:n] [形] 可愛い。愛らしい。

かなばㄴ [kanaba] [名] 大きな葉。バナナの葉など。

かなばりんㄴ [kanabarin] [名] ヒョウタン。夕顔の実。

かなぶㄴ [kanabu] [名] えびずる。野ブドウ。

かにㄴ [kani] [名] 金属。

かにㄴ [kani] [名] 鐘。鉦。

かにじんㄴ [kanidzin] [名] 硬貨。

かにちㄴ [kanitʃi] [名] 金槌。玄翁。

かにるんㄴ [kanirun] [動] おんぶする。担ぐ。[否] かぬぬ

かぬめーㄴ [kanume:] [名] 神行事。

かねー [kane:] [-] すぐれた。有能な。

かねーるんㄴ [kanerun] [動] 叶える。[否] かねーらぬ

かのーんㄴ [kano:n] [動] 叶う。実現する。[否] かのーらぬ

かぱすんㄴ [kapasun] [動] 嗅がせる。[否] かぱはぬ

かぱㄴはん [kapanhan] [形] 芳しい。薫る。良い香りがする。

かふちるんㄴ [kafutʃirun] [動] 被せる。上からかける。覆う。[否] かふつぬ

かぶるㄴ [kapuru] [名] コウモリ。

かぶるさなㄴ [kapurusa:na] [名] 洋傘。蘭傘。

かぶんㄴ [kapun] [動] ① 被る。② 茂る。生い茂る。繁茂する。[否] かぱぬ

かぶんㄴ [kapun] [動] (匂いを) 嗅ぐ。[否] かぱぬ

かぺーㄴ [kape:] [名] ^{かび} 黴。

かまㄴ [kama] [名] ^{かま} 釜。

かまいるんㄴ [kamairun] [動] 構える。身構える。[否] かまわぬ

かまぐㄴ [kamagu] [名] かまぼこ。

かまさㄴ [kamasas] [名] 食器。ひょうたん製の野良用。

がまㄴさーん [gamasas:n] [形] ① 腕白だ。② 悪戯っぽい。

がまんㄴ [gaman] [名] (海中の) 洞穴。陸上

の洞窟は〈いん〉。
 かまanta 1 [kamanta] [名] 大型エイ。マンタ。
 かみ 1 [kami] [名] 亀。
 かみ 1 [kami] [名] 甕。
 かみしきるん 1 [kamiʃikirun] [動] 捕える。ひ
 っつかむ。[否] かみすくぬ
 かみん 1 [kamin] [動] ^{つか} 掴む。捕える。
 かみん 1 [kamin] [動] 頭上に乗せて運ぶ。[否]
 かむぬ
 かむい 1 [kamui] [名] 梁。
 かむし 1 [kamuʃi] [名] ゴキブリ。油虫。
 かむん 1 [kemun] [動] 噛む。咬む。[否] か
 まぬ
 がや 1 [gaja] [名] 茅。チガヤ。植物名。
 がやふきひー 1 [gajafukihii:] [名] 萱ぶきの家
 屋。
 かよーん 1 [kajo:n] [動] 通う。[否] かよーわ
 ぬ
 がら [gara] [接尾] ~匹。魚などを数える数
 詞。結合する数詞語根によって形が変わる。
 〈ぴとーら〉「一匹」、〈みーから〉「三匹」な
 ど。
 から 1 なるん 1 [kara narun] [句] 空になる。
 全部移されてしまう。
 がらがら [garagara] [擬] からから。空っぽ
 のさま。
 からぎるん 1 [karaɡirun] [動] 絡げる。^{まく} 捲る。
 [否] からぎらぬ
 がらし 1 [garaʃi] [名] カラス。鳥の名。
 からすん 1 [karasun] [動] 貸す。[否] からは
 ぬ
 からばっさ 1 はん [karaɓassahan] [形] すばし
 こい。身軽だ。敏捷だ。
 から 1 はん [karaɓan] [形] ^{から} 辛い。
 からばん 1 [karaban] [名] ^{はだし} 裸足。
 からまぐん 1 [karamagun] [動] 絡まる。絡み
 付く。[否] からまがぬ

からまぐん 1 [karamagun] [動] 巻き付ける。
 絡める。[否] からまがぬ
 からむん 1 [karamun] [動] 絡み付く。[否] か
 らまぬ
 かりー 1 [kari:] [名] 嘉例。吉例。
 かりがすん 1 [karigasun] [動] 乾かす。[否] か
 りがはぬ
 かりぐん 1 [karigun] [動] 乾く。[否] かりが
 ぬ
 かりゆし 1 [karijuʃi] [名] 航海安全。航路平
 安。
 かりよん 1 [karjon] [名] 山芋。作物。
 かりるん 1 [karirun] [動] 借りる。[否] からぬ
 かりるん 1 [karirun] [動] ① 枯れる。② (声
 が) 嘎れる。[否] かるぬ
 かるん 1 [karun] [動] 刈る。刈り取る。[否]
 からぬ
 かるん 1 [karun] [動] 借りる。借用する。[否]
 からぬ
 かるんじるん 1 [karundzirun] [動] 軽んじる。
 軽く思う。ないがしろにする。
 かれーるん 1 [kare:run] [動] 変える。代える。
 替える。交換する。両替する。[否] かれー
 らぬ
 かる 1 はん [karoɓan] [形] 軽い。
 かわり [kawari] [名] 変わり。
 かわるん 1 [kawarun] [動] ① 変わる。変化す
 る。② 代わる。[否] かわらぬ
 かん 1 [kan] [名] 蟹。
 かん 1 [kan] [名] 神。神様。
 かん 1 [kan] [名] 寒気。寒さ。
 かん 1 [kan] [名] 棺桶。
 かんがーすん 1 [kanga:sun] [動] (火で) 焙っ
 て乾燥する。[否] かんがーはぬ
 かんがん 1 [kangan] [名] 鏡。
 がんがん [ganɡan] [擬] 早く。早くやれと急
 がす様。

- がんきょー [gan:kjo:] [名] 眼鏡。水中眼鏡。
 がんくむぬ [gankumunu] [名] 頑固者。
 かんげー [kan:ge:] [名] 考え。思案。
 かんげーるん [kan:ge:run] [動] 考える。思う。
 かんご [kan:go] [名] 肩車。
 がんざん [gandzan] [名] 蚊。
 がんす [gansu] [名] 元祖。先祖。
 がんずさ なるん [gandzusa narun] [句] 丈夫になる。体が強くなる。
 がんずさはん [gandzusahan] [形] 頑丈だ。丈夫だ。元気だ。
 かんすり [kansuri] [名] 剃刀。
 かんだが [kandaga:san] [形] 神の靈験が高い。
 がんだるごー [gandarugo:] [名] ^{がん} 龕。葬儀で棺を運ぶ龕。
 かんだるん [kandarun] [動] 噛む。よく噛む。
 [否] かんだらぬ
 がんどーりん [gando:rin] [動] ① 疲れ果てる。② 元気をなくす。[否] がんどうーるぬ
 がんどらん [gandoran] [動 (継)] 痩せ衰える。
 かなり [kannari] [名] 雷。雷鳴。
 かんぬ [kan:nu] [名] 神の世。豊穰の世。
 かんぱるん [kampa:run] [動] 噛み砕く。[否] かんぱらーぬ
 かんぼーしん [kanpo:jin] [名] 船首材が上に出た船。
 がんまり [gammari] [名] 悪戯。悪さ。
 がんまり しゃーん [gammari ja:n] [句] よく悪戯をする。悪戯っばい。
 かんみちい [kammit:i] [名] 神の道。神や神司が通る道。
 きー [ki:] [名] 毛。体毛。
 きー [ki:] [名] 木。樹木。
 きー [ki:] [名] 気。気持。
 きー しきるん [ki:jikirun] [句] 注意する。気をつける。
 きーいりん [ki:irin] [動] 元気付ける。[否] きーいらぬ
 きーぬ むとう [ki:nu mutu] [句] 木の幹。
 きーる [ki:ru] [名] 黄色。
 きがい [kigai] [名] 気立て。気骨。
 きかんしん [kikan:jin] [名] 発動機船。帆船に対して言う。
 きさ [kisa] [名] 既に。とっくに。
 きさり [kisar:i] [名] 神行事。宗教的な行事を指す。
 ぎし [gi:si] [名] 指図。命令。
 きしり [kijiri] [名] 煙管。
 きた [kita] [名] 桁。
 きちい [kit:i] [名] 垂木。
 きちいるん [kit:jirun] [動] ① ^{けず} 削る。② (櫛で髪を) 梳く。[否] きちいらぬ
 きちがん [kit:jigan] [名] 結願。祈願の成就への感謝祭。
 きつあむん [kitsamun] [動] 刻む。[否] きつあまぬ
 きっく [kikku] [名] 稽古。練習。
 きっしい [kijji] [名] 警察。「警察」の転訛。
 きつとー [kitto:] [名] 毛布。外来語の「ケット」から。
 きな [kina] [名] 黒木。琉球黒檀。樹木で三線の部材になる。
 きなし [kina:si] [名] シナノキ。植物名。
 ぎなむぬ [ginamunu] [名] 出しもの。芸能。「芸の物」から。
 きに [kini] [名] 世帯。家庭。
 きにばがら [kinibagara] [名] ① 分家する。② 分家。
 きぬ あん [kinu an] [句] 気がある。関心がある。

- きぬ¹ みー¹ [kinu mi:] [句] 林の中。^{やぶ}藪の中。
 きぬん¹ [kinun] [動] ねだる。せがむ。[否]
 きなぬ
 ぎばるん¹ [gibarun] [動] 頑張る。よく働く。
 尽くす。努力する。[否] ぎばらぬ
 きぶ¹ [kipu] [名] 湯気。蒸気。
 きぶさ¹はーん [kipusaha:n] [形] 煙たい。煙
 る。
 きまるん¹ [kimarun] [動] 決まる。定まる。[否]
 きまらぬ
 きみるん¹ [kimirun] [動] 決める。決定する。
 [否] きむぬ
 きむ¹ [kimu] [名] 肝。肝臓。
 きむぐくる¹ [kimugukuru] [名] 心根。心情。
 きゃんぎ¹ [kjangi] [名] イヌマキ。樹木名。最
 良の建材。
 きゅー¹ [kju:] [名] 今日。本日。
 きゅみるん¹ [kijumirun] [動] 清める。[否] き
 ゆむぬ
 ぎょーれつ¹ [gjo:retsu] [名] 行列。旧盆の仮
 装行列は〈みちすねー〉という。
 ぎりかた¹はん [girikatahan] [形] 義理堅い。
 律義だ。
 きりとーすん¹ [kiritosun] [動] 切り倒す。[否]
 きりとはぬ
 きりとーすん¹ [kiritosun] [動] 蹴り倒す。[否]
 きりとーはぬ
 きりとうばすん¹ [kiritupasun] [動] 蹴飛ばす。
 [否] きりとうばはぬ
 きるん¹ [kirun] [動] 蹴る。[否] きらぬ
 きん¹ [kin] [名] 斤。斤数。重さの単位。
 きんき すん¹ [kinki sun] [句] 黄ばむ。黄色
 になる。
 きんさ¹ [kinsa] [名] 検査。
 きんだるん¹ [kindarun] [動] 掻き乱す。[否]
 きんだらぬ
 きんつあーらすん¹ [kintsarasun] [動] 掻き混
 ぜる。[否] きんつあーらはぬ
 ぎんみ¹ [gimmi] [名] 吟味。検討。
 く¹ [ku] [名] 粉。粉末。
 ぐー¹ [gu:] [名] 相棒。仲間。連れ。
 くい¹ [kui] [名] 声。
 くいつあーすん¹ [kuitsa:sun] [動] 揺する。揺
 らす。[否] くいつあーはぬ
 ぐいふ¹ [guifu] [名] 御用布。王府時代の人頭
 税の一つ。
 くいるん¹ [kuirun] [動] 越える。[否] くいぬ
 くいるん¹ [kuirun] [動] ① 請う。求める。②
 求婚する。嫁として申し込む。
 くがすん¹ [kugusun] [動] 焦がす。[否] くぐ
 はぬ
 くがに¹ [kugani] [名] ^{こがね}黄金。
 くがりるん¹ [kugarirun] [動] ① 焦げる。②
 焦がれる。[否] くがるぬ
 くくぬち¹ [kukunutji] [名] 九つ。[備] 簡略
 化〈はこな〉。
 くくる¹ [kukuru] [名] 心。精神。
 くくるいるん [kukuruirun] [動] 心得る。心
 掛ける。気をつける。
 くくるがきるん [kukurugakirun] [動] 心掛け
 る。[否] くくるがくぬ
 くさむくん¹ [kusamukun] [動] 憤慨する。し
 ゃくにさわる。[否] くさむかぬ
 ぐさん¹ [gusan] [名] 杖。
 ぐじいら¹ [gudzira] [名] 鯨。
 くしみ¹ [kujimi] [名] 甲烏賊。
 ぐじゅー¹ [gudzu:] [名] 九十。
 ぐしん¹ [gujin] [名] お酒。お神酒。酒でお供
 えしたものを指す。
 ぐす¹ [gusu] [名] トウガラシ。香辛料。
 ぐそー¹ [guso:] [名] あの世。後生。
 ぐそーみ¹ [guso:mi] [名] 五勺米。御嶽神事
 の徴収米。
 くたいるん¹ [kutairun] [動] 答える。[否] く

- たいるぬ
- くだくん [kudakun] [動] 砕く。打ち砕く。[否] くだかぬ
- くたんでー [kɯtande:] [名] 草臥れ。疲労。
- くたんでいるん [kɯtandirun] [動] 疲れる。草臥れる。[否] くたんでいらぬ
- くち [kɯtʃi] [名] 籐。蔓の植物。
- くち [kɯtʃi] [名] 腰。
- くちさはん [kɯtʃisaħan] [形] 苦しい。窮屈だ。
- ぐちみん [gutʃimin] [名] ^{わき}脇。脇の下。
- ぐちゅぐちゅ [gutʃugutʃu] [擬] こちょこちょ。くすぐる時の形容。
- ぐちゅるん [gutʃurun] [動] ^{くすぐ}擽る。[否] ぐちゅらぬ
- くつあーすん [kɯtsa:sun] [動] (魚などを) 拵える。[否] くつあーさぬ
- くつあすん [kɯtsasun] [動] 拵える。こさえる。[否] くつあはぬ
- ぐつえー [gutse:] [名] (大きな) 雄牛。
- くつん [kɯtsun] [名] 去年。昨年。
- ぐてー [gute:] [名] 体。体格。
- くとうしい [kɯtuʃi] [名] 今年。
- くとうしきるん [kɯtuʃikirun] [動] 言付ける。伝言する。[否] くとすくぬ
- くとうば [kɯtuba] [名] 言葉。言語。
- くとうばるん [kɯtubarun] [動] 断る。[否] くとうばらぬ
- くなすん [kɯnasun] [動] こなす。柔らかくする。[否] くなはぬ
- くなすん [kɯnasun] [動] (お腹を) 下す。下痢する。[否] くなはぬ
- くなちい [kumatʃi] [名] 来年の夏。「来る夏」の意味。
- くぬ [kɯnu] [連体] この。これの。
- くば [kɯpa] [名] クバ。ピロウ。植物名。
- くばかつあ [kubakɯtsa] [名] クバ笠。クバを材料とした笠。
- くばすん [kɯpasun] [動] ^{こぼ}零す。[否] くばはぬ
- くぱはん [kɯpahan] [形] 下手だ。不器用だ。
- くぱるん [kɯparun] [動] (寒さで) 凍える。[否] くぱらぬ
- くぱるん [kɯparun] [動] 配る。分配する。[否] くぱらぬ
- くぱん [kɯpan] [名] 神前の供物の名。
- くぷりるん [kɯpurirun] [動] ^{こぼ}零れる。[否] くぷるぬ
- くぷりん [kɯpurin] [動] ^{こぼ}零れる。[否] くぷるぬ
- ぐぼん [gubon] [名] ^{こぼう}牛蒡。野菜名。
- くまた [kumata] [名] 分け前。
- くまはん [kumahan] [形] ① 細かい。② (手が) 器用だ。(技が) 精巧だ。
- ぐまはん [gumahan] [形] 小さい。小粒だ。
- くまるん [kumarun] [動] ① ^{こも}籠る。② 隠れる。[否] くまらぬ
- くらすん [kurasun] [動] ① 殺す。② 打つ。殴る。[否] くらはぬ
- くらびるん [kɯrabirun] [動] 比べる。比較する。
- ぐるっけーすん [gurukke:sun] [動] 引っ繰り返す。[否] ぐるっけーさぬ
- ぐるっけーらん [gurukke:ran] [動 (継)] 引っ繰り返る。
- くるばすん [kɯrubasun] [動] ① 転ばす。転がす。② 横たえる。[否] くるばはぬ
- くるぶん [kɯrubun] [動] 転ぶ。転がる。[否] くるばぬ
- くるまぼー [kurumabo:] [名] 車棒。くるり棒。豆打ちの農具。
- くわいるん [kuwairun] [動] 加える。
- くん [kun] [動] 来る。[否] くぬ
- くん [kun] [動] 漕ぐ。[否] くわぬ

くんき [kuŋki] [名] 根気。体力。
 くんき しきるん [kuŋki ſikirun] [句] 栄養を
 つける。
 ぐんず [gundzu] [名] 五十。
 くんぞー [kundzo:] [名] 怒り。怒ること。
 くんぞーむぬ [kundzo:munu] [名] 怒りんぼ。
 くんた\ばり [kuntabari] [名] この間。少し
 前。
 ぐんぼー [gumbo:] [名] 私生児。隠し子。
 けー [ke:] [名] 井戸。
 けー [ke:] [名] 陰。日蔭。
 けー [ke:] [名] 卵。
 けーし [ke:ʃi] [副] きれいに。立派に。
 けーすん [ke:sun] [動] 耕す。「返す」の義。
 [否] けーさぬ
 けーら [ke:ra] [名] ^{みんな}皆。全部。
 けーら\ねーら [ke:ranera] [名] 皆さま。皆
 皆様。〈けーら〉は「皆・全部」。
 けーり [ke:ri] とーすん [ke:ri to:sun] [句] 切り倒
 す。薙ぎ倒す。
 けーるん [ke:run] [動] 切り倒す。(固いもの
 を) 叩き切る。[否] けーらぬ
 けーるん [ke:run] [動] 帰る。
 けしゃ\はん [keʃahan] [形] きれい。美しい。
 物について言う。
 けすん [kesun] [動] 消す。消去する。[否]
 けさぬ
 「けっ\た [ketta] [副] たいそう。
 けった ぞっふあら [ketta dzoffara] [句] びっ
 しょり。水に濡れるさまの形容。
 けった ばっさーん [ketta bassa:n] [句] すっ
 かり忘れきる。
 けった みゃーん [ketta mja:n] [句] 十分に熟
 する。熟しきる。
 げん [gen] [名] 来年。来る年。富嘉の発音。
 こー [ko:] [名] お香。線香。
 こーがき [ko:gaki] [名] 頬かぶり。覆面。

ごーごー [go:go:] [擬] ① ぐうぐう。ぐっす
 り眠るさま。② すうすうと寝入るように死
 んで行くさま。
 こーさー [ko:sa:] [名] 拳骨。
 こーし [ko:ʃi] [副] 固く。堅実に。立派に。
 こーし [ko:ʃi] [名] 菓子。
 こーすん [ko:sun] [動] 壊す。[否] こーはぬ
 こーすん [ko:sun] [動] 掘り取る。根こそぎ
 取る。[否] こーさぬ
 こー\にー [ko:ni:] [名] 男の児の愛称。
 こー\はん [ko:han] [形] 固い。硬い。
 こー\はん [ko:han] [形] 歯ごたえがある。
 ごー\はん [go:han] [形] 怖い。恐ろしい。
 こーみ [ko:mi] [名] お辞儀。拝む。
 こーりるん [ko:rurun] [動] 壊れる。崩れる。
 [否] こーるぬ
 こーるん [ko:run] [動] 固まる。硬くなる。
 [否] こーらぬ
 こーろ [ko:ro] [名] 独染。^{こま}
 こーん [ko:n] [動] 買う。[否] かーぬ
 ごーんた [go:nta] [擬] こつん。物を軽く打つ
 音の形容。
 こい [koi] [名] 肥し。肥料。
 こいすぶ [koisupu] [名] 肥溜。
 こいたんぐ [koitangu] [名] 水肥おけ。
 ごかけー [gokake:] [名] ニワトリの卵。鶏
 卵。
 こさ\はん [kosahan] [形] ^{くす}擦ったい。
 こすぱり [kosupari] [-] 歯ごたえがある。
 こすぱるん [kosuparun] [動] 固まる。硬く
 なる。[否] こすぱらぬ
 こすん [kosun] [動] 漉す。[否] こさぬ
 こすん [kosun] [動] 越す。越える。越させ
 る。[否] こはぬ
 ごっか [gokka] [名] 鶏。
 こっきー [kokki:] [名] ご馳走。
 こっこー [kokko:] [名] 法事。法要。

- こっち [kottʃi] [名] (幼児語) 陰茎。
- こっぱるん [kopparun] [動] ① 強張る。意地を張る。② 固くなる。硬直する。[否] こっぱらぬ
- こっふあすん [koffasun] [動] 崩す。壊す。[否] こっふあはぬ
- こっふいるん [koffirun] [動] 崩れる。[否] こっふぬ
- こむん [komun] [動] お辞儀する。[否] こまぬ
- こんぎ [kongi] [名] 桑の木。植物名。
- こんぎ [kongi] [名] 狂言。
- ごんた [gonta] [擬] ごくんごくん。水など、液体を勢い良く飲み下ろすさま。
- さ [sa] [名] 茶。
- さ [sa] [名] 差。
- さ [sa] [接尾] ～さ。
- ざー [dza:] [名] 何処。どれ。
- ざー [dza:] [名] 座。席。
- さーだがはん [sa:daɣahan] [形] 靈感能力が高い。霊験あらたかだ。
- ざーだぎ [dza:dagi] [名] 苦竹。竹の種類。
- さーっさーった [sa:ssa:tta] [擬] さっさと勢いよく歩く様子。
- さーった [sa:tta] [擬] さっさと。素早く。
- さーに [sa:ni] [名] 月桃。植物名。
- ざーぬ [dza:nu] [句] どの。何処の。
- ざーはん [dza:han] [形] 苦い。
- さーふーふー すん [sa:fu:fu: sun] [句] ほろ酔いになる。上機嫌になる。
- ざーふえー [dza:fe:] [名] まずいこと。困ったこと。
- さーら [sa:ra] [名] サワラ。魚類名。
- ざーりるん [dza:rirun] [動] (布などが古くなって) 裂ける。[否] ざーるぬ
- さーる [sa:ru] [名] 猿。動物名。
- さーるん [sa:run] [動] 触る。触れる。[否]
- さーらぬ
- ざいぎ [dzaigi] [名] 木材。材木。
- ざいさん [dzaisan] [名] 財産。
- さうき [sauki] [名] お茶うけ。茶菓子。
- さか [saka] [名] 上り坂。「下り坂」はくさんがり」と言う。
- さかいるん [sakai-run] [動] ① 栄える。繁栄する。② 繁る。[否] さかゆぬ
- さかさー [saka:sa:] [名] 逆さ。逆。
- さかすけー [saka:suke:] [名] 盃。
- さかなやー [sakanaja:] [名] 料亭。遊廓。
- ざがふなぶ [dzagafunabu] [名] ヒラミレモン。ミカン名。
- さがらすん [sagarasun] [動] 掛け買いする。掛けで買う。[否] さがらはぬ
- さがるん [sagarun] [動] (肉類が) 傷む。[否] さがらぬ
- さがるん [sagarun] [動] 下がる。後退する。ぶら下がる。[否] さんがらぬ
- さき [saki] [名] 先。先端。岬。埼。
- さき [saki] [名] 酒。
- さきぐし [sakiguʃi] [名] 酒癖。
- さきじょーぐ [saki:dʒo:gu] [名] 大酒飲み。酒上戸。
- さきつあーるん [sakit:sa:run] [動] ずたずたに裂く。
- さきふつあはーん [saki:futsaha:n] [形] 酒臭い。
- さきまーり [saki:ma:ri] [名] 先回り。
- さきやま [saki:jama] [名] 崎山。西表島の地名。
- さきるん [saki-run] [動] 裂ける。[否] さくぬ
- さぎるん [sagirun] [動] 下痢する。通じが良くなる。
- さくほー [sakuho:] [名] 農作。耕作。
- さくるん [sakurun] [動] 切り開く。肉を切り開くときに言う。[否] さくらぬ

- さぐるん [sagurun] [動] 探る。探索する。[否]
さくらぬ
- さくん [səkun] [動] 裂く。割る。[否] さかぬ
- さくん [səkun] [動] 咲く。[否] さかぬ
- さけー [səkə:] [名] 境。境界。
- さこー [səkō:] [名] 咳。
- さこーし [səkō:ʃi] [名] 長男。
- さこだち [səkodatʃi] [名] ハスノハギリ。樹木名。
- さこらはん [səkorahan] [形] 塩辛い。
- ざしき [dzəʃiki] [名] 座敷。
- さすん [səsun] [動] 刺す。差す。挿す。[否]
ささぬ
- さた [sata] [名] 噂。消息。評判。
- さた [səta] [名] 砂糖。黒糖。
- さたたくん [sətatakun] [名] 製糖する。
- さたぱんべー [sətapambe:] [名] 砂糖てんぷら。
- さだみ [sadam] [名] 定め。規則。
- さだみるん [sadamirun] [動] 定める。決める。[否] さだむぬ
- さち [sətʃi] [名] 鉢巻。
- さっていむ [sattimu] [感] 大変だ。もう大変。
- さっと [satto] [副] てきぱきと。手早く。
- 「ざつ」と [dzatto] [副] 簡単に。大雑把に。
- ざつふあざつふあ [dzaffadzaffa] [擬] ① ぐさりと。物を突き刺す音の形容。② ざぶざぶ。
- ざつふあった [dzaffatta] [擬] ざぶっと。水に勢いよくつけるさま。
- さっぶん [sappun] [名] 石鱈。外来語の「シャボン」から。
- さでいふか [sadifuka] [名] ハマオモト。植物名。
- さとー [səto:] [名] 茶湯。仏前に供えるお茶。
- さとうるん [saturun] [動] 悟る。気付く。[否]
- さとらぬ
- ざとく [dzatoku] [名] 床の間。一番座の神を祭る間。
- さとぬし [sətonuʃi] [名] 里之子。士族の若い男。
- さな [səna] [名] 傘。洋傘。
- さにさに しゃん [sanisani ʃan] [句] にこにここと笑う。
- さにしゃー すん [səniʃa: sun] [句] 嬉しがる。喜ぶ。楽しむ。
- さにしゃはん [səniʃahan] [形] 嬉しい。
- さにち [sənitʃi] [名] 旧暦の三月三日。浜下りの日。
- ざぬ [dzanu] [句] どの。どこの。
- さねー [səne:] [名] ^{ふんどし} 褌。
- さぱ [səpa] [名] ^{ふか} 鱧。
- さぱあ [səpa] [名] 相撲。
- さぱくん [səbakun] [動] さぱく。調停する。[否] さぱかぬ
- さぱくん [səbakun] [動] 探す。探索する。[否] さぱがぬ
- さぱさぱ [səpasəpa] [擬] 粘り気のない様。
- さぱに [səbani] [名] くり舟。
- さぱはん [səpahan] [形] 折れやすい。裂けやすい。
- さぱん [səban] [名] 湯呑。茶碗。
- さぱん [səpan] [名] 草履。
- さび [səbi] [名] 錆。
- さびすくん [səbisukun] [動] 錆付く。
- さふくん [səfukun] [動] 引きずる。[否] さふかぬ
- さぶら [səbura] [名] ^{ほら} 法螺貝。
- さぼーりん [səbo:rɪn] [動] 寂れる。落ちぶれる。[否] さぼーるぬ
- ざぼんた [dzabonta] [擬] ざぶっと。水の中へ物を入れる音の形容。
- さましきるん [səmaʃikirun] [句] 縛りつける。

- さますん¹ [samasun] [動] 冷ます。[否] さまはぬ
- さますん¹ [samasun] [動] 覚ます。
- さまたぎるん¹ [samatagirun] [動] 妨げる。邪魔する。[否] さまたぐぬ
- ざまどうらすん¹ [dzamadurasun] [動] ① 迷わす。惑わす。② 化かす。
- ざまどうるん¹ [dzamadurun] [動] 迷う。まごつく。うろたえる。[否] ざまどうらぬ
- さまるん¹ [samarun] [動] 醒める。目覚める。[否] さまらぬ
- さまるん¹ [samarun] [動] ① 縛^{しば}る。② 束ねる。[否] さまらぬ
- さみるん¹ [samirun] [動] 覚める。
- さみるん¹ [samirun] [動] 冷める。
- さゆ¹ [saju] [名] 白湯。
- さらー¹ [sara:] [名] 皿。
- ざらざーら すん [dzaradzara:ra sun] [句] ざらざらする。
- さらさら [sarasara] [擬] ① さっさと。素早く。② 水気のないさらっとしたさま。
- ざらざら [dzaradzara] [擬] (粒など小さな物が) 零れる様子。小さな物を移したり、こぼしたりする時の音の形容。
- さらすん¹ [sarasun] [動] 晒す。漂白する。[否] さらはぬ
- さらすん¹ [sarasun] [動] (水に) 晒す。[否] さらはぬ
- さり¹ [sari] [名] 申。十二支の申。
- ざりるん¹ [dzarirun] [動] 裂ける。破れる。[否] ざるぬ
- さわがすん¹ [sawagasun] [動] 騒がす。慌てさせる。[否] さわがはぬ
- さん¹ [san] [名] 棧。戸や障子の骨。
- さん¹ [san] [名] 虱。
- さん¹ [san] [名] 魔除けの結び。
- ざん¹ [dzan] [名] ジュゴン。海獣名。
- さんがり¹ [sangari] [名] 下り坂。
- さんがるん¹ [sangarun] [動] ぶら下がる。
- さんきら¹ [sankira] [名] 山帰来。薬草。
- さんぎるん¹ [sangirun] [動] 吊るす。吊下げ^る。[否] さんぐぬ
- さんぎんそー¹ [sanginso:] [名] 易者。占い師。
- さんごなー¹ [sangona:] [名] 浮気女。尻軽女。
- さんごなー¹ すん¹ [sangona: sun] [句] 淫^らだ。性的にだらしのない。
- ざんざらごー [dzandzarago:] [名] ばらばらに割れる。
- さんしん¹ [sanjin] [名] 三^{さんしん}線。沖縄の三味線の呼称。
- さんず¹ [sandzu] [名] 三十。
- さんだん [sandan] [名] 工面。
- さんだん すん [sandan sun] [句] 工面する。
- ざんぬ¹ゆ¹ [dzannuju] [名] ジュゴン。海獣名。
- 「さん」ば [samba] [名] 南西方。
- 「さん」ぼー [sambo:] [名] 三方。お供えの台。
- さんみん¹ [sammin] [名] 計算。
- しー¹ [ji:] [名] 手。
- しー¹ [ji:] [名] 巢。鳥の巢。
- しー うすくまん [ji: usukuman] [動] 終える。し遂げる。[否] しー うすくむぬ
- しー¹あらはーん [ji:araha:n] [形] 手荒い。手が粗っぽい。手ですることが粗削りである。
- しー¹うさぎるん¹ [ji:usagirun] [句] 手を合わせる。礼拝する。
- しー¹うすくま¹ [ji:usukuma] [句] 仕事を完了する。
- じーかたうやぐ [dzi:kata.ujagu] [名] 母方親戚。
- しあぎるん¹ [ji.agirun] [動] 仕上げる。[否] しあぐぬ
- しー¹くぱ¹はーん [ji:kupaha:n] [形] 不器用だ。

- しーぐまはん [ʃi:ɡumahan] [形] 器用だ。仕事の出来がきれいだ。
- しーし [ʃi:ʃi] [名] 獅子。ライオン。
- しーっぺー [ʃi:ppe:] [副] 精一杯。
- しーなん [ʃi:nan] [名] 帆綱。
- しーにふつはん [ʃi:nifutsuhan] [形] 手の仕事が遅い。
- しーぬふつあはん [ʃi:nufutsahan] [形] 手が遅い。手がのろい。
- しーのーすん [ʃi:no:sun] [動] し直す。[否] しーのーはぬ
- しーぱん [ʃi:pan] [名] 手足。
- しーぶ [ʃi:bu] [名] 勝負。[備] 勝負の転訛。
- しーふき [ʃi:fuki] [名] 指笛。
- しーべしやはん [ʃi:peʃahan] [形] ① 手早い。手がすばしこい。仕事の処理が早い。② 手がすぐ出る。
- しーるん [ʃi:run] [動] 饅える。食べ物が痛む。[否] しーらぬ
- じい [dʒi] [名] 乳。乳房。
- じいー [dʒi:] [名] 血。血液。
- じいー [dʒi:] [名] 地。土地。
- じいー [dʒi:] [名] 字。文字。
- じいー [dʒi:] [名] 棘。
- じいーまーみ [dʒi:ma:mi] [名] 落花生。ピーナツ。
- じいぬ みち [dʒinu mitʃi] [名] 血管。
- しいぴりるん [ʃipirirun] [動] 萎びる。小さくなる。[否] しいぴるぬ
- しいぴるん [ʃipirun] [動] 舐める。[否] しいぴらぬ
- しいま [ʃi:ma] [名] 手間。手間賃。報酬。
- しいみるん [ʃimirun] [動] ① 強める。② (酒などを) 濃くする。
- じうてー [dʒi.ute:] [名] 地謡。
- しか [ʃika] [名] 石垣市。石垣市の古称。直訳「四箇」で、「四か村」の義。
- 「しかい」とう [ʃikaitu] [副] しっかり。精一杯。
- しかき [ʃikaki] [名] 仕掛け。工夫。
- しかきるん [ʃikakirun] [動] ① 仕掛ける。② 挑む。[否] しかくぬ
- しかた [ʃikata] [名] 仕方。方法。
- しがねー [ʃigane:] [名] 手伝い。手助け。
- しかま [ʃikama] [名] 仕事。
- 「しかま」ぶち [ʃikamaputʃi] [名] 宵の明星。昔は星の明かりで野良仕事をしたことから。
- しがみ [ʃigami] [名] 手紙。
- しかむん [ʃikamun] [動] しかむ。ひびる。
- しからさ [ʃikarasa] すん [ʃikarasa sun] [句] ① 悲しがる。② 寂しがる。
- しから [ʃikarah:] はん [ʃikarah:han] [形] ① 悲しみふさぐ。② 寂しがる。
- しから [ʃikarahan] [形] 淋しい。悲しい。
- しき [ʃiki] んぐん [ʃiki ŋgun] [句] 付いて行く。
- しきあたるん [ʃiki.atarun] [動] 突き当たる。[否] しきあたらぬ
- しきあんぎるん [ʃiki.angirun] [動] 突き上げる。[否] しきあんぐぬ
- しきぐり [ʃikigurisa:] さん [ʃikigurisa:han] [形] 聞き苦しい。
- しきだーすん [ʃikida:sun] [動] べったり座る。
- しきだぎ [ʃikidagi] [名] 燐寸。^{マッチ}
- しきだるん [ʃikidarun] [動] 叩く。砕く。[否] しきだらぬ
- しきたん [ʃikitan] [名] 石炭。[備] 石炭の転訛。
- しきつあーすん [ʃikitsa:sun] [動] にじり寄る。いざる。[否] しきつあーさぬ
- しきつつあーるん [ʃikittsa:run] [動] いざって進む。膝行する。
- しきとうばすん [ʃikityupasun] [動] 突き飛ば

す。[否] しきとばはぬ
 しきべー [ʃikibe:] [名] 色気違い。多淫の女子。好色の女子。
 しきぼーるん [ʃikipo:run] [動] 散乱させる。散らかす。[否] しきぼーらぬ
 しきほーん [ʃikiho:n] [動] ついばむ。
 しきゆ [ʃikiju] [名] 石油。初めはくしきたんゆ〉と言っていた。
 しきり [ʃikiri] [名] ^{なまこ}海鼠。
 しきるん [ʃikirun] [動] 漬ける。[否] すくーぬ
 しきるん [ʃikirun] [動] お供えする。[否] しくぬ
 しきるん [ʃikirun] [動] (灯りや火を) 点ける。
 しぎるん [ʃigirun] [動] 過ぎ去る。[否] すぐぬ
 しきん [ʃikin] [名] 世間。世の中。
 しきんじるん [ʃikindzirun] [動] 突き出る。[否] しきんどうぬ
 しきんだすん [ʃikindasun] [動] ① 突き出す。② 突き出させる。突き出るようにする。[否] しきんだはぬ
 しぐ [ʃigu] [名] 小刀。ナイフ。
 しぐとう [ʃigutu] [名] 仕事。業務。
 しくむん [ʃikumun] [動] 仕込む。準備する。[否] しくまぬ
 じぐや [dʒiguja] [名] 十五夜。中秋の名月。
 しくん [ʃikun] [動] 突く。[否] しかぬ
 しけーすん [ʃike:sun] [動] 案内する。お迎えする。[否] しけーさぬ
 しけーるん [ʃike:run] [動] 支える。
 しけん [ʃiken] [名] (天体の) 月。
 しこーるん [ʃiko:run] [動] ① 準備する。用意する。② 作る。拵える。[否] すこーらぬ
 しさはん [ʃsahan] [形] 酸っぱい。
 ししー [ʃiji:] [名] 煤。

ししき [ʃiʃiki] [名] (頭上運搬の) 当て物。頭に乗せる輪。頭上運搬に使う丸い輪。
 ししきるん [ʃiʃikirun] [句] 手がける。手をつける。
 しじゃー [ʃidza:] [名] 年上。年長。
 ししゃん [ʃʃan] [動 (継)] 知っている。
 ししらすん [ʃʃirasun] [動] 滑らせる。
 しじり [ʃidziri] [名] ^{すずり}硯。
 ししりん [ʃʃirin] [動] 滑る。[否] ししいるぬ
 ししん [ʃʃin] [動] 捨てる。
 ししん [ʃʃin] [名] 節祭。
 した [ʃita] [名] 舌。
 したい [ʃitai] [感] やったー。でかした。
 したいが [ʃitaiga] [句] 下へ。下方へ。
 したく すん [ʃitaku sun] [句] 支度する。
 したくぱるん [ʃitakuparun] [動] ^{ども} 吃る。[否] したくぱらぬ
 しだすん [ʃidasun] [動] 着飾る。[否] しだはぬ
 したち [ʃitatʃi] [名] 醤油。
 したているん [ʃitatirun] [動] 仕立てる。
 しち [ʃitʃi] [名] 節。季節。
 しっさん [ʃʃan] [動 (継)] 絶やす。
 しっし [ʃiʃʃi] [名] 手拭い。タオル。
 しっしとうるん [ʃʃiturun] [動] 切り取る。[否] しっしとうらぬ
 しっしりるん [ʃʃirirun] [動] ① ずり落ちる。② 滑る。[否] しっしるぬ
 しっしるん [ʃʃirun] [動] 絶える。途切れる。
 しっしんふに [ʃʃinfuni] [名] 節祭で漕ぐぐり舟。
 しっすぴかり [ʃʃsupikari] [名] ^{ほたる}蛍。
 しっすみん [ʃʃumin] [名] 白いキノコ。
 しっするん [ʃʃurun] [動] 拭く。拭き取る。[否] しっすらぬ
 しっすするん [ʃʃurun] [動] ^す 擦る。^{こす} 擦る。[否] しっすらぬ

しっすん¹ [ssun] [動] 切る。[否] しっさぬ
 しっすん¹ [ssun] [動] 着る。[否] しっさぬ
 しっすん¹ [ssun] [動] 注ぐ。差す。湯, 茶, 水
 だけに使う。
 しっすん¹ [ssun] [動] 知る。
 しっせー¹ [sse:] [名] 白髪。
 しっつあーすん¹ [jittsa:sun] [動] 撫でる。[否]
 しっつあはぬ
 しな¹ [jina] [名] 太陽。日。
 しな¹ [jina] [名] 品。種類。
 しな¹あがるん¹ [jina.agarun] [句] 日が昇る。
 日の出になる。
 しな¹いるん¹ [jina.irun] [動] 日が沈む。日没
 になる。[否] しないらぬ
 しな¹しっすん¹ [jinassun] [動] 日が照る。[否]
 しなしっさぬ
 しなた¹ [jinata] [名] 後ろ。後方。
 しなぬ¹ みー¹ [jinanu mi:] [句] 日向。
 しなばく¹ [jinabaku] [名] 首里大屋子。王府
 時代の役職。
 しにぶたん [jinibutan] [動] 死に果てる。
 しぬ¹ [jinu] [名] 昨日。
 「しぬ¹」ふき [jinu fuki] [句] 手首。
 しの一¹ [jino:] [名] 角。
 しの一¹ [jino:] [名] 篩。
 じばぐ¹ [dzibagu] [名] 重箱。[備] 重箱の転
 訛。
 しばみるん¹ [jipamirun] [動] 狭める。狭くす
 る。
 じばり¹ [dzibari] [名] 釣針。
 しび¹ [jibi] [名] 鮪。
 しび¹ [jipi] [名] タカラガイ。子安貝。
 しび¹ [jipi] [名] ① 後ろ。後。② 尻。
 しびかるん¹はん [jipikarohan] [形] 尻が軽い。
 さっさと仕事を片づける。
 しびぬ¹みん¹ [jipinumin] [名] 尻の穴。肛門。
 しびゃた¹ [jipjata] [名] 後ろ。後。後方。

しぴりん¹ [jipirin] [動] 萎びる。腫れがひく。
 [否] しぴるぬ
 しびる¹ [jibiru] [名] 葱。
 しぴんさ¹はーん [jipinsaha:n] [形] 尻が重い。
 不精だ。なかなか動こうとしない。
 しふく¹ [jifuku] [名] 拳。
 じふねー¹ [dzifune:] [名] 陸酔い。下船後も
 酔うこと。
 じぶん¹ [dzibun] [名] 時分。ころ。
 じぼー¹ [dzibo:] [名] 釣り竿。
 しぼへぬ [jibohenu] [句] したくない。やら
 ない。
 しまいるん¹ [jimairun] [動] 済む。終わる。
 しまはかるん¹ [simahakarun] [動] 手間取る。
 [否] しまはからぬ
 しまふさ¹ら¹ [jimafusara] [名] 疫病除けの行
 事。
 しみ¹ [jimi] [名] 爪。
 しみしきるん¹ [jimi:jikirun] [動] 責めつける。
 [否] しみすくぬ
 しみしきるん¹ [jimi:jikirun] [動] 締めつける。
 [否] しみすくぬ
 しみらすん¹ [jimirasun] [動] 湿らせる。水気
 を与える。[否] しみらはぬ
 しみるん¹ [jimirun] [動] 締める。締めつけ
 る。[否] すむぬ
 しみるん¹ [jimirun] [動] 湿る。湿っぽくな
 る。(湿って) 不潔になる。[否] しみらぬ
 しみるん¹ [jimirun] [動] ① 責める。非難す
 る。② 攻める。
 しみん¹ [jimin] [動] 染める。[否] すむぬ
 しむぬ¹ [jimunu] [名] 吸い物。料理名。
 しゃー¹ [ja:] [副] 何時も。常に。
 しゃー¹ [ja:] [名] 枧。一升枧。
 しゃー¹ んぐん¹ [ja: ngun] [句] よく行く。し
 ばしば行く。
 しゃーみ¹ [ja:mi] [名] つもり。予定。

しゃーみるん [ʃa:mirun] [動] やっつける。やり込める。叱りつける。[否] しゃーむぬ
 じゃく [dʒaku] [名] ^{かつお} 鰹の餌の小魚。「雑魚」から。
 しゃしゃびら [ʃaʃabira] [名] 杓文字。
 しゃま [ʃama] [名] 兄。年上。「兄方」の義。
 しゃまかた [ʃamakata] [名] 先輩。
 しゃみしきるん [ʃamiʃikirun] [動] 叱りつける。どやしつける。[否] しゃみすくぬ
 しゃみしきん [ʃamiʃikin] [動] 叱りつける。[否] しゃみすくぬ
 しゃんしゃん [ʃanʃan] [名] セミ。アブラゼミ。
 しゆくぶん [ʃukubun] [名] 職分。任務。
 しゆぷ [ʃyupu] [名] 鉄砲。
 しゆる [ʃuru] [名] 棕櫚。
 しゆるん [ʃurun] [動] (稲を) 扱く。そぐ。脱穀する。[否] しゅらぬ
 しゆるん [ʃurun] [動] しごく。しごき落とす。[否] しゅらぬ
 じょーぎ [dʒo:gi] [名] 定規。物差し。
 じょーぐ [dʒo:gu] [名] ^{じょうご} 上戸。酒好き。
 じょーふかいはん [dʒo:fukaha:n] [形] 情が深い。
 じょーぶくろ [dʒo:bukuro] [名] 封筒。
 しょーむぬ [ʃo:munu] [名] 良い物。立派な物。
 しょっこー [ʃokko:] [名] 法事。法要。直訳「焼香」。普通は〈こっこー〉と言う。
 しら [ʃira] [名] ^{いな} 稲むら。
 しらいん [ʃirain] [動] してやられる。[否] しらるぬ
 しらす [ʃirasu] [名] 予行演習。リハーサル。
 じらば [dʒiraba] [名] 古謡の労働歌。
 じり [dʒiri] [名] 暗礁。リーフ。
 じりく [dʒirikun] [名] 十六日祭。旧暦一月十六日の墓前での先祖や死者供養。

しるし [ʃiruʃi] [名] ^{しるし} 印。兆候。
 しるん [ʃirun] [動] (太陽が) 照る。[否] しらぬ
 じろーし [dʒiro:ʃi] [名] サルカケミカン。鋭い棘の植物。
 しわー [ʃiwa:] [名] 心配。不安。
 しわざ [ʃiwadza] [名] 仕業。行為。
 しん [ʃin] [名] 千。
 しん [ʃin] [名] 墨。墨汁。
 しん [ʃin] [名] ^{つば} 唾。唾液。
 しん [ʃin] [名] ^{ひえ} 稗。
 しん [ʃin] [名] 招待客。お客。
 じん [dʒin] [名] 天。空。
 じん [dʒin] [名] お膳。膳。
 じん [dʒin] [名] 銭。お金。
 しんか [ʃinka] [名] 従業員。部下。「臣下」すなわち「家来」から。[備] 「臣下」の転。
 しんがま [ʃingama] [名] ^{さそり} 蠍。
 しんがら [ʃingara] [名] 大きな金梃子。
 じんぎり [dʒingiri] [名] 茶筒。
 しんくつえー [ʃinʃkutse:] [名] 洗骨。法事の一つ。
 しんけー [ʃinke:] [名] 気違い。「神経」から。
 しんじふちり [ʃindʒifutʃiri] [名] 煎じ薬。
 しんじょー [ʃindʒo:] [名] 天井。
 しんじるん [ʃindʒirun] [動] 煎じる。[否] しんじぬ
 しんじるん [ʃindʒirun] [動] 信じる。信用する。信仰する。[否] しんずぬ
 しんしん [ʃinʃin] [名] 先生。[備] 先生の転訛。
 しんず [ʃindzu] [名] 四十。
 じんたみるん [dʒintamirun] [動] 金を貯める。貯金する。[否] じんたむぬ
 しんだら [ʃindarasa:n] [形] 可愛い。可愛らしい。
 しんどー [ʃindo:] [名] 船頭。

じんぬゝ ふうかー [dzinnu fuka:] [句] 天の川。
銀河。

じんぱるん [dzimparun] [動] 噛み切る。[否]
じんぱらぬ

じんぱるん [dzimparun] [動] 抓る。^{つね}

しんび [jimbi] [名] 手の指。

じんふくる [dzinfukuru] [名] 財布。お金入
れ。直訳「錢袋」。

しんぷら [jimpura] [名] 天ぷら。[備] 「て
んぷら」の転訛。

じんぶん [dzimbun] [名] 知恵。分別。

じんぶん とーらん [dzimbun to:ran] [句]
気が利かなくなる。

じんむちゃー [dzimmutja:] [名] 金持ち。

じんもーき [dzimmo:ki] [名] 金儲け。

すー [su:] [名] 潮。海水。

すー [su:] [名] おつゆ。汁。

ずーし [dzu:ji] [名] おじや。雑炊。

すーだが [su:daga] [名] 合計。総額。

すーぬ [su:nu futji] [名] なぎさ。波
打ち際。

すーびき [su:piki] [名] 潮流。

すーびすん [su:pisi] [動] 潮が引く。干潮に
なる。

ずーぶるん [dzu:burun] [動] 発情する。[否]
ずーぶらぬ

ずーぶん [dzu:bun] [動] 交尾する。[否] ず
ーばぬ

すーぺー [su:pe:] [名] 杓子。お玉。

すーまん [su:mam] [名] 小満。季節の名。沖
縄では梅雨時期にあたる。

すーむに [su:muni] [名] 苦言。忠言。

すーんつん [su:ntsun] [動] 潮が満ちる。満
潮になる。

すうとう [sutu] [名] お土産。^{みやげ}

すうなはん [sunahan] [形] 拙い。幼稚。^{つたな}

すうぬ [sunu] [名] 着物。

すうぬ [sunu] [名] 昨日。

すうぬ あらすん [sunu. arasun] [句] 洗濯
する。

すうぬ かれーるん [sunu kare:run] [句] 着
替える。

すうぬ すっすん [sunu ssun] [句] 着物を
着る。

すうぬん [sunun] [動] 死ぬ。敬語はくまら
すん。[否] すなぬ

すうば [sypa] [名] 唇。^{くちびる}

すうぶ [sypu] [名] ① 壺。^{つぼ} ② 急所。

すうふく [sufuku] [名] クモ。クモの糸。

すうま [suma] [名] 島。郷里。我が島 (ペー
すま) など。

すうまるん [sumarun] [動] 詰まる。[否] す
まらぬ

すか [syka] [名] 囲炉裏。炉。

すか [syka] [名] 柄。道具の柄。

すか っしりん [syka ssirin] [句] 投げ捨てる。
捨てるの強調。

すかーるぬ [syka:runu] [句] 聞こえない。

すがい [sugai] [名] 身なり。身だしなみ。

すかいるん [sykairun] [動] ① 聞こえる。聞
かれる。② 聞ける。聞くことができる。[否]
すかるぬ

すかうちるん [syka.utjirun] [動] 落ちこち
る。「落ちる」の強調。[否] すかうとぬ

すかさ [sykasa] [名] 司。神司。

すかすん [sykasun] [動] ① 聞かせる。② 知
らせる。[否] すかはぬ

すかすん [sykasun] [動] 鋤く。[否] すかは
ぬ

すかなーうや [sykana:uja] [名] 養い親。養
父母。

すかなすん [sykanasun] [動] 養育する。飼
育する。[否] すかなはぬ

すかのーすん [sykano:sun] [動] 養う。飼う。

- [否] すかのーはぬ
 すかは¹なるん¹ [sɯkaha narun] [句] 近づく。
 ただし、時間的なもののにのみいう。
 すかはん [sɯkahan] [形] 近い。近距離。
 すかふちるん¹ [sɯkafutʃirun] [動] おっかぶ
 せる。[否] すかふとうぬ
 すかま¹ [sɯkama] [名] 仕事。労役。業務。
 すかみち¹ [sɯkamitʃi] [名] 近道。
 すかみんだすん¹ [sɯkamindasun] [動] 掴み出
 す。[否] すかみんだはぬ
 すかむん¹ [sɯkamun] [動] ^{つか}掴む。捕える。[否]
 すかまぬ
 すかり¹すくん¹ [sɯkarisɯkun] [動] 叱りつけ
 る。戒める。駈ける。[否] すかりすくぬ
 すかるん¹ [sɯkarun] [動] 漬かる。浸る。[否]
 すからぬ
 すぎゃん¹ [sugjan] [動 (継)] 過ぎ去る。
 すく¹ [sɯku] [名] 底。奥。
 すくく¹ [sɯkuku] [名] 梟。
 すくつふわすん¹ [sɯkuffwasun] [動] ぶち壊
 す。[否] すくつふわさぬ
 すくび¹ [sɯkubi] [名] ^{おび}帯。
 すくぶ¹ [sɯkubu] [名] ^{もみがら}籾殻。
 すくふあすん¹ [sɯkufasun] [動] 強く振る。揺
 らす。[否] すくふあさぬ
 すくまるん¹ [sɯkumarun] [動] 縮こまる。小
 さくなる。[否] すくまらぬ
 すくまるん¹ [sɯkumarun] [動] ① ^{かが}屈む。②
 小さくなる。
 すくまん¹ [sɯkuman] [名] 初穂祭。
 すくむん [sɯkumun] [動] すくむ。身動きが
 出来なくなる。[否] すかまぬ
 すくり¹ [sɯkuri] [名] 造り。構造。
 すぐりん¹ [sugurin] [動] 優れる。勝る。
 すくるん¹ [sɯkurun] [動] 作る。作成する。[否]
 すくらぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 聞く。[否] すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 敷く。[否] すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 着く。到着する。[否]
 すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 突く。[否] すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 置く。置いておく。[否]
 すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 搗く。玄米について白
 米にする。[否] すかぬ
 すくん¹ [sɯkun] [動] 好く。好む。好きだ。[否]
 すかぬ
 すけーとー¹あん¹ [sɯke:to: an] [句] 使い出
 がある。
 すこーすん¹ [sɯko:sun] [動] ^{すく}掬う。[否] すこ
 ーはぬ
 すこーん¹ [sɯko:n] [動] 使う。使用する。費
 やす。[否] すかーぬ
 すさーらすん¹ [ssa:rasun] [動] 垂らす。ぶら
 下げる。[否] すさーらはぬ
 すさーり¹ [ssa:ri] [名] 白蟻。
 すさーるん [ssarun] [動] 垂れる。垂れ下が
 る。[否] すさーらぬ
 すさぎるん¹ [ssagirun] [動] (白・杵で) 搗く。
 [否] すさぐぬ
 すさざぎ¹ [ssadzagi] [名] モンパノキ。海浜
 の植物。
 すさはん [ssahan] [形] 強い。強力だ。優勢
 だ。
 すさびるん¹ [ssabirun] [動] 調べる。[否] す
 さぶぬ
 すさぶ¹ [ssabu] [名] ^{しらほ}白保。石垣島の集落名。
 海岸に位置し、1771年の津波で集落がほと
 んど壊滅し、その後、波照間島からの人で
 再建された。現在の八重山諸方言の中で白
 保方言が波照間方言にもっと近い。
 すさむん¹ [ssamun] [動] 白む。白くなる。白
 みを帯びる。色があせる。[否] すさまぬ
 すさりぶち¹ [ssaributʃi] [名] 挨拶。口上。

すさりん [ssarin] [動] 申し上げる。謙讓語。
 [否] すさるぬ
 すされー [ssare:] [感] ご免下さい。他家訪問
 時の声かけ。
 すさんち [ssantʃi] [名] 秋。秋季。
 すするん [ssurun] [動] 拭く。擦る。[否] す
 すらぬ
 「すそー」し [sso:ʃi] [副] 白い。白っぽい。
 す「たー」すたー [sʉta:sʉta:] [副] 度々。
 すたうい [sʉta:ui] [名] 上下逆。
 すだちるん [sudatʃirun] [動] 育てる。
 すだつん [sudatsun] [動] 育つ。[否] すだた
 んぬ
 すたはこち [sʉtahakotʃi] [名] 下あご。
 すたみん [sʉtamin] [名] カタツムリ。
 すたらすん [sʉtarasun] [動] 滴らせる。水を
 切る。[否] すたらはぬ
 すたるん [sʉtarun] [動] (雫が) 垂れる。滴
 る。湿る。[否] すたらぬ
 すっす [sussu] [名] ^{すそ}裾。
 すっち [sutʃi] [名] 潮時。干潮時。
 ずっち [dzittʃi] [名] ① 乳房。② 竹床。
 すとーま [sʉto:ma] [名] ^{かざしも}風下。
 すとうち [sʉtutʃi] [名] ^{そてつ}蘇鉄。備荒植物。
 すとうみるん [sʉtumirun] [動] 勤める。勤
 務する。[否] すとうむぬ
 すとうむち [sʉtumutʃi] [名] 朝。
 すとうりすとうり [sʉturisʉturi] [擬] ぽたぽ
 た。しとしと。雨の静かに降るさま。
 すとうる [sʉtura:] [形] うら寂し
 い。
 すな [suna] [名] 綱。縄。
 すながらすん [sʉnagarasun] [動] 続かせる。
 連ねる。[否] すながらはぬ
 すながるん [sʉnagarun] [動] ① 連ねる。②
 並べる。
 すなすん [sʉnasun] [動] ① 殺す。「死なす」

の意。② 殴る。[否] すなはぬ
 すなちるん [sʉnatʃirun] [動] 育てる。[否]
 すなとはぬ
 すねー [sʉne:] [名] 曾根。浅堆。バンク。
 すぱしきるん [sʉpaʃikirun] [動] くっ付ける。
 接着する。[否] すぱすかぬ
 すぱに [sʉpani] [名] 岩礫。岩岸壁。
 すぱみるん [sʉpamirun] [動] 狭める。
 すぱんこっち [sʉpaŋkottʃi] [名] ミズガンピ。
 浜紫檀。植物名。
 すび [subi] [名] 礫。荒礫。
 すぶしん [sʉpuʃin] [名] ^{ひざ}膝。
 すぶた [sʉputahan] [形] 不潔だ。汚い。
 すぶつあーん [sʉputsa:n] [形] 不潔だ。
 すぶりやみ [sʉburijami] [動] 腹がしぼるよう
 に痛む。
 すぶりん [sʉpurin] [名] ^{とうがん}冬瓜。
 すぶるいし [sʉpuru:ifi] [名] アザミサンゴ。
 すぶるん [sʉpurun] [動] ^{しぼ}搾る。
 すぶるん [sʉpurun] [動] ^なすする。舐める。[否]
 すぶらぬ
 すぶるん [sʉpurun] [動] 吸う。吸い取る。[否]
 すぶらぬ
 すぽはん [supohan] [形] 渋い。渋みがある。
 すまじしゃはん [sʉmadzifahan] [形] コクのある旨味。
 すますん [sʉmasun] [動] 済ます。済ませる。
 終える。し遂げる。[否] すまはぬ
 すますん [sʉmasun] [動] 潜らせる。沈ませ
 る。[否] すまはぬ
 すますん [sʉmasun] [動] 澄ます。[否] すま
 はぬ
 すまっち すん [sʉmattʃi sun] [句] 粗末にす
 る。ぞんざいに扱う。
 すまどうるん [sʉmaburun] [動] 迷う。とま
 どう。[否] すまどうらぬ
 すまむに [sʉmamuni] [名] 鳥言葉。方言。

- すまるん\\ [sɯmarun] [動] 染まる。[否] すま
らぬ
- すむん [sɯmu] [名] 肝。心。
- すむん ねーぬ\\ [sɯmu ne:nu] [句] 人情がない。
薄情。
- すむあーり [sɯmu.a:ri] [名] 胸騒ぎ。落ち着
かない。
- すむいしやがはーん [sɯmuiʃagaha:n] [形]
小胆だ。気が小さい。
- すむいたはん [sɯmuitahan] [形] 気の毒だ。
可哀そうだ。心が痛い。義。
- すむいり\\ [sɯmuri] [名] 肝入り。熱心。
- すむぐくるん [sɯmugukuru] [名] 心情。精神。
- すむぐりさん [sɯmugurisan] [形] 可哀そう
だ。気の毒だ。
- すむぐりしやがはーん [sɯmuguriʃaha:n] [形]
可哀そうそうな思いがする。みじめな思い
がする。
- すむくん [sɯmukun] [動] 背く。
- すむけしやがはーん [sɯmukeʃaha:n] [形] 心
が美しい。心が優しい。
- すむげざはーん [sɯmuzusaha:n] [形] 心強
い。頼もしく思う。
- すむげざはん [sɯmususahan] [形] 心強い。
- すむだーりるん\\ [sɯmuda:run] [動] 悄げる。
気落ちする。
- すむだがはん [sɯmudagahan] [形] 気位が
高い。
- すむち\\ [sɯmutʃi] [名] 書物。本。
- すむとう [sɯmutu] [名] 鞭。^{むち}
- すむぴらすん [sɯmupirasun] [動] ① 打ち解
ける。② 仲直りする。[否] すむぴらはぬ
- すむやむーん [sɯmujamu:n] [句] 心が痛む。
胸の痛む思いがする。見るに忍びない。哀
れだ。
- すむやむん\\ [sɯmujamun] [動] 心配する。悩
む。[否] すむやまぬ
- すむん\\ [sɯmun] [動] 積む。積み重ねる。[否]
すまぬ
- すむん [sɯmun] [動] 潜る。沈む。[否] すま
ぬ
- すむん [sɯmun] [動] 澄む。[否] すまぬ
- すむん [sɯmun] [動] 済む。終わる。[否] す
まぬ
- すむん [sɯmun] [動] 包む。[否] すまぬ
- すむん [sɯmun] [動] ① 摘む。摘み切る。千
切る。② つねる。[否] すまぬ
- すら [sura] [名] 先。先端。
- すーる\\ [sɯru] [名] 弦。^{げん}
- するいるん [sɯruirun] [動] ① 揃える。準備
する。② 列を整える。行列をつくる。③ 集
まらせる。集合させる。
- するいん [suruin] [動] 揃える。
- するん [sɯrun] [動] 剃る。[否] すらぬ
- すん\\ [sun] [動] する。やる。[否] さぬ
- すん [sun] [名] 損。^{そん}
- すんぐるん [sɯngurun] [動] 鞭打つ。[否] す
んぐらぬ
- すんぼー [sumpo:] [名] 寸法。
- せー [se:] [名] 小エビ。
- せー [se:] [感] さあー。行動始めの掛け声。
- せーぐ [se:gu] [名] 大工。[備] 「細工」に対
応。
- せいろー [seiro:] [名] 蒸籠。蒸し器のこと。
- そー [so:] [名] 正気。意識。
- そー [so:] [名] 竿。^{きお}
- ぞー [dzo:] [名] 門。^{もん}
- そー ねーぬ [so: ne:nu] [句] 毫碌している。^{もうろく}
- そーいり\\ [so:iri] [名] 利口。賢い。
- そーぎ [so:gi] [名] 箕。^み
- そーじ [so:dzi] [名] 掃除。
- ぞーじ [dzo:dzi] [名] 上手。上手い。
- そーしき\\ [so:ʃiki] [名] 葬式。
- ぞーしき\\ [dzo:ʃiki] [名] 炊事。

- そーどーㄨ [so:do:] [名] 騒動。騒ぎ。
- そーとうㄨ [dzo:tu] [名] 上等。立派。
- そーぬㄨ [dzo:nu] [名] 租税。年貢。上納の義。
- そーべーㄨ [so:be:] [名] 安っぽい。粗悪な。
- そーみんㄨ [so:min] [名] 素麵。^{そうめん} [備] そうめんの転訛。
- そーりㄨ くんㄨ [so:ri kun] [句] 一緒に来る。
- そーりㄨ んぐんㄨ [so:ri ŋun] [句] 一緒に行く。
- そーりそーり [dzo:ridzo:ri] [擬] ザァザァ。激しい雨のさま。
- そーりんㄨ [so:rin] [名] お盆。旧盆。
- そーるんㄨ [so:run] [動] ① 連れる。② 娶る。妻にする。[否] そーらぬ
- そーるんㄨ [so:run] [動] (へらで) 根こそぎに取る。[否] そーらぬ
- ぞっかㄨ [dzokka] [名] 急須。^{きゅうす}
- ぞっふわらすんㄨ [dzoffwarasun] [動] 濡らす。[否] ぞっふあらはぬ
- ぞっふわりんㄨ [dzoffwarin] [動] 濡れる。[否] ぞっふあるぬ
- ぞっふわるんㄨ [dzoffwarun] [動] 濡らす。
- そりㄨ んぐんㄨ [sori ŋun] [句] 連れていく。
- そるんㄨ [sorun] [動] (妻を) 娶る。[否] そらぬ
- そるんㄨ [sorun] [動] (へらで) 除草する。[否] そらぬ
- そんㄨ すんㄨ [son sun] [句] 損する。欠損する。
- そんぐんㄨ [sonŋun] [動] 引きずる。連れていく。[否] そんがぬ
- そんㄨ さみやㄨ [sonsamja] [名] 白鷺。鳥の名。
- そんだんㄨ [sondan] [名] 相談。[備] 相談の転訛。
- そんだんㄨ すんㄨ [sondan sun] [句] 相談する。言い合わせる。
- た [ta] [接尾] ~方。〈あらた〉「東方」、〈いらた〉「西方」など方向を示す。
- たーㄨ [ta:] [名] どなた。誰。敬語。
- だーㄨ [da:] [名] お前。君。年下へ使う。
- だーぐㄨ [da:gu] [名] 道具。
- だーこ [ta:ko] [名] 凧。「たこ」の転訛。
- だーさはん [da:sahan] [形] 立派だ。獲物が多い。
- だーしㄨ [da:ʃi] [名] 出汁。^{だし}
- だーびむぬㄨ [da:bimunu] [名] 玩具。^{おもちゃ} 遊び道具。
- だーぶんㄨ [da:bun] [動] 弄る。^{いじ} 弄ぶ。^{もてあそ} [否] だーばぬ
- たーむじいㄨ [ta:mudʒi] [名] 田芋。
- たーらㄨ [ta:ra] [名] 俵。^{たわら}
- だーり [dari] [-] ぐったり。ぐだっと。
- だーりゃんㄨ [da:rjan] [動 (継)] ぐたっとなつて元気がなくなる。
- だーりるんㄨ [da:rirun] [動] ① だれる。ぐったりする。② 萎える。(花などが) 萎む。(植物の勢いが) 衰える。[否] だーるぬ
- たーりんㄨ [ta:rin] [動] 寝入る。熟睡する。[否] たーるぬ
- だーりんㄨ [da:rin] [動] だれる。疲れる。(植物が) 萎れる。[否] だーるぬ
- だーんた [danta] [擬] どんと。どたあんと。どすん。物事をしっかり決める。〈だーんたきみるん〉「しっかり決める」のようを使う。
- たいㄨ すんㄨ [tai sun] [句] ① 対抗する。反抗する。敵対する。② 嫉妬する。
- だいばんㄨ [daiban] [名] 大型のカツオ。大判鰹。
- だいまㄨ [daima] [名] 君たち。お前ら。
- たいらぎるんㄨ [tairagirun] [動] (飲食物を残らず) 飲食し尽くす。
- たかㄨ [taka] [名] 鷲。^{サンバ}
- たかた [təkata] [名] 高地。台地。

た¹が¹たかし [tagatakaʃi] [副] 高々と。うず高く。

たか¹はん [takahan] [形] 高い。

たか¹ぴいとう¹ [takapitu] [名] 背の高い人。偉い人。

たか¹ぶ¹ [takabu] [名] ^{たばこ}煙草。

たか¹ふもん¹ [takafumon] [名] 入道雲。

たか¹ぶるん¹ [takaburun] [動] 高ぶる。威張る。高く止まる。

たか¹ら¹ [takara] [名] 宝。

たき¹ [taki] [名] 竹。

たき¹ [taki] [名] 丈。身長。

だき¹ [daki] [名] 岳。山。

だぎ [dagi] [副] その程度。

だき¹すん¹ [dakisun] [動] (固い物、刃物で) 叩き切る。「切る」の強調。[否] だきさぬ

たき¹どうん¹ [takidun] [名] 竹富。竹富島。八重山諸島の島の名。

たぎ¹らすん¹ [tagirasun] [動] たぎらせる。煮えたぎらせる。沸騰させる。[否] たぎらはぬ

たぎ¹るん¹ [tagirun] [動] たぎる。煮えたぎる。沸騰する。

たく¹ [taku] [名] 蛸。

だく¹むん¹ [dakumun] [動] ぶち込む。投げ入れる。放り込む。[否] だくまぬ

たく¹らむん [takuramun] [動] 企む。

たぐ¹るん¹ [tagurun] [動] ^{たぐ}手繰る。[否] たぐらぬ

たく¹ん¹ [takun] [動] 炊く。炊事する。[否] たかぬ

だぐ¹ん¹ [dagun] [動] 抱く。[否] だがぬ

たげ¹ー [tage:] [副] だいぶ。大概。

たけ¹ーるん¹ [take:run] [動] 叫ぶ。怒鳴る。唸る。[否] たけーらぬ

たこ¹ーすん¹ [tako:sun] [動] 貯える。貯蔵する。[否] たこはぬ

たじい¹にるん¹ [tadzinirun] [動] 尋ねる。問う。探す。[否] たずぬぬ

たしか¹みるん¹ [taʃikamirun] [動] ① 確かめる。確認する。② 探し求める。[否] たしかむぬ

たし¹きるん¹ [taʃikirun] [動] 助ける。救う。[否] たすくぬ

だす¹きん¹ [dasukin] [動] 叩きつける。[否] だすくぬ

たす¹たがー¹ [tasutaga:] [句] 知ったことか。

だす¹たすく¹ん¹ [dasutasukun] [動] 放置する。構わない。捨てておく。ほっておく。[否] だすたすかぬ

だす¹だすく¹ん¹ [dasudasukun] [動] ほっておく。[否] だすだすかぬ

だす¹ますん¹ [dasumasun] [動] (鞭で) ひっぱたく。[否] だすまはぬ

たた¹ーるん¹ [tata:run] [動] 崇る。[否] たたーらぬ

たた¹ぎばるん¹ [tagibarun] [動] 叩き割る。[否] たたぎばらぬ

たた¹ぐん¹ [tagun] [動] ^{たた}叩く。[否] たたがぬ

たた¹しきるん¹ [tagikirun] [動] 投げて叩きつける。[否] たたすくぬ

ただ¹すん¹ [tadasun] [動] 質す。確かめる。質問して確かめる。[否] ただはぬ

たた¹つくむん¹ [tagukumun] [動] 放り込む。[否] たたつくまぬ

たた¹むん [tagamun] [動] 畳む。折り畳む。[否] たたまぬ

たた¹めー¹ [tagame:] [名] ^{たたみ}畳。

ただ¹りん [tadarin] [動] ^{ただ}爛れる。

たち¹ [tati] [名] ^{たつ}辰。十二支の辰。

だち¹ご¹ [datigo] [名] ダンチク。竹科の植物。

たち¹のーるん¹ [tagino:run] [動] 立ち直る。[否] たちのーらぬ

たちるん [tətʃirun] [動] 立てる。建てる。[否]
 たとぬ
 だっきょん [dakkjon] [名] ラッキョウ。野
 菜。
 だっくわーるん [dakkwa:run] [動] くっつく。
 ひっつく。
 だっくわすん [dakkwasun] [動] 引っつける。
 塗りつける。[否] だっくわーさぬ
 だっさが [dassaga] [-] ぶち当たる。ぶち当て
 る。
 だった [datta] [擬] 急に風ぐ様。急に小さく
 なる様。風が風ぐとき勢いが急に弱くなる。
 <だった とりるん> 「風が急に風いだ」の
 ように使う。
 だっち [dattʃi] [-] 突っ立つ。立つ。
 だつつあぐん [dattsagun] [動] はかどる。能
 率が上がる。[否] だつつあがぬ
 だっふあだっふあ [daffadaffa] [擬] 堂々と歩
 くさま。
 たつん [tətsun] [動] 立つ。建つ。[否] たた
 ぬ
 たつん [tətsun] [動] 経つ。経過する。[否]
 たたぬ
 たで一ま [tade:ma] [副] すぐに。瞬時に。即
 座に。
 たとういん [tətuin] [動] 例える。
 たどうるん [tadurun] [動] 辿る。[否] たど
 うらぬ
 たな [təna] [名] 棚。
 たな一 [təna:] [名] 田んぼ。水田。
 たないびるん [təna.ibirun] [句] 田植えをす
 る。
 たなが [tənaga] [名] 田んぼ。水田。
 たなぎるん [tənagirun] [動] 頼りにする。[否]
 たなぐぬ
 たに [təni] [名] 種。種子。
 たに しさん [təni ʃisan] [句] 種がなくなる。

絶滅する。(作物が) 根絶やしになる。
 たに [təni] とうるん [təni turun] [句] 採種する。
 去勢する。
 たにかたうやぐ [tənikəta.ujagu] [名] 父方の
 親戚。
 たにどうり [təniduri] [名] 種取祭。[備] <た
 に> 「種」が平進型であるため、<たにどうり>
 も平進型に所属すると期待されるが、下降
 型である。八重山の他の方言を見ると、石
 垣四箇や宮良方言も「種取」が下降型にな
 っている。
 たぬみ [tənumi] [名] 頼み。頼り。
 たぬむん [tənumun] [動] 頼む。[否] たぬま
 ぬ
 たば [təpa] [名] 束。
 たび [təpi] [名] 旅。旅行。
 たぶ [tabu] [名] たも網。
 だふつりわっきん [dafutsuriwakkin] [動] 追
 い散らす。[否] だふつりわっくぬ
 だふつるん [dafutsurun] [動] 追い立てる。
 [否] だふつらぬ
 たぼーらりん [tabo:rarin] [動] 賜る。頂戴す
 る。[否] たぼーらるぬ
 たぼらいるん [taborairun] [動] ① 賜る。頂
 く。② 授ける。下さる。[否] たぼらるぬ
 「たぼらり」むぬ [taborarimunu] [名] 頂き物。
 貰い物。
 たぼるん [taborun] [動] ① 下さる。② 頂
 く。
 だぼんがすん [dabongasun] [動] (液体の中
 に物を) 強く投げ入れる。[否] だぼんがは
 ぬ
 だぼんた [dabonta] [擬] どぼんと。ざぶんと。
 たま [tama] [接尾] 指小辞。小さいものの愛
 称。<うたま> 「子供」、<ゆんたま> 「小魚」、
 <いしんたま> 「小石」など。
 た「まー」たま [təma:təma] [副] たまに。たま

- たま。
- たましい¹ [tamaʃi] [名] 魂。靈魂。
- たまち¹ [tamatʃi] [名] 魂。靈魂。
- たまち¹ [tamatʃi] [名] 割当て。持分。〈くまた〉と同義。
- たまるん¹ [tamarun] [動] (曲がっている物が) 真っ直ぐになる。日本語の「矯める」と同源の〈たみるん〉「まっすぐにする」に対応する自動詞。[否] たまらぬ
- たまるん¹ [tamarun] [動] 溜まる。貯まる。[否] たまらぬ
- たまん¹ [taman] [名] 玉。弾。
- たみ¹ [tami] [名] ^{ため}為。
- たみすん¹ [tamisun] [動] 試す。[否] たみさぬ
- たみらすん [tāmirasun] [動] 真っ直ぐにする。[否] たみらはぬ
- たみるん¹ [tāmirun] [動] 真っ直ぐにする。
- たみるん¹ [tāmirun] [動] ① 貯める。蓄える。② 溜める。
- たむき¹ [tamuki] [名] ^{かざむき}風向。
- たむつん¹ [tamutsun] [動] 保つ。長持ちする。[否] たむたぬ
- たむぬ¹ [tamunu] [名] ^{たきぎ}薪。
- たむん [tamun] [名] ^{たきぎ}薪。
- たゆるん¹ [tajurun] [動] 頼る。[否] たゆらぬ
- たらーすん¹ [tārasun] [動] 物を補う。埋め合わせる。[否] たらーはぬ
- たらーぬ¹ [tāranu] [句] 足りない。不足する。
- たらぐ¹ [taragu] [名] ^{たわら}俵。
- たらぐ¹ [taragu] [名] オタマジャクシ。
- たらすん¹ [tārasun] [動] 足らす。補う。[否] たらはぬ
- たらすん¹ [tārasun] [動] 溶かす。とろかす。[否] たらはぬ
- だらだら [daradara] [擬] だらだら。動作の鈍いさま。
- たりるん¹ [tarirun] [動] 溶ける。垂れる。
- たりるん¹ [tarirun] [動] 足りる。十分に足りる。
- だりるん¹ [darirun] [動] ① ^{しお}萎れる。② 元気がなくなる。惜げかえる。[否] だるぬ
- たるざー¹ [tarudza:] [名] どいつが。誰が。
- だる¹さーん [darusa:n] [形] だるい。疲労ぎみだ。
- たれー¹ [tāre:] [名] ^{たらい}盥。
- たん¹ [tan] [名] 炭。木炭。
- たん¹ [tan] [名] 反。田畑の面積や反物の数。
- だん¹ [dan] [名] 段。壇。
- たんか¹ [tan̄ka] [名] 真向かい。正面。
- たんかー¹ [tan̄ka:] [名] 満一歳の誕生日。
- たんがーむぬ¹ [tan̄ga:munu] [名] 独り者。独身。
- だんがさ¹ [dangasa] [名] 洋傘。[備] 蘭傘の転訛。
- たんかにげー¹ [tan̄kanige:] [名] 遥拝。遠隔地からの礼拝。
- たんきむぬ [tan̄kimunu] [名] 短気者。
- たんきるん¹ [tan̄kirun] [動] ひるむ。怖気づく。[否] たんくぬ
- たんぐ¹ [tangu] [名] 桶。水桶。
- だんざー¹ [dandza:] [名] お前は。きさまは。
- だ¹ん¹た [danta] [副] しっかり。がっちり。
- だ¹ん¹だん [dandan] [名] 階段。
- たんでー¹ [tande:] [感] どうか。是非とも。
- だんぱち¹ [dampatʃi] [名] 断髪。理髪。
- だんぱちーやー [dampatʃi:ja:] [名] 床屋。理髪店。
- だんぱん¹ [dampān] [名] 談判。抗議。
- ちー [tʃi:] [接尾] ① ～個。〈ぴとちい〉「一個」)、〈はたちい〉「二十歳」。② ～歳。〈ぴとちい〉「一個」)、〈はたちい〉「二十歳」。
- ちーかたうやぐ¹ [tʃi:kata.ujagu] [名] 母方親戚。

- ちき¹ [tʃiki] [名] (月日の) 月。
- ちくどうん¹ [tʃikudun] [名] 筑登之。王府時代の位階。
- ちごーん¹ [tʃigo:n] [動] ① 違う。② 変わる。
[否] ちがわぬ
- ちじ¹ [tʃidzi] [名] 頂。頂上。
- ちじきるん¹ [tʃidzikirun] [動] 続ける。[否] ちじくぬ
- ちじくん¹ [tʃidzikun] [動] 続く。[否] ちじかぬ
- ちちすむん¹ [tʃitʃisumun] [動] 慎む。[否] ちちしいまぬ
- ちぶ¹ [tʃibu] [名] 坪。面積の単位。
- 「ちゃー」が [tʃa:ga] [句] どうか。どうだい。
- ちゃんぷるー¹ [tʃampurū:] [名] 油でいためたおかず類。
- ちゅー [tʃu:] [助] ~だそうだ。
- ちよーみー¹ [tʃo:mi:] [名] 長命。長寿。
- ちんだみ [tʃindami] [名] 調弦。三線用語。
- つぐん¹ [tsugun] [動] 継ぐ。[否] つがぬ
- てー¹ [te:] [名] 魚の干物。
- てー¹ [te:] [名] 支える力。
- てー¹ [te:] [名] ^{たいまつ} 松明。
- てーく¹ [te:ku] [名] 太鼓。
- てーぐ¹ [de:gu] [名] 大工。
- てーぐに¹ [de:guni] [名] 大根。
- てーし¹ [te:ʃi] [名] 野いちご。ナワシロイチゴ。[備] 多良間方言の〈たぎす〉に対応。
- てーじ¹ [de:dzi] [名] 大事。大変。
- てーだが¹ [de:daga] [名] 高価な。
- てーに¹ [te:ni] [名] ^{かじぼう} 舵棒。
- ていがら¹ [tigara] [名] 手柄。獲物。
- ていんま¹ [timma] [名] 伝馬船。
- てしきるん¹ [teʃikirun] [動] (火を) 熾す。焚き付ける。(薪に火を) 点ける。(薪などを) くべる。[否] てすくぬ
- てすかるん¹ [tesukarun] [動] (火が) 燃えだす。[否] てすからぬ
- でん¹ [den] [名] 値段。代金。
- とー¹ [to:] [名] 沖。大海。
- とー¹ [to:] [名] ^{とお} 十。[備] 簡略化〈とー〉。
- とー¹ [to:] [名] 唐。中国。
- とー¹ [to:] [名] 低平地。窪地。
- とー [to:] [感] もう。
- とーかち¹ [to:kʌtʃi] [名] 米寿。八十八歳の祝い。
- とーさ¹ [to:sa] [名] 田草。
- とーしんべー¹ [to:ʃimbe:] [名] おたふくかぜ。風疹。
- とーすん¹ [to:sun] [動] 倒す。サトウキビの収穫にも言う。[否] とーはぬ
- とーすん¹ [to:sun] [動] 通す。[否] とーはぬ
- 「どー」でいん [do:di:n] [副] どうぞ。是非とも。
- とーに¹ [to:ni] [名] 豚の餌入れ。
- とーぴくん¹ [to:pikun] [動] ^{こす} 擦る。磨く。[否] とーぴかぬ
- とーら¹ [to:ra] [名] 炊事小屋。福屋。作業小屋を兼ねる。[備] 「唐倉」の転。白保方言も下降型である。
- どーり¹ [do:ri] [名] 道理。ことわり。
- とーりるん¹ [to:rirun] [動] ① 倒れる。② 滅ぶ。滅亡する。[否] とーるぬ
- とーるん¹ [to:run] [動] ① 通る。② 通用する。認められる。[否] とーらぬ
- とーん¹ [to:n] [動] 問う。尋ねる。[否] とわぬ
- どー¹ [du:] [名] 自分。体。胴体。
- どー¹かってい¹ [du:katti] [名] 自分勝手。
- どー¹かってい¹ しゃーん [du:katti ʃa:n] [句] 自分勝手している。自分勝手だ。
- どー¹が¹ん¹じ¹ゅー¹さーん [du:gandʒu:sa:n] [形] 体が健康だ。
- 「どー」し [du:ʃi] [句] 自分で。

- どうー¹ずさ¹はん [du:dzusahan] [形] 体が丈夫だ。健康だ。
 どうー¹だるさ¹はん [du:darusaha:n] [形] 体がだるくて重い感じだ。
 どうー¹たんき¹ [du:taŋki] [名] 骨惜しみ。
 どうー¹ぴとうち [tu:pitutji] [名] 十一。十一個。
 どうー¹よがすん¹ [du:jogasun] [動] 休む。休憩する。[否] どうよがはぬ
 どうー¹る¹ [du:ru] [名] 泥。
 どうい¹しみるん¹ [tuijimiron] [動] 問い詰める。[否] どういすむぬ
 どうい¹すくん¹ [tuisku:n] [動] 問い聞く。[否] どういすかぬ
 とうが¹ [tuga] [名] 罪。罰。
 とうが¹にん [tuganin] [名] 罪人。
 とうが¹みるん¹ [tugamiron] [動] 咎める。罰する。[否] とうがむぬ
 とうき¹るん¹ [tukiron] [動] 溶ける。融ける。[否] とうくぬ
 とうく¹ [tuku] [名] 仏壇。床の間。
 とうく¹ [tuku] [名] 寢床。
 とうく¹ [tuku] [名] 得。利得。
 とうく¹ [tuku] [名] 徳。
 どうく¹ [duku] [名] 毒。
 どうぐ [dugu] [副] 酷い。
 とうく¹つ¹とう¹ [tukuttu] [名] 安心。安堵。
 どう¹ぐ¹どうぐ [dugudugu] [副] あんまりだ。〈どうぐ〉の強調。
 どうぐ¹りしゃ¹はん [dugurijaha:n] [形] 気の毒だ。気まずい。可哀そうだ。恐縮だ。
 とうくる¹ [tukuru] [名] 所。場所。
 とうぐん¹ [tugun] [動] 研ぐ。研磨する。[否] とうがぬ
 とうけー¹ [tuke:] [名] 遠い所。遠方。
 どうげー¹るん¹ [dugerun] [動] 怒鳴る。[否] どげーらぬ
 とうさ¹はん [tusahan] [形] 遠い。遠方だ。
 とうし¹ [tuʃi] [名] 砥石。
 どうし¹ [duʃi] [名] 友人。友達。
 とうしいぬ¹ ゆー¹ [tuʃinu ju:] [句] 大晦日の夜。
 とうしいぬ¹ ゆる¹ [tuʃinu juru] [句] 大晦日の夜。
 とうしき¹るん¹ [tuʃikirun] [動] 説得する。[否] とうすくぬ
 どうしけ¹な [duʃikena] [句] 各自で。自分で。自分でやるなど。
 とうし¹みるん¹ [tuʃjmirun] [動] 問い責める。問い詰める。[否] とうしむぬ
 とうじ¹みるん¹ [tudzimirun] [動] 終える。
 とうち¹ [tuʃi] [名] 年。歳。年齢。
 とうち¹い¹とうるん¹ [tuʃiʃituron] [動] 年を取る。[否] とうちとうらぬ
 とうとうぎ¹るん¹ [tuʃtugiron] [動] 届ける。
 とうとうぐん¹ [tuʃtugun] [動] 届く。[否] とうがぬ
 とうとうのー¹ん¹ [tuʃtuno:n] [動] 整う。きちんとなる。うまくまとまる。[否] とうとうのーあぬ
 どうなー¹さー¹ん [duna:sa:n] [形] (動作が) 緩慢である。のろのろしている。
 とうなば¹るん¹ [tuʃnabarun] [動] 黙る。押し黙る。[否] とうなばらぬ
 どうな¹はん [dunahan] [形] 鈍い。
 とうぬす¹く¹ [tuʃnusuku] [名] 登野城。石垣島の地名。
 とうのー¹ [tuʃno:] [名] アカテツ。樹木名。
 「どうば¹だ¹」にげー [dubadanige:] [名] 健康祈願。〈どうー〉「体」と〈ばだ〉「肌」の「願い」からか。
 とうぴく¹いるん¹ [tuʃpikuirun] [動] 飛び越える。
 とうぴゆ¹ [tuʃiju] [名] 飛魚。

- とうぷちん¹ [tʊputʃin] [動] 踏み外す。飛び込む。[否] とうぷとうぬ
- とうぶん¹ [tʊpun] [動] 飛ぶ。飛行する。[否] とうばぬ
- とうまらすん¹ [tʊmarasun] [動] 泊ませる。[否] とうまらはぬ
- とうまるん¹ [tʊmarun] [動] 泊まる。宿る。宿泊する。[否] とうまらぬ
- とうまるん¹ [tʊmarun] [動] 窪む。へこむ。[否] と一まらぬ
- とうみるん¹ [tʊmirun] [動] ① 探す。見つける。② 拾う。③ 求める。[否] とうむぬ
- とうみん¹ [tʊmin] [動] ① 探す。見つける。② (嫁を) 探す。(妻を) 娶る。[否] とうむぬ
- とうむ¹ [tʊmu] [名] ^{とも} 艦。船の船尾。
- とうゆますん¹ [tʊjumasun] [動] 轟かせる。とよます。[否] とうゆまはぬ
- とうゆまりん¹ [tʊjumarin] [動] とよむ。世に鳴り響く。[否] とうゆまらぬ
- とうら¹ [tura] [名] ^{とら} 虎。十二支の寅。
- とうり¹ [tʊri] [名] 鳥。
- とうり¹ [tʊri] [名] 灯り。ランプ。
- とうり¹ [tʊri] [名] ^{とり} 西。十二支の酉。
- とうり¹ っしるん¹ [tʊri ʃʃirun] [句] 取り除く。取って捨てる。
- 「とうり」 っしん¹ [tʊri ʃʃin] [句] 取り去る。取って捨てる。
- とうりかいすん¹ [tʊrikaisun] [動] 取り返す。取り戻す。[否] とうりかいさぬ
- とうりかいるん¹ [tʊrikairun] [動] 取り替える。[否] とうりかいらぬ
- とうりくむん¹ [tʊrikumun] [動] 取り組む。[否] とうりくまぬ
- とうりくむん [tʊrikumun] [動] 取り込む。取ってしまい込む。[否] とうりくまぬ
- とうりけーすん¹ [tʊrike:sun] [動] 取り返す。[否] とうりけーさぬ
- とうりしまるん¹ [tʊriʃimarun] [動] 取り締まる。[否] とうりしまらぬ
- とうりたちん¹ [tʊritatʃin] [動] 取り立てる。[否] とうりたとうぬ
- とうりはかろーん¹ [tʊrihakaro:n] [動] 取り計らう。[否] とうりはからぬ
- とうり¹ ぱんつん¹ [tʊripantsun] [動] 取り外す。[否] とうりぱんつあぬ
- とうりぴんがすん¹ [tʊripingasun] [動] 取り逃がす。[否] とうりぴんがはぬ
- とうりむつん¹ [tʊrimutsun] [動] 持てなす。接待する。[否] とうりむたぬ
- とうりむどうすん¹ [tʊrimudusun] [動] 取り戻す。[否] とうりむどうさぬ
- とうりゆしるん [tʊrijuʃirun] [動] 取り寄せる。
- とうりるん¹ [tʊrirun] [動] 凪ぐ。静かになる。[否] とうるぬ
- とうりんだすん¹ [tʊrindasun] [動] 取り出す。[否] とうりんだはぬ
- どうるびちゃー¹ なるん¹ [durubitʃa: narun] [句] 泥だらけになる。
- どうるみち¹ [durumitʃi] [名] 泥道。
- とうるん¹ [tʊrun] [動] 取る。奪う。[否] とうらぬ
- とうん¹ [tun] [名] 妻。嫁。
- とうんけーるん [tuŋkerin] [動] 振り返る。振り向く。
- とうんじー¹ [tundzi:] [名] 冬至。
- とうんじるん¹ [tundzirun] [動] 飛び出る。
- とうんそるん¹ [tunsorun] [動] 娶る。嫁として縁組する。[否] とうんそらぬ
- とうんたち¹ [tuntatʃi] [名] つま先立ち。
- とうんたちびるん¹ [tuntatʃibirun] [動] 爪立つ。爪先で立つ。
- とうんちるん¹ [tuntʃirun] [動] 突き出る。

とうんぶとうㄨ [tumbutu] [名] 夫婦。夫婦。
 とつきん [tokkin] [名] (野生の) バンザクロ。
 どっふあつた [doffatta] [擬] どかっと。どっ
 かり。重いものを置いたり、大きな人が座
 ったりするさま。
 とふかすんㄨ [tofukasun] [動] 突き通す。[否]
 とふかはぬ
 とまらすん [tomarasun] [動] 窪ませる。
 どまんぐるんㄨ [domangurun] [動] うろたえ
 る。正気を失う。[否] どまんぐらぬ
 どみがすんㄨ [domigasun] [動] 突き崩す。[否]
 どみかはぬ
 どみんがすんㄨ [domingasun] [動] 叩きのめ
 す。[否] どみんがはぬ
 とらしみん [torajimin] [動] 与える。取らせ
 る。
 どらんㄨ [doran] [名] 銅鑼。
 とろふかすんㄨ [torofukasun] [動] 下痢する。
 [否] とろふかぬ
 どんどん [dondon] [擬] ときどき。心臓が鼓
 動する音の形容。
 どんぶりㄨ [domburi] [名] 丼。食器名。
 なーㄨ [na:] [名] ここ。此处に。
 なーㄨ [na:] [名] 名。名前。
 なーがすんㄨ [nagasun] [動] 泣かす。[否] な
 ーがはぬ
 なーぐんㄨ [nagun] [動] ① 泣く。② 鳴く。
 (鳥が) 囀る。[否] なーがぬ
 なーしきうやㄨ [na:ʃiki.uja] [名] 名付け親。
 なーしきんㄨ [na:ʃikin] [動] 名を付ける。命
 名する。[否] なんすくぬ
 なーすんㄨ [na:sun] [動] 縋う。縄を縋う。[否]
 なーはぬ
 なーㄨたかㄨはん [na:takaʃan] [形] 名高い。有
 名だ。
 なーどうーどう [na:du:du] [句] 各自。自分。
 なーㄨなー しゃんㄨ [na:na:ʃan] [句] 長々と

した。
 なーばぐㄨ [na:bagu] [名] 長持ち。衣類入れ。
 なーㄨはん [na:han] [形] 長い。永い。
 なーびらㄨ [na:bira] [名] 糸瓜。
 なーふくㄨ [na:fuku] [名] 目隠しの石垣。中の
 石垣の義。沖縄で言うヒンプン。
 なーぶにㄨ [na:buni] [名] 背骨。
 なーㄨむらㄨ [na:mura] [名] 前村。波照間島の
 集落名。
 なーらぼんㄨ [narabon] [名] ナーラボン。山
 芋の種類。
 なーりㄨ [nari] [名] 実。果物。
 なーりむぬㄨ [narimunu] [名] 果物。果樹。
 なーりんㄨ [na:rin] [動] 流れる。漂流する。[否]
 なーるぬ
 なーるんㄨ [na:run] [動] 鳴る。騒ぐ。[否] な
 ーらぬ
 なーるんㄨ [na:run] [動] 出来る。実がなる。
 [否] なーらぬ
 なーれるんㄨ [na:rerun] [動] 慣れる。[否] な
 ーるぬ
 ないぐんㄨ [naigun] [動] ① びっこをひく。び
 っこになる。② 足腰が立たなくなる。
 ながㄨ [naga] [名] 中。中に。
 ながあみㄨ [naga.ami] [名] 長雨。
 ながいきㄨ [naga.iki] [名] 長生き。長寿。
 ながいぎㄨ すんㄨ [naga.igi sun] [句] 長生き
 する。
 なかざらㄨ [nakadzara] [名] 中皿。
 なかだちㄨ [nakadatʃi] [名] 仲人。媒酌人。
 ながびくんㄨ [nagabikun] [動] 長引く。[否]
 ながびかぬ
 ながびりㄨ [nagabiri] [名] 長居。
 ながみんㄨ [nagamin] [動] 眺める。[否] なが
 むぬ
 ながやどうㄨ [nagajadu] [名] 中戸。
 ながやみㄨ [nagajami] [名] 長患い。

- なぎ¹ [nagi] [名] 長さ。丈。
- なきくがりん [nakikugarin] [動] 泣き焦がれる。
- なぎすかり¹ [nagisukari] [動] 泣きかかる。泣きつく。[否] なぎすかるぬ
- なぎと一すん¹ [naigito:sun] [動] 薙ぎ倒す。切り倒す。[否] なぎと一はぬ
- なぎぼたりるん¹ [nagibotarirun] [動] 泣き疲れる。泣きくたびれる。泣きしおれる。[否] なぎぼたるぬ
- なぎま一べ¹ [nagima:be] [名] 泣き真似。うそ泣き。
- なぐさみん¹ [nagusamin] [動] 慰める。[否] なぐさむぬ
- なぐりしゃ¹はん [naguri:ahan] [形] 名残惜しい。悲しい。
- なげ一くとう [nage:kutu] [句] 長いこと。長い間。
- なさき¹ [nasaki] [名] 情け。思いやり。
- なざぎ¹ [nadzagi] [名] ハエキビ。雑草名。
- なしきるん¹ [nafikirun] [動] ^{かこ}託ける。口実にする。
- なしぴ¹ [nafjipi] [名] ^{なすび}茄子。
- なすうくん¹ [nasukun] [動] 懐く。なじむ。[否] なすかぬ
- なすかっさ¹はん [nasukassahan] [形] 懐かしい。
- なすむら¹ [nasumura] [名] ^{ないし}長石村。波照間島の集落名。
- なすん¹ [nasun] [動] ^な綯う。縄を綯う。[否] なはぬ
- なすん¹ [nasun] [動] 産む。[否] なはぬ
- なだ¹ [nada] [名] ^{なみだ}涙。
- なだぎるん¹ [nadagirun] [動] 均す。平坦にする。[否] なだぐぬ
- なだみるん¹ [nadamirun] [動] 宥める。[否] なだむぬ
- なだらがすん¹ [nadaragasun] [動] 平坦にする。均す。[否] なだらがはぬ
- なだらが¹はん [nadaragahan] [形] 平坦だ。
- なだらぎや一ん [nadaragja:n] [動(継)] ならかだ。
- なだらぎるん¹ [nadaragirun] [動] ならかにする。平らにならす。[否] なだらぐぬ
- なだらぐん¹ [nadaragun] [動] ① ならかになる。平坦になる。② 凪ぐ。穏やかになる。[否] なだらがぬ
- なちい¹ [natji] [名] 夏。夏季。「初夏」はくばがなちい。
- なちいまき¹ [natjimaki] [名] 夏負け。
- なちすうぬ¹ [natjisunu] [名] 夏着。
- なちぶさ一¹ [natjibusa:] [形] 泣き虫だ。
- なっす¹ [nassu] [名] 苗代。
- なっすだ一 [nassuda:] [名] 苗代田。
- ななず¹ [nanadzu] [名] 七十。
- ななち¹ [nanatji] [名] 七つ。簡略化：なな。
- なば¹ [naba] [名] 茸。
- なび¹ [nabi] [名] ^{なべ}鍋。
- なびしき¹ [nabijiki] [名] おこげ。
- なびふつあらすん¹ [nabifutsarasun] [動] 鍋を焦がす。
- なびふつありん¹ [nabifutsarin] [動] 焦げる。[否] なびふつあるぬ
- なふこ¹はん [nafukohan] [形] なめらかだ。滑りやすい。
- なま¹ [nama] [名] 今。現在。
- なま¹ [nama] [名] 生。
- なまき¹ [namaki] [名] 生木。枯れていない薪など。
- なまぐみ¹ [namagumi] [名] 生米。半煮のご飯。
- なましい¹ [nama:si] [名] ^{さしみ}刺身。
- なまに一¹ [namani:] [名] 半煮え。
- なまふささ一ん [namafusasa:n] [形] 生臭い。

生物, 野菜, 魚, 肉類の煮てない物, または, 枯れていないものの臭いがする。

なまふつあはん [namafutsahan] [形] 生臭い。

なまふつありむぬ [namafutsarimunu] [名] 怠け者。横着な者。

なまむぬ [namamunu] [名] 生物。生の物。

なまるん [namarun] [動] 鈍る。^{なま}(切れ味が)鈍る。[否] なまらぬ

なもり [namori] [名] 一合枧。

なや [naja] [名] 鰹工場。「納屋」すなわち「漁具小屋」から。

ならずん [narasun] [動] ① 教える。② 習う。学ぶ。[否] ならはぬ

ならずん [narasun] [動] 鳴らす。[否] ならはぬ

ならずん [narasun] [動] 慣れる。[否] ならはぬ

ならびるん [narabirun] [動] 並べる。[否] ならぶぬ

ならぶん [narabun] [動] 並ぶ。整列する。[否] ならばぬ

な'り'さ [narisa] [名] 浜砂利。サンゴの砕けた砂利。

なれー [nare:] [名] ならい。習慣。

なん [nan] [名] 名。名前。

なん [nan] [名] 釣り糸。

なん [nan] [名] 波。波浪。

なん [nan] [名] 菜。

なん えぬん [nan enun] [句] 名乗る。名前を告げる。

なんが [nanga] [名] 七日。一周忌。

なんが ししるん [nanga sširun] [句] 投げ捨てる。

なんが っしん [nanga sšin] [句] 捨てる。投げ捨てる。

なんがそーりん [nangaso:rin] [名] 旧暦の七夕。

なんぎ [nangi] [名] 難儀。

なんぎるん [nangirun] [動] ① 投げる。② 叩きつける。[否] なんぐぬ

なんざ [nandza] [名] 銀。

なんだ [nanda] [名] 涙。^{なみだ}

なんだ んじるん [nanda ndzirun] [句] 涙が出る。涙ぐむ。

なんだら [nandara] [名] ビーチロック。浜に出来る砂岩。

なんぶらすん [namburasun] [動] 流す。[否] なんぶらはぬ

なんぶりるん [namburirun] [動] 漂わす。

なんぶりん [namburin] [動] 流れ出す。流失する。[否] なんぶるぬ

にー [ni:] [名] 子。十二支の子。

にーはい [ni:hai] [感] ありがとう。

にーはいゆー [ni:haiju:] [感] ありがとうございます。敬語。

にーびち [ni:bitʃi] [名] 結婚式。

にーぶた [ni:buta] [名] 腫れ物。吹き出物。

にーぶやー [ni:bujə:] [名] 寝坊助。寝坊。

にーまらん [ni:maran] [動] (食物が) 腐る。腐りかかる。

にーらすん [ni:rasun] [動] 似せる。

にが [niga] [名] 今晚。今夜。

にく [niku] [名] 肉。^{にく}

にげー [nige:] [名] 願い。祈願。

にげー んじるん [nige: ndzirun] [句] 願い出る。申し入れる。

にげーしきるん [nige:sšikirun] [動] 祈る。[否] にげーすくぬ

にげーふちい [nige:futʃi] [名] 祈願の言葉。

にげるん [nigerun] [動] 祈願する。[否] にげーらぬ

にし [niʃi] [名] 北。北方。

にしかち [niʃikatʃi] [名] 北風。

に'じ'きよー [nidzikjo:] [名] ウイキョウ。ハ

- ープの一種。
- にししゃはん [niʃiʃahan] [形] 似る。似ている。
- にした [niʃita] [名] 北。北方。
- にしななち [niʃinanatʃi] [名] 北斗星。北斗七星。
- にしむら [niʃimura] [名] 北村。地名。
- にししゃはん [niʃahan] [形] 不味い。旨くない。
- にたはん [nitahan] [形] 憎い。妬ましい。
- にたむん [nitamun] [動] ① ^{ねた} 妬む。② 恨む。
[否] にたまぬ
- にちん [nitʃi ndʒirun] [句] 熱が出る。発熱する。
- にちい [nitʃi] [名] 熱。体温。
- にちい [nitʃi] [名] ^{むね} 胸。
- にばり [nibari] [名] ハタ。ハタ類の総称。魚類名。
- にぶ [nibu] [名] ^{ひしやく} 柄杓。
- にふつあはん [nifutsahan] [形] 遅い。遅れる。
- にむちい [nimutʃi] [名] 荷物。
- にん [nin] [名] ^ね 根。植物の根。
- にん [nin] [名] 地震。
- にん [nin] [名] ^{ねん} 年。
- にんうりん [nin.urin] [句] 根付く。
- にんぎん [niŋgin] [名] 人。人間。
- にんぐ [niŋgu] [名] 年貢。
- にんじるん [nindʒirun] [動] 念ずる。祈る。
[否] にんずぬ
- にんず [nindzu] [名] 二十。年齢の「二十歳」は〈ばたち〉という。
- にんずー [nindzu:] [名] 人数。
- にんすくん [ninsukun] [動] 根付く。[否]
にんすかぬ
- にんどーしい [nindo:ʃi] [名] ハイキビ。雑草名。
- にんにん [ninnin] [名] 年々。毎年。
- にんぬ んさはん [ninnu nsahan] [句] 荷が重い。
- にんばぎるん [nimbagirun] [句] 根分けする。株分けする。
- にんばぶち [nimbaputʃi] [名] 北極星。
- にんぶち [nimbutʃi] [名] 念仏者。司祭。
- にんぶり [nimburi] [名] 居眠り。
- にんまるん [nimmarun] [動] 腐りかかる。腐敗にまではいたっていない。[否] にんまるぬ
- にんむとう [nimmutu] [名] 根元。
- ぬー [nu:] [名] 野。野原。
- ぬー [nu:] [名] 何。
- ぬー やばん [nu: jaban] [句] なんでも。
- ぬー ぐとう [nu:gutu] [名] 何事。
- ぬー しゃる [nu:ʃaru] [句] どんな。どのような。
- ぬー しん [nu:ʃin] [副] どうしても。
- ぬー た [nu:ta] [句] なんと。何と言ってるか。
- ぬー たる [nu:taru] [句] なんと。何と言ってるか。
- ぬー とう [nu:tu] [名] 謎々。「なんだろう」の意味。
- ぬー び [nu:bi] [名] 背伸び。
- ぬー や [nu:ja] [句] 何が。
- ぬー ん [nu:n] [副] 全く。何も。
- ぬー ん [nu:n] [動] 縫う。裁縫。[否] ぬわぬ
- ぬいむぬ [nuimunu] [名] 縫い物。裁縫。
- ぬが [nuga] [名] ^{ぬか} ^{こめぬか} 糠。米糠。
- ぬがー らすん [nugarasun] [動] 許す。免れさせる。
- ぬがー るん [nugarun] [動] ① 許される。免れる。② 卒業する。義務教育を「免れた」から。
- ぬがりゃん [nugarjan] [動(継)] 脱した。

- ぬきひー [nukih:] [名] 貫き家。本建築。掘っ立て小屋に対する。
- ぬぎり^{のこぎり} / [nugiri] [名] 鋸。
- ぬぎるん / [nugirun] [動] 抜ける。外れる。[否] ぬぐぬ
- ぬぎるん / [nugirun] [動] ① 退く。遠のく。② 離れる。
- ぬぎんだん [nugindan] [動] 抜きんでる。[否] ぬぎんどうぬ
- ぬぐじま / [nugudzima] [名] 山のない平坦な島。
- ぬぐり / [nuguri] [名] 残り。残部。
- ぬぐりしゃ / はん [nugurijahan] [形] 恐ろしい。危険だ。
- ぬぐん / [nugun] [動] ① 抜く。貫く。脱ぐ。② 刺す。突き刺す。[否] ぬがぬ
- ぬしいま [nufjima] [名] 与那国。与那国島。八重山諸島の島の名。最も西の方に位置する。
- ぬしん / [nufjin] [動] 乗せる。積む。[否] ぬすぬ
- ぬすむん / [nusumun] [動] 盗む。[否] ぬすまぬ
- ぬすかるん / [nusukarun] [動] 近づく。(間近に、目前に) せまる。[否] ぬすからぬ
- ぬすとうり / [nusuturi] [名] 泥棒。盗人。「盗み取り」の略。
- ぬずみ / [nudzumi] [名] 望み。希望。
- ぬずむん [nudzumun] [動] 望む。所望する。欲する。[否] ぬずまぬ
- ぬちい / [nutji] [名] 命。生命。
- ぬちい しさん [nutji ssan] [句] こと切れる。死亡する。
- ぬちいずー / ーさん [nutjidzu:sa:n] [形] 命強い。生命力が強い。命が永い。
- ぬちいぬうや / [nutjinu.uja] [名] 命の恩人。
- ぬちいまる / はん [nutjimarohan] [形] 短命。薄命。
- ぬちいむやん [nutjimujan] [句] 助かる。生き返る。
- ぬっふえーるん / [nuffe:run] [動] 舐める。^な
- ぬっふたりるん [nuffutarirun] [動] 寝入る。よく眠る。
- ぬっふん / [nuffun] [動] 寝る。眠る。[否] ぬっふわぬ
- ぬどう / [nudu] [名] 喉。^{のど}
- ぬどう / かりるん / [nudu karirun] [句] 喉が渴く。
- ぬぬ / [nunu] [名] 布。織物。
- ぬのさらし / [nunosaraji] [名] 布晒し。
- ぬばすん / [nubasun] [動] 延ばす。延期する。[否] ぬばはぬ
- ぬびるん / [nubirun] [動] 延ばす。伸べる。[否] ぬばはぬ
- ぬぶしるん / [nubufjin] [動] 逆上せる。^{のぼ} [否] ぬぶすぬ
- ぬぶしん / [nubufjin] [名] 首。喉元。
- ぬふた / はーん [nufutaha:n] [形] 眠たい。
- ぬぶたん / [nubutan] [動 (継)] 飲み尽くす。
- ぬふちるん [nufutjirun] [句] 寝かせる。寝かしつける。
- ぬぶるん / [nuburun] [動] ① 登る。上がる。② 乗る。[否] ぬぶらぬ
- ぬぶん / [nubun] [動] 伸びる。[否] ぬばぬ
- ぬみ うらへ [numi urahe] [句] 飲み下ろす。
- ぬみくむん / [numikumun] [動] 飲み込む。[否] ぬみくまぬ
- ぬみのがすん / [numinogasun] [動] 飲み残す。[否] ぬみのがはぬ
- ぬむん / [numun] [動] 飲む。[否] ぬまぬ
- ぬり / [nuri] [名] 苔。
- ぬり / [nuri] [名] 糊。^{のり}
- ぬりうくりるん [nuri.ukurirun] [動] 乗り遅れる。乗りはずす。[否] ぬりうくるぬ
- ぬりだっくわーすん [nuridakkwa:sun] [動] 塗

りたくる。
ぬりふもん^ノ [nurifumon] [名] 積雲。積乱雲。
ぬりむぬ^ノ [nurimunu] [名] 乗り物。交通機関。
ぬるさ^ノはん [nurusahan] [形] 温い。
ぬるみゃん^ノ [nurumjan] [動 (継)] 温まる。
ぬるみるん^ノ [nurumirun] [動] 温くする。温める。
ぬるん^ノ [nurun] [動] 乗る。載る。[否] ぬらぬ
ぬるん^ノ [nurun] [動] 塗る。[否] ぬらぬ
ぬん^ノ [nun] [名] 蚤。
ぬん^ノ [nun] [名] 鱗。
ねー^ノ [ne:] [副] どう。どんな。
ねー^ノなるん^ノ [ne: narun] [句] なくなる。
ねーき^ノ [ne:ki] [句] どうして。何故。
ねーきる [ne:kiru] [句] どうして。何故。
ねーしゃるん [ne:jarun] [句] どんな。如何なる。
ねーな^ノさん^ノ [ne: nasan] [動 (継)] なくす。失う。
ねーぬ^ノ [ne:nu] [動] 無い。
「ねー^ノや [ne:ja] [句] どう。どうかね。
ねーり^ノ [ne:ri] [名] 右。右方。右側。
ねーる^ノ [ne:ru] [指示様態] どのように。どんな風に。
ねーるん^ノ [ne:run] [動] 煮える。[否] ねーらぬ
ねっすん^ノ [nessun] [動] 煮る。
のー^ノ [no:] [名] 脳。大脳。
のーさ^ノなるん^ノ [no:sa narun] [句] 暖かくなる。暖まる。
のーさ^ノはん [no:sahan] [形] 暖かい。
「のー^ノしん [no:jin] [副] どうしても。
のーじん^ノ [no:dzin] [名] 虹。
のーすん^ノ [no:sun] [動] ① 治す。病気を治す。② 直す。物を直す。[否] のーはぬ

のーなさん [no: nasan] [動] 居なくなる。
のーり^ノ [no:ri] [名] 実り。
のーり^ノゆ^ノ [no:riju] [名] 豊年。「稔り世」の意。
のーるん [no:run] [動] 実る。
のーるん^ノ [no:run] [動] ① 治る。体の病気が治る。② 直る。物が直る。[否] のーらぬ
のがすん^ノ [nogasun] [動] 残す。[否] のがはぬ
のがるん^ノ [nogarun] [動] 残る。余る。[否] のがらぬ
はー [ha:] [名] あそこ。あちら。
ばー^ノ [ba:] [名] 私。自分。私の。
ぱー^ノ [pa:] [名] 葉。
ぱー^ノ [pa:] [名] 祖母。おばあさん。
ばー うたま [ba: utama] [句] 私の子。
はーがに^ノ [ha:gani] [名] 鋼。「刃金」から。
ばーき^ノ [ba:ki] [名] ざる。竹ざる。
ばーぐん^ノ [ba:gun] [動] 湧き出る。[否] ばーがぬ
ばーさ^ノ [ba:sa] [名] 芭蕉。バナナ。
ばーさぬ^ノ なーり^ノ [ba:sanu nari] [句] バナナの実。
ばーしゃはん [ba:shahan] [形] 可笑しい。
ばーすん^ノ [ba:sun] [動] (水などで) 薄める。
[否] ばーはぬ
ぱーすん^ノ [pa:sun] [動] 嘸す。
ぱーち^ノ [pa:tʃi] [名] 蜂。
ぱーった [pa:tta] [擬] ぱあっと。急に明るくなるさま。
はーはー [ha:ha:] [擬] はあはあ。あえぐさま。
ばーばー [ba:ba:] [擬] ① びゅうびゅう。風の強く吹くさま。② ぼうぼう。火の勢いよく燃えるさま。
ばーらいるん^ノ [ba:rairun] [動] 笑われる。物笑いになる。[否] ばらーるぬ

ばーりㇿ [ba:ri] [名] 割れ目。

ばーりゃんㇿ [ba:ɾjaŋ] [動] 微笑む。[否] ばーらぬ

ばーるんㇿ [ba:ruŋ] [動] 笑う。[否] ばーらぬ

はいからㇿさーん [haikarasɑ:n] [形] ハイカラだ。おしゃれだ。

ばいまㇿ [baima] [名] 私たち。

ばいるんㇿ [bairuŋ] [動] 薄める。

ばいるんㇿ [pairuŋ] [動] ① 映える。② 似合う。[否] ばいらぬ

ばかㇿ [pa:ka] [名] 区画。畝。

ばかㇿ [pa:ka] [名] 墓。

ばがいとうるんㇿ [bagaituruŋ] [動] 奪い取る。

ばがけーるㇿ [bagake:ru] [句] 若返る。

はかじㇿ とうるんㇿ [həkadzi tu:ruŋ] [句] 掻き集めて取る。

はかじるんㇿ [həkadziruŋ] [動] 引っ掻く。[否] はかじらぬ

ばがすけんㇿ [bagasuken] [名] 若月。

はかずるんㇿ [həkadzuruŋ] [動] (爪で) 引っ掻く。[否] はかずらぬ

はかすんㇿ [həkasuŋ] [動] 弁償させる。[否] はかはぬ

ばがすんㇿ [bagasuŋ] [動] 煮る。[否] ばがはぬ

ばがすんㇿ [bagasuŋ] [動] 奪う。[否] ばがはぬ

ばがすんㇿ [bagasuŋ] [動] ① 引き離す。離す。② 剥がす。[否] ばがはぬ

ばかすんㇿ [pa:kasuŋ] [動] (全責任を) 負わせる。[否] ばかはぬ

ばかすんㇿ [pa:kasuŋ] [動] 吐かせる。[否] ばかはぬ

ばがっせーㇿ [bagasse:] [名] 若白髪。

ばがなちㇿ [baganatʃi] [名] 若夏。初夏。「若夏」の義。

ばがぱㇿ [bagapa] [名] 若葉。新緑。

ばがㇿはん [bagahan] [形] 若い。

ばがへ とうるんㇿ [bagahe tu:ruŋ] [句] 奪い取る。

ばかまㇿ [pa:kama] [名] ^{はかま}袴。

ばがむぬㇿ [bagamunu] [名] 若者。青年。

はからすんㇿ [həkarasuŋ] [動] (魚を) 網で捕る。[否] はからはぬ

ぱからㇿさ [pa:karassa] [形] かんばしい。立派。

ぱからㇿさーㇿ ねーぬㇿ [pa:karassa: ne:nu] [句] 芳しくない。良くない。〈まぱからさねーぬ〉は強調語。

ばがらぬㇿ [bagaranu] [句] 知らない。

ぱがりるんㇿ [pagariruŋ] [動] 剥がれる。[否] ぱがるぬ

ばがりんㇿ [bagarin] [動] 別れる。離婚する。[否] ぱがるぬ

はかるんㇿ [həkaruŋ] [動] ① 掛かる。引っ掛かる。② (禁忌に) かかる。③ (病気に) 罹る。患う。[否] はからぬ

はかるんㇿ [həkaruŋ] [動] 謀る。企む。[否] はからぬ

ばがるんㇿ [bagaruŋ] [動] ① 分かる。理解する。② 思い当たる。推し量る。[否] ばがらぬ

ぱかるんㇿ [pa:karuŋ] [動] 計る。計測する。[否] ぱからぬ

はきㇿ [haki] [名] 欠片。破片。

ばぎ [bagi] [助] ～まで。

はきあしみるんㇿ [haki.aʃimiruŋ] [動] 掻き集める。[否] はきあすむぬ

はきいりるんㇿ [haki.iriruŋ] [動] 書き入れる。[否] はきいるぬ

はきいりるんㇿ [haki.iriruŋ] [動] 口にかき込む。

ばぎしㇿ [bagiʃi] [名] バケツ。

ぱぎじㇿ [pagidzi] [名] 痩せ地。

はきしいきるん [həkijikirun] [動] 駆ける。
走る。[備] 「駆け付ける」に対応。[否] は
きすくぬ

はきじゃー [hakidza:] [名] 雨樋。^{あまどい}
ばぎすぶる [pagisyupuru] [名] 禿頭。^{はげあたま}

はきたすん [həkitasun] [動] 書き添える。書
き足す。[否] はきたさぬ

ばぎだま [bagidama] [名] 分け前。

はきとうみるん [həkitoimirun] [動] 書き留
める。[否] はきとうむぬ

ばぎとうるん [pagiturun] [動] ① 剥ぎ取る。
② かつぱらう。[否] ばぎとうらぬ

はきぼーるん [həkipo:run] [動] 掻き散らか
す。[否] はきぼーらぬ

はきまーすん [həkima:sun] [動] 掻き回す。
[否] はきまはぬ

はきまーるん [hakima:run] [動] 駆け回る。

はきまんじるん [həkimandzirun] [動] ① 掻
き乱す。掻き混ぜる。② いびる。[否] はき
まんずぬ

ばぎみじ [bagimidzi] [名] 湧水。泉。

はきもらすん [həkimorasun] [動] 書き落と
す。書き漏らす。[否] はきもらはぬ

はきるん [həkirun] [動] 掛ける。[否] はく
ぬ

はきるん [həkirun] [動] 欠ける。[否] はく
ぬ

ばぎるん [bagirun] [動] 分ける。和解させ
る。[否] ばぐぬ

ばぎるん [pagirun] [動] 色褪せる。^{いろあ}[否] ば
ぐぬ

はきん [həkin] [動] 欠ける。[否] はくぬ

ばぎん [bagin] [動] 分ける。分別する。[否]
ばーぐぬ

ばぎん [pagin] [動] 禿げる。[否] ばぐぬ

はきんだすん [həkindasun] [動] 掻き出す。
[否] はきんだはぬ

ばきんだすん [pəkindasun] [動] 吐き出す。
[否] ばきんだはぬ

ぱく [paku] [名] 箱。

ぱく [paku] [名] 蛇。

ぱくるん [bakurun] [動] 侮る。嘲る。[否]
ぱくらぬ

ぱくるん [pəkurun] [動] からかう。ひやか
す。

はくん [həkun] [動] 書く。描く。[否] はか
ぬ

はくん [həkun] [動] 掃く。[否] はかぬ

はくん [həkun] [動] 掻く。[否] はかぬ

ばぐん [bagun] [動] (水が) 湧く。(酒が) 醸
される。[否] ばがぬ

ばぐん [bagun] [動] (木を) 挽く。

ぱくん [pəkun] [動] ① 佩く。② ひっかぶ
る。③ 償う。責任を負う。弁償する。[否]
ぱかぬ

ぱくん [həkun] [動] 償う。責任を負う。弁
償する。[否] はかぬ

ぱくん [pəkun] [動] 吐く。[否] ぱかぬ

ぱぐん [pagun] [動] 剥ぐ。剥ぎ取る。[否]
ぱがぬ

はこー [hako:] [名] 水夫。船員。[備] 古語
「水夫(かこ)」に対応。

はこー [hako:] [名] 屋敷。

ばごー [bago:] [名] ノカラムシ。雑草名。

はこすん [həkosun] [動] 隠す。[否] はこは
ぬ

はこち [həkotʃi] [名] 顎。^{あご}

はこますん [həkomasun] [動] 囲む。囲ませ
る。[否] はこまはぬ

はこむん [həkomun] [動] 囲む。

はこりん [həkorin] [動] 隠れる。[否] はこ
るぬ

ばざーるん [badza:run] [動] 勢いづく。勢い
が強くなる。[否] ばざーらぬ

- ばさすうぬ¹ [basasunu] [名] 芭蕉布の着物。
- ばざるん¹ [badzarun] [動] はしゃぐ。気が高まる。[否] ばざらぬ
- ばしい¹ [baʃi] [名] 鷺^{わし}。鳥の名。
- はじまるん¹ [hadzimarun] [動] 始まる。[否] はじまらぬ
- はじみるん¹ [hadzimirun] [動] 始める。[否] はじむぬ
- ばしゆ¹ [baʃu] [名] 場所。場面。
- ばしゆくりん¹ [paʃukurin] [動] 弾^{はじ}ける。破裂する。[否] ばしゆくるぬ
- ばすうか¹さーん [pasukasa:n] [形] (人に対して) 恥ずかしい。世間体が悪い。きまりが悪い。面目がない。
- ばすうこー¹はん [pasuko:han] [形] (稲、麦などの芒が皮膚をつきさすような) 痛くて痒い感じがする。
- ばすかはん [pasukahan] [形] 恥ずかしい。
- ばずら¹ [badzura] [名] トカゲ。動物名。
- ばずらすん¹ [badzurasun] [動] 屠殺する。解体する。[否] ばずらはぬ
- ばた¹ [bata] [名] 餡^{あん}。餡子。
- ばた¹ [bata] [名] 腹。腹わた。内臓。
- ばた¹ [bata] [名] 綿。木綿。
- ばた¹ [paʃa] [名] 側。端。傍ら。
- ばた¹ [paʃa] [名] 旗^{はた}。
- ばたさ¹ [batasa] [名] 下男。小使い。
- ばたすん¹ [batasun] [動] 渡す。[否] ばたはぬ
- ばたち¹ [paʃatʃi] [名] 二十歳。
- ばたぬ¹ むしい¹ [batanu muʃi] [句] 寄生虫。回虫。
- ばたふくら [batafukura] [句] 腹具合が悪い。消化不良。
- ばたふくりるん¹ [batafukurirun] [動] (消化不良で) 腹が膨れる。
- ばたふさりー [batafusari:] [句] 腹がもたれ
- る。腹具合が悪い。
- ばたぶたー¹ [batabuta:] [名] でぶ。肥満者。
- ばたふちり¹ [batafutʃiri] [名] 悪口を言うこと。
- ばたふちりむぬ¹ [batafutʃirimunu] [名] 憎まれ口。
- ばたむん¹ [paʃamun] [名] 機織り機。
- ばた¹やみ¹ [batajami] [名] 腹痛。
- ばた¹よー¹さーん [batajo:sa:n] [形] お腹をこわしやすい。
- ばたらぐん¹ [paʃaragun] [動] 働く。仕事する。[否] ばたらがぬ
- ばたらしやみどうむ [pataraʃijamidumu] [名] お転婆。
- ばたるん¹ [batarun] [動] 渡る。[否] ばたらぬ
- ばた¹らんち¹ [batantʃi] [句] 満腹になる。腹一杯になる。
- ばち [batʃi] [名] (大鼓の) ばち。
- ばち¹ [batʃi] [名] 罰。
- ばち¹ [paʃʃi] [名] 橋。梯子。
- ばち¹ [paʃʃi] [名] お初。初物。
- ばちさはん [batʃisahan] [形] 細^{ほそ}い。
- ばちず¹ [paʃʃidzu] [名] 八十。
- ばちばた¹ [batʃibata] [名] 小腸。「細い腸」の義。
- ばちま¹はん [paʃʃimahan] [形] 眩^{まぶ}しい。
- ばちまはん [paʃʃimahan] [形] 眩しい。
- ばちみがすん¹ [paʃʃimigasun] [動] 平手で打つ。平手打ちを食わせる。[否] ばちみがはぬ
- ばちるま [paʃʃiruma] [名] 波照間。波照間島。波照間・白保での呼び方。
- ばちるん¹ [paʃʃirun] [動] (不吉を) 祓う。[否] ばちらぬ
- ばちるん¹ [paʃʃirun] [動] (着物を) 脱^{まぶ}ぐ。[否] ばちらぬ

- ばつあ¹ [batsa] [名] 罰。罪。咎。
- ばつあかぶん [batsakapun] [句] 罰を被る。咎を被る。
- ばつあみるん¹ [batsamirun] [動] (牛馬などの動物を) 繋ぐ。繋ぎとめる。[否] ばつあむぬ
- ばつあむん¹ [patsamun] [動] 挟む。(箸などを) 掴む。[否] ばつあまぬ
- ばつあん¹ [patsan] [名] 鋏。^{はさみ}
- ばっくるん¹ [bakkurun] [動] からかう。馬鹿にする。[否] ばっくらぬ
- はっさみよー [hassamijor:] [感] なんとることか。
- ばっしむぬ [bassimunu] [名] 忘れ物。
- ばっしめさはん [bassimesahan] [形] 忘れっぽい。
- ばっしるん¹ [bassirun] [動] 忘れる。[否] ばっすぬ
- ばっしん¹ [bassin] [動] 忘れる。[否] ばっすぬ
- ばったらげー [pattarage:] [名] てんてこ舞い。
- ばっぺー¹ [bappe:] [名] 間違い。
- ばっぺー すん [bappe: sun] [句] 間違う。誤る。
- はてろー¹ [hatero:] [名] 波照間。波照間島。石垣市での呼び方。
- はてろーま¹ [patero:ma] [名] 波照間。波照間島。石垣市や民謡での呼び方。
- ばとーま¹ [pato:ma] [名] 鳩間。^{はとま}鳩間島。八重山諸島の島の名。
- ばとん¹ [paton] [名] 鳩。
- はな¹ [hana] [句] あそこに。あちらに。
- ばな¹ [pana] [名] 鼻。^{はな}
- ばな¹ [pana] [名] 先。崎。岬。
- ばな¹ [pana] [名] 花。
- ばないぎ¹ [pana.igi] [名] 花生け。花瓶。
- ばなぐみ¹ [panagumi] [名] 供米。神前に供える米。[備] 直訳「花米」。
- ばなし¹ [panaji] [名] 話。
- ばなしき¹ [panajiki] [名] 病。^{やまい}病気。
- ばなしきぬ はやるん [panajikinu hajarun] [句] 風邪が流行る。
- ばなじな¹ [panadzina] [名] (牛の) 鼻綱。
- ばなすん¹ [panasun] [動] 離す。[否] ばなはぬ
- ばなすん¹ [panasun] [動] 話す。語る。[否] ばなさぬ
- ばなた¹ [panata] [名] 先。先端。
- ばなだり¹ [panadari] [名] 鼻汁。^{あおばな}青涕。
- ばなたるん¹ [panatarun] [動] 太る。肥える。肥満になる。[否] ばなたらぬ
- 「ばなぬ」 ふあー [pananu fa:] [句] (御嶽の)^{うじこ}氏子。お嶽の祭祀にかかわる血族の人々。
- ばなびいすん¹ [panapisun] [句] くしゃみをする。
- ばな¹ふき¹ [panafuki] [名] 躰。^{ひびき}
- はなやかすん¹ [hanajakasun] [動] 賑やかに騒ぐ。賑わす。[否] はなやかさぬ
- ばなり¹ [panari] [名] 離れ。新城島。新城島の略称。
- ばなりぬ すま¹ [panarinu suma] [名] 離れの島。新城島。八重山諸島の島の名。直訳「離島」。
- ばなりるん¹ [panarirun] [動] ① 離れる。② 別れる。③ 剥がれる。[否] ばなるぬ
- ばなりん¹ [panarin] [動] 離れる。[否] ばなるぬ
- ばに¹ [pani] [名] 羽。翼。鱗。
- はにかいすん¹ [hanikaisun] [動] (物に突き当たって) 跳ね返す。
- はにかいるん¹ [hanikairun] [動] 跳ね返る。[否] はにかいらぬ
- ばぬ¹ [banu] [名] 我。^{われ}私。^{おれ}俺。
- ば¹ひー¹ [bahi:] [名] 私の家。

- ばびる¹ [paɸpiru] [名] 蝶。蛾。
 ばま¹ [paɸma] [名] 浜。砂浜。
 ばまかん¹ [paɸmakan] [名] 浜蟹。
 『ばま』ふちい [paɸmafutʃi] [名] なぎさ。磯辺。
 ばまるん¹ [paɸmarun] [動] はまる。[否] ばま
 らぬ
 ばみがすん¹ [bamigasun] [動] 殴る。ぶん殴
 る。[否] ばみがはぬ
 ばみるん¹ [paɸmirun] [動] はめる。はめ込む。
 当てはめる。
 ばめー¹ [pame:] [名] 食糧。[備] 飯米からか。
 はやーるん¹ [haja:run] [動] 流行る。流行す
 る。[否] はやーらぬ
 はやじに¹ すん¹ [hajadzini sun] [句] 早世す
 る。早死する。
 ばやすん¹ [pajasun] [動] 囃す。
 はやまり¹ [hajamari] [名] 早生まれ。同年で
 も早く生まれた者。
 はやまるん¹ [hajamarun] [動] 早まる。早く
 なる。[否] はやまらぬ
 はやみるん¹ [hajamirun] [動] 早める。早く
 する。
 はやり¹ [hajari] [名] 流行り。流行。
 はやりやん¹ [hajarijan] [名] 伝染病。
 ばら¹ [bara] [名] 藁。^{わら}
 ばら¹ [paɸra] [名] 柱。^{はしら}
 はらごー¹ [harago:] [名] 魚の腹肉。カツオの
 腹肉を指す。
 ばらざん¹ [baradzan] [名] 藁算。^{わらざん} 結縄記録。
 王府時代の記録法の一つ。
 ばらじいな¹ [baradzina] [名] 藁縄。^{わら} 藁束は
 〈ばらふた〉。
 ばらすん¹ [paɸrasun] [動] 払う。支払う。[否]
 ばらはぬ
 ばらすん¹ [paɸrasun] [動] ① 走らせる。② (血、
 汗などを) 流す。③ 注ぐ。[否] ばらはぬ
 ばらふた [barafuta] [名] 藁束。^{わら}
 ばらふちい [barafutʃi] [名] 藁製の草鞋。^{わら}
 はらみ¹ [harami] [名] (鰹など魚の) 卵巣。
 ぱり¹ [paɸri] [名] 針。釣針はくじぱり。
 ぱり っしん [bari ʃʃin] [句] 割ってしまう。
 ぱりあていん¹ [bari.atin] [動] 割り当てる。振
 り当てる。
 ぱりくたくん¹ [barikudakun] [動] 割り砕く。
 [否] ぱりくたかぬ
 ぱりみじい¹ [paɸrimidzi] [名] 湧水。泉。
 ぱりやん¹ [paɸrjan] [名] (魚の) 卵巣。(蟹の)
 卵。
 ぱりん¹ [paɸrin] [動] (天氣が) 晴れる。[否]
 ぱるぬ
 ぱるむん¹ [paɸrumun] [動] 孕む。妊娠する。
 [否] ぱるまぬ
 ぱるん¹ [paɸrun] [動] 走る。行く。発つ。[否]
 ぱらぬ
 ぱるん¹ [paɸrun] [動] 張る。[否] ぱらぬ
 ばん¹ [ban] [名] 番。順番。見張りする。
 ぱん¹ [pan] [名] 祈詞。呪詞。祈祷などの祈
 りの言葉。
 ぱん¹ [pan] [名] 刃。刃先。
 ぱん¹ [pan] [名] 足。
 ぱん¹ [pan] [名] 印。印鑑。
 ぱん¹ [pan] [名] 歯。[備] 単独では多くくふ
 ちいぬ ぱん〉を使う。複合語の構成要素
 となる。
 ぱんがま¹ [pamgama] [名] 羽釜。^{はがま}
 ぱんきん¹ [paɸnkin] [動] (男の包茎の皮が) 捲
 れる。[否] ぱんくぬ
 ぱんくん¹ [paɸnkun] [動] 弾く。^{はじ} [否] ぱんかぬ
 ぱんじ¹ [pandzi] [名] ハゼノキ。〈はじまき〉
 「ハゼノキにかぶれる」。
 ぱんじいん¹ [bandzin] [名] 盛り。真っ盛り。
 ぱんしゅる¹ [banʃuru] [名] バンザクロ。野
 生の果物。〈とっきん〉ともいう。
 はんじょー¹ [handzo:] [名] 繁昌。繁栄。

- ばんぞーがに^カ [bandzo:gani] [名] 曲尺。^{かねじゃく}
- ぱんた^カ [panta] [名] 端。端っこ。
- ぱんだー^カ [panda:] [名] おばさん達。神司の
集団を指すことも。
- ぱんたっさ^カはん [pantassahan] [形] 忙しい。
多忙だ。
- ぱんたるん^カ [pantarun] [動] 太る。肥える。
肥満になる。[否] ぱんたるぬ
- ぱんちるん^カ [pantjirun] [動] 解ける。^{ほど}[否] ぱ
んつぬ
- ぱんちん^カ [pantjin] [動] 外れる。[否] ぱん
つぬ
- ぱんつん [pantsun] [動] 外す。
- ぱんどー^カ [bando:] [名] 口の大きな水甕。「飯
銅」から。
- ぱんにち^カ [pannitji] [名] 半日。
- ぱんぬ こー [pannu kor:] [名] 足の甲。
- ぱんぬ にふつあー [pannu nifutsa:] [句] 足
が遅い。
- ぱんぬ ぴいさ [pannu pi:sa] [名] 足の甲。
- ぱんぬ ふき [pannu fuki] [名] 足首。
- ぱんぶん^カ [pambun] [名] 半分。
- ぱんぶんばぎ^カ [pambumbagi] [名] 半分分け。
- ぱんべー^カ [pambe:] [名] 天ぷら。
- ひー^カ [hi:] [名] 家。家屋。
- びー^カ [bi:] [名] 亥。十二支の亥。
- ぴー^カ [pi:] [名] 火。火事。
- ぴー^カ [pi:] [名] 干瀬。干潮時に干上がる瀬。^{ひせ}
- ぴー^カ [pi:] [名] 女陰。
- びーうしい^カ [bi:u:ʃi] [名] 雄牛。大きい雄牛
は〈ぐちえー〉と言う。
- びーがーら^カ [bi:ga:ra] [名] 雄瓦。
- びーかち^カ [pi:kætji] [名] 火風。塩害のひどい
台風。
- ひーすうぬ^カ [hi:sunu] [名] 普段着。
- びーたこりるん^カ [bi:takorirun] [動] 酔いつぶ
れる。[否] びーたこるぬ
- びーちゃー^カ [bi:tʃa:] [名] 酔っ払い。
- ぴーなん^カ [pi:nan] [名] 火縄。火種にする縄。
- 'ぴーぬ' ばり [pi:nu bari] [句] 干瀬の割れ
目。リーフの割れ目。^{ひせ}
- ぴーみじい^カ [pi:midzi] [名] 冷や水。
- びーら [bi:ra] [名] ひ弱。虚弱。
- びーらー [bi:ra:] [名] 病弱な子供。
- ぴーる [pi:ru] [名] 吉日。日選び。
- びーるん^カ [bi:run] [動] 中毒する。[否] びー
らぬ
- びーるん^カ [pi:run] [動] 冷える。[否] ぴらぬ
- ぴいさ^カ [pi:sa] [名] 足の甲。
- ぴいさ^カ [pi:sa] [名] 屋根。
- ぴいささしー^カ [pi:sasaʃi:] [名] 人差し指。
- ぴいさじま^カ [pi:sadzima] [名] 平坦な島。
- ぴいさすん^カ [pi:sasun] [動] (米飯を) 炊く。
[否] ぴさはぬ
- ぴいさ^カはん [pi:sahan] [形] 薄い。薄めだ。
- ぴいさんたり^カ [pi:santari] [名] 平たい。平べ
ったい。
- 'ぴいしゃー'むぬ [pi:ʃa:munu] [名] 拾い物。
- ぴいす^カ [pi:su] [名] 昼間。日中。
- ぴいすあとう [pi:su.atu] [名] 昼後。午後。
- ぴいすまぬっふい^カ [pi:sumanuffi] [名] 昼寝。
- ぴいすまり^カ [pi:sumari] [名] 真昼。正午。
- ぴいすまりむぬ^カ [pi:sumarimunu] [名] 昼食。
昼飯。
- ぴいすまり^カやしみ^カ [pi:sumarijaʃimi] [名] 昼
休み。
- ぴいすん^カ [pi:sun] [動] (潮が) 引く。干潮に
なる。[否] ぴさぬ
- ぴいすん^カ [pi:sun] [動] (屁を) ひる。(屁を)
こく。[否] ぴさぬ
- ぴいすん^カ [pi:sun] [動] 拾う。[否] ぴさぬ
- ぴいせー^カ [pi:se:] [名] 台地上の平地。
- ぴいせー^カ [pi:se:] [名] 平得。石垣島の集落名。^{ひらえ}
- ぴいそ^カはん [pi:sohan] [形] 広い。

- ぴいとうㄌ [p̥itu] [名] ① 人。人間。② 他人。
 ぴいとういしㄌ [p̥itu.ifi] [名] 一息。
 ぴいとうかたㄌ [p̥itukata] [名] 一方。片側。
 ぴいとうきぱㄌ [p̥itukipa] [名] 一畝。
 ぴいとうごはすん [p̥itugohasun] [句] 人怖じ
 する。人見知りをする。
 ぴいとうしぐとㄌ [p̥itufigutu] [名] 一仕事。
 ぴいとうっしㄌ [p̥ituffi] [名] 一切れ。
 ぴいとうすこーん [p̥itusuko:n] [句] 人を使
 う。
 ぴいとうすなㄌ [p̥itusuna] [名] 一品。
 ぴいとうだぎㄌ [p̥itudagi] [名] 人並に。
 ぴいとうたなぐん [p̥itutanagun] [句] 人に頼
 る。人頼み。
 ぴいとうぴれーㄌ [p̥itupire:] [名] 付き合い。交
 際。
 ぴいとうむしㄌ [p̥itumuʃi] [名] 一度。一回。
 ぴいとうゆーㄌ [p̥ituju:] [名] 一晚。一夜。
 ぴいとうりㄌ [p̥ituri] [名] 独り。一人。
 ぴいとうりたまㄌ [p̥ituritama] [名] 一人っ子。
 ぴいとうりふちㄌ [p̥iturifutʃi] [名] 独り言。
 ぴいなㄌ [p̥ina] [名] 皺。〔備〕 日本語の「襷
 (ひだ)」に対応。
 ぴからすんㄌ [p̥ikarasun] [動] 光らせる。磨い
 て光らせる。〔否〕 ぴからはぬ
 ぴかるんㄌ [p̥ikarun] [動] 光る。〔否〕 ぴから
 ぬ
 ぴきㄌ [p̥iki] [名] 竿秤。
 ぴきㄌ [p̥iki] [名] 血筋。血統。
 ぴきㄌ [p̥iki] [名] 引き。引くこと。
 ひきあうんㄌ [h̥iki.aun] [動] 引き合う。相当
 する。〔否〕 ひきあわぬ
 ひきあんぎるんㄌ [h̥iki.angirun] [句] 引き揚
 げる。
 ひきうきるんㄌ [h̥iki.ukirun] [動] 引き受け
 る。〔否〕 ひきうくぬ
 ぴきうしㄌ [p̥iki.ufi] [名] 引き白。
- ぴきうらすん [p̥iki.urasun] [動] 引き下ろす。
 〔否〕 ぴきうらはぬ
 ぴきうるすん [p̥iki.urusun] [動] 引き下ろす。
 ぴきけーすんㄌ [p̥ikike:sun] [句] 引き返す。
 ぴきさくんㄌ [p̥ikisa:kun] [動] 引き裂く。〔否〕
 ぴきさかぬ
 ぴきさんぎるんㄌ [p̥ikisangirun] [動] 引^ひっ提^き
 げる。〔否〕 ぴきさんぐぬ
 ぴきさんぎんㄌ [p̥ikisaŋgin] [句] ぶら下げる。
 ぴきしいきんㄌ [p̥ikiʃikin] [句] ① 引き付け
 る。引っ張る。② 痙攣する。
 ぴきすーㄌ [p̥ikisu:] [名] 引き潮。
 ぴきそーるんㄌ [p̥ikiso:run] [句] 引き連れる。
 ぴきだーすん [p̥ikida:sun] [句] 引き出す。
 ぴきとーすん [p̥ikito:sun] [句] 引き倒す。
 ぴきとうるんㄌ [p̥ikiturun] [動] 引き取る。〔否〕
 ぴきとうらぬ
 ぴきなんㄌ [p̥ikinan] [名] 曳き縄漁。
 ぴきぬ ぶり [p̥ikinu furi] [名] 分銅。
 ぴきぬぐんㄌ [p̥ikinugun] [動] 引き抜く。抜
 き出す。〔否〕 ぴきぬがぬ
 ぴきぬばすんㄌ [p̥ikinubasun] [動] 引き伸ば
 す。〔否〕 ぴきぬばはぬ
 ぴきはかるん [p̥ikihakarun] [句] 引^ひっかかる。
 ぴきやどうㄌ [p̥ikijadu] [名] 引き戸。
 ぴきやぶるんㄌ [p̥ikijaburun] [動] 引き破る。
 〔否〕 ぴきやぶらぬ
 ぴきゆしるんㄌ [p̥ikijusirun] [動] 引き寄せる。
 寄せ集める。〔否〕 ぴきゆするぬ
 びぎりㄌ [bigiri] [名] 男の兄弟。「女の兄弟」
 は〈ぶなり〉。
 ぴきんだすん [p̥ikindasun] [動] 引き出す。〔否〕
 ぴきんだはぬ
 ぴく [p̥iku] [副] 早く。すぐに。
 ぴくだりㄌ [p̥ikudari] [副] 早めに。早く。
 ぴくらやむんㄌ [p̥ikurajamun] [動] 痺^{しび}れる。
 〔否〕 ぴくらやまぬ

- ぴくん¹ [pikun] [動] 引く。弾く。[否] ぴかぬ
 ぴくん¹ [pikun] [動] 穴をあける。
 ぴくん¹ [pikun] [動] (白を) 挽く。[否] ぴかぬ
 ぴぐん¹ [pigun] [動] ^{けず}削る。[否] ぴがぬ
 ぴこ¹はん [pikohan] [形] 危ない。危険だ。
 ぴさんたらすん¹ [pisan tarasun] [動] 潰れる。平たくなる。ひしゃげる。[否] ぴさんたらはぬ
 ぴじがら¹ [pidzigara] [名] ^{かつお}鰹の削りかす。
 ぴしじ¹ [bidzidzi] [名] 礎石。土台。
 ぴしゃ¹はん [pishahan] [形] 寒い。冷える。
 ぴじゆる¹さーん [pidzurusa:n] [形] 冷たい。
 ぴしょー¹ [biʃo:] [名] (磯に続く) 浅瀬。
 ぴしるん¹ [bisirun] [動] 据える。[否] びすぬ
 ひすくり¹ [hisukuri] [名] 家造り。
 ひすくりよい¹ [hisukurijoi] [名] 家の落成祝い。
 ぴそーぎるん [piso: girun] [動] ① 広げる。拡大する。広げて敷く。② 延べる。延ばす。[否] ぴそーぐぬ
 ぴたこら¹ [bitakora] [名] 酒に酔う。
 ひだみるん¹ [hidamirun] [動] 隔てる。離れる。[否] ひだみぬ
 ひだみん¹ [hidamin] [動] 隔てる。離れる。
 ぴちい¹ [bitʃi] [名] 別。
 ぴちい¹ [pitʃi + 02983] [名] ^{ひつじ}未。十二支の未。
 ぴちいぬ¹ [bitʃinu] [名] 別の。他の。
 ぴちいびちい [bitʃibitʃi] [副] 別々。
 ぴちゃびちゃ [bitʃabitʃa] [擬] じめじめ。湿っているさま。
 ぴっしゃ¹ [piʃʃa] [名] 筆者。書記。王府時代の役人。
 ぴっちゆる¹ [bittʃuru] [名] 陽石。男根をかたどった石。
 ぴてー¹ [pite:] [名] 畑。
 ぴてーぎ¹ [pite:gi] [名] 畑。
 ぴてーすうぬ¹ [pite:sunu] [名] 野良着。作業着。
 ぴてー¹すくるん¹ [pite:sukurun] [名] 畑仕事。農作業。
 ぴてーひ¹ [pite:hi] [名] 畑小屋。
 ぴてん¹ [pitɛn] [名] ^{いちにち}一日。
 ぴてんぴじゅ [pitɛmpidʒu] [名] 一日中。終日。
 ぴとうち¹ [pitutʃi] [名] 一つ。簡略化: てい。
 ぴとうみしり すん [pitumifiri sun] [名] 人見知りをする。
 びどうむ¹ [bidumu] [名] 男。男性。
 ひな¹ のーぬ¹ [hina no:nu] [名] 留守。「家に居ない」の意。
 ひなかん¹ [pinakan] [名] 火の神。台所の守護神。
 ひながん¹ [pinagan] [名] 太陽の^{かさ}量。^{かさ}量。
 ひな¹さーん [binasa:n] [名] 病弱だ。
 ひな¹はん [pinahan] [名] 劣る。貧弱だ。
 ひなり¹ [pinari] [名] 左。左方。
 ひなるん¹ [pinarun] [動] 減る。減少する。[否] ぴならぬ
 ひに¹ [pini] [名] ^{ひげ}鬚。
 ひにるん¹ [pinirun] [動] ^{ひね}捻る。[否] ぴぬぬ
 ひぬばん¹ [hinuban] [名] 留守番。
 ひぱちい¹ [pipatʃi] [名] ヒハツモドキ。香辛料の植物。
 ひぱり¹ [pipari] [名] 地割れ。旱害。旱魃による田畑の地割れ。
 『ひばん』むり [hibammuri] [名] 火番盛。王府時代の烽火台。
 びびんたま¹ [bibintama] [名] 小指。
 ひま¹ [pima] [名] ^{ひま}暇。
 ひみざ¹ [pimidza] [名] ^{やぎ}山羊。
 ひむ¹ [pimu] [名] (魚の) えら。
 ぴゃーぐ¹ [pja:gu] [名] 百。

- ぴゃっかるん [pjakkaruN] [動] 這って進む。
 [否] ぴゃっからぬ
- ぴゃんが [pjaŋga] [名] お転婆。お転婆娘。
- ぴゅーびゅー [bju:bju:] [擬] ひゅうひゅう。
 穴やすきま風が吹きぬける音の形容。
- ひよー [hijo:] [名] 日雇い。
- びよーはん [bjo:han] [形] 痒い。^{かゆ}
- びよすた [bjosuta] [副] 一目散に。
- ぴょん [pjɔN] [名] 足跡。
- びら [bira] [名] 蕪。^{にら}
- びら [pira] [名] 篋。^{へら}
- びらーすん [bira:sun] [動] 中毒させる。[否]
 びらはぬ
- ぴらい [pirai] [名] 付き合い。交際。
- びらがすん [biragasun] [動] 押しつぶす。押し
 して平たくする。[否] びらのはぬ
- ひらきるん [hirakiruN] [動] ① 開ける。②
 発展する。[否] ひらくぬ
- びらぐ [biragu] [名] 竹製の食べ物籠。
- ぴらぐ [piragu] [名] 寒気。寒波。
- ぴらす [pirasu] [名] 付き合い。交際。
- ぴらすか [pirasuka] [名] 怠惰な農夫。下手
 な農夫。
- ぴらすん [pirasun] [動] 冷やす。冷ます。[否]
 びらはぬ
- ぴらすん [pirasun] [動] おどける。[否] び
 らはぬ
- びらま [birama] [名] 兄さん。年上の男性を
 指す。
- ぴり [piri] [-] 冷える。冷たい。
- ぴりかち [pirikatʃi] [名] 冷たい風。涼風。
- ぴりかなば [birikanaba] [名] クワズイモ。毒
 のある植物。
- ぴりがるん [pirigarun] [動] 澄む。沈澱する。
 [否] ぴりがらぬ
- ぴりしゃー すん [piriʃa:sun] [句] 涼む。
- ぴりしゃはん [piriʃahan] [形] 涼しい。
- ぴりふつありむぬ [pirifutsarimunu] [名] 冷
 や飯。冷えた食事。
- ぴる [piru] [名] 昼。昼間。
- ぴる [piru] [名] 大蒜。^{にんにく}
- ぴるぬ うち [pirunu utʃi] [句] 昼間。昼の内
 に。
- ぴるまさん [pirumasan] [形] 不思議だ。珍し
 い。
- ぴるまはん [pirumahan] [形] 不思議だ。珍
 しい。
- ひるまるん [hirumarun] [動] 広がる。広ま
 る。噂などについていう。[否] ひるまらぬ
- ぴるまるん [pirumarun] [動] 広まる。広が
 る。[否] ぴるまらぬ
- ひるみるん [hirumiruN] [動] 広める。広げ
 る。流行らせる。[否] ひるむぬ
- ひるみん [hirumin] [動] 広める。広げる。流
 行らせる。[否] ひるむぬ
- ひるん [hirun] [動] あげる。与える。[否] ふ
 ーぬ
- びるん [birun] [動] 座る。[否] びらぬ
- ぴん [pin] [名] 笛。竹笛。
- ぴん [pin] [名] 稗。^{ひえ}
- ぴん [pin] [名] 日。日にち。^ひ
- ぴん [pin] [名] 屁。
- ぴんがすん [pingasun] [動] 逃がす。[否] ぴ
 んがはぬ
- ぴんがん [pingan] [名] 彼岸。
- ぴんぎまーるん [pingima:run] [動] 逃げ回
 る。[否] ぴんぎまーらぬ
- ぴんぎるん [pingiruN] [動] 逃げる。逃亡す
 る。[否] ぴんぐぬ
- ぴんくるん [pinkurun] [動] 決る。
- ぴんぐるん [pingurun] [動] 冷える。凍える。
 [否] ぴんぐらぬ
- ひんすん [hinsun] [動] すねる。[否] ひん
 さぬ

- ぴんそー¹ [pinso:] [名] 貧乏。貧しい。
 ぴんだま¹ [pindama] [名] 火の球。人魂。
 ぴんちい¹ [pintʃi] [名] 日付。日和。日数。
 ひんとー¹ [hinto:] [名] 返事。返答。
 びんとー¹ [binto:] [名] 弁当。
 ぴんとまらすん¹ [pintomasun] [動] 尖らせる。
 [否] ぴんとまらぬ
 ぴんとまり [pintomari] [名] 鋭く尖った。
 ぴんとまるん¹ [pintomarun] [動] 尖る。
 [否] ぴんとまらぬ
 ぴんふつあ¹はーん [pimfutsaha:n] [形] 屁臭い。
 屁の臭いがして臭い。
 ぶー¹ [bu:] [名] ^{ひも}紐。
 ぶー¹ [bu:] [名] ^{ちよま}苧麻。上布の原料。
 ぶー [bu:] [接頭] ^{おお}大。大。大きい。〈ぶーいし〉「大石」、〈ぶーあみ〉「大雨」など。
 ぶー¹ [pu:] [名] ^ほ穂。植物の穂。
 ぶー¹ なすん¹ [fu: nasun] [句] 古くする。
 ぶー¹ なるん¹ [fu: narun] [句] 古くなる。古む。古びる。
 ぶーがー¹ [fu:ga:] [名] 大川。地名。石垣市の字名。
 ぶーかち¹ [bu:katʃi] [名] 大風。台風。
 ぶーき [pu:ki] [名] 暑気。猛暑。
 ぶーき¹ [pu:ki] [名] マラリア。熱病。
 ぶーく¹ [fu:ku] [名] 奉公。
 ぶーさ¹ なすん¹ [bu:sa nasun] [句] 多くする。増やす。増す。
 ぶーさ¹ なるん¹ [bu:sa narun] [句] ① 多くなる。増える。② 成長する。
 ぶーさた [fu:sata] [名] 黒糖。黒砂糖。
 ぶーさら [bu:sara] [名] 大皿。
 「ぶー¹し [fu:ʃi] [副] 黒く。黒ずむ。
 「ぶー¹し なるん¹ [fu:ʃi narun] [句] 黒む。黒くなる。黒ずむ。黒みを帯びる。
 ぶーしけん [bu:ʃiken] [名] 満月。
 ぶーすー¹ [bu:su:] [名] 大潮。
 ぶーすうぬ¹ [fu:sunu] [名] 古着。
 ぶーたい¹ [furai] [名] 風袋。軽量のときの入れ物の重さ。
 ぶあどうまるん¹ [fadumarun] [動] 薄暗くなる。
 [否] ぶあどまらぬ
 ぶーどうり¹ [bu:duri] [名] 居所。住所。
 ぶーなん¹ [bu:nan] [名] 大波。津波。
 「ぶーぬ¹」むぬ [pu:nu munu] [句] 穀物。穂の物の義。
 ぶーばた¹ [bu:bata] [名] 胃。胃袋。
 ぶーび¹ [bu:bi] [名] 親指。
 ぶー¹ひー¹ [bu:hi:] [名] 母屋。
 ぶーびいとう [bu:pitu] [名] 大きな人。偉い人。
 ぶーりん¹ [purin] [名] 豊年祭。
 ぶーる¹ [fu:ru] [名] ^{かわや}厠。便所。
 ぶーん¹ [fu:n] [動] ① 閉じる。閉める。② 蓋をする。
 [否] ぶはぬ
 ぶーん¹ [fu:n] [感] 人の感情を害するようなことを言う。
 ぶい¹ [bui] [名] 甥。姪。
 ぶい¹っしん¹ [fui ʃʃin] [句] 振って落とす。
 ぶいーつあるん [fi:tsarun] [動] 身震いする。寒気がする。
 [否] ぶいーつあらぬ
 ぶいふあー¹ [buifa:] [名] 甥。姪。
 ぶか¹ [fuka] [名] ^{そと}外。他。
 ぶ¹が¹き [bugaki] [名] ヤエヤマアオキ。植物名。
 ぶがじ¹ [fugadzi] [名] ^{あおがんび}青雁皮。和紙の原料。
 ぶかすん¹ [fukasun] [動] (篩で) ^こ濾す。
 [否] ぶかはぬ
 ぶかすん¹ [fukasun] [動] (湯を) 沸かす。
 [否] ぶかはぬ
 ぶかな [fukana] [句] 別に。外に。
 ぶか¹はん [fukahān] [形] 深い。
 ぶがま [bugama] [名] クロヨナ。植物名。
 ぶかまー¹ [fukama:] [名] 外孫。

- ふかまーり1 [fukama:ri] [名] 外回り。外出。
- ふかむら1 [fukamura] [名] ^{ふか}富嘉村。波照間島の集落名。「外村」とも書く。
- ふがら1 [fugara] [名] クロツグの繊維。黒縄の材料。
- ふかりるん1 [fukarirun] [動] (風に) 吹かれる。(風に) 当たる。[否] ふかーるぬ
- ぶがりるん1 [bugarirun] [動] 疲れる。疲労する。[否] ぶがるぬ
- ふき1 [fuki] [名] 莖。芽。
- ふきありるん1 [fuki.arirun] [動] 吹き荒れる。吹きまくる。[否] ふきあるぬ
- ふきーるん1 [fuki:run] [動] 気絶する。失神する。
- ふきけーし1 [fukike:ji] [名] 台風の吹き返し。
- ふきつあーるん1 [fukitsa:run] [動] (帯が下に下がって) だらしない姿をする。
- ふきつつあーるん1 [fukittsa:run] [動] 緩む。緩くなる。
- ふきるん1 [fukirun] [動] ^{くぐ}潜る。^{くぐ}潜り抜ける。
- ふきん1 [fukin] [動] 卒倒する。
- ふきん1 [fukin] [動] 嘯る。高鳴きする。
- ふきんじるん1 [fukindzirun] [動] 勢いよく溢れる。[否] ふきんどうぬ
- ふく1 [fuku] [名] 石垣。
- ふく1 [fuku] [名] 粉。粉末。
- ふく1 [fuku] [名] 肺臓。
- ふく なるん [fuku narun] [句] 粉々に割れる。
- ふくじい1 [fukudzi] [名] ^{ほこり}埃。
- ふくた1 [fukuta] [名] ぼろの着物。防寒着。
- ふくな1 [fukuna] [名] ハルノノゲシ。雑草名。
- ふくなすん1 [fukunasun] [動] 砕く。粉々にする。粉末にする。[否] ふくなはぬ
- ふくなるん1 [fukunarun] [動] 粉々になる。[否] ふくならぬ
- ぶくぶく [bukubuku] [擬] ブクブク。泡が出るさま。
- ふくますん1 [fukumasun] [動] 含ませる。[否] ふくまはぬ
- ふくむん1 [fukumun] [動] ^{ふく}含む。[否] ふくまぬ
- ふくむん [fukumun] [動] (味などが) しみ込む。
- ぶくむん1 [bukumun] [動] ① 取り混ぜる。② ぶち込む。放り込む。[否] ぶくまぬ
- ふくら1 さーん [fukurasa:n] [形] ふんわりする。
- ふくらすん1 [fukurasun] [動] 膨らます。
- ふくら1 はん [fukurahan] [形] ありがたい。
- ふくらび1 [fukurabi] [名] カワハギ。魚類名。
- ふくらますん1 [fukuramasun] [動] 膨らませる。
- ふくりるん1 [fukurirun] [動] 膨れる。腫れる。[否] ふくるぬ
- ふくりん1 [fukurin] [動] ① ^{ふくら}膨らむ。② (水を含んで) 膨れる。
- ふくる1 [fukuru] [名] ^{ふくら}袋。
- ふくるさ1 はん [fukurusahan] [形] ふんわりする。
- ふくるふくる [fukurufukuru] [擬] ふっくらとした様。
- ふくるん1 [fukurun] [動] 括る。縛る。[否] ふくらぬ
- ふくん1 [fukun] [動] (屋根を) 葺く。[否] ふかぬ
- ふごー1 [fugo:] [名] 不合格。不合格の短略。
- ふこーら1 はーん [fuko:raha:n] [形] ありがたい。同等以下にしか用いない。
- ふこ1 はん [fukohan] [形] (畑が) じめじめする。
- ふこん1 [fukon] [名] 福木。樹木名。暴風林になる。

ぶざ¹ [budza] [名] 百姓。平民。王府時代の
下層身分。

ふさがるん¹ [fʊsagarun] [動] ① 塞がる。②
邪魔になる。[否] ふさがらぬ

ふさぐん¹ [fʊsagun] [動] 塞ぐ。閉じる。

ぶざすけー¹ [budzasuke:] [名] 床の間の神棚。
ぶさは¹ なるん¹ [busaha narun] [句] 大きく
なる。成長する。

ぶさ¹はん [busahan] [形] ① 大きい。② 多
い。

ぶざま¹ [budzama] [名] 叔父。伯父。

ふし¹ [fʊʃi] [名] 節。

ぶし¹ [buʃi] [名] 武士。強力者。

ふしうた¹ [fʊʃi.uta] [名] 節歌。

ふしがらぬ [fʊʃigarunu] [句] 我慢できない。

ふしきるん¹ [fʊʃikirun] [動] (口に) くわえ
る。食いつく。(歯で) 噛む。食い切る。[否]
ふしくぬ

ふしぐん¹ [fʊʃigun] [動] 防ぐ。[否] ふしがぬ

ぶしゃ¹ [buʃa] [名] 長兄。

ぶす¹ [busu] [名] 潮水。

ぶすうま¹ [fʊsuma] [名] 黒島。八重山諸島の
島の名。

ぶすく¹ [fʊsuku] [名] 不足。

ぶすとう なるん [busutu narun] [句] 育つ。
成長する。

ぶすぷ¹ [busupu] [名] 尾。尻尾。

ふた¹ [fʊta] [名] 蓋。

ふだー¹ [fuda:] [名] 札。

ふたーち¹ [fʊta:tʃi] [名] 二つ。

ふたーちい¹ばぎ¹ [fʊta:tʃu:bagi] [句] 両方と
も。二つとも。

ふだいり¹ [fuda.iri] [名] 札入れ。投票。

ふたうや¹ [fʊta.uja] [名] 両親。

ふたかた¹ [fʊtakata] [名] 両方。

ふたぎな¹ [fʊtagina] [副] 今すぐ。直ちに。

ふたし¹ [fʊtaʃi] [名] 両手。両手で。

ふたしみ¹ [fʊtaʃimi] [名] 守宮。

ふたじろー¹ [fʊtadʒiro:] [名] 食べ物を入れる
竹籠。

ふたち¹ [fʊtatʃi] [名] 二つ。簡略化〈たー〉。

ふたなんが¹ [fʊtananga] [名] 二週忌。

ふだにん¹ [fudani:n] [名] 札人。正丁。王府時
代の課税対象の成人。

ふたばぎ¹ [fʊtabagi] [句] 二等分。折半。

ふたびし¹ [fʊtabiʃi] [名] 間。合間。

ふたまた¹ [fʊtamata] [名] 二股。二又。

ふたみん¹ [fʊtamin] [名] 両目。

ふたり¹ [fʊtari] [名] 垢。汚れ。

ふち¹ [fʊtʃi] [名] 口。

ふち¹ [fʊtʃi] [名] 筆。毛筆。

ふち¹ [fʊtʃi] [名] 櫛。

ぷち¹ [pʊtʃi] [名] 星。

ふちい¹ [fʊtʃi] [名] 草鞋。靴。藁製はくばら-ふ
ちい〉と言う。

ふちい¹ [fʊtʃi] [名] 縁。

ふちいかる¹はん [fʊtʃikarohan] [形] 口が軽
い。

ふちいくばはん [fʊtʃikupahan] [形] ① 口下
手だ。訥弁だ。② 口が重い。吃りがちだ。

ふちいぬ¹ ぱん¹ [fʊtʃinu pan] [句] 歯。[備]
直訳「口の歯」。同音同アクセントの〈ぱん〉
「足」と区別するためか。

ふちいやにつしやーん [fʊtʃijaniʃʃa:n] [形] 口
汚い。言うことが汚い。

ふちいやば¹はん [fʊtʃijabahan] [形] 口達者
だ。能弁だ。

ふちくる [fʊtʃikuru] [名] 懐。

ふちぬ¹ すぱ¹ [fʊtʃinu sʊpa] [句] 唇。直訳
「口の唇」。

ふちめー¹ [fʊtʃime:] [名] 台所。炊事場。

ふち¹やぶら¹ [fʊtʃijabura] [名] 食欲がないこ
と。

ふちり¹ [fʊtʃiri] [名] 薬。薬品。

ぷちり¹ [putʃiri] [名] 稲光。稲妻。

ぷちんた [putʃinta] [擬] ぷつんと。ぷつりと。
さくりと。糸や縄が切れるさま。

ぷちんた [putʃinta] [擬] ぽきりと。ぽきっと。
軽くものが折れるさま。

ふつ¹ [futsu] [名] 糞^{くそ}。

ぷつ¹ [putsu] [名] 臍^{へそ}。

ふつ¹ まりぽーるん¹ [futsu maripo:run] [句]
(大便を) 排泄し散らかす。

ふつあ¹ [futsa] [名] 草。雑草。

ふつあーすん¹ [futsa:sun] [動] 煮返す。再び
沸騰させる。[否] ふつあはぬ

ふつああん [futsa.an] [名] 建て網の一種。

ふつあ¹はん [futsahan] [形] 臭い。悪臭がす
る。

ふつあはん [futsahan] [形] 欲しい。欲しが
る。

ふつあび¹ [futsabi] [名] ベラ。魚類名。

ふつあび [futsabi] [名] 楔^{くさび}。

ふつあまら¹ [futsamara] [名] 雨乞い祈願の
仮面神。

ふつあらし¹ [futsaraji] [名] 草むら。

ふつあらすん¹ [futsarasun] [動] 腐らせる。[否]
ふつあらはぬ

ふつありかー [futsarika:] [名] 腐臭。悪臭。

ふつありん¹ [futsarin] [動] 腐る。腐敗する。

ふつあるん¹ [futsarun] [動] ① 塞がる。②
(目を) 閉じる。[否] ふつわらぬ

ふつあんだに¹ [futsandani] [名] 草。雑草。

ぷつおー¹ [putso:] [名] 煙草入れ。

ふつかばり¹ [fukkabari] [-] 黒い。黒ずむ。

ふつがら¹ [futsugara] [名] オオタニワタリ。
植物名。

ふつくれー [futsukure:] [感] 嫌だ。不承知だ。
「くそくらえ」の義。

ぶった [butta] [助] だらけ。

ふっひ¹ [fushi] [名] 冬。冬季。

ふっひ ししるん [fushi ʃʃirun] [動] 振り捨て
る。振り払う。

ふっふあ¹ [ffa] [名] 倉。穀物倉。

ふっふあ¹ [ffa] [名] 鞍^{くら}。

ふつ¹ふつあ¹はん¹ [futsufutsaha:n] [形] 糞
臭い。糞の臭いがする。

ふつふん¹ [fufun] [動] 振る。[否] ふつわぬ

ふつふん¹ [ffun] [動] 揺れる。振動する。[否]
ふつわぬ

ふつふん¹ [ffun] [動] (雨が) 降る。[否] ふ
つふあぬ

ふつ¹まるん¹ [futsumarun] [句] 糞を垂れる。
排便する。

ふつるん¹ [futsurun] [動] 漁る。探し回る。[否]
ふつらぬ

ふつん¹ [futsun] [動] 沸騰する。煮立つ。[否]
ふつあぬ

ぷつん¹ [putsun] [動] 干す。乾かす。[否] ぷ
つあぬ

ふてー¹ [fute:] [名] 額^{ひたい}。

ぶとう¹ [butu] [名] 夫。

ぶとうぎるん [putugirun] [動] 解^{ほど}ける。糸や
結んだ物などが解ける。[否] ぶとうぐぬ

ぶとうぎん¹ [putugin] [名] 仏。仏様。

ぶとうぎんぬ¹ めー¹ [putuginnu me:] [句] 仏
の前。仏前。

ぶとうぐん¹ [putugun] [動] 解^{ほど}く。[否] ぶと
うがぬ

ぶとうち¹ [bututi] [名] 一昨日^{おととい}。

ぶとうちばん¹ [fututʃipan] [名] 虫歯。

ぶとうちるん¹ [fututʃirun] [動] 朽^くちる。[否]
ぶとうとうぬ

ぶとうぶとう [futufutu] [擬] どきどき。ぶる
ぶる。不安、心配、怒り、恐怖などで興奮す
る様。

ぶとうぶとう [butubutu] [擬] 沸騰する様。物
が煮えたぎる様。

- ぶとうむち [butumutʃi] [名] 結婚する。嫁に行く。「夫を持つ」の義。
- ぶどうり [buduri] [名] 踊り。舞踊。
- ぶどうるん [budurun] [動] 踊る。
- ぶなが [bunaga] [名] 祭。祭礼。
- ふなぐん [funagun] [動] 叩く。砕く。[否] ふながぬ
- ふなたび [funatapi] [名] 船旅。
- ふなだま [funadama] [名] 船霊。
- ふなだまり [funadamari] [名] 船の停泊場所。船溜り。
- ふなでーぐ [funade:gu] [名] 船大工。
- ふなどうり [funaduri] [名] メジロ。鳥の名。
- ふなはこー [funahako:] [名] 水夫。船員。
- ふなばに [funabani] [名] 船の横板。横舷。
- ぶなび [bunabi] [名] よなべ。夜業。
- ぶなびやー [bunabija:] [名] よなべ小屋。王府時代の夜業小屋。
- ふなぶ [funabu] [名] 蜜柑。
- ぶなり [bunari] [名] 姉妹。
- ぶなりかん [bunarikan] [名] 姉妹神。
- ふに [funi] [名] 船。船舶。
- ぶに [puni] [名] 骨。骨格。
- ぶにやしみ [punijajimi] [名] 骨休め。休養。
- ふにんじるん [funindzirun] [句] 出港する。船が出るの義。
- ぶぬ [bunu] [名] ^{おの}斧。
- ふねー [fune:] [名] 船酔い。
- ふのーら [funo:ra] [名] 船浦。船の停泊地。
- ぶば [buba] [名] 伯母。叔母。
- ふばむに [fubamuni] [名] 冗談。
- ふひつあるん [fuhitsarun] [動] 寒くて震える。[否] ふひつあらぬ
- ふみあぎるん [fumi.agirun] [動] 褒めあげる。褒め讃える。
- ふみるん [fumirun] [動] 褒める。[否] ふむぬ
- ふむむぬ [fumumunu] [名] 履物。
- ふむん [fumun] [動] (履物を)はく。[否] ふまぬ
- ふむん [fumun] [動] (水を)汲む。[否] ふまぬ
- ふむん [fumun] [動] 編む。竹などで編む時にいう。[否] ふまぬ
- ふむん [fumun] [動] (足で)踏む。[否] ふまぬ
- ふもーらすん [fumo:rasun] [動] 煙を立てる。[否] ふもーらはぬ
- ふもん [fumon] [名] 雲。
- ぶや [buja] [名] 祖父。おじいさん。
- ふゆー [fuju:] [名] 怠け。不精。
- ふゆーむぬ [fujumunu] [名] 怠け者。不精者。
- ふゆな むぬ [fujuna munu] [句] 不精者。
- ぶら [bura] [名] ^{つるべ}釣瓶。
- ぶら [bura] [名] ^{ほら}法螺貝。楽器の法螺。
- ぶら [bura] [名] (楽器の)法螺。
- ふらー [fura:] [名] 馬鹿。馬鹿者。
- ふらふら [furafura] [擬] ふらふらっと。目眩がする様。気が遠くなる様。
- ぶりー [buri:] [名] 失礼。無礼。
- ぶりばーり [puribari] [名] 馬鹿笑い。大笑い。
- ふりはきん [furihakin] [動] 振りかける。[否] ふりはくぬ
- ぶ^りり^り すん [puripuri sun] [句] ぼんやりする。
- ふりまーすん [furima:sun] [動] 振り回す。[否] ふりまーさぬ
- ぷりむに [purimuni] [名] 虚言。嘘。
- ぷりむぬ [purimunu] [名] 気違い。馬鹿者。
- ぶりるん [burirun] [動] (波が)荒れる。[否] ぶるぬ
- ぶりるん [burirun] [動] 折れる。[否] ぶる

- ぬ
- ぷりるん\\ [purirun] [動] ① 惚れる。② 気が狂う。[否] ぶるぬ
- ふるばすん\\ [fʉrubasun] [動] 滅ぼす。[否] ふるばさぬ
- ふるぶん\\ [fʉrubun] [動] 滅ぶ。[否] ふるばぬ
- ふるや\\ [furuja] [名] ^{かわや} 厠。便所。
- ぶるん\\ [burun] [動] 折る。収穫する。[否] ぶらぬ
- ぶるん\\ [burun] [動] (木の実などを) 摘む。[否] ぶらぬ
- ぶるん\\ [burun] [動] 摘み折る。もぎ取る。[否] ぶらぬ
- ぶるん\\ [pʉrun] [動] 掘る。彫る。[否] ぶらぬ
- ふわどうまり\\ なるん\\ [ffwadumari narun] [句] ① 暗くなる。② 曇る。
- ふわむん\\ [fwamun] [動] ① 暗くなる。(日) が) 暮れる。② 曇る。[否] ふわーまぬ
- ふわ\\はん [fʉwahan] [形] 暗い。
- ふん\\ [fun] [名] 釘。
- ふん\\ [fun] [名] 運。
- ぶん\\ [bun] [動] 居る。〈ぶなー〉「居るか」。[否] ぶらぬ
- ぶん\\ [bun] [名] 恩。恩義。[備] 「恩」の転訛。
- ぶん\\かいすん\\ [bunkaisun] [動] 恩を返す。
- ぶんぎ\\ [bungi] [名] 恩。恩義。[備] 「恩義」の転訛。
- ふんさまるん\\ [funsamarun] [動] ふん縛る。
- ふんしー\\ [funʃi:] [名] 風水。風水学。
- ふんしきるん\\ [funʃikirun] [動] 踏みつける。[否] ふんすくぬ
- ふんた\\ [funta] [名] 床。板床。
- ふんだやー [fundaja:] [名] 我がままだ。勝手放題だ。
- ぶんちうちん\\ [buntʃi.utʃin] [動] 跳び下りる。[否] ぶんちうとうぬ
- ふんつあーすん\\ [funtsa:sun] [動] 踏みにじる。踏みつける。しきりに踏む。[否] ふんつあーさぬ
- ふんつん\\ [funtsun] [動] 跳ぶ。命令形は〈ぶんち〉。[否] ぶんつあぬ
- ふんでー\\ [funde:] [名] 我がまま。あまつたれ。
- ふんでー すむん [punde: sʉmun] [動] 甘やかす。[否] ふくらはぬ
- ふんとー\\ [funtʉ:] [名] 本当。真実。
- ぶんどーり [bunduri] [名] 踊り。舞踊。
- ぶんどーるん\\ [bundurun] [動] 踊る。舞う。[否] ぶんどーらぬ
- ふんぱんちるん\\ [fumpantʃirun] [動] 踏み外す。
- ふんぱんつあすん\\ [fumpantsasun] [動] 踏み外す。[否] ふんぱんつあはぬ
- ふんびらがすん\\ [fumbiragasun] [動] 踏み潰す。[否] ふんびらがはぬ
- ふんまるぐん\\ [fummarugun] [動] 強く束ねる。[否] ふんまるがぬ
- べー\\ [be:] [副] 少し。わずか。
- べー\\ [be:] [名] 我。我が。〈べーま〉「我ら」、〈べーひー〉「我が家」、〈べーすま〉「我が島」など。
- べー\\ [be:] [名] 芽。
- べー [be:] [感] わあー。へえー。
- ペー\\ [pe:] [名] 南。南方。
- ペー\\ [pe:] [名] ^{くわ} 鋏。
- ペー\\ [pe:] [名] ^{はえ} 蠅。
- へー\\ あますん\\ [he: amasun] [句] 食い残す。食い余す。
- ペーかち\\ [pe:kʌtʃi] [名] 南風。
- へーじぶん\\ [he:dʒibun] [名] 食べ頃。
- ペーしゃな\\ [pe:ʃana] [副] 早く。急いで。

- ペーしゅら¹ [pe:ʃura] [名] 夕立ち。
- ペーすま [be:sɯma] [名] 我が島。(島民間で) 波照間島。島民間では波照間島を指す。島外の人を除いた「我々の島」という表現なので、波照間島の島民のみが使う名称である。
- ペーすん¹ [pe:sun] [動] (釣り糸などを) 這わす。[否] ペーはぬ
- ペーチャー [betʃa:] [感] 羨ましい。
- ペーつあーるん¹ [pe:tsa:run] [動] 這う。這いつくばう。[否] ペーつあーらぬ
- ペー¹な [be:na] [副] 少し。わずか。
- 「ペーぬ¹」かた [pe:nu kaʔa] [句] 南方。
- ヘーぱんちるん¹ [he:pantʃirun] [動] 食い外す。[否] ヘーぱんつぬ
- 「ペー¹び」 [be:bi] [副] 少し。わずか。
- ペーまるん¹ [pe:marun] [動] 早まる。[否] ペーまらぬ
- ペーむら¹ [pe:mura] [名] 南村。波照間の村落名。
- ペーり¹ [pe:ri] [名] 日照り。^{かんぼつ}早魃。
- ペーり しゃーん [pe:ri ʃa:n] [句] ^{かんぼつ}早魃だ。
- ペーりくむん¹ [pe:rikumun] [動] 入り込む。[否] ペーりくまぬ
- ペーりまぎ¹ [pe:rimagi] [名] 早害。
- ペーる¹ [pe:ru] [名] 酢。食酢。
- ペーるん¹ [pe:run] [動] 入る。[否] ペーらぬ
- ペしきびり¹ [pe:ʃikibiri] [名] ひざまずき。正座。
- ペしくらやむん¹ [pe:ʃikurajamun] [動] ^{しび}痺れる。[否] ペしくらやまぬ
- へだま¹ [hedama] [名] 食いしん坊。
- へだま¹さーん [hedamasa:n] [形] 食い意地が汚い。
- ペっかるん¹ [pekkarun] [動] 這う。[否] ペっからぬ
- ペった¹ [petta] [名] 南側。
- 「ペったぬ¹」かた [pettanu kaʔa] [句] 南方。
- ペつつあるん¹ [pettsarun] [動] 這いつくばう。[否] ペつつあらぬ
- へぶたん [hebutan] [句] 食べ尽くす。
- ペふつあ¹ [pefutsa] [名] ^{とび}鳶。
- ペりふちい¹ [perifutʃi] [名] 入口。
- ペるん¹ [perun] [動] 入る。[否] ペらぬ
- ぼー¹ [bo:] [名] 棒。棒術。
- ぼー¹ [bo:] [名] 共同作業。[備] 意味的に八重山の他の方言の〈ゆい〉に対応する。
- ぼー¹ [po:] [名] 帆。
- ぼーがり¹ [bo:gari] [名] 疲れ。疲労。
- ぼーぎぶしい¹ [po:gibuʃi] [名] ほうき星。彗星。
- ぼーぐん¹ [po:gun] [動] 掃く。掃除する。[否] ぼーがぬ
- ぼーしん¹ [po:ʃin] [名] 帆船。
- ぼーす¹ [bo:su] [名] 芒種。季節名。沖縄は梅雨時期に当たる。
- ぼーず¹ [bo:dzu] [名] 坊主。僧侶。
- ぼーち¹ [po:tʃi] [名] ^{ほうき}箒。
- ぼーま¹ [bo:ma] [名] 長姉。
- ぼーま¹ [bo:ma] [名] ^{おおはま}大浜。石垣島の集落名。
- ほーむぬ¹ [ho:munu] [名] 食べ物。食糧。
- ほーらきし¹ [ho:rakiʃi] [名] あほらしい。間抜け。
- ほーらし [ho:raʃi] [-] 威張る。自惚れる。
- ぼーりすくん [po:risukun] [動] 蒔き散らかす。[否] ぼーりしいくな
- ぼーり¹のがすん¹ [bo:rinogasun] [句] 疲れをとる。
- ぼーりぼーり [bo:ribo:ri] [感] お利口さん。
- ぼーりゃん¹ [po:rjan] [動(継)] 散らかる。散らばる。
- ぼーるん¹ [po:run] [動] 散らす。[否] ぼーらぬ
- ほーん¹ [ho:n] [動] 食べる。[否] はーぬ

ぼすん¹ [hosun] [動] 釣る。[否] ほはぬ
 ぼたりるん¹ [botarirun] [動] 疲れる。疲労する。
 [否] ぼたるぬ
 ぼたりん¹ [botarin] [動] 疲れる。[否] ぼたるぬ
 ほっか¹ [hokka] [名] 手品。
 ぽっつあ¹ [pottsā] [名] 包丁。
 ぽっつあーるん¹ [pottsā:run] [動] ばらばらになる。
 ぽっつあらすん [pottsarasun] [動] ばらす。ばらばらにする。
 ぼふあ¹ [bofatta] [擬] さっと貫通するさま。
 ぼふた [bofuta] [名] 全部。
 ぼふた¹ [bofutta] [擬] さっと貫通するさま。
 ぼへぬ [bohenu] [句] ～たくない。〈へぼへぬ〉「食べたくない」など。
 ぼんぎるん¹ [bongirun] [動] 放り投げる。投げ捨てる。
 [否] ぼんぐぬ
 まー¹ [ma:] [名] 間。場所を表す語。
 まー¹ [ma:] [名] 孫。〈またまー〉は「曾孫(ひまご)」。
 まー [ma:] [接頭] 真～。本～。[備] 〈まー〉が付く語は下降型に所属する。
 まー ぴいとうむし [ma: pitumufi] [句] もう一度。
 まー みちん [ma: mitjin] [句] 再来年。
 まーおーび [ma:o:bi] [名] 倍。二倍。
 まーぎ [ma:gi] [形] 大きい。
 まーぎ¹く¹い¹ [ma:gikui] [名] 大声。
 まーぐん¹ [ma:gun] [動] 播く。蒔く。[否] まーがぬ
 まーぐん¹ [ma:gun] [動] 巻く。[否] まーがぬ
 まーさかさー ねーぬ [ma:sakasa: ne:nu] [形] 体調が悪い。
 まーし¹ [ma:ʃi] [名] (～より) まし。良い。
 まーし¹ [ma:ʃi] [名] 箸。[備] 〈おみぱし〉「御

御箸」の転。アクセントより本来母音始まりであることが分かる。
 まーしい¹ [ma:ʃi] [名] (田の) 区画。
 まーじい¹ [ma:dʒi] [名] 一緒。同期生。
 まーしとう¹ [ma:ʃitu] [名] 開き戸。
 まーじゃかち¹ [ma:dʒakətʃi] [名] つむじ風。
 まーす¹ [ma:su] [名] 塩。
 まーすにー¹ [ma:suni:] [名] 塩煮。
 まーすむ¹ [ma:sumu] [名] 本心。本気。
 まーすん¹ [ma:sun] [動] 回す。回転させる。
 [否] まーはぬ
 まーたき [ma:taki] [名] 同等。対等。公平。
 まーち¹ [ma:tʃi] [名] 松。
 まーに¹ [ma:ni] [名] クロツグ。植物名。
 まーぱからさー ねーぬ [ma:pakarasā: ne:nu] [句] 全く利口でない。まるで愚かだ。
 まー¹はん [ma:han] [形] 旨い。美味しい。
 まーび [ma:bi] [副] もっと。
 まーびる¹ [ma:biru] [名] 真昼。日中。
 まーぶり¹ [ma:buri] [名] 魂。靈魂。
 まーぷり¹ [ma:puri] [名] べた惚れ。熱中。
 まーぷりむん¹ [ma:purimun] [名] 大馬鹿者。
 まーべー¹ [ma:be:] [名] 真似。[備] 真似すること。
 まーべー¹ すん¹ [ma:be: sun] [句] 真似する。真似る。
 まーましい¹ [ma:maʃi] [名] まわり。周囲。
 まーみ¹ [ma:mi] [名] 心臓。魚などの心臓。
 まーみ¹ [ma:mi] [名] 豆。
 まーみなん¹ [ma:minan] [名] モヤシ。「豆菜」から。
 まーむしいび¹ [ma:mufipi] [名] 真結び。本結び。
 まーむぬ¹ [ma:munu] [名] 本物。〈ハブ〉「毒蛇」にも言う。
 まーむん [ma:mun] [名] 小麦。
 まー¹らん¹ぶ¹に [ma:rambuni] [名] 馬艦船。近

- 世中期以降の沖縄の帆船。
- まーり¹ [mari] [名] 碗。
- まーり¹ [mari] [名] 周り。周囲。
- まーり¹ [mari] [名] 順番。
- まーり¹ みるん¹ [ma:ri mirun] [句] 見回る。巡回する。
- まーるん¹ [ma:run] [動] 回る。回転する。[否] まーらぬ
- まかすん¹ [makasun] [動] 負かす。[否] まかはぬ
- まかすん¹ [makasun] [動] 任せる。[否] まかはぬ
- まがすん¹ [magasun] [動] 炊事する。[否] まがはぬ
- まぎ¹ [magi] [名] かぶれ。まけ。
- まきしょー [makiʃo:] [感] もういやだ。やるもんか。
- まぎぼーるん¹ [magipo:run] [動] 蒔き散らす。[否] まぎぼーらぬ
- まぎり¹ [magiri] [名] 間切。王府時代の行政区画。
- まきるん¹ [makirun] [動] 負ける。降参する。[否] まくぬ
- まく¹ [maku] [名] 幕。
- まぐる¹ [magukuru] [名] 真心。
- まくとう¹ [makutu] [名] 誠。
- まさむぬ¹ [masamunu] [名] ご馳走。
- まざむん¹ [madzamun] [名] 魔物。妖怪。幽霊。
- まさるん¹ [masarun] [動] 優れる。勝る。[否] まさらぬ
- ましかく¹ [maʃikaku] [名] ミミズク。フクロウの種類。
- ましん¹ [maʃin] [名] 本当だ。
- ますぶどうり¹ [masubuduri] [名] 巻き踊り。豊年祭の時の集団円舞。
- まそーみ¹ [maso:mi] [名] 真正面。御嶽の遥拝所の祭壇。
- また¹ [mata] [副] 又。再び。
- また¹ [mata] [名] 股。又。
- またいちふ¹ [mata.itʃifu] [名] ^{またいとこ}又従兄弟。
- まだぎるん¹ [madagirun] [動] 片付ける。整理する。[否] まだぎらぬ
- またぐい¹ [matagui] [名] 追肥。
- またさ¹ [matasa] [名] 燕。
- またそーり¹ [mataso:ri] [名] 男の再婚。「また嫁を連れる」の義。
- まだ¹はん [madahan] [形] 立派だ。獲物が多い。
- またびし¹ [matabiʃi] [名] 股下。股間。
- またべー¹ [matabe:] [名] 脇芽。
- またまー¹ [matama:] [名] ^ひ曾孫。
- またむち¹ [matamutʃi] [名] 女の再婚。「また夫を持つ」の義。
- またんがるん¹ [matanʒarun] [動] ^{またが}跨る。[否] またんがらぬ
- まちがいん¹ [matʃigain] [動] 間違える。取り違える。
- まちくがりん¹ [matʃikugarin] [動] 待ち焦がれる。[否] まちくがるぬ
- まちげー¹ [matʃige:] [名] 間違い。誤り。
- まちげーるん¹ [matʃige:run] [動] 間違える。[否] まちげーらぬ
- まちぼさーん [matʃibosa:n] [形] 待ち遠しく思う。待ちわびる。
- まちやー¹ [matʃija:] [名] 店。商店。
- まちゆ¹ [matʃu] [名] 眉。睫毛。
- まちり¹ [matʃiri] [名] 祭。
- まつふあ¹ [maffa] [名] ^{まくら}枕。
- まつら¹ [matsura] [名] 船の竜骨。キール。
- まつん¹ [matsun] [動] 待つ。[否] またぬ
- まとーば¹ [mato:ba] [-] 正直だ。
- まどうぎるん¹ [madugirun] [動] 片付ける。[否] まどうぐぬ

- まとうまるん [matumarun] [動] まとまる。
[否] まとうまらぬ
- まとうみん [matumin] [動] まとめる。[否]
まとうむぬ
- まとむ [matomu] [名] まとも。真後ろ。
- まな [mana] [名] 今。現在。
- まなぬ [mananu ju:] [句] 今の世。現代。
- まなばら [manabara] [名] 今頃。
- まなまな [manamana] [名] 今すぐ。
- まにあーすん [mani.a:sun] [動] (時間に) 間に合わせる。[否] まにあーさぬ
- まにあうん [mani.aun] [動] 間に合う。時間にも物についてもつかう。[否] まにあーぬ
- ま「べー」 [mabe:] [副] もう少し。もうちょっと。
- まむるん [mamuraun] [動] 守る。[否] まむらぬ
- まゆ [maju] [名] 猫。〈まーゆ〉とも言う。
- まゆ [maju] [名] ^{まゆ} 繭。
- まら [mara] [名] 陰茎。小児語で〈こっち〉と言う。
- まらすん [marasun] [動] 亡くなる。「死ぬ」の尊敬語。[否] まらはぬ
- まり [mari] [名] 生まれ。生地。血統。
- まりぐん [marigun] [動] 束ねる。[否] まりがぬ
- まりしき [marisiki] [名] 臨月。
- まりじま [maridzima] [名] 生まれ島。故郷。古里。
- まりどうしい [maridu:ji] [名] 生まれ年。生年。
- まりぴん [maripin] [名] 誕生日。
- まりぶなー [maribuna:] [名] 生年祝い。誕生祝い。
- まりぼーるん [maripo:run] [動] (大小便を) 排泄し散らす。[否] まりぼーらぬ
- まりるん [marirun] [動] 生まれる。誕生する。[否] まるぬ
- まるばい [marubai] [名] 丸裸。全裸。
- まるばすん [marubasun] [動] 強く叩く。[否] まりばはぬ
- まるぶさ [marubusa] [名] ダンドク。南方系の草花。
- まるぶちん [marubutjin] [動] 転ぶ。転がる。転倒する。[否] まるぶとうぬ
- まるぶん [marubun] [動] 転ぶ。まろぶ。[否] まるばぬ
- まるん [marun] [動] (糞を) 放つ。出す。[否] まらぬ
- まろはん [marohan] [形] 短い。低い。
- まん [man] [名] 万。数字の単位。
- まんいち [man.itji] [副] 万一。もしも。
- まんが [manga] [副] 真っ直ぐ。
- まんがたんが [mangatangga] [擬] 率直に。
- まんかりかんかり [mankarikan kari] [擬] 曲がりくねって。
- まんかるん [mankarun] [動] 曲がる。たわむ。[否] まんからぬ
- まんきるん [mankirun] [動] 曲げる。[否] まんくぬ
- まんざーすん [mandza:sun] [動] ① 混ぜ合わせる。② 加える。③ 一緒にする。
- まんざるん [mandzarun] [動] 混ぜる。混合する。[否] まんざらぬ
- まんじょー [mandzo:] [名] パパイア。果樹名。
- まんじるん [mandzirun] [動] 混ぜる。混合する。[否] まんずぬ
- まんしん [mansjin] [名] 一杯。満載。満船からか。
- まんしん [mansjin] [名] ^{くび} 首。
- まんしん なるん [mansjin narun] [句] 満杯になる。

- まんず [mandzu] [名] 和え物。
- まんつあ / [mantsa] [名] まな板。
- まんどん / [mandon] [副] 一杯。沢山。
- ま^んな^ーが [manna:ga] [名] 真ん中。
- みー / [mi:] [名] 巳。十二支の巳。
- みー / [mi:] [接頭] 新しい。
- みー / しちん / [mi:ʃitʃin] [句] 見捨てる。
- みーうとすん [mi:utosun] [動] 見落とす。
- みーかんがん / [mi:kanʒan] [名] 眼鏡。水中眼鏡。
- みーぐりしゃーん [mi:guriʒa:n] [形] 見にくい。見苦しい。
- みーしきるん [mi:ʃikirun] [句] 目を付ける。睨む。
- みーち / [mi:tʃi] [名] 三つ。[備] 簡略化 くみい。
- みあてい / [mi.ati] [名] 目当て。目標。
- みーとーすん / [mi:to:sun] [動] 見通す。続けて見る。[否] みーとーはぬ
- みーどー / さーん [mi:du:sa:n] [形] 久しく会わない。中々見ることの無い。
- みーとうどうきるん / [mi:tɯdukin] [動] 見届ける。[否] みーとうどうくぬ
- みーならすん / [mi:narasun] [動] 見習う。[否] みーならはぬ
- みーなりゃん [mi:narjan] [動 (継)] 見慣れる。
- みーにち / [mi:nitʃi] [名] 命日。
- みーぬがすん / [mi:nugasun] [動] 見逃す。[否] みーぬがはぬ
- みーばっぺー / [mi:bappe:] [名] 見間違い。見誤り。
- みーふかさりん / [mi:fukasarin] [動] 見透かされる。透き通って見える。[否] みーふかさるぬ
- みーふかすん / [mi:fukasun] [動] 見通す。見透かす。[否] みふかさぬ
- みーぶりん / [mi:burin] [動] 見惚れる。見とれる。[否] みーぶるぬ
- みーむぬ / [mi:munu] [名] 見物。見せ物。
- みーむん / [mi:mun] [名] 新しい物。新品。
- みーやっ / さーん [mi:jassa:n] [形] 見やすい。
- みーん / ぱちま / はん [mi:mpatʃimahan] [形] 目が眩しい。
- みぐとら / [migutu] [名] 見事。立派。
- みぐらすん / [migurasun] [動] めぐらす。回す。[否] みぐらほぬ
- みぐりしゃ / はん [miguriʒahan] [形] 見苦しい。みっともない。
- みぐるん / [migurun] [動] めぐる。回る。[否] みぐらぬ
- みざし / [midzaʃi] [副] 大変な。たいそう。
- みざし / [midzaʃi] [名] ^{めざし}目差。王府時代の下級役人。
- みざしくとら [midzaʃikɯtu] [名] 大事。大変なこと。
- みざとら / [midzatu] [名] ^{まへざと}真栄里。石垣島の集落名。
- みし / [miʃi] [名] ^{みき}神酒。
- みしー / みし [miʃi:miʃi] [擬] みすみす。まんまと。
- みじい / [midzi] [名] 水。淡水。
- みしきるん / [miʃikirun] [動] 見つける。[否] めすからぬ
- みしくるみん / [miʃikurumin] [名] 耳たぶ。
- みしこー / みしこ [miʃiko:miʃiko] [擬] 慎重に。丁寧に。
- みしこ / はん [miʃikohan] [形] 神聖だ。神々しい。
- みしやー / なるん / [miʃa:narun] [句] 良くなる。治る。
- みしや / はん [miʃahan] [形] 良い。よろしい。
- みしゆ / [miʃu] [名] ^{みそ}味噌。
- みしゆ / どうり / [miʃuduri] [名] 雀。

- みしるん¹ [miʃirun] [動] 見せる。[否] みしゆぬ
- みずあみ [midzu.ami] [名] 水浴。
- みじいがーさ¹ [midzuga:sa] [名] 水疱瘡。〈みじがーさ〉とも発音する。
- みじいがーみ¹ [midzuga:mi] [名] ^{みずがめ}水甕。
- みじいがーり¹ [midzuga:ri] [名] 水当たり。
- みずぬ こー [midzunu ko:] [名] 水の香。法要時の邪霊除け。
- みずらはん [midzurahan] [形] 珍しい。不思議だ。
- みぞーり¹ [midzo:ri] [名] 溝。排水溝。
- みだつん¹ [midatsun] [動] 目立つ。際立つ。目立って見える。[否] みだたぬ
- みたているん¹ [mitatirun] [動] 見たてる。見て選び定める。
- みちい¹ [mitʃi] [名] 道。道路。
- みちいくせー¹ [mitʃikuse:] [名] 道普請。道路修理。
- みちさはん [mitʃisahan] [形] ^{ふと}太い。
- みちすねー¹ [mitʃisune:] [名] (旧盆の) 仮装行列。
- みちなりん [mitʃinarin] [名] 一昨年。
- みっくわ¹ [mikkwa] [名] めくら。盲人。
- みっちん¹ [mittsin] [名] 目玉。眼球。[備] 語中の二重子音は口蓋化していない。
- みっとはん [mittohan] [形] 見苦しい。みっともない。
- 「みっふあー」むん [miffa:mun] [名] 嫌われ者。
- みっふあはん [miffahan] [形] 憎らしい。嫌い。
- みっ「ふあ」ん [miffan] [副] どんどん。一目散に。
- みとうどうぎるん¹ [mitudugin] [動] 見届ける。[否] みとうどうぐぬ
- みとうみるん¹ [mitumirun] [動] 認める。[否] みとうむぬ
- みどうむ¹ [midumu] [名] 女。女性。
- みどうんたま¹ [miduntama] [名] 女の子。娘。
- みなー¹ [mina:] [名] 庭。
- みなが¹ [minaga] [名] 庭。
- みなすけぬ ぱんだー [minasykenu panda:] [句] 豊年祭時の神司達。
- みなぶ¹ [minabu] [名] ^{わらむしろ}藁蓆。穀物を干すのに使用。
- みなれー¹ [minare:] [名] 見習い。
- みなん¹ [minan] [名] 貝。貝類の総称。
- みなんぬ¹ くー¹ [minannu ku:] [句] 貝殻。
- みぬがすん¹ [minugasun] [動] 見逃す。見落とす。[否] みぬがはぬ
- みのーすん¹ [mino:sun] [動] ① 見直す。② 見て許す。[否] みのーさぬ
- みまちごーん¹ [mimatʃigo:n] [動] ① 見間違える。② 見損なう。[否] みーまちげーらぬ
- みみじい¹ [mimidzi] [名] ミミズ。
- みゃーぐ¹ [mja:gu] [名] 宮古。宮古島。
- みゃぐ¹ [mjagu] [名] 脈。脈拍。
- みやくつえー¹ [mijakutse:] [名] (御嶽や神道の) 除草清掃。
- みやらび¹ [mijarabi] [名] 美童。女わらべ。娘。
- みゃん¹ [mjan] [動 (継)] 熟する。熟れる。
- みゃん [mjan] [動 (継)] 膿む。
- みよーでん¹ [mjo:den] [名] 名代。代理。
- みり¹ みらぬ¹ [miri miranu] [句] 見覚えがない。
- みるく¹ [miruku] [名] 弥勒神。弥勒菩薩。
- みるくゆー¹ [mirukuju:] [名] 豊穰で平和の世。「弥勒神の世」の義。
- みるん¹ [mirun] [動] 見る。[否] みらぬ
- みん¹ [min] [名] 目。
- みん¹ [min] [名] 耳。
- みん¹ [min] [名] 穴。
- みんかー¹ [minka:] [名] ^{つんぼ}聾。
- みんくぱり¹ [minkyupari] [-] 目がさえる。

- みんぐる¹ [minguru] [名] キクラゲ。食用になる茸。
 みんぐるみん¹ [mingurumin] [名] キクラゲ。食用になる茸。
 みる¹さまるん¹ [minsamarun] [句] 目覚める。
 みんすさ¹はーん [minsusaha:n] [形] 目がかたい。夜遅くまでよく起きる。
 みんぜー¹ [mindze:] [名] ものもらい。
 みんたま¹ [mintama] [名] 目玉。眼球。
 みんだれー¹ [mindare:] [名] 洗面器。[備] びん-たらいの転訛。
 みんとーら¹ [minto:ra] [-] 聞こえない。難聴になる。
 みんとーりむん¹ [minto:rimun] [名] 難聴になった人。
 みんどうー¹ [mindu:] [名] 面倒。
 みんとうーさーん [mintu:sa:n] [形] 耳が遠い。
 みんどな¹ [mindona] [-] 面倒だ。
 みんぬ¹ かー¹ [minnu ka:] [句] ^{まぶた} 瞼。[備] 直訳「目の皮」。
 みんぴきるん [mimpikirun] [動] 穴があく。
 みんみり¹ [mimmiri] [句] 老眼になる。
 むーじ¹ [mu:dzi] [名] 田芋。
 むーち¹ [mu:tʃi] [名] 六つ。[備] 簡略化〈むー〉。
 むーる [mu:ru] [名] 皆。
 むい¹かぶん¹ [muikapun] [句] 生い茂る。
 むいきし¹ [muikiʃi] [句] 思い切る。
 むいくみ¹ [muikumi] [動] 思い込む。[否] むいくまぬ
 むいるん¹ [muirun] [動] 生える。[否] むーぬ
 むえー¹ [mue:] [名] 模合。頼母子。
 むがし¹ [mugaʃi] [名] 昔。
 むがじ¹ [mugadzi] [名] 百足。
 むがしいがら¹ [mugasugara] [句] 昔から。古来。
 むがしいなれー¹ [mugaʃinare:] [名] 旧慣。旧習。昔からのしきたり。
 むがしい¹ばなしい¹ [mugaʃipanaʃi] [名] 昔話。
 むがしい¹びいとう¹ [mugaʃipitu] [名] 昔の人。古人。
 むがしい¹ゆー¹ [mugaʃiju:] [名] 昔の世。神の世。豊穰の世。
 むがし¹くとうば¹ [mugaʃikutuba] [名] 諺。格言。
 むぎゃん¹ [mugjan] [動(継)] 向かう。
 むぐ¹ [mugu] [名] ^{むこ} 婿。
 むぐちよーでー¹ [mugutʃo:de:] [名] 婿兄弟。
 むぐぶざ¹ [mugubudza] [名] ^{むこ} 婿。
 むぐん¹ [mugun] [動] (皮を)剥く。[否] むがぬ
 むげーかち¹ [muge:kaʃi] [名] 向かい風。
 むげーぴん¹ [muge:pin] [名] 迎えの日。盆の初日。
 むげーるん¹ [muge:run] [動] 迎える。[否] むげーらぬ
 むごん¹ [mugon] [名] やし蟹。
 むざ¹ [mudza] [名] ^{いのしし} 猪。
 むさん¹ [musan] [名] 大きなうねり。大波。
 むし¹ [muʃi] [名] 虫。昆虫。
 むし [muʃi] [接尾] ~回。回数を示す。〈ぴとむしい〉「一回」など。
 むじかーるん¹ [mudzika:run] [動] ① 振じれる。振じ曲がる。② 拗ねる。[否] むじかーらぬ
 むじかるん¹ [mudzikarun] [動] ① 振じれる。ねじ曲がる。② 拗ねる。[否] むじからぬ
 むじまーすん¹ [mudzima:sun] [動] 振じる。ねじ曲げる。捻る。[否] むじまーさぬ
 むしゃまー¹ [muʃama:] [名] 旧盆の〈ゆにげー〉「世願い」行事。
 むすかつさ¹はん [musukassahan] [形] 難し

- い。困難だ。
- むすなすん^ん [musunasun] [動] (牛馬を) 繋ぎ変える。(牛馬を) 移す。[否] むすまはぬ
- むすぶん^ん [musupun] [動] 結ぶ。縛る。[否] むすばぬ
- むすめー^ん [musume:] [名] もち米。うるち米。
- むたーりるん^ん [mutarirun] [動] ① もたれる。寄り掛かる。② 頼る。
- むたすくん^ん [mutasukun] [動] 取り扱う。[否] むたすかぬ
- むだすけー^ん [mudasuke:] [名] 無駄遣い。
- むたすん^ん [mutasun] [動] 持たす。持参させる。[否] むたはぬ
- むち^ん [mutji] [名] 餅。
- むち^ん [mutji] [名] 顔。顔面。
- むち^ん [mutji] [名] 漆喰^{しっくい}。
- むち^ん あんぎるん^ん [mutji angirun] [句] (顔を) もたげる。
- むち んぐん [mutji ngun] [句] 持っていく。
- むちあんぎるん^ん [mutji.angirun] [動] 持ち上げる。[否] むちあんぐぬ
- むちあんぎるん^ん [mutji.angirun] [動] ① (上へ) 持ち上げる。② 引き立てる。[否] むちあんぐぬ
- むちいむぬ^ん [mutjimunu] [名] 持ち物。
- むちのーすん^ん [mutjino:sun] [動] 持ち直す。いい方向へ戻す。[否] むちのーさぬ
- むちのーるん^ん [mutjino:run] [動] 持ち直す。回復する。立ち直る。[否] むちのーらぬ
- むっさ^んはん [mussahan] [形] 面白い。
- むっしるん^ん [mussirun] [動] 切れる。千切れる。[否] むっすぬ
- むっす^ん [mussu] [名] 蓆^{むしろ}。
- むっすん^ん [mussun] [動] むしる。摘み取る。[否] むっさぬ
- むつつあーすん^ん [muttsa:sun] [動] くっ付ける。ひっ付ける。[否] むつつあーらぬ
- むつつあーるん^ん [muttsarun] [動] くっ付く。ひっ付く。[否] むつつあーらぬ
- むつつあ^んはん [muttsahan] [形] 粘っこい。ねばねばする。
- むつつあるん^ん [muttsarun] [動] くっ付く。ひっ付く。[否] むつつあらぬ
- むつつあるん^ん [muttsarun] [動] 粘付く。[否] むつつあらぬ
- むつとう^ん [muttu] [副] 全く。さっぱり。
- むつ^んとう^んむ [muttumun] [副] もっとも。
- むつま^んさーん [mutsumassa:n] [形] 睦まじい。仲がいい。
- むつま^んさ^んはん [mutsumassahan] [形] 睦まじい。仲がいい。
- むつん^ん [mutsun] [動] 持つ。持参する。[否] むつあぬ
- むとう^ん [mutu] [名] 元。幹。
- むとうがら^ん [mutugara] [句] 元々。元来。
- むとうぐい^ん [mutugui] [名] 元肥。
- むどうすん^ん [mudusun] [動] ① 戻す。② 吐く。[否] むどうさぬ
- むとうだぎ^ん [mutudagi] [名] 於茂登岳^{おもと}。石垣島の山の名。
- むとうみるん^ん [mutumirun] [動] 求める。[否] むとうむぬ
- むどうりみち^ん [mudurimitji] [名] 戻り道。帰り道。
- むどうるん^ん [mudurun] [動] 戻る。[否] むどうらぬ
- むに^ん [muni] [名] 言葉。言語。
- むに^ん ゆむん^ん [muni jumun] [句] 愚痴を言う。
- むに^ん あら^んはーん [muniaraha:n] [形] 言葉が荒い。言葉が荒っぽい。
- むぬ^ん [munu] [名] 物。食べ物。食事。
- むぬうぶい^ん [munu.ubui] [名] 物覚え。記憶力。

- むぬかんげー¹ [munukange:] [名] 物考え。思案。
 むぬぐとう¹ [munugutu] [名] 物事。
 むぬしらし¹ [munufiraji] [名] 予兆。神仏の啓示。
 むぬしり¹ [munufiri] [名] 物知り。
 むぬすくり¹ [munusukuri] [名] 農耕。栽培。「物作り」の義。
 むぬ¹すくん¹ [munusukun] [句] 尋ねる。物事を聞く。
 むぬなれー¹ [mununare:] [名] 物習い。学習。勉強。
 むぬばっさ [munubassa] [句] 物忘れ。
 むぬばなし¹ [munupanafi] [名] おしゃべり。世間話。
 むぬへーずく¹ [munuhe:dzuku] [名] ^{なりわい} 生業。
 むぬみずらはん [munumidzurahan] [形] 珍しい。物珍しい。
 むぬむい¹ [munumui] [名] 物思い。心配。
 むぬむち¹ [munumutji] [名] 物持ち。資産家。
 むみん¹ [mumin] [名] 木綿。
 むむん¹ [mumun] [動] 揉む。揉みほぐす。[否] むまぬ
 むやすん¹ [mujasun] [動] (草を) 生やす。[否] もーはぬ
 むよー¹ [mujo:] [名] 模様。様子。
 むら¹ [mura] [名] 村。村落。
 むらぐとう¹ [muragutu] [名] 村の行事。
 むらたたまり [muratamari] [名] 村人の集会。王府時代の村人集会。
 むらばぎん¹ [murabagin] [名] 分村。王府時代に行われた強制的な分村。
 むり¹ [muri] [名] 山。森。丘。石盛。
 むりあがるん¹ [muri.agarun] [動] 盛り上がる。膨れ上がる。持ち上がる。[否] むりあがらぬ
 むりあぎるん¹ [muri.agirun] [動] 盛り上げる。[否] むりあぐぬ
 むりあま¹ [muri.ama] [名] 子守の娘。(姉)。
 む¹る¹むるし [murumuruji] [副] 丸い。丸っこい。
 むるん [murun] [動] 盛る。盛り上げる。[否] むらぬ
 むるん¹ [murun] [名] もろみ。
 むん¹ [mun] [動] 思う。考える。[否] もわぬ
 むん¹ [mun] [名] 麦。麦類の総称。
 むんぐる¹ [muṅguru] [名] 麦わら。
 むんじる¹ [mundziru] [動] 思い出す。
 むんだに¹ [mundani] [名] 餌。釣り餌。
 むんだらし¹ [mundaraji] [名] 腿。太腿。
 むんどうー¹ [mundu:] [名] 問答。争議。口論。
 むんどうー すん [mundu: sun] [名] 争議する。口論する。
 むんぬ¹ くー¹ [munnu ku:] [句] 小麦粉。メリケン粉。
 むんみ¹ [munmi] [名] ^{もんめ} 匁。重さの単位。
 めー¹ [me:] [名] 米。作物の稲にも言う。
 めー¹ [me:] [名] 前。前方。以前。
 めー¹ なすん¹ [me: nasun] [句] ① 前にする。② 先にする。③ 前に置く。
 めー¹ なるん¹ [me: narun] [句] 前に行く。先になる。
 めー¹が¹めーにち [me:game:nitji] [副] 毎日。何時も。
 めーかり¹ [me:kari] [名] 稲刈り。
 めーがり¹ [me:gari] [名] 前借。
 めーしび¹ [me:jipi] [名] 前後。逆。
 めーすん¹ [me:sun] [動] 燃やす。[否] めーはぬ
 めーだら¹ [me:dara] [名] 米俵。
 めーどうし¹ [me:duji] [名] 毎年。
 めーにち¹ [me:nitji] [名] 毎日。
 めーぬ¹ いー¹ [me:nu i:] [句] 米の飯。米飯。

めーぬ¹ しき¹ [me:nu ſiki] [句] 先月。直訳「前の月」。
 めーぬすかるん¹ [me:nusukaruN] [句] 間近に迫る。近づく。
 めーばん¹ [me:pan] [名] 前足。
 めーばん¹ [me:pan] [名] 前歯。
 めーむち [me:mutʃi] [副] 前もって。
 めーむぬ¹ [me:munu] [名] 新しい物。新品。
 めーむるし¹ [me:muruʃi] [名] 古墳。古墓。
 めーら¹ [me:ra] [名] 宮良。石垣島の集落名。
 めーりぴてー¹ [me:ripite:] [名] 肥沃な畑。
 めーるん¹ [me:ruN] [動] (芽などが) 太る。実る。[否] めーらぬ
 めーるん¹ [me:ruN] [動] 燃える。[否] めーらぬ
 めすかるん¹ [mesukaruN] [句] 見つかる。
 めっさはん [messahan] [形] 心地よい。気持ちいい。
 めった [metta] [名] アンツク。入れ物の一種。縄で編んだ物入れ。
 めつつあ¹ [mettsa] [名] 女のふんどし。
 めふな¹ [mefuna] [名] 利口な。
 めらびな¹ [merabina:] [名] 幼名。
 めんさ¹ [mensa] [名] 蓑。
 もー¹ [mo:] [名] ここ。この辺。
 もーが¹ [mo:ga] [名] 儲け。利益。
 もーぎ¹ [mo:gi] [名] 儲け。利益。
 もーや¹ [mo:ja] [名] 即興踊り。
 もーら¹ [mo:ra] [句] こちらから。
 もーらすん¹ [mo:rasuN] [動] 漏らす。[否] もーらはぬ
 もーるん¹ [mo:ruN] [動] 漏る。漏れる。[否] もーらぬ
 もが¹ [moga] [句] こちらへ。
 もぬ¹ まーり¹ [monu ma:ri] [句] この辺。この付近。
 もみ¹ [momi] [名] 粃。

や¹ [ja] [名] 矢。楔。
 やー [ja:] [感] やあー。おーい。呼びかけの言葉。
 やーち¹ [ja:tʃi] [名] 八つ。[備] 簡略化〈やー〉。
 やーなれー [ja:nare:] [名] 家の習慣。家風。
 やーにんじゅ¹ [ja:nindʒu] [名] 家族。
 やーは¹ すん¹ [ja:ha suN] [句] ひもじい。空腹だ。
 やーはん [ja:han] [形] ひもじい。空腹だ。
 やーばん¹ [ja:ban] [名] 家紋。家判。
 やーぶさ¹ [ja:busa] [名] 山補佐。王府時代の百姓役目。杣山筆者の補佐役。
 やーむとう¹ [ja:mutu] [名] 家元。本家。実家。
 やーむんどう [ja:mundu] [名] 家庭内争議。
 やーらぎるん¹ [ja:ragiruN] [動] ① 和らげる。柔らかくする。② 殴る。[否] やーらぐぬ
 やーらぐん¹ [ja:raguN] [動] 柔らかく。柔らかくなる。[否] やーらがぬ
 やーりん¹ [ja:riN] [動] 破れる。裂ける。[否] やるぬ
 やいっと [jaitto] [擬] がぼと。すくと。力を入れて勢いよく行動を開始するさま。
 やいま¹ [jaima] [名] 八重山。地名。
 やいやいた [jaijaita] [擬] せっせと働くさま。
 やがまっさはん¹ [jagamassaha:N] [形] やかましい。
 やがりるん¹ [jagariruN] [動] 焼ける。[否] やがるぬ
 やきー¹ [jaki:] [名] マラリア。熱病。〈やえやま-やきー〉と呼ばれた。
 やぎむぬ¹ [jagimunu] [名] 焼き物。陶磁器。
 やく¹ [jaku] [名] 役職。
 やく¹ [jaku] [名] 厄。災い。
 やぐい¹ [jagui] [名] 掛声。
 やく¹ たつん¹ [jakutʃuN] [動] 役に立つ。[否]

- やくたため
- やくどうし [jakudufi] [名] 厄年。
- やくば [jakuba] [名] 役場。役所。
- やぐん [jagun] [動] 焼く。焼き捨てる。[否]
やがぬ
- やし [jafi] [名] 椰子。植物名。
- やしいねーふあ [jafine:fa] [名] 養子。養い子。
- やしき [jafiki] [名] 屋敷。
- やしねー [jafine:] [名] 養い。
- やしねーうや [jafine:uja] [名] 養い親。養父母。
- やじまるん [jadzimarun] [動] 孕まない。不妊だ。[否] やじまらぬ
- やしみ [jafimi] [名] 休み。休憩。
- やしむぬ [jafimunu] [名] 安物。
- やしゃ [jafa] [名] 次姉。
- やしり [jafiri] [名] 鑪。^{やすり}
- やすうむん [jasumun] [動] 休む。休憩の意ではなく、休暇を取るの意。
- やすなすん [jasunasun] [動] 養う。養育する。[否] やすなほぬ
- やすんじるん [jasundzirun] [動] 安んじる。安心する。
- やせー [jase:] [名] 野菜。
- やせーびてー [jase:pjite:] [名] 野菜畑。
- やた [jata] [名] 脇。^{わき}
- やたかび [jatakabi] [名] 浜木綿。
- や^たぶ [jatapu] [名] 唐黍。高粱。
- やたふちい [jatafutfi] [名] 蓬。^{よもぎ}
- やたぶに [jatabuni] [名] 肋骨。
- やち [jatfi] [名] 灸。お灸。
- やっけー [jakke:] [名] 厄介。迷惑。
- やっさ [jassa] [助] ~だ。~だろう。
- やっさはん [jassahan] [形] ① 安い。安価だ。
② た易い。
- やっちるん [jattjin] [動] 痩せる。衰弱する。
[否] やっつぬ
- やっ^ちん [jattjin] [副] 必ず。
- やっとう [jattu] [副] やっと。ようやく。
- やっぱり [jappari] [副] 言い張る。主張する。
- やとーすん [jato:sun] [動] 移植する。[否]
やとーはぬ
- やどう [jadu] [名] 戸。雨戸。
- やどう [jadu] [名] 宿。宿屋。
- やどうとうるん [jaduturun] [句] 宿る。泊まる。宿泊する。
- やとすん [jatosun] [動] 雇う。雇用する。[否]
やとはぬ
- やな [jana] [形] 悪い。劣悪だ。
- やなかー [janaka:] [名] 悪臭。
- やなかたち [janakatati] [名] 悪い形。不格好。形が悪いこと。
- やなくしー [janakyfi:] [名] 悪い癖。悪癖。
- やなくとう [janakutu] [名] 悪事。凶事。不幸。
- やなごるん [janagorun] [動] 濁る。汚濁になる。[否] やなごらぬ
- やなたくみ [janatakumi] [名] 悪だくみ。
- やななれー [jananare:] [名] 悪い習慣。因習。
- やなふちい [janafuti] [名] 悪口。
- やなむしい [janamufi] [名] 害虫。
- やなむん [janamun] [名] 悪者。魔物。
- やなわしき [janawafiki] [名] 天気が悪い。悪天候。
- やなわらび [janawarabi] [名] 悪戯っ子。悪童。
- やにっしゃはん [janiffahan] [形] 汚ない。汚れている。
- やばはん [jabahan] [形] 上手。優れている。
- やびくん [japikun] [動] 火傷をする。
- やびむん [jabimun] [名] ろくでなし。
- やふ [jafu] [名] 災い。凶事。
- やふあらぐん [jafaragun] [動] 和らぐ。柔らかになる。

やぶす なるん [jabusu narun] [句] 安心する。
 安堵する。
 やぶりん¹ [jaburin] [動] 破れる。壊れる。[否]
 やぶるぬ
 やぶるん¹ [jaburun] [動] 破る。壊す。[否] や
 ぶらぬ
 やま¹ [jama] [名] 山。森。
 や¹まー¹し [jama:ʃi] [副] 静かに。ゆっくり
 と。
 やまかたなし¹ [jamakātanaʃi] [名] 山刀。
 やまぐ¹ [jamagu] [名] 乱暴者。暴れ者。腕白
 者。横着な者。悪戯っぼい者。
 やまぐ¹ すん¹ [jamagu sun] [句] 乱暴を働
 く。
 やまじいま¹ [jamadzima] [名] 山島。山国。
 やましぐとう¹ [jamaʃigutu] [名] 山仕事。
 やますん¹ [jamasun] [動] 痛める。傷つける。
 [否] やまはぬ
 やまとう¹ [jamatu] [名] 大和。日本。日本本
 土。
 やまとう¹ふいとう¹ [jamatupitu] [名] 日本
 人。内地人。
 やまどうみ¹ [jamadumi] [名] 山止め。王府時
 代の禁忌。
 やまとうむに¹ [jamatumuni] [名] 日本語。標
 準語。
 やまにんじゅ¹ [jamanindzu] [名] 御嶽の祭祀
 に参加する村人。
 やまんぐ¹ [jamangu] [名] 乱暴者。暴れ者。腕
 白者。横着な者。悪戯っぼい者。
 やまんぐ¹さーん [jamaŋgusa:n] [形] ① 暴れ
 ん坊だ。② 腕白だ。悪戯好きだ。
 やみ¹ [jami] [名] 闇。真っ暗。
 やみ¹ [jami] [名] 病^{やまい}。病気。
 やみるん¹ [jamirun] [動] ① 止める。② 辞職
 する。辞任する。[否] やむぬ
 やむん¹ [jamun] [動] 痛む。病気に罹る。[否]

やまぬ
 やむん¹ [jamun] [動] (風雨が) 止む。[否] や
 まぬ
 やらすん¹ [jarasun] [動] よこす。遣わす。[否]
 やらはぬ
 やら¹はん [jarahān] [形] 柔らかい。
 やらび¹ [jarabi] [名] 童。子供。
 やらびな¹ [jarabina:] [名] 童名。幼名。
 やらぶ¹ [jarabu] [名] テリハボク。植物名。
 やらふあ¹ すん¹ [jarafa: sun] [句] 柔らか
 くする。
 やらふあ¹ なるん¹ [jarafa: narun] [句] 柔
 らかくなる。
 やり¹ [jari] [名] 槍。
 やりしちるん¹ [jarifitʃirun] [動] 破って捨て
 る。[否] やりしつぬ
 やりすうぬ¹ [jarisunu] [名] ぼろの着物。
 やりふちい¹ [jarifutʃi] [名] 破れ目。裂け目。
 やりぽーるん¹ [jaripo:run] [動] 破り散らか
 す。[否] やりぽーらぬ
 やりるん¹ [jarirun] [動] 破れる。[否] やるぬ
 やるはく¹ [jaruhaku] [名] ぼろ。ぼろ切れ。
 やるん¹ [jarun] [動] ~だ。~である。[否]
 あらぬ
 やん¹ [jan] [名] 病^{やまい}。病気。
 やんばるしん¹ [jambaruʃin] [名] 山原船^{やんばるせん}。沖
 縄在来の帆船。
 ゆー¹ [ju:] [名] 魚。魚類。
 ゆー¹ [ju:] [名] 粥^{かゆ}。
 ゆー¹ [ju:] [名] 世。時代。
 ゆー¹ あうん¹ [ju: aun] [句] よく合う。よく
 似合う。
 ゆーあみ¹ [ju:ami] [名] 夜雨。夜間に降る雨。
 豊年の印。ゆがふ雨として喜ばれた。
 ゆーがーり¹ [ju:garri] [名] 世変り。
 ゆーかどう¹ [ju:kadu] [名] 四ツ角。四隅。
 ゆー¹さんちゃ¹ [ju:santʃa] [句] もしかした

- ら。
- ゆーじ^ㄥ [ju:dʒi] [名] 用事。行事。
- ゆーしき [ju:ʃiki] [名] 魚突き。銚で突く漁法。
- ゆーち^ㄥ [ju:tʃi] [名] 四つ。簡略化：ゆー。
- ゆーとうり^ㄥ [ju:tʊri] [名] 魚獲り。漁業。
- ゆーどうり^ㄥ [ju:duri] [名] 夕風。
- ゆーび^ㄥ [ju:bi] [名] 夕べ。昨夜。
- ゆーべー^ㄥ [ju:be:] [名] ^{めかけ} 妾。情婦。
- ゆーべーかち^ㄥ [ju:be:kətʃi] [名] 戻り風。風向が元にもどる風。
- ゆーべーぷち [ju:be:putʃi] [名] 流れ星。直訳「夜這い星」。
- ゆーほすん [ju:hosun] [句] 魚釣り。
- ゆい^ㄥ [ju:] [動] 叱る。[否] ゆわぬ
- ゆい^ㄥ [ju:] [名] ^{ゆい} 結。共同作業。
- ゆうん^ㄥ [ju:n] [動] 結う。結ぶ。[否] ゆわぬ
- ゆがふ^ㄥ [jugafu] [名] 豊年。直訳「世果報」。
- ゆがみるん^ㄥ [jugamirun] [動] 歪める。
- ゆがむん^ㄥ [jugamun] [動] ^{ゆが} 歪む。[否] ゆがまぬ
- ゆぐ^ㄥ [jugu] [名] 欲。
- ゆぐ^ㄥさん [jugusan] [形] ① 欲張りだ。欲深い。② けちだ。しみったれた。
- ゆくしむに^ㄥ [jukuʃimuni] [名] うそ。いつわり。
- ゆくすか^ㄥ [jukusuka] [動 (接)] 欲張る。
- ゆぐすん^ㄥ [jugusun] [動] 汚す。[否] ゆぐさぬ
- ゆくたーるん^ㄥ [jukuta:run] [動] ① 横たわる。横になる。② 寝そべる。[否] ゆくたーらぬ
- ゆぐぬ ねーぬ [jugunu ne:nu] [句] 無欲だ。欲がない。食欲について淡泊だ。
- ゆくばるん [jukubarun] [動] 欲張る。
- ゆぐり^ㄥ [juguri] [名] 汚れ。
- ゆぐりるん^ㄥ [jugurirun] [動] 汚れる。けがれる。[否] ゆぐるぬ
- ゆごー^ㄥ [jugo:] [名] 隅。片隅。東の村では〈やごー〉。
- ゆごー^ㄥ すん^ㄥ [jugo:sun] [句] お休みになる。「休む」、「憩う」の敬語。
- ゆさし^ㄥ [jusaʃi] [名] 四つ星。
- ゆしき^ㄥ [juʃiki] [名] ススキ。植物名。
- ゆしぐとう^ㄥ [juʃigutu] [名] 忠言。訓話。
- ゆしるん^ㄥ [juʃirun] [動] 寄せる。移動する。[否] ゆすぬ
- ゆす^ㄥ [jusu] [名] 露。朝露。
- ゆすぱり^ㄥ [jusupari] [名] 寝小便。
- ゆずるん^ㄥ [judzurun] [動] 譲る。[否] ゆずらぬ
- ゆた^ㄥ [juta] [名] 易者。占い師。
- ゆだ^ㄥ [juda] [名] ユウナ。植物名。
- ゆだば^ㄥ [judapa] [名] 枝葉。
- ゆだばり^ㄥ [judabari] [名] 黙っていること。ぐずぐずすること。
- ゆだり^ㄥ [judari] [名] 涎。
- ゆどうあみ^ㄥ [judu.ami] [名] 梅雨。五月雨。
- ゆどうし [juduʃi] [副] 夜通し。一晩中。
- ゆどうむん^ㄥ [judumun] [動] 淀む。停滞する。[否] ゆどうまぬ
- ゆなが^ㄥ [junaga] [名] 夜中。真夜中。
- ゆにげー^ㄥ [junige:] [名] 世願い。豊作祈願など神行事。
- ゆぬ [junu] [接頭] 同じ。
- ゆぬぐ^ㄥ [junugu] [名] (小麦の) はったい粉。
- ゆぬしゆく^ㄥ [junuʃuku] [名] 同じ程度。
- ゆぬとうし^ㄥ [junutʃi] [名] 同じ年。同年。
- ゆぬむぬ [junumunu] [名] 同じ。同じもの。同じこと。
- ゆぬめー^ㄥ [junume:] [名] 魚の目。足などに出るいぼ。
- ゆねん^ㄥ [junen] [名] 夕方。夕暮れ。
- ゆのー^ㄥ [juno:] [名] 与那国。与那国島。八重山諸島の島の名。最も西の方に位置する。

- ゆびくん¹ [jupikun] [動] 茹でる。湯がく。[否]
ゆびかぬ
- ゆびだすん¹ [jubidasun] [動] 吸い出す。[否]
ゆびんだはぬ
- ゆふる¹ [jufuru] [名] 風呂。
- ゆぶん¹ [jubun] [動] 呼ぶ。[否] ゆばぬ
- ゆぶん¹ [jubun] [動] (水気を) 吸う。吸る。
[否] ゆばぬ
- ゆみ¹ [jumi] [名] 嫁。
- ゆむぬ¹ [jumunu] [名] 夕飯。夕食。
- ゆむん¹ [jumun] [動] ① 読む。② 数える。[否]
ゆまぬ
- ゆらし¹ [juraʃi] [名] (選別用の) 箕。
- ゆらすん¹ [jurasun] [動] 揺する。振るう。[否]
ゆらはぬ
- ゆりしき¹ [juriʃiki] [名] 閏月。
- ゆりどうし¹ [juridusi] [名] 閏年。
- ゆりはかるん¹ [jurihakaru] [動] よりかかる。
もたれかかる。[否] ゆりはからぬ
- ゆる¹ [juru] [名] 夜。夜間。
- ゆるあみ¹ [juru.ami] [名] 夜雨。夜間に降る
雨。豊年の印。ゆがふ雨として喜ばれた。
- ゆるさーるん [jurusaru] [動] 許される。
- ゆるさ¹はん [jurusahan] [形] 緩い。
- ゆるし¹ [jurusi] [名] 許し。許可。
- ゆるすん¹ [jurusun] [動] 許す。許可する。[否]
ゆるさぬ
- ゆるみるん¹ [julumiru] [動] 緩める。[否]
ゆるむぬ
- ゆるみん¹ [jurumin] [動] 緩める。[否] ゆる
むぬ
- ゆるん¹ [jurun] [動] ① 寄る。寄って来る。②
寄り合う。集まる。[否] ゆらぬ
- ゆん¹ [jun] [名] 弓。
- ゆんぐとう¹ [jungutu] [名] 古謡の種類。
- ゆんさん¹ [junsan] [名] 巡查。駐在。
- ゆんた¹ [junta] [名] 古謡の種類。
- ゆんたく¹ [juntaku] [名] おしゃべり。雑談。
- ゆんたま [juntama] [名] 小魚。
- ゆんちゅ¹ [juntju] [名] ^{よんちゆ} 与人。王府時代の役
人の位階名。
- よー¹ [jo:] [副] きっと。よくよく。〈よーよ
ー〉は強調。
- よーがりるん¹ [jo:gariru] [動] ① 痩せる。②
くびれる。[否] よーがるぬ
- よーがりん¹ [jo:garin] [動] 痩せる。衰弱す
る。[否] よーがるぬ
- よーに¹ [jo:ni] [副] 容易に。
- よーば¹ [jo:ba] [名] 弱虫。虚弱。
- よー¹はん [jo:han] [形] 弱い。
- よーみるん¹ [jo:mirun] [動] 弱める。[否] よ
ーむぬ
- よーらさー¹ [jo:rasa:] [名] ゴイサギ。鳥の名。
- よーるん¹ [jo:run] [動] 弱る。弱くなる。衰
弱する。[否] よーらぬ
- よい¹ [joi] [名] 祝い。祝典。
- よいぬ むぬ [joinu munu] [句] 祝いの引き出
物。
- よがーしみるん [joga:ʃimirun] [動] 休ませる。
- よがすん¹ [jogasun] [動] 休む。休憩する。休
息する。「寝る」の尊敬語。[否] よがはぬ
- よみしゃ¹はん [jomiʃahan] [形] 神聖だ。聖
なる。御嶽や拝所などの場所など。[備] 宮
古の jagumi- 「畏れ多い」と同源。
- よんなよんな [jonnajonna] [擬] ゆっくり。ゆ
らりと。「ゆっくり」の強調。
- ら [ra] [接尾] ～匹。魚などを数える助数詞。
〈ぴとーら〉「一匹」。
- らく¹ [raku] [名] 楽。
- らく¹ すん¹ [raku sun] [句] 楽をする。
- り [ri] [接尾] ～ろ。命令接辞。〈みり〉「見
ろ」、〈ぱり〉「走れ」など。
- りーぎ¹ [ri:gi] [名] 礼儀。「礼儀」の転訛。
- りくち¹ [rikuti] [名] 理屈。[備] 理屈の転

- 訛。
- りくちいむち¹ [rikutʃimutʃi] [名] 悪知恵の者。
- るがい¹ [rugai] [名] ^{りゅうぜつらん}竜舌蘭。植物名。
- るくず¹ [rukudzu] [名] 六十。
- わー¹ [wa:] [名] 御嶽。拝所。
- わーわー [wa:wa:] [擬] わあわあ。大声で泣くさま。
- わざ¹ [wadza] [名] ① 技。技術。② 業。行為。
- わしき¹ [waʃiki] [名] 天気。天候。
- わしく¹ [waʃiku] [名] 悪さ。悪戯。妨害。
- わっか¹ んぐん¹ [wakka ŋun] [句] 追いかける。
- わっか¹ んだすん¹ [wakka ndasun] [句] 追出す。
- わっきらいるん¹ [wakkirairun] [動] 追われる。
- わっきるん¹ [wakkirun] [動] 追う。追い払う。
[否] わっくぬ
- わっきん¹ [wakkin] [動] 追う。追い払う。[否]
わっくぬ
- わっさはん¹ [wassahan] [形] 悪い。
- わりあていん¹ [wari.atin] [動] 割り当てる。振り当てる。[否] わりあとぬ
- んーむん¹ [NNMUN] [動] 績む。[否] うーまぬ
- んーんー [NN.NN] [感] ううんううん。うなる声の形容。
- んぎちげーるん¹ [ŋgitʃige:run] [動] 行き違う。すれ違う。[否] んぎちげーらぬ
- んくむん¹ [ŋkumun] [動] 力む。いきむ。[否]
んくまぬ
- んぐん¹ [ŋgun] [動] ① 行く。去る。② 参る。
- ③ 時が経つ。[否] んがぬ
- んげーるん¹ [ŋge:run] [動] 召し上がる。「食べる」の尊敬語。[否] んげーらぬ
- ん¹「ごー」び [ŋgo:bi] [副] たくさん。一杯。
- んさはん¹ [nsahan] [形] 重い。重たい。
- んじたつん¹ [ndʒitʃʌsun] [動] 出で立つ。出発する。[否] んじたため
- んじふち¹ [ndʒifutʃi] [名] 出口。
- んじふに¹ [ndʒifuni] [名] 出船。
- んじん¹ [ndʒin] [動] 出る。出席する。[否]
んどうぬ
- んた¹ [nta] [名] 土。粘土。
- んだ [nda] [接尾] ~^{たち}達。複数の人を示す接尾語。〈いやんだ〉「父親たち」など。
- んだすん¹ [ndasun] [動] 出す。差し出す。[否]
んだはぬ
- んたちるん¹ [ntatʃirun] [動] (全部) ^{こぼ}零す。
- んちん¹ [ntʃin] [動] 満ちる。一杯になる。[否]
んつぬ
- んつあすん¹ [ntsasun] [動] 満たす。[否] んつあはぬ
- んな¹ [nna] [名] 空っぽ。
- んなあわり¹ [nna.awari] [名] 無駄骨。徒労。
- んなすー¹ [nnassu] [名] 中味のない汁物。
- んなふち¹ [nnafutʃi] [名] 無駄口。
- んなん [nnan] [名] 遺言。
- んば [mba] [感] ^{いや}嫌。〈あーい〉より否定の程度が強い。
- んぶすん¹ [mbusun] [動] 煮しめる。味付けをして煮る。[否] んぶさぬ
- んま¹ [mma] [名] ^{うま}午。十二支の午。
- んまん¹ [mman] [名] 馬。

6 共通語引き

- ああ【嗚呼】あー
 ああとうとし【ああ尊し】うーとーとう
 あい【藍】あいⅴ
 あいご【アイゴ】えぬふあⅴ
 あいさつ【挨拶】あいさちⅴ、すさりぶちⅴ
 あいず【合図】あいずⅴ
 あいぞめ【藍染】あいぞみ
 あいだ【間】ふたびしⅴ
 【あいつら】うしたまⅴ
 あいて【相手】あいていⅴ
 あいぼう【相棒】ぐーⅴ
 【あいま】あいまⅴ
 あいま【合間】ふたびしⅴ
 あいらしい【愛らしい】かなⅴさーん
 あえもの【和え物】まんず
 あえる【会える】あいるんⅴ
 あえる【和える】あいるんⅴ
 あえる【逢える】あいるんⅴ
 あおあおと【青々と】おー¹し
 あおがんび【青雁皮】ふがじⅴ
 あおぐ【扇ぐ】おんぐんⅴ
 あおくさい【青臭い】おーふつあⅴはーん
 あおくなる【青くなる】おーむんⅴ
 あおだいしょう【青大将】おーじゃなーⅴ
 あおぼと【青鳩】おーぱーとⅴ
 あおばな【青漬】ばなだりⅴ
 あおばむ【青ばむ】おー¹し なるんⅴ、おーむ
 ⅴ
 あおむ【青む】おーむんⅴ
 あおむく【仰向く】あばんぐんⅴ
 あおむけになる【仰向けになる】あばんぐんⅴ
 あか【垢】ふたりⅴ
 あか【塗】あかⅴ
 あかい【赤い】あがⅴはん
 あかいねんど【赤い粘土】あがⅴんたⅴ
 あかいろ【赤色】あかーいる
 あかく【赤く】あ¹かー¹し
 あかくする【赤くする】あがますんⅴ
 あかくなる【赤くなる】あかー すん、あ¹か
 ー¹し なるんⅴ、あがむんⅴ
 あかご【赤子】あがたまⅴ、あがんたまⅴ
 あかす【明かす】〔夜を～〕あがらすんⅴ
 あかだに【赤ダニ】あがだんⅴ
 あかつき【暁】あかしきんⅴ
 あかつち【赤土】あがⅴんたⅴ
 あかてつ【アカテツ】とうのーⅴ
 あがめる【崇める】あがみるんⅴ
 あからむ【赤らむ】あかー すん、あ¹かー¹し
 なるんⅴ、あがむんⅴ
 あかり【灯り】あがりⅴ、とうりⅴ
 あがる【上がる】あがるんⅴ、ぬぶるんⅴ
 あかるい【明るい】あがりゃん
 あかるくする【明るくする】あがらすんⅴ
 あかるくなる【明るくなる】あがるんⅴ
 あかんぼう【赤ん坊】あがたまⅴ、あがんたまⅴ
 あき【秋】すさんちⅴ
 あきや【空家】あぎひⅴ
 あきやしき【空き屋敷】あぎやしきⅴ
 あきらめる【諦める】うむいきすんⅴ
 あきる【飽きる】あきりるんⅴ、あきりんⅴ
 あきれはてる【呆れ果てる】あきるんⅴ
 あきれる【呆れる】あきるんⅴ
 あく【開く】あぐんⅴ
 あくじ【悪事】やなくとうⅴ
 あくしゅう【悪臭】ふつありかー、やなかーⅴ
 あくてんこう【悪天候】やなわしきⅴ
 あくどう【悪童】やなわらびⅴ
 あくへき【悪癖】やなくしーⅴ
 あくりょうばらいのひとつ【悪霊払いの一つ】
 いたすきばらⅴ

あけがた【明け方】あぎさり
 あけのみょうじょう【明けの明星】あかしき
 ぶし
 あける【明ける】あがるんⅴ
 あける【空ける】いたちるん
 あける【開ける】〔戸を～〕あぎるんⅴ、あぎ
 んⅴ
 【あげる】ひるんⅴ
 あげる【上げる】あんぎるんⅴ
 あげる【揚げる】〔油で～〕あぎるんⅴ
 あご【顎】はこちⅴ
 あこう【アコウ】あごんⅴ
 あさ【朝】すとうむちⅴ
 あさい【浅い】あさⅴはん
 あざける【嘲る】あなどるんⅴ、ばくるんⅴ
 あさせ【浅瀬】〔磯に続く～〕びしょーⅴ
 あさって【明後日】あすうとうⅴ、あつあす
 とうⅴ
 あさって【近いうち】あつあすとうⅴ
 あさつゆ【朝露】ゆすⅴ
 【あざなう】あんじるんⅴ
 あさなぎ【朝風】あさどよりⅴ
 あざみ【薊】あざんⅴ
 あざみさんご【アザミサンゴ】すぶるいしⅴ
 あざむく【欺く】あぎまーすんⅴ
 あさる【漁る】あさるんⅴ、ふつるんⅴ
 あし【足】ぱんⅴ
 あじ【味】あじⅴ
 あじ【按司】あざまぐⅴ
 あしあと【足跡】ぴょんⅴ
 あしがおそい【足が遅い】ぱんぬ にふつあー
 あしくび【足首】ぱんぬ ふき
 あした【明日】あつあーⅴ
 あしたのあさ【明日の朝】あつあすとうむちⅴ
 あしたのよる【明日の夜】あつあゆⅴ
 あじつけをしてにる【味付けをして煮る】ん
 ぶすんⅴ

あしのこう【足の甲】ぱんぬ こー、ぱんぬ
 ぴいさ、ぴいさⅴ
 あじわう【味わう】あじ すん
 【あす】あつあーⅴ
 あずかる【預かる】あすかるんⅴ
 あずき【小豆】あがまーみⅴ
 あずける【預ける】あしきるんⅴ
 あせ【汗】あしⅴ
 あぜ【畦】あぶしⅴ
 あせくさい【汗臭い】あしⅴふさⅴはーん
 あせばむ【汗ばむ】あし ふきん
 あせみず【汗水】あしみじⅴ
 あせも【汗疹】あしゃぼーⅴ
 あせをかく【汗をかく】あし ふきん
 【あそこ】はー
 【あそこに】はなⅴ
 あそび【遊び】あしびⅴ
 あたえる【与える】とらしみん、ひるんⅴ
 あたたかい【暖かい】のーさⅴはん
 あたたかく【温かく】あ^てーⅴし
 あたたかくなる【暖かくなる】のーさⅴなる
 んⅴ
 あたたまる【暖まる】のーさⅴなるんⅴ
 あたたまる【温まる】あつあはⅴなるんⅴ、ぬ
 るみゃんⅴ
 あたためる【温める】あつあーすんⅴ、〔食べ
 物を～〕あつあすんⅴ
 あたま【頭】あまっすくるⅴ、かしらⅴ
 あたまがいたい【頭が痛い】あまっすくるⅴや
 みⅴ
 あたらしい【新しい】みーⅴ
 あたらしいもの【新しい物】みーむんⅴ、めー
 むぬⅴ
 あたる【当たる】あたるんⅴ、〔風に～〕ふか
 りるんⅴ
 あだん【阿旦】あんだにⅴ
 あだんのきこん【アダンの気根】あんだしいⅴ

【あちら】はー
 【あちらこちら】あまゝくまゝ
 【あちらに】はなゝ
 あつい【暑い】あつあゝはん
 あつい【熱い】あつあゝはん
 あつがりだ【暑がりやだ】あつあむさゝはん
 あつくなる【熱くなる】あつあはゝなるんゝ
 あつまらせる【集まらせる】するいるんゝ
 あつまる【集まる】あすまるんゝ、ゆるんゝ
 あつめる【集める】あしみるんゝ
 あつらえる【誂える】あちらいんゝ
 あてにする【当てにする】あちすんゝ
 あてはめる【当てはめる】ばみるんゝ
 あてもの【当て物】〔頭上運搬の〜〕ししきゝ
 あてる【当てる】あちるんゝ
 あと【後】あとうゝ、しびゝ、しびゃたゝ
 あと【跡】あとうゝ
 あとあと【後々】あとうあとうゝ
 あとさき【後先】あとさきゝ
 あとつぎ【後継ぎ】あとうゝちぎゝ
 あな【穴】みんゝ
 あながあく【穴があく】みんぴきるん
 あなどる【侮る】あなどるんゝ、ばくるんゝ
 あなをあける【穴をあける】ぴくんゝ
 あに【兄】しゃまゝ
 あね【姉】あまゝ
 【あの】うぬゝ
 あのよ【あの世】ぐそーゝ
 あばらぼね【肋骨】やたぶにゝ
 あばれもの【暴れ者】やまぐゝ、やまんぐゝ
 あばれる【暴れる】ありるんゝ
 あばれんぼうだ【暴れん坊だ】やまんぐゝさー
 ん
 あびせる【浴びせる】あますん
 あひる【家鴨】あぴらゝ
 あびる【浴びる】あみんゝ
 あぶってかんそうする【焙って乾燥する】〔火
 で〜〕かんがーすんゝ
 あぶない【危ない】ぴこゝはん
 あぶら【油】あばゝ
 あぶらせみ【アブラゼミ】しゃんしゃんゝ
 あぶらっこい【脂っこい】あばずーゝさーん
 あぶらみそ【油味噌】あんだみしゅゝ
 あぶらむし【油虫】かむしゝ
 あぶる【炙る】あぶるんゝ
 あふれる【溢れる】あふらん
 【あほらしい】ほーらきしゝ
 あまい【甘い】あずまゝはん
 あまぐも【雨雲】あまふもんゝ
 あまごいきがん【雨乞い祈願】あみにげーゝ
 あまごいきがんのかめんしん【雨乞い祈願の
 仮面神】ふつあまらゝ
 あます【余す】あまらすんゝ
 【あまったら】ふんでーゝ
 あまど【雨戸】やどゝゝ
 あまどい【雨樋】はきじゃーゝ
 あまのがわ【天の川】じんぬゝ ふかーゝ
 あまもり【雨漏り】あまむりゝ
 あまやかす【甘やかす】ふんでーゝ すむん
 あまらす【余らす】あまらすんゝ
 あまり【余り】あまりゝ、おーぼーゝ
 あまる【余る】あまるんゝ、のがるんゝ
 あみ【網】あんゝ
 あみでとる【網で捕る】〔魚を〜〕はからすんゝ
 あむ【編む】あむんゝ、ふむんゝ
 あめ【雨】あみゝ
 あやかる【肖る】あやかーるんゝ、あやかるんゝ
 あやしい【怪しい】あやっゝさーん
 あやまり【誤り】まちげーゝ
 あやまる【誤る】ばっぺーゝ すん
 あら【粗】あらゝ
 あらい【粗い】あらゝはん
 あらい【荒い】〔波、動作、粉末などが〜〕あ
 らゝはん

- あらいことば【荒い言葉】あらむに
 あらいそ【荒磯】すび
 あらう【洗う】あらすん
 あらうみ【荒海】あらなん
 あらぐすくじま【新城島】ぼなり、ぼなりぬ
 すま
 あらす【荒らす】あらすん
 あらそう【争う】えんだりるん、えんだりん
 あらそう【戦争する】いふつあーすん
 あらだてる【荒立てる】あらだているん
 あらためる【改める】あらたみるん
 あらなみ【荒波】あらなん
 あらわれる【現れる】あらわりるん
 あり【蟻】あーり
 【ありがたい】ふくらはん、ふこーらはん
 【ありがとう】にーはい、ふくらはん
 【ありがとうございます】にーはいゆー
 ある【有る】あん
 あるく【歩く】あるぐん
 【あれ】うり
 あれる【荒れる】ありるん、〔波が～〕ぶり
 るん
 あわ【泡】あすぺー
 あわ【粟】あん
 あわせる【合わせる】あーしみるん
 あわせる【合わせる】あーすん
 あわてさせる【慌てさせる】さわがすん
 あわてふためく【慌てふためく】あばちかん
 ちすん
 あわてる【慌てる】あばちるん
 あわれだ【哀れだ】すむやむーん
 あん【餡】あん、ばた
 あんかだ【安価だ】やっさはん
 あんこ【餡子】あん、ばた
 あんしょう【暗礁】じり
 あんしん【安心】「うなーぐ、とうくっとう」
 あんしんした【安心する】やぶすなるん
- あんしんする【安心する】「うなーぐなるん」
 、やすんじるん
 あんつく【アンツク】めった
 あんど【安堵】「うなーぐ、とうくっとう」
 あんどした【安堵する】やぶすなるん
 あんどする【安堵する】「うなーぐなるん」
 あんないする【案内する】しけーすん
 【あんまりだ】どうぐ、どうぐ
 あんもち【餡餅】あんむち
 い【亥】びー
 い【胃】ぶーばた
 いいあわせる【言い合わせる】そんだんす
 ん
 【いいえ】あーい
 いいなおす【言いなおす】いーのーすん
 いいはる【言い張る】やっぱり
 いいまかす【言い負かす】いーまかすん
 いいわけ【言い訳】いーばぎ
 いう【言う】えぬん
 いえ【家】ひー
 いえづくり【家造り】ひすくり
 いえのしゅうかん【家の習慣】やーなれー
 いえのらくせいいわい【家の落成祝い】ひす
 くりよい
 いえもと【家元】やーむとら
 いかす【生かす】いがすん
 いかなる【如何なる】ねーしゃるん
 いかり【怒り】くんぞー
 いき【息】いし
 いきおいづく【勢いづく】ばざーるん
 いきおいよくあふれる【勢いよく溢れる】ふ
 きんじるん
 いきおいよくうつすさま【勢いよく移すさま】
 〔液体や小粒の物を～〕いたちり
 いきかえる【生き返る】ぬちいむやん
 いきがはずむ【息がはずむ】あふくん
 いきぎれになる【息切れになる】あふくん

いきちがう【行き違う】んぎちげーるんⅴ
 いきている【生きている】いぎだる
 【いきむ】んくむんⅴ
 いきもの【生き物】いすむしⅴ
 いきりょう【生霊】いきろーⅴ
 いきる【生きる】いぎるんⅴ、いぎんⅴ
 いく～【幾～】うー
 いく【行く】ぱるんⅴ、んぐんⅴ
 【いくたり】うたーりⅴ
 いくつ【幾つ】うーちいⅴ、うーびⅴ
 いくら【幾ら】うーびⅴ
 いける【生ける】〔花などを～〕いぎるんⅴ
 いざってすすむ【いざって進む】しきつつあ
 ーるん
 いさり【漁り】いざりⅴ
 【いざる】しきつつあーすんⅴ
 いし【石】いしⅴ
 いじ【意地】いじいⅴ
 いしうす【石臼】いしうしⅴ
 いしがき【石垣】いしまーしⅴ、ふくⅴ
 いしがきし【石垣市】しかⅴ
 いしがきじま【石垣島】いさすうまⅴ
 いしき【意識】そーⅴ
 いじめる【虐める】いじみるんⅴ
 いしもり【石盛】むりⅴ
 いしゃ【医者】いしゃんⅴ
 いしょう【衣装】いしょーⅴ
 いしょくする【移植する】やとーすんⅴ
 いじる【弄る】だーぶんⅴ
 いじをはる【意地を張る】こっぱるんⅴ
 いずみ【泉】ばぎみじⅴ、ぱりみじいⅴ
 いぜん【以前】めーⅴ
 いそ【磯】すびⅴ
 いそいで【急いで】ペーしゃなⅴ
 いそがしい【忙しい】ぱんたっさⅴはん
 いそがせる【急がせる】あーらすんⅴ、いすが
 すんⅴ

いそぐ【急ぐ】あばちるんⅴ、いすぐんⅴ
 いそべ【磯辺】「ばま」ふちい
 いた【板】いたⅴ
 いたい【痛い】あがー
 いたくてかゆいかんじがする【痛くて痒い感
 じがする】〔稲、麦などの芒が皮膚をつきさ
 すような～〕ばすうこーⅴはん
 いたずら【悪戯】がんまりⅴ、わしくⅴ
 いたずらずきだ【悪戯好きだ】やまんぐⅴさー
 ん
 いたずらっこ【悪戯っ子】やなわらびⅴ
 いたずらっぽい【悪戯っぽい】がまⅴさーん、
 がんまり シャーん
 いたずらっぽいもの【悪戯っぽい者】やまぐⅴ
 、やまんぐ
 【いたずらに】あだりⅴ
 いただき【頂】ちじⅴ
 いただきもの【頂き物】「たぼらり」むぬ
 いただく【頂く】たぼらいるんⅴ、たぼるんⅴ
 【いたっ】あがー
 いたむ【傷む】〔肉類が～〕さがるんⅴ
 いたむ【痛む】やむんⅴ
 いためる【痛める】やますんⅴ
 いたゆか【板床】ふんたⅴ
 いちごうます【一合枮】なもりⅴ
 いちぞく【一族】いちむんⅴ
 いちだいじ【一大事】うーぐとう
 いちど【一度】ぴいとうむしⅴ
 いちにち【一日】ぴてんⅴ
 いちにちじゅう【一日中】ぴてんぴじゅ
 いちばん【一番】いすばんⅴ
 いちばんきょうげん【一番狂言】いすばんこ
 んぎⅴ
 いちもくさんに【一目散に】びよすた、みっ
 ふあⅴん
 いちもん【一門】いちむんⅴ
 いつ【何時】いちいⅴ

いかい【一回】 ぴいとうむし¹
 いっしゅうき【一周忌】 なんが¹
 いっしょ【一緒】 まーじい¹
 いっしょうけんめい【一生懸命】 いざんだ¹
 いっしょうます【一升枰】 シャー¹
 いっしょに行く【一緒に行く】 そーり¹ んぐ
 ん¹
 いっしょにくる【一緒に来る】 そーり¹ くん¹
 いっしょにする【一緒にする】 まんざーすん
 いつつ【五つ】 いっし¹
 いったきかせる【言って聞かせる】 えにすか
 すん¹
 【いっとき】 あ¹たー¹すま
 いっぱい【一杯】 まんしん¹、まんどん¹、ん¹
 ごー¹び
 いっぱいになる【一杯になる】 んちん¹
 いっぴん【一品】 ぴいとうすな¹
 いっぼう【一方】 ぴいとうかた¹
 いつも【何時も】 い¹ちい¹ん、シャー¹、めー¹
 が¹めー¹にち
 【いつわり】 ゆくしむに¹
 いでたつ【出で立つ】 んじたつん¹
 いと【糸】 いと¹
 いど【井戸】 けー¹
 いどうする【移動する】 うがすん¹、ゆしるん¹
 いとこ【従兄弟】 いちふ¹
 いどころ【居所】 ぶーど¹り¹
 いどむ【挑む】 しかきるん¹
 いなくなる【居なくなる】 のーなさん
 いなづま【稲妻】 ぶちり¹
 いなびかり【稲光】 ぶちり¹
 いなむら【稲むら】 しら¹
 いぬ【戌】 いぬ、いん¹
 いぬ【犬】 いぬ、いん¹
 いぬまき【イヌマキ】 きゃんぎ¹
 いね【稲】 いに¹
 いねかり【稲刈り】 めーかり¹
 いねむり【居眠り】 にんぶり¹
 いのしし【猪】 むざ¹
 いのち【命】 ぬちい¹
 いのちづよい【命強い】 ぬちいずー¹さーん
 いのちのおんじん【命の恩人】 ぬちいぬうや¹
 いのり【祈り】 うやっすり¹
 いのる【祈る】 にげー¹しきるん¹、にんじる
 ん¹
 いはい【位牌】 いべー¹
 いばる【威張る】 いばりすくん¹、いばるん¹、
 がーりすきん¹、たかぶるん¹、ほーらし
 いびき【鼾】 ばな¹ふき¹
 【いびる】 はき¹まんじるん¹
 いぶくろ【胃袋】 ぶーばた¹
 いま【今】 なま¹、まな¹
 いまごろ【今頃】 まなばら¹
 いましめる【戒める】 いましみるん¹、いまし
 みるん¹、すかり¹すくん¹
 いますぐ【今すぐ】 ふたぎな¹、まなまな
 いまのよ【今の世】 まなぬ¹ ゆー¹
 いむ【忌】 いみ¹
 いもうと【妹】 うと¹うーと¹
 いや【嫌】 あーい、んば
 いやだ【嫌だ】 ふつくれー
 【いらっしゃる】 おーるん¹
 いろおもて【西表】 いろむち¹
 いろおもてじま【西表島】 いろむち¹
 いろぐち【入口】 ぺりふちい¹
 いろひ【入日】 いろしな¹
 いろびたる【入り浸る】 いろびたるん¹
 いろむこ【入り婿】 いろ¹むぐ¹
 いる【射る】 いるん¹
 いる【居る】 ぶん¹
 いる【煎る】 いろぐん¹
 いる【要る】 いるん¹
 いるいいれ【衣類入れ】 なーばぐ¹
 入れかえする【入れ換えする】 いろかい¹ す

- んⅴ
 いれかえる【入れ換える】いりかいⅴ すんⅴ、
 いりかいるんⅴ
 いれかわる【入れ代わる】いりかーるんⅴ
 いれもの【入れ物】いりむんⅴ
 いれもののいっしゅ【入れ物の一種】めった
 いれる【入れる】いりんⅴ
 いろ【色】いるⅴ
 いろあせる【色褪せる】ぱぎるんⅴ
 いろがあせる【色があせる】すさむんⅴ
 いろがしろい【色が白い】いるすそーⅴはん
 いろきちがい【色気違い】しきべー
 いろり【囲炉裏】すかⅴ
 いわい【祝い】よいⅴ
 いわいのひきでもの【祝いの引き出物】よい
 む むぬ
 いわがんぺき【岩岸壁】すばにⅴ
 いわれ【謂れ】いわりⅴ
 いん【印】いんⅴ、 ぼんⅴ
 いんかん【印鑑】いんⅴ、 ぼんⅴ
 いんけい【陰茎】〔幼児語〜〕こっち、まらⅴ
 いんしゅう【因習】やななれーⅴ
 いんしょくしつくす【飲食し尽くす】〔飲食物
 を残らず〜〕たいらぎるんⅴ
 う【卯】うーⅴ
 ういきょう【ウイキョウ】に「じ」きょー
 【ううんううん】んーんー
 うえ【上】ういⅴ
 うえからかける【上からかける】かふちるんⅴ
 うえへ【上へ】ういがⅴ
 うえる【植える】いびるんⅴ
 うえる【飢える】かちりるんⅴ、 かちりんⅴ
 うおのめ【魚の目】ゆぬめーⅴ
 うかせる【浮かせる】おーぎるんⅴ
 うかぶ【浮かぶ】おーがーるんⅴ、 おーがるんⅴ
 うかべる【浮かべる】おーぎるんⅴ
 うかれる【浮かれる】おーがーるんⅴ
- うけおう【請け負う】うきるんⅴ
 うけとる【受け取る】うきとるんⅴ
 うけもつ【受け持つ】うきむつんⅴ
 うける【受ける】うきるんⅴ
 うける【浮ける】おーぎるんⅴ
 うごかす【動かす】うがすんⅴ
 うごく【動く】うぐんⅴ
 うし【丑】うしⅴ
 うし【牛】うしⅴ
 うじ【蛆】うじⅴ
 うじこ【氏子】〔御嶽の〜〕「ばなぬ」ふあー
 うしなう【失う】うすなすんⅴ、 ねーなⅴさんⅴ
 うしゅがなし【御主加那志】うしゅがなしⅴ
 うしろ【後ろ】しなたⅴ、 しびⅴ、 しびゃたⅴ
 うす【白】うしⅴ
 うすあじだ【薄味だ】あふあⅴさん
 うすぐらい【薄暗い】あやっふあⅴさーん
 うすぐらくなる【薄暗くなる】ふあどうまる
 んⅴ
 うずたかく【うず高く】た「が」たかし
 うずまる【埋まる】うずまるんⅴ
 うすめ【薄い】ぴいさⅴはん
 うすめだ【薄めだ】ぴいさⅴはん
 うすめる【薄める】〔水などで〜〕ぼーすんⅴ、
 ばいるんⅴ
 うずめる【埋める】うずみるんⅴ
 うずら【ウズラ】うずらⅴ
 【うそ】ゆくしむにⅴ
 うそ【嘘】ぷりむにⅴ
 うそだ【嘘だ】がーん
 うそなき【うそ泣き】なぎまーべⅴ
 うた【歌】うたⅴ
 うたがう【疑う】うたげーるんⅴ、 うたごーんⅴ
 うたがわしい【疑わしい】あやっⅴさーん
 うたき【御嶽】わーⅴ
 うたきのさいしにさんかするむらびと【御嶽
 の祭祀に参加する村人】やまにんじゅⅴ

うたさんしん【歌三線】うたさんしんⅴ
 うち【内】うちⅴ
 うちがわ【内側】うちⅴ
 うちくたく【打ち砕く】くだくん
 うちこむあめ【打ち込む雨】〔室内に〜〕うち
 あみⅴ
 うちつける【打ち付ける】うつつあーすんⅴ
 うちとける【打ち解ける】すむびらすんⅴ
 うちまかす【打ち負かす】うちまかすん
 うちみ【打ち身】うったち
 うちわ【団扇】おんⅴ、おんぎⅴ
 うちわすれる【うち忘れる】うちばっさん
 うつ【打つ】うつんⅴ、くらすんⅴ、たたぐんⅴ
 うつ【撃つ】いるんⅴ
 【うっかり】うかっと
 【うっかりする】うかっと すんⅴ
 うつくしい【美しい】〔容姿が〜〕あばりし
 ьяⅴはん、けしゃⅴはん
 うつす【写す】うつすんⅴ
 うつす【移す】〔牛馬を〜〕むすなすんⅴ
 うったえる【訴える】うったいんⅴ
 うつむく【俯く】うすふくんⅴ
 【うつる】〔病気が〜〕うつるんⅴ
 うつる【映る】うつるんⅴ
 うつる【移る】うつるんⅴ
 うで【腕】うじⅴ
 うてん【雨天】あまおしきⅴ
 うなぎ【ウナギ】うなんⅴ
 うなりがみ【姉妹神】ぶなりかんⅴ
 うなる【唸る】たけーるんⅴ
 うに【海栗】うんⅴ、かちⅴ
 うぬぼれる【自惚れる】ほーらし
 うね【畝】ばかⅴ
 うばいとる【奪い取る】ばがいとるんⅴ、ば
 がへ とるんⅴ
 うぼう【奪う】とるんⅴ、ばがすんⅴ
 うほう【右方】ねーりⅴ

うま【午】んまⅴ
 うま【馬】んまんⅴ
 うまい【上手い】ぞーじⅴ
 うまい【旨い】まーⅴはん
 うまくない【旨くない】にしゅⅴはん
 【うまくまとまる】とうとうのーんⅴ
 うまれ【生まれ】まりⅴ
 うまれじま【生まれ島】まりじまⅴ
 うまれどし【生まれ年】まりどっしⅴ
 うまれる【生まれる】まりるんⅴ
 うみ【海】いなーⅴ、いながⅴ
 うみどり【海鳥】「いんⅴどっり
 うみべ【海辺】「いなんⅴぱた
 うみへのおりぐち【海への降り口】うだちⅴ
 うむ【産む】なすんⅴ
 うむ【績む】んーむんⅴ
 うむ【膿む】みゃん
 うめあわせる【埋め合わせる】たらーすんⅴ
 うもれる【埋もれる】うずまるんⅴ
 うやまう【敬う】あがみるんⅴ、うやまいるんⅴ
 、うやめーるんⅴ
 【うようよ】うじゃうじゃ
 うらがえす【裏返す】うらがいすんⅴ、うらげ
 ーすんⅴ
 うらさびしい【うら寂しい】すとるんⅴさーん
 うらないし【占い師】さんぎんそーⅴ、ゆたⅴ
 うらむ【恨む】にたむんⅴ
 うらやましい【羨ましい】べーちゃー
 うる【売る】かしみるんⅴ
 うるうづき【閏月】ゆりしきⅴ
 うるうどし【閏年】ゆりどっしⅴ
 うるおい【潤い】うりーⅴ
 うるちまい【うるち米】むすめーⅴ
 うれしい【嬉しい】さにしゅⅴはん
 うれしがる【嬉しがる】さにしゅー すん
 うれる【熟れる】みゃんⅴ
 うろこ【鱗】いりぎⅴ

【うろたえる】ざまどうるん、どまんぐるん、
 うわきおんな【浮気女】さんごな一
 うわさ【噂】さた一
 うわやく【上役】ういぬ、ぴいと一
 うん【運】うん、ふん一
 うんがない【運がない】うんぬ、ねーぬ、
 え【絵】え一
 えいようをつける【栄養をつける】くんき し
 きるん
 えきしゃ【易者】さんぎんそ一、ゆた一
 えきびょうよけのぎょうじ【疫病除けの行事】
 しまふさら一
 えさ【餌】むんだに一
 えだは【枝葉】ゆだば一
 えび【海老】いび一
 【えびずる】かなぶ一
 えもの【獲物】ていがら一
 えものがおおい【獲物が多い】だーさ、はん、
 まだ、はん
 えらいひと【偉い人】たかぴいと一、ぶーび
 一と一
 えらぶ【選ぶ】いらぶん一
 えんきする【延期する】ぬばすん一
 えんさい【エンサイ】うんつえ一
 えんぼう【遠方】とうけ一
 えんぼうだ【遠方だ】とうさ、はん
 お【尾】ぶすぶ一
 おあがりになる【お上がりになる】おーし お
 ーるん
 おい【甥】ぶい、ぶいふあ一
 おい【老い】うい一
 おいかける【追いかける】わっか、んぐん、
 おいこす【追い越す】ういぬぐん、
 おいこむ【追い込む】ういくむん一
 おいしい【美味しい】ま一、はん
 おいしげる【生い茂る】かぶん、むい、かぶ
 ーん一
 おいだす【追い出す】ういんだすん、わっか、
 ーんだすん一
 おいたてる【追い立てる】ういまーすん、だ
 ーふつるん、
 おいちらす【追い散らす】ういわっきるん、
 ーだふつり、わっकिन一
 おいつく【追いつく】ういすくん、
 おいておく【置いておく】すくん一
 おいぬく【追い抜く】ういぬぐん、
 おいはらう【追い払う】わっきるん、わっき
 ーん、
 おいぼれる【老いぼれる】ういぶり一
 おいまわす【追い回す】ういまーすん、
 おいめ【負い目】うか一
 おいる【老いる】ういるん一
 おいること【老いること】うい一
 おう【追う】わっきるん、わっकिन一
 おうぎ【扇】おん、おんぎ一
 おうし【雄牛】〔大きな～〕ぐつえー、びー
 ーうしい、
 おうちやくなもの【横着な者】なまふつあり
 むぬ、やまぐ、やまんぐ
 おうべいじん【欧米人】うらんだ一
 おえる【終える】しー うすくまん、すますん、
 ーとうじみるん、
 おお【大】ぶ一
 おおあわてする【大慌てする】あばちかんち一
 ーすん、
 おおい【多い】ぶさ、はん
 おおう【覆う】うすん、かふちるん一
 おおかぜ【大風】ぶーかち一
 おおがたのえい【大型エイ】かまんた一
 おおがたのかつお【大型のカツオ】だいばん、
 おおかわ【大川】ふーが一
 おおきい【大きい】ぶ一、ぶさ、はん、まーぎ
 おおきくなる【大きくなる】ぶさは、なるん、
 おおきなうねり【大ききなうねり】むさん、

おおきなかなてこ【大きな金槌子】しんがら1
 おおきなは【大きな葉】かなば1
 おおきなひと【大きな人】ぶーぴいと
 おおくする【多くする】ぶーさ1 なすん1
 おおくなる【多くなる】ぶーさ1 なるん1
 おおごえ【大声】まーぎ1く1
 おおざけのみ【大酒飲み】さきじょーぐ1
 おおざっぱに【大雑把に】「ざっ」と
 おおざら【大皿】ぶーさら
 おおしお【大潮】ぶーすー1
 おおたにわたり【オオタニワタリ】ふつがら1
 おおなみ【大波】ぶーなん1、むさん1
 おおばかも【大馬鹿者】まーぷりむん1
 おおはま【大浜】ぼーま1
 おおみそかのよる【大晦日の夜】とうしいぬ1
 ゆーん、とうしいぬ1 ゆる1
 おおむかし【大昔】かーま1むがし1
 おおもうけ【大儲け】あらもーぎ1
 おおわらい【大笑い】ぷりばーり1
 おか【丘】むり1
 【おかしい】いふなー1
 おかしい【可らしい】ばーしゃ1はん
 【おかず】かちむん1
 おかね【お金】じん1
 おかねいれ【お金入れ】じんふくる1
 おかねをためる【金を貯める】じん1たみるん1
 おがみ【拝み】うがみ1
 おがむ【拝む】うがむん1、こーみ1
 おがむこと【拝むこと】うがみ1
 おかよい【陸酔い】じふねー1
 おがわら【雄瓦】びーがーら1
 おき【沖】とー1
 おぎなう【補う】たらすん1
 おきなわ【沖繩】うすな1
 おきなわほんとう【沖繩本島】うすな1
 おきゃく【お客】しん1
 おきゅう【お灸】やち1
 おきる【起きる】うぎるん、うぎん1
 おく【奥】うく1、すく1
 おく【置く】うすくん1、すくん1
 おくのほう【奥の方】うく1
 おくびょうだ【臆病だ】いじい ねーぬ、いじ
 いぬ1 ねーぬん、うくびょー1さーん
 おくらせる【遅らせる】うくらすん1
 おくる【送る】うぐるん1
 おくれる【遅れる】うくりん1、にふつあ1はん
 おけ【桶】たんぐ1
 おこう【お香】こー1
 【おこげ】なびしき1
 おこす【熾す】〔火を〜〕てしきるん1
 おこす【起こす】うがすん1
 おこたる【怠る】うくたるん1
 おこりんぼ【怒りんぼ】くんぞーむぬ
 おこる【怒る】おこるん1
 おこる【起こる】おこるん1
 おこること【怒ること】くんぞー1
 【おこわ】かしき1
 おさえこむ【押さえ込む】うししきん1
 おさえる【押さえる】うすん1
 おさけ【お酒】ぐしん1
 おさないこ【幼い子】いしゃがーたま1
 おさまる【治まる】うさまるん1
 おさめる【治める】うさみるん1
 おさめる【納める】うさみるん1
 おじ【伯父】ぶざま1
 おじ【叔父】ぶざま1
 おしあげる【押し上げる】うしあんぎるん1
 おしい【惜しい】あがやー、あたら1さん
 【おじいさん】うしとうぶや、ぶや1
 おしいれ【押し入れ】うちくる1
 おしえる【教える】いましみるん1、いましみ
 ん1、ならすん1
 おじおぼのまご【叔父叔母の孫】「いちふ」ぶ
 い

おしかえす【押し返す】うしかいすんⅴ
 おじき【お辞儀】こーみⅴ
 おじぎする【お辞儀する】こむんⅴ
 おじけづく【怖気づく】たんきるんⅴ
 おしこむ【押し込む】うしくむんⅴ
 おしこめる【押し込める】うしくみるんⅴ
 おしころがす【押し転がす】うしくるばすんⅴ
 おしころばす【押し転ばす】うしくるばすんⅴ
 おしたおす【押し倒す】うしとーすん
 おしだまる【押し黙る】とぅなばるんⅴ
 おしつける【押し付ける】うししきるんⅴ
 おしつぶす【押しつぶす】びらがすんⅴ
 おしてひらたくする【押して平たくする】び
 らがすんⅴ
 おしはかる【押し量る】ばがるんⅴ
 おしもどす【押し戻す】うしむどぅすんⅴ
 【おじや】ずーしⅴ
 【おしゃべり】むぬばなしⅴ、ゆんたくⅴ
 【おしゃれた】はいからⅴさーん
 おしよせる【押し寄せる】うしゆしるん
 おす【押す】うすんⅴ
 おぜん【お膳】じんⅴ
 おそい【遅い】にふつあⅴはん
 おそなえする【お供えする】しきるんⅴ
 おそろしい【恐ろしい】うすまさん、うとぅ
 るさⅴはん、ごーⅴはん、ぬぐりしゃⅴはん
 おだく【汚濁になる】やなごるんⅴ
 【おたふくかぜ】とーしんべーⅴ
 おたま【お玉】すーペーⅴ
 おたまじゃくし【オタマジャクシ】たらぐⅴ
 おだやかになる【穏やかになる】なだらぐんⅴ
 おちつきがない【落ち着かない】すむあーり
 おちつく【落ち付く】うちすくんⅴ
 おちぶれる【落ちぶれる】さぼーりんⅴ
 おちゃうけ【お茶うけ】さうきⅴ
 おちる【落ちる】うちんⅴ
 おっかけていく【追っかけていく】ういんぐ
 ⅴんⅴ
 【おっかぶせる】すかふちるんⅴ
 おっこちる【落っこちる】すかうちるんⅴ
 おっと【夫】ぶとぅⅴ
 おっばらう【追っ払う】ういばろーんⅴ
 【おつゆ】すーⅴ
 おてんば【お転婆】ぱたらしやみどぅむ、ぴ
 ゃんがⅴ
 おてんばむすめ【お転婆娘】ぴゃんがⅴ
 おと【音】うとーⅴ
 おとうと【弟】うとぅーとぅⅴ
 【おどける】ぴらすんⅴ
 おとこ【男】びどぅむⅴ
 おとこのきょうだい【男の兄弟】びぎりⅴ
 おとこのこのあいしょう【男の兄の愛称】こ
 ー「に」ー
 おとこのさいこん【男の再婚】またそーりⅴ
 おとさた【音沙汰】うとぅさたⅴ
 おとす【落とす】うたすんⅴ
 おどす【脅す】うどぅがすんⅴ
 おととい【一昨日】ぶとぅちⅴ
 おととし【一昨年】みちなりん
 おとなしい【大人しい】うとぅなさⅴはん
 おどり【踊り】ぶどぅりⅴ、ぶんどぅり
 おとる【劣る】うとぅるんⅴ、ぴなⅴはん
 おどる【踊る】ぶどぅるんⅴ、ぶんどぅるんⅴ
 おとろえる【衰える】うとぅるいるんⅴ、〔植
 物の勢いが〜〕だーりるんⅴ
 おどろき【驚き】うどぅるぎⅴ
 おどろく【驚く】うどぅるぐんⅴ
 おなかをこわしやすい【お腹をこわしやすい】
 ばたⅴよーⅴさーん
 おなじ【同じ】ゆぬ、ゆぬむぬ
 おなじこと【同じこと】ゆぬむぬ
 おなじていど【同じ程度】ゆぬしゅくⅴ
 おなじとし【同じ年】ゆぬとぅしⅴ
 おなじもの【同じもの】ゆぬむぬ

おに【鬼】うん¹
 おにおこぜ【オニオコゼ】いしゃば¹
 おの【斧】ぶぬ¹
 おば【伯母】ぶば¹
 おば【叔母】ぶば¹
 【おばあさん】ばー¹
 おばさんたち【おばさん達】ぼんだー¹
 おはつ【お初】ぱち¹
 おび【帯】すくび¹
 おぼえ【覚え】うぶい¹
 おぼえる【覚える】うぶいるん¹、うぶいん¹
 おぼれる【溺れる】うぶりるん¹
 おぼん【お盆】そーりん¹
 おぼんのさいしゅうび【お盆の最終日】うぐ
 るびん¹
 おまえ【お前】だー¹
 おまえは【お前は】だんざー¹
 おまえら【お前ら】だいま¹
 おみき【お神酒】ぐしん¹
 おみやげ【お土産】すうとう¹
 おむかえする【お迎えする】しけーすん¹
 おもい【重い】んさ¹はん¹
 おもいあたる【思い当たる】ばがるん¹
 おもいきる【思い切る】うむいきすん¹、むい
 きし¹
 おもいこがれる【思い焦がれる】うむいくが
 りん¹
 おもいこむ【思い込む】うむいくむん¹、むい
 くみ¹
 おもいだす【思い出す】うむいんだすん¹、む
 んじる¹
 おもいたつ【思い立つ】うむいたつん¹
 おもいつく【思い付く】うむい¹すくん¹
 おもいつめる【思い詰める】うむいつみるん¹
 、うむいつみん¹
 おもいなおす【思い直す】うむい¹のーすん¹
 おもいのこす【思い残す】うむい¹ぬぐすん¹

おもいやり【思いやり】なさき¹
 おもう【思う】かんげーるん¹、むん¹
 おもしろい【面白い】むっさ¹はん¹
 おもたい【重たい】んさ¹はん¹
 おもちゃ【玩具】だーびむぬ¹
 おもとだけ【於茂登岳】むとうだぎ¹
 おもや【母屋】ぶー¹ひー¹
 【おや】あい¹
 おや【親】うや¹
 おやかた【親方】うやかた¹
 おやこ【親子】「うや」ふあ¹
 おやすみになる【お休みになる】ゆごー¹す
 ん¹
 おやゆび【親指】ぶーび¹
 およぐ【泳ぐ】うい¹
 およぶ【及ぶ】ういぶん¹、うゆぶん¹
 おりいど【降り井戸】うりげー¹
 おりこうさん【お利口さん】ぼーりぼーり¹
 おりたたむ【折り畳む】たたむん¹
 おりもの【織物】ぬぬ¹
 おる【折る】ぶるん¹
 おる【織る】うるん¹
 おれ【俺】ばぬ¹
 おれやすい【折れやすい】さば¹はん¹
 おれる【折れる】ぶりるん¹
 おろす【下ろす】うらすん¹
 おろす【降ろす】うらすん¹
 おわせる【負わせる】[全責任を～]ばかすん¹
 おわり【終わり】おび¹
 おわる【終わる】うわるん¹、おわるん¹、しま
 いるん¹、すむん¹
 おわれる【追われる】わっきらいるん¹
 おん【恩】おん¹、ぶん¹、ぶんぎ¹
 おんぎ【恩義】おん¹、ぶん¹、ぶんぎ¹
 おんぎょく【音曲】うたさんしん¹
 おんしん【音信】うとうさた¹
 おんな【女】みどうむ¹

おんなのこ【女の子】みどぅんたま¹
 おんなのさいこん【女の再婚】またむち¹
 おんなのふんどし【女のふんどし】めつつあ¹
 おんなわらべ【女わらべ】みやらび¹
 【おんぶする】か¹にるん¹
 おんわだ【穏和だ】うとぅなさ¹はん
 おんをかえす【恩を返す】ぶん¹か¹いすん¹
 【おーい】やー
 か【蚊】が¹んざん¹
 が【我】がー¹
 が【蛾】ぱ¹びる¹
 かい【權】いやぐ¹
 かい【貝】みなん¹
 ~かい【~回】むし
 がい【害】がい¹
 かいが【絵画】えー¹
 かいがら【貝殻】みなんぬ¹ くー¹
 かいがんふきん【海岸付近】「いなん¹」ぱた
 かいこんする【開墾する】ありしあぎるん¹
 かいこんはたち【開墾畑地】ありしびてー¹
 がいしゅつ【外出】ふかまー¹り¹
 かいすい【海水】すー¹
 かいすいよく【海水浴】おんだ¹
 がいする【害する】がい¹ すん¹
 かいぜんする【改善する】あらたみるん¹
 かいたいする【解体する】ばずらすん¹
 かいだん【階段】「だん¹」だん
 かいちゅう【回虫】ばたぬ¹ むしい¹
 がいちゅう【害虫】やなむしい¹
 かいてんさせる【回転させる】まーすん¹
 かいてんする【回転する】まーるん¹
 かいふくする【回復する】むちのーるん¹
 かう【買う】こーん¹
 かう【飼う】すかのーすん¹
 かえりみち【帰り道】むどぅりみち¹
 かえる【代える】かれーるん¹
 かえる【変える】かれーるん¹
 かえる【帰る】けーるん¹
 かえる【替える】かれーるん¹
 かえる【蛙】おった¹
 かお【顔】むち¹
 かおく【家屋】ひー¹
 かおり【香り】かー¹
 かおる【薫る】かば¹はん
 かがせる【嗅がせる】かばすん¹
 かかと【踵】あどぅ¹
 かがみ【鏡】か¹んが¹ん¹
 かがむ【屈む】すくまるん¹
 【かかる】〔禁忌に~〕はかるん¹
 かかる【掛かる】はかるん¹
 かかる【罹る】〔病気に~〕はかるん¹
 かき【夏季】なちい¹
 かき【書く】はく¹ん¹
 かきあつめてとる【掻き集めて取る】はかじ¹
 とぅるん¹
 かきあつめる【掻き集める】はきあしみるん¹
 かきいれる【書き入れる】はき¹い¹りるん¹
 かきおとす【書き落とす】はきもらすん¹
 かきそえる【書き添える】はきたすん¹
 かきたす【書き足す】はきたすん¹
 かきだす【掻き出す】はき¹ん¹だ¹すん¹
 かきちらかす【掻き散らかす】はきぼーるん¹
 かきとどめる【書き留める】はきとぅみるん¹
 かぎのて【鉤の手】かーぎ¹
 かきまぜる【掻き混ぜる】きんつあーらすん¹
 、はき¹まん¹じるん¹
 かきまわす【掻き回す】はきまーすん¹
 かきみだす【掻き乱す】き¹ん¹だ¹るん¹、はき¹
 まん¹じるん¹
 かきもらす【書き漏らす】はきもらすん¹
 かく【描く】はく¹ん¹
 かく【掻く】はく¹ん¹
 かぐ【嗅ぐ】〔匂いを~〕かぶ¹ん¹
 かくげん【格言】むがし¹く¹とぅば¹

かくじ【各自】な—どう—どう
 かくしご【隠し子】ぐんぼ—
 かくじで【各自で】どうしけな
 がくしゅう【学習】むぬなれ—
 かくす【隠す】かつあみるん¹、はこすん¹
 かくだりする【拡大する】ぴそ—ぎるん
 がくどう【学童】がくたま
 かくにんする【確認する】たしかみるん¹
 がくもん【学問】がくむん¹
 かくれる【隠れる】くまるん¹、はこりん¹
 かけ【賭け】か—き¹
 かげ【影】かぎ¹
 かげ【陰】かぎ¹、け—
 かけがいする【掛け買いする】さがらすん¹
 かけごえ【掛声】やぐい¹
 かげぜん【陰膳】かぎじん¹
 かけまわる【駆け回る】はきま—るん¹
 かけら【欠片】はき¹
 かける【掛ける】はきるん¹
 かける【欠ける】はきるん¹、はきん¹
 かける【駆ける】かしきるん¹、はきしいきる
 ん¹
 かご【籠】かぐ¹
 かこつける【託ける】なしきるん¹
 かこませる【囲ませる】はこますん¹
 かこむ【囲む】はこますん¹、はこむん¹
 かさ【傘】さな¹
 かさ【暈】ぴながん¹
 かさ【笠】かつあ¹
 かざかみへ【風上へ】お—らが¹
 かざぐるま【風車】かざまや—¹
 かざしも【風下】すと—ま¹
 かさなる【重なる】かさばるん¹、かつあなる
 ん¹
 かさねる【重ねる】かさになるん¹、かさびるん¹
 、かつあびるん¹
 かさむ【嵩む】かつあむん¹

かざむき【風向】たむき¹
 かざり【飾り】かつあり¹
 かし【菓子】こ—し¹
 かじ【火事】ぴ—¹
 かじ【舵】かち¹
 かじ【鍛冶】かつえ—¹
 がし【餓死】が—し¹
 かしこい【賢い】そ—いり¹
 がしのとし【餓死の年】がしいどうしい
 かじぼう【舵棒】て—に¹
 かじや【鍛冶屋】かつえ—¹
 かじやまつり【鍛冶屋祭】かつえ—ぶな¹
 かじゅ【果樹】な—りむぬ¹
 がじゅまる【ガジュマル】がざまに¹
 かす【貸す】からすん¹
 かず【数】かじ¹
 かずら【蔓】かちいら¹
 かぜ【風】かち¹
 かせい【加勢】かし—¹
 かぜがつよい【風が強い】かちよ¹はん
 かぜがはやる【風邪が流行る】ばなしきぬ は
 やるん
 かぜまわり【風廻り】かちま—り¹
 かぜよけ【風除け】かたが¹
 かせん【河川】か—ら¹
 かそうぎょうれつ【仮装行列】〔旧盆の〜〕み
 ちすね—¹
 かぞえる【数える】かずいるん¹、ゆむん¹
 かぞく【家族】や—にんじゅ¹
 かた【型】かた¹
 かた【肩】かた¹
 かたあし【片足】かたばん¹
 かたい【固い】こ—¹はん
 かたい【硬い】こ—¹はん
 かたいっぱい【片一方】かたぐ¹
 かたおや【片親】かたうや¹
 【がたがた】がたがた

- かたがわ【片側】 ぴいとうかた1
 かたく【固く】 こーし
 かたくなる【固くなる】 こっぼるん1
 かたくなる【硬くなる】 かたまるん1、こーる
 ん1、こすぼるん1
 かたぐるま【肩車】 かんご1
 かたすみ【片隅】 ゆごー1
 かたち【形】 かたち1
 かたづけ【片付け】 かたすか1
 かたづけてきれいにする【片付けてきれいにする】 あぎーぎるん1
 かたづける【片付ける】 まだぎるん1、まどう
 ぎるん1
 かたつむり【カタツムリ】 すたみん1
 かたな【刀】 かたな1
 かたぶり【片降り】 かたぶり1
 かたほう【片方】 かたぐ1
 かたまる【固まる】 かたまるん1、こーるん1、
 こすぼるん1
 かたむく【傾く】 かたふくん1
 かたむける【傾ける】 かたふかすん、かたふ
 きるん1
 かためる【固める】 かたみるん1
 かたらう【語らう】 かたるん1
 かたる【語る】 かたるん1、ばなすん1
 かたわら【傍ら】 ぱた1
 勝ち【勝ち】 勝ち1
 かつ【勝つ】 かつん1
 かつえる【餓える】 かつちるん1、かつちりん1
 かつお【鰹】 かつお1
 かつおぎょせん【鰹漁船】 かつおぎょせん1
 かつおこうじょう【鰹工場】 なや1
 かつおのえさのこごかな【鰹の餌の小魚】 じ
 ゃく1
 かつおのけずりかす【鰹の削りかす】 ぴじが
 ら1
 かつおぶし【鰹節】 かつおぶし1
 かつぐ【担ぐ】〔肩に〜〕 かたみるん1、かに
 るん1
 かつこう【恰好】 かたち1
 がっこう【学校】 がく
 かつこうわるい【恰好悪い】 うきしゃ1はん
 かつこと【勝つこと】 勝ち1
 【がっちり】 だ「ん」た
 かってほうだいだ【勝手放題だ】 ふんだやー
 【かっぱらう】 ばぎとるん1
 かてい【家庭】 きに1
 かていそうぎ【家庭内争議】 やーむんどう
 かど【角】 かど1
 かなう【叶う】 ういぶん1、かのーん1
 かなえる【叶える】 かねーるん1
 かなしい【悲しい】 しから1はん、なぐりしゃ1
 はん
 かなしがる【悲しがる】 しからさ1 すん1
 かなしみふさぐ【悲しみふさぐ】 しから1はー
 ん
 かなづち【金槌】 かにち1
 かならず【必ず】 やっ「ち」ん
 かに【蟹】 かん1
 かね【鉦】 かに1
 かね【鐘】 かに1
 かねじゃく【曲尺】 ばんぞーがに1
 かねもうけ【金儲け】 じんもーき1
 かねもち【金持ち】 うやぎ1、じんむちゃー1
 かねもちのいえ【金持ちの家】 「うやぎ」ひー
 【がぼと】 やいっと
 かび【黴】 かべー1
 かびん【花瓶】 ぱないぎ1
 かふう【家風】 やーなれー
 かふう【火風】 ぴーかち1
 かぶせる【被せる】 かぶちるん1
 かぶる【被る】 かぶん1
 【かぶれ】 まぎ1
 かぶわけする【株分けする】 にんばぎるん1

かほうへ【下方へ】したいがV
 かま【釜】かまV
 かま【鎌】がっきゃI
 かまえる【構える】かまいるんI
 【かまぼこ】かまぐV
 かまわない【構わない】だすたすくんI
 がまんつよい【我慢強い】がーずさはん
 がまんできない【我慢できない】ふしがらぬ
 かみ【神】かんI
 かみ【髪】あまじI
 かみうらない【神占い】うがじいI
 かみぎょうじ【神行事】かぬめーI、きさりV
 かみぎょうじのぎょうろがかり【神行事の漁
 労係】いしょーぶさV
 かみきる【噛み切る】じんぼるんV
 かみくだく【噛み砕く】かんぼるんI
 かみさま【神様】かんI
 かみそり【剃刀】かんすりI
 かみなり【雷】かんなりI
 かみのみち【神の道】かんみちいI
 かみのよ【神の世】かんぬI ゆーV、むがしいI
 ゆーV
 かみのれいげんがたかい【神の靈験が高い】か
 んだがIさーん
 かむ【咬む】かむんI
 かむ【噛む】かむんI、かんだるんI、〔歯で～
 〕ふしきるんI
 かめ【亀】かみI
 かめ【甕】かみI
 かもされる【醸される】〔酒が～〕ばぐんV
 かもん【家紋】やーばんI
 かや【茅】がやI
 かや【蚊帳】かつあV
 【がやがや】がーがー
 かやぶきのかおく【萱ぶきの家屋】がやふき
 ひーI
 かゆ【粥】ゆーI
 かゆい【痒い】びよーIはん
 かよう【通う】かよーんV
 からい【辛い】からIはん
 【からかう】ぼくるんI、ぼっくるんI
 【からから】がらから
 からげる【絡げる】からぎるんI
 からす【カラス】がらしI
 からだ【体】ぐてーI、どーI
 からだがけんこうだ【体が健康だ】どーIが
 んじゅーIさーん
 からだがじょうぶだ【体が丈夫だ】どーIが
 さIはん
 からだがつよくなる【体が強くなる】がんず
 さIなるんI
 からっぽ【空っぽ】んなV
 からにする【空にする】いたちるん
 からになる【空になる】からVなるんI
 からまる【絡まる】あんざるんI、からまぐんI
 からみつく【絡み付く】からまぐんI、からむ
 んI
 からめる【絡める】からまぐんI
 かりる【借りる】かりるんV、かるんV
 かる【刈る】かるんV
 かるい【軽い】かるVはん
 かるくおもう【軽く思う】かるんじるんV
 かれい【嘉例】かりーI
 かれら【彼ら】うしたまI
 かれる【嘎れる】〔声が～〕かりるんV
 かれる【枯れる】かりるんV
 かるんじる【軽んじる】かるんじるんV
 かわ【川】かーらV
 かわいい【可愛い】かなIさーん、しんだらI
 さーん
 かわいそうだ【可哀そうだ】すむIいたIはん、
 すむIぐりIさん、どうぐりしゃIはん
 かわいそうなおもいがする【可哀そうそうな
 思いがする】すむIぐりIしゃIはん

かわいらしい【可愛らしい】あたらゝさん、し
 んだらゝさん
 かわかす【乾かす】かりがすん、ぶつん
 かわく【乾く】かりぐん
 かわっている【変わっている】いふなー やっ
 さい
 かわはぎ【カワハギ】ふくらび
 かわや【厠】ふーる、ふるや
 かわら【瓦】かーら
 かわらぶきのいえ【瓦葺きの家】かーらゝひー
 かわり【代わり】かーり
 かわり【変わり】かわり
 かわる【代わる】かわるん
 かわる【変わる】かわるん、ちごーん
 がん【龕】がんだるごー
 かんおけ【棺桶】かん
 かんがい【旱害】びぱり、ペーりまぎ
 かんがえ【考え】かんげー
 かんがえる【考える】かんげーるん、むん
 かんき【寒気】かん、ぴらぐ
 がんきゅう【眼球】みっちん、みんなま
 がんこもの【頑固者】がんとむぬ
 かんしょ【甘蔗】あますな
 かんしょ【甘藷】あがん
 がんしょう【岩礫】すばに
 がんじょうだ【頑丈だ】がんとざさん、ほん
 かんしんがある【関心がある】きぬ、あん
 かんせんさせる【感染させる】うつすん
 かんせんする【感染する】うつるん
 がんそ【元祖】がんと
 かんぞう【肝臓】きむ
 かんたんに【簡単に】「ざつ」と
 かんちょうじ【干潮時】すっち
 かんちょうになる【干潮になる】すーびすん
 かんづかさ【神司】すかさ
 かな【鉦】かな
 かんぱ【寒波】ぴらぐ
 【かんばしい】ぱからっさい
 かんばしい【芳しい】かばほん
 かんばしくない【芳しくない】ぱからっさい
 ねーぬ
 かんぱつ【早魃】ペーり
 かんぱつだ【早魃だ】ペーり シャーん
 がんばる【頑張る】ぎばるん
 かんまんである【緩慢である】〔動作が～〕ど
 うなーさん
 がんめん【顔面】むち
 がんらい【元来】むとうがら
 【かーかー】がーがー
 き【木】きー
 き【気】きー
 きいろ【黄色】きーる
 きいろになる【黄色になる】きんき すん
 きおく【記憶】うぶい
 きおくりよく【記憶力】むぬうぶい
 きおけ【木桶】うき
 きおちする【気落ちする】すむだーりるん
 きがある【気がある】きぬ、あん
 きがえる【着替える】すうぬ、かれーるん
 きがきかなくなる【気が利かなくなる】じん
 ぶん、とーらん
 きがくるう【気が狂う】ぷりるん
 きかざる【着飾る】しだすん
 きかせる【聞かせる】すかすん
 きがたかまる【気が高まる】ばざるん
 きがちいさい【気が小さい】すむいしゃが
 はーん
 きかれる【聞かれる】すかいるん
 きがん【祈願】うがみ、うがん、うやっす
 り、にげー
 きがんする【祈願する】にげるん
 きがんのことば【祈願の言葉】にげーふちい
 ききぐるしい【聞き苦しい】しきぐり、さーん
 ききん【飢饉】がーし

- きく【聞く】すくんV
 きぐらいがたかい【気位が高い】すむ1だが1
 はん
 きくらげ【キクラゲ】みんぐるん、みんぐるみ
 んA
 きける【聞ける】すかいるんV
 きけんだ【危険だ】ぬぐりしゃん、ぴこV
 はん
 きこえない【聞こえない】すかーるぬ、みん
 とーらA
 きこえる【聞こえる】すかいるんV
 きこつ【気骨】きがいV
 【きさまは】だんざー1
 きざむ【刻む】うらすん1、きつあむんV
 ぎじゅつ【技術】わざA
 きずつける【傷つける】あやみるん1、いたま
 すん1、いたみるん1、やますんA
 きせいちゅう【寄生虫】ばたぬA、むしいV
 きせつ【季節】しち1
 きぜつする【気絶する】ふきーるんV
 きせる【煙管】きしり1
 きそく【規則】さだみ1
 きた【北】にしV、にしたV
 きたいする【期待する】あちすんV
 きたかぜ【北風】にしかちV
 きだて【気立て】きがいV
 きたない【汚い】あだらV、すぶた1はん
 きたない【汚ない】やにっしゃんはん
 きたむら【北村】にしむらV
 きちがい【気違い】しんけー1、ぷりむぬV
 きちじつ【吉日】ぴーる
 きちゅう【忌中】いみうち
 きちゅう【忌中だ】いみはかるん1
 きちれい【吉例】かりー1
 きちんとせいりされる【きちんと整理される】
 かたずぐん1
 【きちんとする】とうとうのーん1
 きっかかる【引かかる】ぴきはかるん
 きづく【気付く】さとうるん1
 きづち【木槌】あいち1
 【きつと】よーV
 きぬ【絹】いちゆ1
 きぬのきもの【絹の着物】いちゆすぬ
 きね【杵】いなしき1
 きねんさい【祈年祭】あみじわー1
 きのう【昨日】しぬV、すうぬ
 きのこ【茸】なばA
 きのどくだ【気の毒だ】すむ1いた1はん、す
 む1ぐり1さん、どうぐりしゃんはん
 きのみき【木の幹】きーぬ、むとう
 きばむ【黄ばむ】きんき、すんV
 きぶんがわるい【気分が悪い】おま1はん
 きぼう【希望】ぬずみV
 きまずい【気まずい】どうぐりしゃんはん
 きまる【決まる】きまるん1
 きみ【君】だーV
 きみたち【君たち】だいまV
 きめる【決める】きみるん1、さだみるん1
 きも【肝】きむ1、すむ1
 きもいり【肝入り】すむ1いりV
 きもち【気持】きーV
 きもちいい【気持ちいい】めっさ1はん
 きもの【着物】すうぬ1
 きものをきる【着物を着る】すうぬ1、すっす
 んV
 ぎゃく【逆】さかさー、めーしびV
 ぎゃくたいする【虐待する】いじみるんV
 きゅう【灸】やちA
 きゅうかん【旧慣】むがしいなれーA
 きゅうくつだ【窮屈だ】くちさVはん
 きゅうけい【休憩】やしみA
 きゅうけいする【休憩する】どー1よがすんA
 、よがすんA
 きゅうこんする【求婚する】くいるん1

- きゅうし【急死】あたしに
 きゅうしゅう【旧習】むがしいなれー
 きゅうじゅう【九十】ぐじゅうー
 きゅうじゅうななさいのちょうじゅうい
 【九十七歳の長寿祝い】かじまやー
 きゅうしょ【急所】すうぶ
 きゅうす【急須】ぞっか
 きゅうそくする【休息する】よがすん
 きゅうに【急に】あたし
 きゅうにちいさくなるさま【急に小さくなる
 様】だった
 きゅうになぐさま【急に風ぐ様】だった
 きゅうぼん【旧盆】そーりん
 きゅうぼんのゆにげーぎょうじ【旧盆のくゆ
 にげー】「世願い」行事】むしゃまー
 きゅうよう【休養】ぷにやしみ
 きゅうり【胡瓜】うりん
 きゅうれきのさんがつみっか【旧暦の三月三
 日】さにち
 きゅうれきのたなばた【旧暦の七夕】なんが
 そーりん
 きょう【今日】きゅうー
 きょうかい【境界】さけー
 きょうくんする【教訓する】えにすかすん
 きょうげん【狂言】こんぎ
 きょうさくのとし【凶作の年】がしいどうし
 い
 きょうじ【凶事】やなくとらん、やふ
 ぎょうじ【行事】ゆうーじ
 きょうしゆくた【恐縮だ】どうぐりしゃはん
 ー
 きょうだ【器用だ】〔手が〜〕くまはん、し
 ーぐまはん
 きょうだいしまい【兄弟姉妹】うちざ
 きょうどうさぎょう【共同作業】ぼーん、ゆい
 きょうむ【業務】しぐとら、すかま
 きょうり【郷里】すうま
- きょうりよくだ【強力だ】すさはん
 ぎょうれつ【行列】ぎょうれつ
 ぎょうれつをつくる【行列をつくる】するい
 るん
 きょか【許可】ゆるし
 きょかする【許可する】ゆるすん
 ぎょぎょう【漁業】ゆうーとら
 ぎょぐ【漁具】いしよーだぐ
 きょげん【虚言】ぷりむに
 きょじゃく【虚弱】びーら、よーば
 きょせいする【去勢する】たにーとら
 きょねん【去年】くつん
 きよめる【清める】きよみるん
 ぎょるい【魚類】ゆうー
 ぎょろう【漁労】いしよー
 きらい【嫌い】みつふあはん
 きらわれもの【嫌われ者】「みつふあー」むん
 きり【錐】いり
 ぎりかたい【義理堅い】ぎりかたはん
 きりたおす【切り倒す】きりとーすん、けー
 りーとーすん、けーるん、なぎとーすん
 きりとる【切り取る】しっしとら
 きりひらく【切り開く】さくるん
 きる【切る】しっすん
 きる【着る】しっすん
 【きれい】けしゃはん
 きれいずきだ【きれい好きだ】あざぎしゃは
 ん
 【きれいに】けーし
 きれる【切れる】むっしるん
 きわだつ【際立つ】みだつん
 きをつける【気をつける】きーしきるん、
 くくるいるん
 きん【斤】きん
 ぎん【銀】なんざ
 ぎんが【銀河】じんぬふかー
 きんきより【近距離】すかはん

- きんすう【斤数】 きんⅴ
 きんぞく【金属】 かにⅴ
 ぎんみ【吟味】 ぎんみⅴ
 きんむする【勤務する】 すとうみるんⅴ
 きーる【キール】 かーらⅴ、まつらⅴ
 くいあます【食い余す】 へーⅴ あますんⅴ
 くいいじがきたない【食い意地が汚い】 へだ
 まⅴさーん
 くいきる【食い切る】 ふしきるんⅴ
 くいしんぼう【食いしん坊】 へだまⅴ
 くいつく【食いつく】 ふしきるんⅴ
 くいのこす【食い残す】 へーⅴ あますんⅴ
 くいはずす【食い外す】 へーぼんちるんⅴ
 【ぐうぐう】 ごーごー
 くうふくだ【空腹だ】 やーはⅴ すんⅴ、やーⅴ
 はん
 くかく【区画】 ぱかⅴ、〔田の～〕 まーしいⅴ
 くき【莖】 ふきⅴ
 くぎ【釘】 ふんⅴ
 くぐりぬける【潜り抜ける】 ふきるんⅴ
 くくる【括る】 ふくるんⅴ
 くぐる【潜る】 ふきるんⅴ
 くげん【苦言】 すーむにⅴ
 くさ【草】 ふつあⅴ、ふつあんだにⅴ
 くさい【臭い】 ふつあⅴはん
 くさび【楔】 ふつあび、やⅴ
 くさむら【草むら】 ふつあらしⅴ
 くさらせる【腐らせる】 ふつあらすんⅴ
 くさりかかる【腐りかかる】 にーまらんⅴ、に
 んまるんⅴ
 【ぐさりど】 ぎっふあざっふあ
 くさる【腐る】〔食物が～〕 にーまらんⅴ、ふ
 つありんⅴ
 くし【櫛】 ふちⅴ
 くじ【公事】 うやだりⅴ
 【くしゃみをする】 ぱなⅴぴいすんⅴ
 くじら【鯨】 ぐじいらⅴ
- くじる【抉る】 ぴんくるんⅴ
 【ぐずぐずすること】 ゆだぼりⅴ
 くすぐったい【擦ったい】 こさⅴはん
 くすぐる【擦る】 ぐちゆるんⅴ
 くずす【崩す】 こっふあすんⅴ
 くすり【薬】 ふちりⅴ
 くずれる【崩れる】 こーりるんⅴ、こっふいる
 んⅴ
 くそ【糞】 ふつⅴ
 くそくさい【糞臭い】 ふつⅴふつあⅴはーん
 くそをたれる【糞を垂れる】 ふつⅴまるんⅴ
 くだく【砕く】 くだくん、しきだるんⅴ、ふく
 なすんⅴ、ふなぐんⅴ
 くださる【下さる】 たぼらいるんⅴ、たぼるんⅴ
 くだす【下す】〔お腹を～〕 くなすんⅴ
 【ぐだっと】 だーり
 【くたばる】 うがんちゅむんⅴ
 くたびれ【草臥れ】 くだんでーⅴ
 くたびれる【草臥れる】 くだんでいるんⅴ
 くだもの【果物】 なーりⅴ、なーりむぬⅴ
 くだりざか【下り坂】 さんがりⅴ
 くち【口】 ふちⅴ
 くちがおもい【口が重い】 ふちいくばはん
 くちがかるい【口が軽い】 ふちいかるⅴはん
 くちぎたない【口汚い】 ふちいやにっしやー
 ん
 くちたっしやだ【口達者だ】 ふちいⅴやばⅴはん
 ん
 くちにかきこむ【口にかき込む】 はきⅴいりる
 んⅴ
 くちのおおきなみずがめ【口の大きな水甕】 ば
 んどーⅴ
 くちびる【唇】 すうばⅴ、ふちぬⅴ すばⅴ
 くちべただ【口下手だ】 ふちいくばはん
 くちる【朽ちる】 ふとうちるんⅴ
 ぐちをいう【愚痴を言う】 むにⅴ ゆむんⅴ
 くつ【靴】 ふちいⅴ

- 【ぐったり】だーり
 【ぐったりする】だーりるんA
 くつつく【くっ付く】だっくわーるんI、むっ
 つあーるんA、むつつあるんA
 くつつける【くっ付ける】すばしきるんV、む
 っつあーすんA
 くば【クバ】くばV
 くばがさ【クバ笠】くばかつあV
 くばる【配る】くばるんI
 くび【首】ぬぶしんA、まんしんA
 【くびれる】よーがりるんV
 くふう【工夫】しかきV
 【くべる】〔薪などを〜〕てしきるんV
 くぼち【窪地】とーV
 くぼませる【窪ませる】とまらすん
 くぼむ【窪む】とーまるんV
 くまい【供米】ばなぐみI
 くみする【組する】かたすんV
 くむ【汲む】〔水を〜〕ふむんV
 くめん【工面】さんだん
 くめんする【工面する】さんだん すん
 くも【クモ】すうふくI
 くも【雲】ふもんI
 くものいと【クモの糸】すうふくI
 くもる【曇る】ふわどうまりV なるんA、ふわ
 むんV
 くら【倉】ふっふあI
 くら【鞍】ふっふあI
 くらい【暗い】ふわVはん
 くらくなる【暗くなる】ふわどうまりV なる
 んA、ふわむんV
 くらげ【クラゲ】いらI
 くらべる【比べる】くらびるんV
 くりぶね【くり舟】いたふにI、さばにI
 くる【来る】くんI
 くるしい【苦しい】くちさVはん
 くるとし【来る年】えんA、げん
- くるまぼう【車棒】くるまぼーI
 くるりぼう【くるり棒】くるまぼーI
 くれる【暮れる】〔日が〜〕ふわむんV
 くろい【黒い】ふっかばりI
 くろう【苦勞】あわりI
 くろき【黒木】きなV
 くろく【黒く】「ふー」し
 くろくなる【黒くなる】「ふー」し なるんA
 くろぎとう【黒砂糖】ふーさた
 くろしま【黒島】ふすうまI
 くろずむ【黒ずむ】「ふー」し、「ふー」し なる
 んA、ふっかばりI
 くろつぐ【クロツグ】まーにI
 くろつぐのせんい【クロツグの繊維】ふがらI
 くろむ【黒む】「ふー」し なるんA
 くろよな【クロヨナ】ぶがま
 くわ【鍬】ペーV
 【くわえる】〔口に〜〕ふしきるんI
 くわえる【加える】くわいるんI、まんざーす
 ん
 くわずいも【クワズイモ】びりかなばI
 くわのき【桑の木】こんぎI
 くんかい【訓戒】ういしI
 くんかいする【訓戒する】ういし うがますん
 くんわ【訓話】ゆしぐとうV
 け【毛】きーV
 けいかする【経過する】たつんI
 けいこ【稽古】きっくI
 けいさつ【警察】きっしいV
 けいさん【計算】さんみんI
 けいじ【慶事】「いー」くとう
 けいしゃする【傾斜する】かたふくんI
 けいそくする【計測する】ばかるんI
 けいそつだ【軽率だ】うかっと すん
 げいのう【芸能】ぎなむぬA
 けいべつする【軽蔑する】うせーるんV
 けいらん【鶏卵】ごかけーI

- けいれんする【痙攣する】びきしいきんⅴ
 【けがれる】ゆぐりるんⅴ
 げし【夏至】かーちⅴ
 けす【消す】けすんⅴ
 けずる【削る】きちいるんⅴ、ぴぐんⅴ
 けた【桁】きたⅴ
 げた【下駄】あしたⅴ
 【けちだ】ゆぐⅴさん
 けつえき【血液】じいーⅴ
 けっかん【血管】じいぬ みちⅴ
 けつがん【結願】きちがんⅴ
 けっこんいわい【結婚祝い】「あいなーⅴよい
 けっこんしき【結婚式】「あいなーⅴよい、にー
 びちⅴ
 けっこんする【結婚する】ぶとうむち
 けっしんする【決心する】うむいきすんⅴ
 けっそんする【欠損する】そんⅴ すんⅴ
 けっていする【決定する】きみるんⅴ
 けっとう【血統】びきⅴ、まりⅴ
 げっとう【月桃】さーにⅴ
 けとばす【蹴飛ばす】きりとうばすんⅴ
 けなす【貶す】うせーんⅴ
 げなん【下男】ばたさⅴ
 けぶる【煙る】きぶさⅴはーん
 けむたい【煙たい】きぶさⅴはーん
 けむりをたてる【煙を立てる】ふもーらすんⅴ
 げりする【下痢する】くなすんⅴ、さぎるんⅴ、
 とろふかすんⅴ
 けりたおす【蹴り倒す】きりとーすんⅴ
 ける【蹴る】きるんⅴ
 【けれども】えすか
 げん【弦】すーるⅴ
 けんかする【喧嘩する】えんだりるんⅴ、えん
 だりんⅴ
 げんきがなくなる【元気がなくなる】だりる
 んⅴ
 げんきだ【元気だ】がんずさⅴはん
- げんきづける【元気付ける】きーいりんⅴ
 げんきをなくす【元気をなくす】がんどーり
 んⅴ
 げんご【言語】くとうばⅴ、むにⅴ
 けんこうきがん【健康祈願】「どうばだⅴにげ
 ー
 けんこうだ【健康だ】どーーⅴずさⅴはん
 げんこつ【拳骨】こーさーⅴ
 けんさ【検査】きんさⅴ
 げんざい【現在】なまⅴ、まなⅴ
 けんじつに【堅実に】こーし
 げんしょうする【減少する】ぴなるんⅴ
 けんじょうひん【献上品】うさぎⅴむぬⅴ、お
 ーすむぬⅴ
 げんだい【現代】まなぬⅴ ゆーⅴ
 けんとう【検討】ぎんみⅴ
 げんのう【玄翁】かにちⅴ
 けんまする【研磨する】とうぐんⅴ
 こ【子】うたまⅴ
 ～こ【～個】ちー
 こい【濃い】かたⅴはん
 ごいさぎ【ゴイサギ】よーらさーⅴ
 こいし【小石】いしふくⅴ、いしんⅴたまⅴ
 こう【請う】くいるんⅴ
 こうい【行為】しわざⅴ、わざⅴ
 こういか【甲烏賊】くしみⅴ
 こううん【幸運】うんⅴ
 こうか【硬貨】かにじんⅴ
 こうかいあんぜん【航海安全】かりゆしⅴ
 こうかな【高価な】でーだがⅴ
 こうかんする【交換する】かれーるんⅴ
 こうぎ【抗議】だんぱんⅴ
 こうぎする【抗議する】かきあうんⅴ
 ごうけい【合計】すーだがⅴ
 こうけいしゃ【後継者】あとうⅴちぎⅴ
 こうごうしい【神々しい】みしこⅴはん
 こうさい【交際】ぴいとうぴれーⅴ、ぴらいⅴ、

- ぴらす
 こうさく【耕作】さくほー1
 こうささせる【交差させる】あんざらすん1、
 あんじるん1
 こうさんする【降参する】まきるん1
 こうじつにする【口実にする】なしきるん1
 こうじょう【口上】すさりぶち1
 ごうじょうだ【強情だ】がーずさはん
 こうしょうぶる【高尚ぶる】いぼりすくん1
 こうしょくのじょし【好色の女子】しきべー
 こうせい【後生】ぐそー1
 こうぞう【構造】すくり1
 こうたいする【後退する】さがるん1
 こうち【高地】うがり1、た「か」た
 こうちよくする【硬直する】こっばるん1
 こうつうきかん【交通機関】ぬりむぬ1
 こうつごう【好都合】「いー」ば
 こうとうぶ【後頭部】うっす1
 こうびする【交尾する】ずーぶん1
 こうへい【公平】まーたき
 こうほう【後方】しなた1、しびゃた1
 こうむ【公務】うやだり1
 こうもり【コウモリ】かぶる1
 こうもん【肛門】しびぬ1、みん1
 ごうりきしゃ【強力者】ぶし1
 こうりゃん【高粱】や「た」ぶ
 こうろへいあん【航路平安】かりゆし1
 こうろん【口論】むんどろー1
 こうろんする【口論する】むんどろー すん
 こえ【声】くい1
 こえだめ【肥溜】こいすぶ1
 こえび【小エビ】せー1
 こえる【肥える】ばなたるん1、ばんたるん1
 こえる【越える】くいるん1、こすん1
 こがす【焦がす】くがすん1
 こがたな【小刀】しぐ1
 こがね【黄金】くがに1
 こがま【小鎌】〔粟刈りの～〕いら1
 こがれる【焦がれる】くがりるん1
 こかん【股間】またびし1
 ごきぶり【ゴキブリ】かむし1
 こきょう【故郷】まりじま1
 【こく】〔屁を～〕ぴいすん1
 こく【扱く】〔稲を～〕しゅるん1
 こぐ【漕ぐ】くん1
 こくおう【国王】うしゅがなし1
 こくする【濃くする】〔酒などを～〕しいみる
 ん1
 こくとう【黒糖】さた1、ふーさた
 こくのあるうまみ【コクのある旨味】すまじ
 しゃ1はん
 こくもつ【穀物】「ぶーぬ」むぬ
 【ごくんごくん】ごんた
 こけ【苔】ぬり1
 こげる【焦げる】くがりるん1、なびふつあり
 ん1
 【ここ】なー1、もー1
 ごご【午後】ぴいすあとろ
 ごごえる【凍える】〔寒さで～〕くばるん1、ぴ
 んぐるん1
 ここちよい【心地よい】めっさ1はん
 ここに【此処に】なー1
 ここのつ【九つ】くくぬち1
 こころ【心】くくる1、すむ1
 こころえる【心得る】くくるいるん
 こころがいたむ【心が痛む】すむやむーん
 こころがうつくしい【心が美しい】すむ1けし
 しゃ1はん
 こころがける【心掛ける】くくるいるん、く
 くるがきるん
 こころがやさしい【心が優しい】すむ1けししゃ1
 はん
 こころづよい【心強い】すむ1ずさ1はん、す
 む1ずさ1はん

こころね【心根】きむぐくる¹
 【こさえる】くつあすん¹
 こごかな【小魚】ゆんたま
 こさせる【越させる】こすん¹
 【こごっぱりする】あざぎしゃ¹はん
 こし【腰】くち¹
 ごしゃくまい【五勺米】ぐそーみ¹
 ごじゅう【五十】ぐんず¹
 こしらえる【拵える】〔魚などを〜〕くつあー
 すん¹、くつあすん¹、しこーるん¹
 こじん【古人】むがしい¹ぴいと¹
 こす【漉す】こすん¹
 こす【瀘す】〔篩で〜〕ふかすん¹
 こす【越す】こすん¹
 こする【擦る】しっすするん¹、すすするん¹、と
 ーびくん¹
 こそだてする【子育てする】うたま¹すかな
 すん¹
 こたえる【答える】くたいるん¹
 こだかいだいち【小高い台地】うがり¹
 こたち【子たち】「うたま¹んじ
 ごちそう【ご馳走】こっきー¹、まさむぬ¹
 【こちょこちょ】ぐちゅぐちゅ
 【こちらから】もーら¹
 【こちらへ】もが¹
 こづかい【小使い】ばたさ¹
 こっかく【骨格】ぶに¹
 こつぶだ【小粒だ】ぐま¹はん
 【こつん】ごーんた
 こときれる【こと切れる】ぬちい しさん
 ことし【今年】くとうしい¹
 ことづける【言付ける】くとうしきるん¹
 ことば【言葉】くとうば¹、むに¹
 ことばがあらひ【言葉が荒い】むに¹あら¹は
 ーん
 ことばがあらっばい【言葉が荒っばい】むに¹
 あら¹はーん

こども【子供】うたま¹、やらび¹
 こどもたち【子供たち】「うたま¹んじ
 こどもをうむ【子供を産む】うたま¹なすん¹
 ことわざ【諺】むがし¹くとうば¹
 【ことわり】どーり¹
 ことわる【断る】くとうばるん¹
 こな【粉】く¹、ふく¹
 こなごなにする【粉々にする】ふくなすん¹
 こなごなになる【粉々になる】ふくなるん¹
 こなごなにわれる【粉々に割れる】ふく なる
 ーん
 【こなす】くなすん¹
 【この】くぬ¹
 このあいだ【この間】くんた¹ばり¹
 このふきん【この付近】もぬ¹ まーり¹
 このへん【この辺】もー¹、もぬ¹ まーり¹
 このむ【好む】すくん¹
 ごはん【ご飯】いー¹
 こぶし【拳】しふく¹
 こふん【古墳】めーむるし¹
 ごぼう【牛蒡】ぐぼん¹
 こぼす【零す】〔液体を残りなく〜〕いたちる
 ーん¹、くばすん¹、〔全部〜〕んたちるん¹
 こぼれる【零れる】くぶりるん¹、くぶりん¹
 こぼれるようす【零れる様子】〔粒など小さな
 物が〜〕ざらざら
 こま【独楽】こーろ¹
 こまかい【細かい】くま¹はん
 こまったこと【困ったこと】ざーふえー¹
 【ごみ】あるふた¹
 こむぎ【小麦】まーむん
 こむぎこ【小麦粉】むんぬ¹ くー¹
 こめ【米】めー¹
 こめこのむしがし【米粉の蒸し菓子】ありす
 ーむち¹
 こめだわら【米俵】めーだら¹
 こめぬか【米糠】ぬが¹

- こめのめし【米の飯】めーぬⅴ いーⅠ
 ごめんください【ご免下さい】すされー
 こもりのむすめ【子守の娘】むりあまⅠ
 こもる【籠る】くまるんⅠ
 こやし【肥し】こいⅠ
 こやすがい【子安貝】しびⅴ
 こゆび【小指】びびんたまⅠ
 こようする【雇用する】やとすんⅠ
 こようのいっしゅ【古謡の一種】あよーⅠ
 こようのしゅるい【古謡の種類】ゆんぐとらⅠ
 、ゆんたⅠ
 こようのろうどうか【古謡の労働歌】じらばⅠ
 ごようふ【御用布】ぐいふⅠ
 こらい【古来】むがしいがらⅠ
 こられる【来られる】おーるんⅠ
 【これの】くぬⅴ
 【ころ】じぶんⅴ
 ころがす【転がす】くるばすんⅴ
 ころがる【転がる】くるぶんⅴ、まるぶちんⅴ
 ころす【殺す】くらすんⅴ、すなすんⅴ
 ころばす【転ばす】くるばすんⅴ
 ころぶ【転ぶ】くるぶんⅴ、まるぶちんⅴ、まる
 ぶんⅴ
 こわい【怖い】うとるさⅠはん、ごーⅠはん
 こわす【壊す】こーすん、こっふあすんⅴ、や
 ぶるんⅠ
 こわばる【強張る】こっばるんⅠ
 こわめし【こわ飯】かしきⅠ
 こわれる【壊れる】こーりるんⅠ、やぶりんⅠ
 【こんがらがる】あんざるんⅠ
 こんき【根気】くんきⅴ
 こんごうする【混合する】まんざるんⅠ、まん
 じるんⅠ
 こんじょう【根性】がーⅠ
 こんちゅう【昆虫】むしⅴ
 こんなんだ【困難だ】むすかっさⅠはん
 こんばん【今晚】にがⅠ
- さ【差】さⅠ
 【～さ】さ
 ざ【座】ざーⅠ
 ざあざあ【ザァザァ】ぞーりぞーり
 【さあー】せー
 ～さい【～歳】ちー
 ざいさん【財産】ざいさんⅴ
 さいしゅする【採種する】たにⅠ とるんⅠ
 さいそくする【催促する】いみるんⅠ
 ざいにん【罪人】とうがにん
 さいばい【栽培】むぬすくりⅠ
 さいふ【財布】じんふくるⅠ
 さいほう【裁縫】ぬーんⅠ、ぬいむぬⅠ
 ざいもく【材木】ざいぎⅠ
 さいれい【祭礼】ぶながⅠ
 さえずる【囀る】〔鳥が～〕なーぐんⅴ、ふき
 んⅠ
 さお【竿】そーⅠ
 さおばかり【竿秤】ぴきⅴ
 さかい【境】さけーⅠ
 さかえる【栄える】さかいるんⅴ
 さかさ【逆さ】さかさー
 さがしまわる【探し回る】ふつるんⅠ
 さがしもとめる【捜し求める】たしかみるんⅠ
 さがす【探す】あさるんⅠ、さばくんⅠ、たじい
 にくんⅠ、とうみるんⅠ、とうみんⅠ
 さかずき【盃】さかすけーⅴ
 さかな【肴】うせーⅠ
 さかな【魚】ゆーⅴ
 さかなつき【魚突き】ゆーしき
 さかなつり【魚釣り】ゆーほすん
 さかなとり【魚獲り】ゆーとるりⅴ
 さかなのえら【えら】〔魚の～〕ぴむⅠ
 さかなのはらにく【魚の腹肉】はらごーⅠ
 さかなのひもの【魚の干物】てーⅠ
 さかり【盛り】ばんじいんⅴ
 さがる【下がる】さがるんⅠ

- さがん【砂岩】あーいし1
 さき【先】さきV、すら1、ぼなV、ぼなた1
 さき【崎】さきV、ぼなV
 さきにする【先にする】めー1 なすん1
 さきになる【先になる】めー1 なるん1
 さきまわり【先回り】さきまーりV
 さきやま【崎山】さきやま1
 さぎょうぎ【作業着】ぴてーすうぬ1
 さく【咲く】さくんV
 さく【裂く】さくん1
 さくせいする【作成する】すくるん1
 さくねん【昨年】くつん1
 さくや【昨夜】ゆーび1
 【さくりと】ぷちんた
 さぐる【探る】さぐるんV
 さけ【酒】さきV
 さけくさい【酒臭い】さきふつあVはーん
 さけぐせ【酒癖】さきぐしV
 さけじょうご【酒上戸】さきじょーぐV
 さけによろ【酒に酔う】びたこら1
 さけぶ【叫ぶ】たけーるん1
 さけめ【裂け目】やりふちい1
 さけやすい【裂けやすい】さばVはん
 さける【裂ける】〔布などが古くなって〜〕ざーりるん1、さきるん1、ざりるん1、やーりん1
 ささえる【支える】しけーるんV
 ささえるちから【支える力】てー1
 さしあげる【差し上げる】うさぎるんV、おーすんV
 ざしき【座敷】ざしき1
 さしず【指図】ぎし1
 さしずする【指図する】えにすかすんV
 さしだす【差し出す】んだすん1
 さしば【鷓】たかV
 さしみ【刺身】なましい1
 さす【刺す】さすん1、ぬぐん1
 さす【差す】さすん1、しっすんV
 さす【挿す】さすん1
 さずける【授ける】たぼらいるん1
 さそり【蠍】しんがま1
 さだまる【定まる】きまるん1
 さだめ【定め】さだみ1
 さだめる【定める】さだみるん1
 【さっさと】さーった、さらさら
 さっさといきおいよくあるくようす【さっさと勢いよく歩く様子】さーっさーった
 ざっそう【雑草】ふつあ1、ふつあんだに1
 ざっだん【雑談】ゆんたく1
 さっとかんつうするさま【さっと貫通するさま】ぼふあった、ぼふった
 【さっぱり】むっとう1
 さつまいも【さつまいも】あがん1
 さとう【砂糖】さた1
 さとうきび【サトウキビ】あますな1
 さとうてんぷら【砂糖てんぷら】さたばんべー1
 さとのし【里之子】さとぬし1
 さとる【悟る】さとるん1
 【さばく】さばくん1
 さび【錆】さび1
 さびしがる【寂しがる】しからさ1 すんV、しから1はーん
 さびつく【錆付く】さびすくん
 さびれる【寂れる】さぼーりんV
 【ざぶざぶ】ざっふあざっふあ
 【ざぶっと】ざっふあった、ざぼんた
 【ざぶんと】だぼんた
 さます【冷ます】さますん1、ぴらすん1
 さます【覚ます】さますん1
 さまたげる【妨げる】さまたぎるんV
 さみしい【淋しい】しから1はん
 さみだれ【五月雨】ゆどうあみ1
 さむい【寒い】ぴしゃ1はん

- さむくてふるえる【寒くて震える】ふひつあ
るん
- さむけがする【寒気がする】ふい一つあるん
- さむさ【寒さ】かん1
- さめる【冷める】さみるん1
- さめる【覚める】さみるん1
- さめる【醒める】さまるん1
- さゆ【白湯】さゆ1
- さら【皿】さらーV
- さらいねん【再来年】まー みちん
【ざらざらする】ざらざーら すん
- さらす【晒す】さらすんV、〔水に～〕さらす
んV
- さる【去る】んぐんV
- さる【猿】さーる1
- さる【申】さり1
【ざる】ばーき1
- さるかけみかん【サルカケミカン】じろーしV
- さわがしくする【騒がしくする】あーらすんV
- さわがす【騒がす】あーらすんV、さわがすんV
- さわぎ【騒ぎ】そーどーV
- さわぐ【騒ぐ】あーるんV、なーるんV
- さわら【サワラ】さーら1
- さわる【触る】さーるんV
- さん【棧】さん1
- さんきらい【山帰来】さんきらい
- さんご【珊瑚】うるV
- さんごのいし【珊瑚の石】うるV
- さんじゅう【三十】さんず1
- さんじゅうさんねんき【三十三年忌】あぎご
っこーV
- さんしん【三線】さんしんV
- ざんねん【残念】あがやー、いなむん
- ざんぶ【残部】ぬぐり1
- さんぼう【三方】「さん」ぼー
- さんらんさせる【散乱させる】しきぼーるんV
- じ【字】じいーV
- しあげる【仕上げる】しあぎるんV
- しあん【思案】かんげー1、むぬかんげー1
- しいくする【飼育する】すかなすん1
- しいる【強いる】うししきるんV
- じうたい【地謡】じうてー1
- しお【塩】まーす1
- しお【潮】すー1
- しおがひくこと【潮が引く】すーぴすん1
- しおがみちる【潮が満ちる】すー1んつん1
- しおからい【塩辛い】さこら1はん
- しおどき【潮時】すっち1
- しおに【塩煮】まーすにー1
- しおひがり【潮干狩り】あさらごー1
- しおみず【潮水】ぶす1
- しおみぶそく【塩味不足】あふあ1さん
- しおれる【萎れる】〔植物が～〕だーりん1、だ
りるん1
- しかけ【仕掛け】しかきV
- しかける【仕掛ける】しかきるんV
【しかし】えすか
- しかた【仕方】しかたV
【しかむ】しかむん1
- しかりつける【叱りつける】しゃみしきるん、
しゃみしきんV、すかりVすくん1
- しかりつける【叱りつける】しゃーみるんV
- しかる【叱る】おこるん1、ゆいV
- しきさい【色彩】いる1
- しく【敷く】すくんV
- しげきしておこらせる【刺激して怒らせる】
〔人を～〕おこらすん1
- しげる【繁る】さかいるんV
- しげる【茂る】かぶん1
- しごきおとす【しごき落とす】しゆるん1
【しごく】しゆるん1
- しごと【仕事】しかま1、しぐとぅV、すかま1
- しごとする【仕事する】ばたらぐんV
- しごとをかんりょうする【仕事を完了する】し

- ー1うすくまV
 しこむ【仕込む】しくむんV
 しさい【司祭】にんぶちA
 しさんか【資産家】むぬむちA
 じさんさせる【持参させる】むたすんA
 じさんする【持参する】むつんA
 しし【獅子】しーし1
 じし【次姉】やしやA
 ししょうじ【指小辞】たま
 じしょくする【辞職する】やみるんV
 じしん【地震】にんA
 しずかに【静かに】や「まー」し
 しずかになる【静かになる】とーりるんV
 しずませる【沈ませる】すますん1
 しずむ【沈む】すむん1
 しせいじ【私生児】ぐんぼーA
 した【舌】した1
 したあご【下あご】すたはこちV
 じだい【時代】ゆーV
 したくする【支度する】したく すん
 【したくない】しばへぬ
 したたらせる【滴らせる】すたらすん1
 したたる【滴る】あまだりん1、すたるん1
 したてる【仕立てる】したているんV
 したにむけておく【下に向けて置く】うすふ
 かすんV
 したへ【下へ】したいがV
 じっか【実家】やーむとらA
 【しっかり】「うん」とら
 しつかり【しっかり】「しかい」とら、だ「ん」た
 しっくい【漆喰】むちV
 しつける【躰ける】すかりVすくん1
 じつげんする【実現する】かのーん1
 しっこうする【膝行する】しきつつあーるん
 しっしんする【失神する】ふきーるんV
 したたことか【知ったことか】たすたがーV
 知っている【知っている】ししやんV
 しっとする【嫉妬する】たい1 すんV
 しっぽ【尻尾】ぶすぶA
 しつれい【失礼】ぶりーA
 【してやられる】しらいんV
 しとげる【し遂げる】しー うすくまん、すま
 すん1
 【しとしと】すとーりすとーり
 しな【品】しな1
 しなおす【し直す】しーVのーすんA
 しなのき【シナノキ】きなし1
 しなびる【萎びる】しいぴりるんV、しぴりんV
 しにはてる【死に果てる】しにぶたん
 じにんする【辞任する】やみるんV
 しぬ【死ぬ】すうぬんV
 しばしばいく【しばしば行く】しゃー1 んぐ
 んV
 しはらう【支払う】ばらすん1
 しばらく【暫く】あ「たー」すま
 しばりつける【縛りつける】さましきるん
 しばる【縛る】さまるん1、ふくるんV、むすぶ
 んV
 しびれる【痺れる】ぴくらVやむんA、ペしく
 らやむんA
 しぶい【渋い】すぼ1はん
 しぶみがある【渋みがある】すぼ1はん
 じぶん【時分】じぶんV
 じぶん【自分】どーん、なーどーん、ば
 ーA
 じぶんかって【自分勝手】どーん1かっていV
 じぶんかってしている【自分勝手している】ど
 ーん1かってい しゃーん
 じぶんかってだ【自分勝手だ】どーん1かって
 い しゃーん
 じぶんで【自分で】「どーん」し、どーしけな
 しぼうする【死亡する】ぬちい しさん
 しばむ【萎む】〔花などが～〕だーりるんA
 しばる【搾る】すぶるん1

- しま【島】すま¹
 しまい【姉妹】ぶなり¹
 しまいこむ【仕舞い込む】かつあみるん¹
 しまう【仕舞う】うすくみん¹、うわるん¹
 しまことば【島言葉】すま¹むに¹
 しみこむ【しみ込む】〔味などが〜〕ふくむん
 【しみったれだ】ゆぐ¹さん
 【じめじめ】びちゃびちゃ
 【じめじめする】〔畑が〜〕ふこ¹はん
 しめつける【締めつける】しみしきるん¹、し
 みるん¹
 しめっぽくなる【湿っぽくなる】しみるん¹
 しめらせる【湿らせる】しみらすん¹
 しめる【湿る】しみるん¹、すたるん¹
 しめる【締める】しみるん¹
 しめる【閉める】ふーん¹
 しゃくし【杓子】すーぺー¹
 【しゃくにさわる】くさむくん¹
 しゃくようする【借用する】かるん¹
 しゃげきする【射撃する】うつん¹
 しゃこがい【シャコガイ】あしけー¹
 じゃまする【邪魔する】さまたぎるん¹
 じゃまになる【邪魔になる】ふさがるん¹
 しゃもじ【杓文字】しゃしゃびら¹
 じゃり【砂利】いしん¹たま¹
 しゅういふやく【首里大屋子】しなぼく¹
 しゅうい【周囲】まーましい¹、まーり¹
 じゅういち【十一】とーびとーち
 じゅういっこ【十一個】とーびとーち
 しゅうかくする【収穫する】ぶるん¹
 しゅうかん【習慣】なれー¹
 しゅうき【秋季】すさんち¹
 じゅうぎょういん【従業員】しんか¹
 しゅうごうさせる【集合させる】するいるん¹
 じゅうごや【十五夜】じぐや¹
 しゅうじつ【終日】ぴてんぴじゅ
 じゅうしょ【住所】ぶーどーり¹
 しゅうのうする【収納する】うすくみん¹
 じゅうばこ【重箱】じぼぐ¹
 じゅうぶんにじゅくする【十分に熟する】け
 った みゃーん
 しゅうりょうする【終了する】おわるん¹
 じゅうろくにちさい【十六日祭】じりく¹にち¹
 じゅくしきる【熟しきる】けった みゃーん
 じゅくすいする【熟睡する】たーりん¹
 じゅくする【熟する】みゃん¹
 しゅくてん【祝典】よい¹
 しゅくはくする【宿泊する】とーまるん¹、や
 とうとうるん
 じゅごん【ジュゴン】ざん¹、ざんぬ¹ゆ¹
 しゅし【種子】たに¹
 じゅし【呪詞】ばん¹
 しゅちょうする【主張する】やっぱり¹
 しゅっこうする【出港する】ふにんじるん
 しゅっさん【出産する】うたま¹なすん¹
 しゅっせきする【出席する】んじん¹
 しゅっぱつする【出発する】んじたつん¹
 じゅもく【樹木】きー¹
 しゅるい【種類】しな¹
 しゅろ【棕櫚】しゅる¹
 じゅんかいする【巡回する】まーり¹みるん¹
 しゅんき【春季】うりじん¹
 じゅんさ【巡查】ゆんさん¹
 しゅんじに【瞬時に】たでーま
 じゅんばん【順番】ばん¹、まーり¹
 じゅんびする【準備する】しくむん¹、しこー
 るん¹、するいるん¹
 じょいん【女陰】ぴー¹
 じょうがぶかい【情が深い】じょー¹ふか¹は
 ーん
 しょうかふりょう【消化不良】ばたふくら
 しょうき【正気】そー¹
 じょうき【蒸気】きぶ¹
 じょうぎ【定規】じょーぎ¹

- じょうきげんになる【上機嫌になる】さーふ
 ーふー すんⅴ
 しょうきよする【消去する】けすんⅴ
 しょうきをうしなう【正気を失う】どまんぐ
 るんⅴ
 じょうげぎゃく【上下逆】すたうい
 しょうご【正午】ぴいすまりⅴ
 しょうご【上戸】じょーぐⅴ
 じょうし【上司】ういぬⅴ ぴいとぅⅴ
 しょうじきだ【正直だ】まとーばⅴ
 じょうず【上手】ぞーじⅴ やばⅴはん
 しょうする【使用する】すこーんⅴ
 しょうそく【消息】うとぅさたⅴ、さたⅴ
 しょうたいきゃく【招待客】しんⅴ
 じょうだん【冗談】ふばむにⅴ
 しょうたんだ【小胆だ】いじい ねーぬ、いじ
 いぬⅴ ねーぬⅴ、すむⅴいしゃがⅴはん
 しょうち【礁池】いのーⅴ
 しょうちょう【小腸】ばちばたⅴ
 しょうてん【商店】まちやーⅴ
 じょうとう【上等】ぞーとぅⅴ
 しょうにゅうせき【鍾乳石】いんぬⅴ まらⅴ
 しょうぶ【勝負】しーぶⅴ
 じょうふ【情婦】ゆーべーⅴ
 じょうぶだ【丈夫だ】がんずさⅴはん
 じょうぶになる【丈夫になる】がんずさⅴ な
 るんⅴ
 じょうほう【上方】ういⅴ
 じょうほうへ【上方へ】ういがⅴ
 しょうまん【小満】すーまんⅴ
 しょうめん【正面】たんかⅴ
 しょうゆ【醤油】したちⅴ
 しょか【初夏】ばがなちⅴ
 しょき【暑気】ぷーき
 しょき【書記】ぴっしゃⅴ
 しょくじ【食事】むぬⅴ
 しょくす【食酢】ペーるⅴ
- しょくぶん【職分】しゅくぶんⅴ
 しょくゆ【食油】あばⅴ
 しょくよくがないこと【食欲がないこと】ふ
 ちⅴやぶらⅴ
 しょくりょう【食糧】ばめーⅴ、ほーむぬⅴ
 しょげかえる【悄げかえる】だりるんⅴ
 しょげる【悄げる】すむだーりるんⅴ
 じょせい【女性】みどうむⅴ
 じょそうする【除草する】〔へらで〜〕そるんⅴ
 じょそうせいそう【除草清掃】〔御嶽や神道
 の〜〕みやくつえーⅴ
 しょつき【食器】かまさⅴ
 しょもうする【所望する】ぬずむん
 しょもつ【書物】すむちⅴ
 しらが【白髪】しっせーⅴ
 しらさぎ【白鷺】そんⅴさみやⅴ
 しらせる【知らせる】いーしきるんⅴ、すかす
 んⅴ
 しらない【知らない】ばがらぬⅴ
 しらべる【調べる】すさびるんⅴ
 しらほ【白保】すさぶⅴ
 しらみ【虱】さんⅴ
 しらむ【白む】すさむんⅴ
 しり【尻】しびⅴ
 しりがおもい【尻が重い】しびんさⅴはん
 しりがかるい【尻が軽い】しびかるⅴはん
 しりがるおんな【尻軽女】さんごなーⅴ
 しりぞく【退く】ぬぎるんⅴ
 しりのあな【尻の穴】しびぬⅴみんⅴ
 しる【汁】すーⅴ
 しる【知る】しっすんⅴ
 しるし【印】しるしⅴ
 しろあり【白蟻】すさーりⅴ
 しろい【白い】「すそー」し
 しろいきのこ【白いキノコ】しっすみんⅴ
 しろくなる【白くなる】すさむんⅴ
 しろっぽい【白っぽい】「すそー」し

- しろみをおびる【白みを帯びる】すさむん1
 しわ【皺】ぴいな1
 しわざ【仕業】しわざ1
 じわれ【地割れ】びぱり1
 しん〜【真〜】まー
 しんこうする【信仰する】しんじるん1
 しんじつ【真実】ふんとー1
 しんじょう【心情】きむぐくる1、すむぐくる1
 しんじる【信じる】しんじるん1
 しんせいだ【神聖だ】みしこ1はん、よみしゃ1
 はん
 しんせき【親戚】うちざ1まり1、うやぐ1
 しんぜんのかもつのはな【神前の供物の名】く
 ぱん1
 しんぞう【心臓】まーみ1
 しんぞく【親族】うやぐ1
 しんちょう【身長】たき1
 しんちょうに【慎重に】みしこーみしこ
 しんどうする【振動する】ふっふん1
 しんねん【新年】あらとうし1
 しんぱい【心配】しわー1、むぬむい1
 しんぱいする【心配する】すむ1やむん1
 しんぴん【新品】みーむん1、めーむぬ1
 しんぶつのけいじ【神仏の啓示】むぬしらし1
 しんゆう【親友】いすぱんどーし1
 しんようする【信用する】しんじるん1
 しんりょく【新緑】ぼがぼ1
 しんるい【親類】うちざ1まり1
 す【巢】しー1
 す【酔】ペーる1
 すいえい【水泳】おんだ1
 すいじ【炊事】ぞーしき1
 すいじごや【炊事小屋】とーら1
 すいじする【炊事する】たくん1、まがすん1
 すいじば【炊事場】ふちめー1
 すいじゃくする【衰弱する】やちるん1、よ
 ーがりん1、よーるん1
 すいせい【彗星】ぼーぎぶしい1
 すいだす【吸い出す】ゆびだすん1
 すいちゅうめがね【水中眼鏡】がんきょー1、
 みーかんがん1
 すいでん【水田】たなー1、たなが1
 すいとる【吸い取る】すぷるん1
 すいひおけ【水肥おけ】こいたんぐ1
 すいふ【水夫】はこー1、ふなはこー
 すいもの【吸い物】しむぬ1
 すう【吸う】すぷるん1、〔水気を〜〕ゆぶん1
 すえる【据える】びしるん1
 すえる【饅える】しーるん1
 ずが【図画】えー1
 すがた【姿】かたち1
 すきぐし【梳き櫛】かとーし1
 すぎさる【過ぎ去る】しぎるん1、すぎゃん1
 すきだ【好きだ】すくん1
 すきとおってみえる【透き通って見える】み
 ーふかさりん1
 すきま【隙間】あいま1
 すく【梳く】〔櫛で髪を〜〕きちいるん1
 すく【鋤く】すかすん1
 すくう【掬う】すこーすん1
 すくう【救う】たしきるん1
 すくない【少ない】いきら1さん
 【すぐに】たでーま、ぴく
 【すくむ】すくむん
 【すぐれた】かねー
 すぐれている【優れている】やば1はん
 すぐれる【優れる】すぐりん1、まさるん1
 すこし【少し】ペー1、ベ「ー」な、「ペー」び
 すこしまえ【少し前】くんた1ぱり1
 【すじ】かち1
 ずじょうにのせてはこぶ【頭上に乗せて運ぶ】
 かみん1
 すす【煤】ししー1
 すずかせ【涼風】ぴりかち1

すすき【ススキ】ゆしきⅴ
 すずしい【涼しい】ぴりしゃⅴはん
 すずむ【涼む】ぴりしゃー すん
 すずめ【雀】みしゅⅴどうりⅴ
 すずめばち【ズメバチ】あがぼーちⅴ
 すずり【硯】しじりⅴ
 【すする】すぶるんⅴ
 すする【啜る】ゆぶんⅴ
 すそ【裾】すっすⅴ
 ずたずたにさく【ずたずたに裂く】さきつあ
 ーるんⅴ
 ずつう【頭痛】あまっすくるⅴやみⅴ
 ずつうがする【頭痛がする】おまⅴはん
 すっかりわすれきる【すっかり忘れきる】け
 った ぼっさーん
 【すくくと】やいっと
 すっぱい【酸っぱい】しさⅴはん
 すてておく【捨てておく】だすたすくんⅴ
 すでに【既に】きさⅴ
 すてる【捨てる】ししんⅴ、なんがⅴっしんⅴ
 すな【砂】いしょんⅴ
 すなはま【砂浜】ぼまⅴ
 【すねる】ひんすんⅴ
 すねる【拗ねる】むじかーるんⅴ、むじかるんⅴ
 【すばしこい】からぼっさⅴはん
 すばやく【素早く】さーった、さらさら
 すべらせる【滑らせる】ししらすんⅴ
 すべりやすい【滑りやすい】なふこⅴはん
 すべる【滑る】ししりんⅴ、ししりるんⅴ
 すます【済ます】すますんⅴ
 すます【澄ます】すますんⅴ
 すませる【済ませる】すますんⅴ
 すみ【墨】しんⅴ
 すみ【炭】たんⅴ
 すみ【隅】かどうⅴ
 すむ【済む】しまいるんⅴ、すむんⅴ
 すむ【澄む】すむんⅴ、ぴりがるんⅴ

すもう【相撲】さぼあⅴ
 ずりおちる【ずり落ちる】ししりるんⅴ
 【する】すんⅴ
 する【擦る】しっすするんⅴ
 するどくとがった【鋭く尖った】ぴんとまり
 すれちがう【すれ違う】んぎちげーるんⅴ
 すわる【座る】びるんⅴ
 すんぼう【寸法】すんぽーⅴ
 せいっぱい【精一杯】「うんⅴとう、しーっペ
 ーⅴ、「しかいⅴとう
 せいけつだ【清潔だ】あざぎしゃⅴはん
 せいこうだ【精巧だ】〔技が〜〕くまⅴはん
 せいざ【正座】ぺしきびりⅴ
 せいしん【精神】くくるⅴ、すむぐくるⅴ
 せいち【生地】まりⅴ
 せいちょうする【成長する】ぶーさⅴなるんⅴ
 、ぶさはⅴなるんⅴ、ぶすとう なるん
 せいてい【正丁】ふだにんⅴ
 せいと【生徒】がくたま
 せいとうする【製糖する】さたたくん
 せいなる【聖なる】よみしゃⅴはん
 せいねん【生年】まりどうしいⅴ
 せいねん【青年】ぼがむぬⅴ
 せいねんいわい【生年祝い】まりぶなーⅴ
 せいほう【西方】いりⅴ
 せいめい【生命】ぬちいⅴ
 せiyouじん【西洋人】うらんだーⅴ
 せいり【整理】かたすかⅴ
 せいりする【整理する】まだぎるんⅴ
 せいれつする【整列する】ならぶんⅴ
 せいろ【蒸籠】せいろーⅴ
 せおわす【背負わす】〔牛馬に荷物を〜〕おー
 すんⅴ
 【せがむ】きぬんⅴ
 せき【咳】さこーⅴ
 せき【席】ざーⅴ
 せきうん【積雲】ぬりふもんⅴ

- せきたてる【急き立てる】あーらすん、あば
 たしみるん
 せきたん【石炭】しきたん1
 せきにんをおう【責任を負う】ぼくん1
 せきゆ【石油】しきゆ1
 せきらんうん【積乱雲】ぬりふもん1
 せけん【世間】しきん1
 せけんばなし【世間話】むぬばなし1
 せたい【世帯】きに1
 せつ【節】しち1
 せっかい【石灰】うるんべー1
 せっきょうする【説教する】いましみるん1、
 いましみるん1
 せっけん【石鱈】さっぷん1
 せっせとはたらくさま【せっせと働くさま】や
 いやいた
 せったいする【接待する】とーりむつん1
 せっちゃくする【接着する】すばしきるん1
 せっとくする【説得する】とーしきるん1
 せっばん【折半】ふたばぎ1
 せつまつり【節祭】ししん1
 せつまつりでこぐくりぶね【節祭で漕ぐくり
 舟】しっしんふに1
 ぜつめつする【絶滅する】たに しさん
 せなか【背中】いしなが1
 ぜに【銭】じん1
 せのたかいひと【背の高い人】たかぴいとー1
 せのび【背伸び】ぬーび1
 せばめる【狭める】しばみるん、すばみるん1
 ぜひとも【是非とも】たんでー1、「どー」でい
 ん
 せぼね【背骨】なーぶに1
 せまくする【狭くする】しばみるん1
 【せまる】[間近に、目前に～]ぬすかるん1
 せみ【セミ】しゃんしゃん1
 せめつける【責めつける】しみしきるん1
 せめる【攻める】しみるん1
 せめる【責める】しみるん1
 せん【千】しん1
 ぜん【膳】じん1
 せんい【繊維】かち1
 せんいん【船員】はこー1、ふなはこー
 せんげつ【先月】めーぬ1 しき1
 ぜんご【前後】あとさき1、めー1しび1
 せんこう【線香】こー1
 せんこつ【洗骨】しんくつえー1
 せんじやく【煎じ薬】「しんじ」ふちり
 せんしゅざいがうえにでたふね【船首材が上
 に出た船】かんぼーしん1
 せんじる【煎じる】しんじるん1
 せんせい【先生】しんしん1
 せんぞ【先祖】がんと1
 せんそう【戦争】いふつあ1
 せんぞしん【先祖神】うやぴいとー1
 せんぞのれい【先祖の霊】うやぴいとー1
 せんたい【浅堆】すねー1
 せんたくする【洗濯する】あらすん、すうぬ1
 あらすん1
 せんたくする【選択する】いらぶん1
 せんたん【先端】さき1、すら1、ばなた1
 せんどう【船頭】しんどー1
 せんぱい【先輩】しゃまかた1
 ぜんぶ【全部】「がす」た、けーら、ぼふた
 ぜんぼう【前方】めー1
 せんめんき【洗面器】みんだれー1
 ぜんら【全裸】まるばい1
 せんりょう【染料】あい1
 ぜんりょくではしる【全力で走る】かしきる
 ん1
 そあくな【粗悪な】そーべー1
 【そう】えー
 そうおうする【相応する】うゆぶん1
 【そうか】えーなー
 そうがく【総額】すーだが1

そうぎ【争議】むんどうー¹
 そうぎする【争議する】むんどうー すん
 【そうさせる】「えー」しみるん¹
 そうじ【掃除】そーじ¹
 【そうしか】「えー」ばぎる
 そうしき【葬式】そーしき¹
 そうしきをすませる【葬式を済ませる】うぐ
 るん¹
 そうじする【掃除する】ぼーぐん¹
 【そうして】「え」した
 そうしょく【装飾】かつあり¹
 ぞうすい【雑炊】ずーし¹
 【そうする】えー¹ すん¹
 そうせいする【早世する】はやじに¹ すん¹
 そうそふ【曾祖父】ういぶや¹
 そうそぼ【曾祖母】ういばー¹
 【そうだ】えーるやろ
 【そうだから】「えす」がら、えちー¹、えちる
 【そうだよ】えーさ
 そうだん【相談】そんだん¹
 そうだんする【相談する】そんだん¹ すん¹
 【そうではない】あらぬ¹
 【それでも】「えー」やばん
 そうどう【騒動】そーどー¹
 そうとうする【相当する】ひきあうん¹
 【そうなら】「えー」やちゃら
 そうめん【素麺】そーめん¹
 ぞうり【草履】さぱん¹
 そうりょ【僧侶】ぼーず¹
 【そぐ】しゆるん¹
 そくぎに【即座に】たでーま
 そこ【底】すく¹
 そこなう【損なう】あやみるん¹、いたますん¹
 、いたみるん¹
 そぜい【租税】ぞーぬ¹
 そせき【礎石】びしじ¹
 そそぐ【注ぐ】しっすん¹

そだつ【育つ】すだつん¹、ぶすとぅ なるん
 そだてる【育てる】すだちるん¹、すなちるん¹
 そっきょうおどり【即興踊り】もーや¹
 そつぎょうする【卒業する】ぬがーるん¹
 そつちよくに【率直に】まんがたんが
 そつとうする【卒倒する】ふきん¹
 そてつ【蘇鉄】すとうち¹
 そと【外】ふか¹
 そとまご【外孫】ふかまー¹
 そとまわり【外回り】ふかまーり¹
 そね【曾根】すねー¹
 【その】うぬ¹
 そのていど【その程度】うだぎ、だぎ
 そのとおりだ【その通りだ】えーるやろ
 そのはず【その筈】えぬばち
 【そのまま】うぬ まーま
 そば【側】ぱた¹
 そふ【祖父】ぶや¹
 そぼ【祖母】ばー¹
 そまつにする【粗末にする】すまっち すん
 そまる【染まる】すまるん¹
 そむく【背く】すむくん¹
 そめる【染める】しみん¹
 そら【空】じん¹
 そる【剃る】するん¹
 【それ】うり¹
 【それだけ】うだぎ、おび¹
 【それなら】「えー」やちゃら
 【それほど】うしゅく、うんしゅく¹
 【それまで】おび¹
 そろえる【揃える】するいるん¹、するいん¹
 そん【損】すん¹
 そんけいする【尊敬する】うやまいるん¹、う
 やめーるん¹
 ぞんざいにあつかう【ぞんざいに扱う】すま
 っち すん
 そんする【損する】そん¹ すん¹

- 【そんな】「えー」ぬ
 【そんなこと】「えー」ぬ
 【そんなもの】えぬ むぬ
 そんならく【村落】むらⅴ
 【～だ】やっさ、やるんⅴ
 だい【大】ぶー
 たいおん【体温】にちいⅴ
 たいかい【大海】とーⅴ
 たいがい【大概】たげーⅴ
 たいかく【体格】ぐてーⅴ
 だいきん【代金】でんⅴ
 だいく【大工】せーぐⅴ、でーぐⅴ
 たいこ【太古】かーまⅴむがしⅴ
 たいこ【太鼓】てーくⅴ
 たいこうする【対抗する】たいⅴ すんⅴ
 だいこん【大根】でーぐにⅴ
 だいじ【大事】うーぐとぅ、でーじⅴ、みざし
 くとぅ
 だいじにしまう【大事にしまう】「あためー」
 すん、かちみるんⅴ
 たいせつに【大切に】あたらはⅴ
 【たいそう】「けっ」た、みざしⅴ
 だいたい【太腿】むんだらしⅴ
 たいだなのうふ【怠惰な農夫】ぴらすかⅴ
 だいち【台地】た「か」た
 だいちじょうのへいち【台地上の平地】ぴい
 せーⅴ
 たいちょうがわるい【体調が悪い】まーさか
 さー ねーぬ
 たいとう【対等】まーたき
 だいどころ【台所】ふちめーⅴ
 だいのう【大脳】のーⅴ
 【だいぶ】たげーⅴ
 たいふう【台風】かちふきⅴ、ぶーかちⅴ
 たいふうのふきかえし【台風の吹き返し】ふ
 きけーしⅴ
 たいへん【大変】でーじⅴ
- たいへんだ【大変だ】さっていむ
 たいへんな【大変な】みざしⅴ
 たいへんなこと【大変なこと】みざしくとぅ
 たいまつ【松明】てーⅴ
 たいも【田芋】たーむじいⅴ、むーじⅴ
 たいもう【体毛】きーⅴ
 たいよう【太陽】しなⅴ
 たいようのかさ【太陽の暈】ぴながんⅴ
 たいらにならす【平らにならす】なだらぎる
 んⅴ
 だいら【代理】みよーでんⅴ
 たいりよく【体力】くんきⅴ
 たいんのじょし【多淫の女子】しきべー
 たうえをする【田植えをする】たなⅴいびるんⅴ
 だえき【唾液】しんⅴ
 たえる【絶える】しっしるんⅴ
 たおす【倒す】とーすんⅴ
 たおる【タオル】しっしⅴ
 たおれる【倒れる】とーりるんⅴ
 【だが】えすか
 たかい【高い】たかⅴはん
 たかくとまる【高く止まる】たかぶるんⅴ
 たかだかと【高々と】た「が」たかし
 たかなきする【高鳴きする】ふきんⅴ
 たかぶる【高ぶる】たかぶるんⅴ
 たがやす【耕す】けーすんⅴ
 たから【宝】たからⅴ
 【だから】「えす」がら
 たからがい【タカラガイ】しびⅴ
 たきぎ【薪】たむぬⅴ、たむん
 たきつける【焚き付ける】てしきるんⅴ
 【たぎらせる】たぎらすんⅴ
 【たぎる】たぎるんⅴ
 たく【炊く】たくんⅴ、〔米飯を～〕ぴいさす
 んⅴ
 だく【抱く】だぐんⅴ
 たぐさ【田草】とーさⅴ

- 【たくさん】ん「ごー」び
 たくさん【沢山】まんどんA
 【～たかない】ぼへぬ
 たくらむ【企む】たくらむん、はかるん1
 たぐる【手繰る】たぐるん1
 たくわえる【蓄える】たみるんV
 たくわえる【貯える】たこーすんV
 たけ【丈】たき1、なぎA
 たけ【岳】だきV
 たけ【竹】たきV
 【～だけ】がーし
 たけざる【竹ざる】ばーきA
 たけとみ【竹富】たきどーん1
 たけぶえ【竹笛】ぴんV
 たけゆか【竹床】たきふんた
 たこ【凧】「たー」こ
 たこ【蛸】たく1
 だし【出汁】だーしA
 たしかめる【確かめる】たしかみるん1、ただ
 すん1
 だしもの【出しもの】ぎなむぬA
 だす【出す】まるんA、んだすん1
 たすかる【助かる】ぬちいむやん
 【たすき】あじまぎ1
 たすける【助ける】たしきるん1
 たずねる【尋ねる】たじいにるん1、とーんV、
 むぬAすくんV
 【～だそうだ】えーちゅー、ちゅー
 たそがれどき【たそがれ時】あやっふわみ1
 たたかい【戦い】いふつあ1
 たたかわせる【戦わせる】あーすん1
 たたききる【叩き切る】〔固いものを～〕けー
 るん1、〔固い物、刃物で～〕だきすんA
 たたきつける【叩きつける】だすきんA、なん
 ぎるんA
 たたきのめす【叩きのめす】どみんがすんA
 たたきわる【叩き割る】たたぎばるん1
 たたく【叩く】しきだるん1、たたぐん1、ふな
 ぐん1
 ただしい【正しい】あたるんV
 ただす【質す】ただすん1
 ただちに【直ちに】ふたぎなV
 ただのもの【只のもの】いたんだ1
 たたみ【畳】たためーV
 たたむ【畳む】たたむん
 ただよわす【漂わす】おーぎるんV、なんぶり
 るん
 たたる【崇る】たたーるん1
 ただれる【爛れる】ただりん
 ～たち【～達】んだ
 ちなおる【立ち直る】たちのーるん1、むち
 のーるんA
 たつ【建つ】たつん1
 たつ【発つ】ばるん1
 たつ【立つ】だっち、たつん1
 たつ【経つ】たつん1
 たつ【辰】たちV
 だっこくする【脱穀する】しゆるん1
 だっした【脱した】ぬがりゃんA
 たつまき【竜巻】いのーV
 たてあみのいっしゅ【建て網の一種】ふつあ
 あん
 たてる【建てる】たちるん1
 たてる【立てる】たちるん1
 たとえる【例える】たとういん1
 たどる【辿る】たどるん1
 たな【棚】たなV
 たにん【他人】ぴいとうV
 たね【種】たに1
 たねがなくなる【種がなくなる】たに しさん
 たねとりさい【種取祭】たにどーりV
 たねとりさいのやまもりめし【種取祭の山盛
 飯】いばちV
 たのあぜ【田の畔】あぶし1

たのしむ【楽しむ】あまいるん、さにしゃー
 すん
 たのみ【頼み】たぬみ
 たのむ【頼む】たぬむん
 たのもし【頼母子】むえー
 たのもしくおもう【頼もしく思う】すむ、ずさ
 はーん
 たば【束】たば
 たばこ【煙草】たかぶ
 たばこいれ【煙草入れ】ぶつおー
 たばねる【束ねる】さまるん、まりぐん
 たび【旅】たび
 たびたび【度々】す「たー」すたー
 たべごろ【食べ頃】へーじぶん
 たべつくす【食べ尽くす】へぶたん
 たべもの【食べ物】ほーむぬ、むぬ
 たべものをいれるたけかご【食べ物を入れる
 竹籠】ふたじろー
 たべる【食べる】ほーん
 たぼうだ【多忙だ】ばんたっさはん
 たま【弾】たまん
 たま【玉】たまん
 たまご【卵】けー、〔蟹の〜〕ぱりゃん
 たましい【魂】たましい、たまち、まーぶ
 り
 だます【騙す】あぎまーすん
 【たまたま】た「まー」たま
 だまっていること【黙っていること】ゆだば
 り
 【たまに】た「まー」たま
 たまる【溜まる】たまるん
 たまる【貯まる】たまるん
 だまる【黙る】とぅなばるん
 たまわる【賜る】たぼーらりん、たぼらいる
 ん
 たむし【田虫】うるばたぎ
 ため【為】たみ

ためいけ【溜め池】あなぶ
 ためす【試す】たみすん
 ためる【溜める】たみるん
 ためる【貯める】たみるん
 たもあみ【たも綱】たぶ
 たもつ【保つ】たむつん
 たやす【絶やす】しっさん
 たやすい【た易い】やっさはん
 たより【頼り】たぬみ
 たよりにする【頼りにする】たなぎるん
 たよる【頼る】たゆるん、むたーりるん
 たらい【盥】たれー
 【だらけ】ぶった
 だらしないすがたをする【だらしない姿をす
 る】〔帯が下に下がって〜〕ふきつあー
 ん
 たらす【垂らす】すさーらすん
 たらす【足らす】たらすん
 【だらだら】だらだら
 たりない【足りない】たらーぬ
 たりる【足りる】たりるん
 【だるい】だる、さーん
 たるき【垂木】きちい
 だれ【誰】たー
 だれが【誰が】たるぎー
 たれさがる【垂れ下がる】すさーるん
 たれる【垂れる】すさーるん、〔雫が〜〕すた
 るん、たりるん
 【だれる】だーりるん、だーりん
 【〜だろう】やっさ
 【たわむ】まんかるん
 たわら【俵】たーら、たらぐ
 たん【反】たん
 だん【壇】だん
 だん【段】だん
 たんきもの【短気者】たんきむぬ
 たんさくする【探索する】さぐるん、さばく

- ん1
 たんじょういわい【誕生祝い】まりぶな1
 たんじょうする【誕生する】まりるん1
 たんじょうび【誕生日】まりぴん1
 たんすい【淡水】あまみじ1、みじい1
 だんせい【男性】びどうむ1
 だんちく【ダンチク】だちご1
 だんどく【ダンドク】まるぶさ1
 だんぱつ【断髪】だんぱち1
 だんぱん【談判】だんぱん1
 だんぱんする【談判する】かきあうん1
 たんぼ【田んぼ】たな1、たなが1
 たんめい【短命】ぬちいまる1はん
 ち【地】じい1
 ち【血】じい1
 ちいさい【小さい】いしゃが1はん、ぐま1はん
 ちいさくなる【小さくなる】しいぴりるん1、
 すくまるん1
 ちえ【知恵】じんぶん1
 ちかい【近い】すか1はん
 ちがう【違う】あらぬ1、ちごーん1
 ちかづく【近づく】すかは1なるん1、ぬすか
 るん1、め1ぬすかるん1
 ちかみち【近道】すかみち1
 ちがや【チガヤ】がや1
 ちぎる【千切る】すむん1
 ちぎれる【千切れる】むっしるん1
 ちくせいのたべものかご【竹製の食べ物籠】び
 らぐ1
 ちくどうん【筑登之】ちくどうん1
 ちすじ【血筋】びき1
 ちち【乳】じい1
 ちち【父】いや1
 ちちおや【父親】いや1
 ちちかたのしんせき【父方の親戚】たにかた
 うやぐ1
 ちちこまる【縮こまる】すくまるん1
 ちぶさ【乳房】じい1、ずっち
 ちほう【痴呆】ういぷら1
 ちゃ【茶】さ1
 ちやがし【茶菓子】さうき1
 ちやづつ【茶筒】じんぎり1
 ちやとう【茶湯】さとー1
 ちやわん【茶碗】さばん1
 ちゅういする【注意する】きー1 しきるん1
 ちゅうげん【忠言】すーむに1、ゆしぐとう1
 ちゅうごく【中国】とー1
 ちゅうざい【駐在】ゆんさん1
 ちゅうさいする【仲裁する】あがすん1
 ちゅうざら【中皿】なかざら1
 ちゅうしょく【昼食】ぴいすまりむぬ1
 ちゅうどくさせる【中毒させる】びらーすん1
 ちゅうどくする【中毒する】びーるん1
 ちょう【蝶】ぱびる1
 ちょうけい【長兄】ぶしゃ1
 ちょうげん【調弦】ちんだみ
 ちょうこう【兆候】しるし1
 ちょうし【長姉】ぼーま1
 ちょうじゅ【長寿】ちよーみー1、ながいき1
 ちょうじょう【頂上】ちじ1
 ちょうしょく【朝食】あさむぬ1
 ちょうだいする【頂戴する】たぼーらりん1
 ちょうていする【調停する】さぼくん1
 ちょうなん【長男】さこーし1
 ちょうめい【長命】ちよーみー1
 ちょうりゅう【潮流】すーびき1
 ちよきんする【貯金する】じん1たみるん1
 ちよぞうする【貯蔵する】たこーすん1
 ちよま【苧麻】ぶー1
 ちらかす【散らかす】しきぼーるん1
 ちらかる【散らかる】ぼーりゃん1
 ちらす【散らす】ぼーるん1
 ちらばる【散らばる】ぼーりゃん1
 ちり【塵】あるふた1

- ちりょうする【治療する】いしゃんが1 はか
るん1
- ちんでんする【沈澱する】ぴりがるん1
- ついていく【付いて行く】しき1 んぐん1
【ついばむ】しきほーん1
- ついひ【追肥】またぐい1
- ついやす【費やす】すこーん1
- つうじがよくなる【通じが良くなる】さぎる
ん1
- つうようする【通用する】とーるん1
- つえ【杖】ぐさん1
- つか【柄】すか1
- つかいでがある【使い出がある】すけーとー1
あん1
- つかう【使う】すこーん1
- つかさ【司】すかさ1
- つかまえる【捕える】かみしきるん1、かみん1
- つかみだす【掴み出す】すかみんだすん1
- つかむ【掴む】かみん1、すかむん1、〔箸など
を〜〕ばつあむん1
- つかる【漬かる】すかるん1
- つかれ【疲れ】ぼーがり1
- つかれはてる【疲れ果てる】がんどーりん1
- つかれる【疲れる】くたんでいるん1、だーり
ん1、ぶがりるん1、ぼたりるん1、ぼたりん1
- つかれをとる【疲れをとる】ぼーり1のがすん1
- つかわす【遣わす】やらすん1
- つき【月】〔天体の〜〕しけん1、〔月日の〜〕
ちき1
- つきあい【付き合い】ぴいとうぴれー1、ぴら
い1、ぴらす
- つきあげる【突き上げる】しきあんぎるん1
- つきあたる【突き当たる】しきあたるん1
- つきくずす【突き崩す】どみがすん1
- つきさす【突き刺す】ぬぐん1
- つきださせる【突き出させる】しきんだすん
- つきだす【突き出す】しきんだすん
- つきでる【突き出る】しきんじるん1、とっ
んちるん1
- つきとおす【突き通す】とふかすん1
- つきとばす【突き飛ばす】うしとーすん、し
きとっばすん1
- つく【搗く】すくん1、〔臼・杵で〜〕すさぎ
るん1
- つく【着く】すくん1
- つく【突く】しくん1、すくん1
- つぐ【注ぐ】ばらすん1
- つぐ【継ぐ】つぐん1
- つくす【尽くす】ぎばるん1
- つぐなう【償う】ぱくん1
- つくり【造り】すくり1
- つくる【作る】しこーるん1、すくるん1
- つける【漬ける】しきるん1
- つける【点ける】〔灯りや火を〜〕しきるん1、
〔薪に火を〜〕てしきるん1
- つげる【告げる】いーしきるん1
- つたない【拙い】すうな1はん
- つち【土】んた1
- つづかせる【続かせる】すながらすん1
- つづく【続く】ちじくん1
- つづけてみる【続けて見る】みーとーすん1
- つづける【続ける】ちじきるん1
- つつしむ【慎む】ちちすむん1
- つったつ【突っ立つ】だっち
- つつむ【包む】すむん1
- つとめる【勤める】すとうみるん1
- つな【綱】すな1
- つなぎかえる【繋ぎ変える】〔牛馬を〜〕むす
なすん1
- つなぎとめる【繋ぎとめる】ばつあみるん1
- つなぐ【繋ぐ】〔牛馬などの動物を〜〕ばつあ
みるん1
- つなみ【津波】ぶーなん1
- つねに【常に】い「ちい」ん、しゃー1

【つねる】すむん1
 つねる【抓る】じんぱるん
 つの【角】しのー1
 つば【唾】しん1
 つばさ【翼】ぱにV
 つばめ【燕】またさ1
 つぶて【礫】いしふくV
 つぶれる【潰れる】ぴさんたらすんV
 つぼ【坪】ちぶV
 つぼ【壺】すうぶV
 つま【妻】とうんV
 つまさきだち【つま先立ち】とうんたちV
 つまだつ【爪立つ】とうんたちびるんV
 つまにする【妻にする】そーるんV
 つまみおる【摘み折る】ぶるん1
 つまる【詰まる】すうまるん1
 つまをめとる【娶る】〔妻を〜〕とうみん1
 つみ【罪】とうが1、ばつあ1
 つみかさねる【積み重ねる】すむんV
 つみきる【摘み切る】すむん1
 つみとる【摘み取る】むっすんV
 つむ【摘む】すむん1、〔木の実などを〜〕ぶ
 るんV
 つむ【積む】すむんV、ぬしんV
 つむじかぜ【つむじ風】まーじゃかちV
 つめ【爪】しみV
 つめこむ【詰め込む】うしくむんV
 つめたい【冷たい】ぴじゆる1さーん、ぴり1
 つめたいかぜ【冷たい風】ぴりかち1
 【つもり】しゃーみ1
 つゆ【梅雨】ゆどうあみ1
 つゆ【露】ゆす1
 つよい【強い】すさ1はん
 つよくたたく【強く叩く】まるばすんV
 つよくたばねる【強く束ねる】ふんまるぐんV
 つよくなげいれる【強く投げ入れる】〔液体の
 中に物を〜〕だぼんがすん1
 つよくふる【強く振る】すくふあすんV
 つよめる【強める】しいみるん1
 つらぬく【貫く】ぬぐん1
 つらねる【連ねる】すながらすんV、すながる
 んV
 つりあう【つり合う】あたるんV
 つりいと【釣り糸】なん1
 つりえさ【釣り餌】むんだに1
 つりざお【釣り竿】じぼーV
 つりざおのくふう【釣竿の工夫】あんざらだ
 ーぐ1
 つりさげる【吊下げる】さんぎるん1
 つりばり【釣針】じばりV
 つる【釣る】ほすん1
 つるす【吊るす】さんぎるん1
 つるべ【釣瓶】ぶらV
 つれ【連れ】ぐー1
 つれていく【連れていく】そりV んぐんV、そ
 んぐんV
 つれる【連れる】そーるんV
 つんぼ【聾】みんかー1
 て【手】しー1
 てあし【手足】しーぱん1
 てあらい【手荒い】しー1あらはーん
 【〜である】やるんV
 ていたいする【停滞する】ゆどうむん1
 ていねいに【丁寧に】みしこーみしこ
 ていへいち【低平地】とーV
 てがあらっぽい【手が粗っぽい】しー1あらは
 ーん
 てがおそい【手が遅い】しーぬふつあはん
 てがける【手がける】ししきるん
 【でかした】したい
 てがすぐでる【手がすぐ出る】しー1ぺしゃ1
 はん
 てがすばしこい【手がすばしこい】しー1ぺし
 ちゃ1はん

てがのろい【手のろい】しーぬふつあはん
 てがみ【手紙】しがみ1
 てがら【手柄】ていがら1
 てきたいする【敵対する】たい1 すん1
 【てきぱきと】さっと
 できる【出来る】なーるん1
 てぐち【出口】んじふち1
 てくび【手首】「しぬ」ふき
 てじな【手品】ほっか1
 てだすけ【手助け】しがねー1
 てつだい【手伝い】かしー1、しがねー1
 てっぼう【鉄砲】しゅぶ1
 てぬぐい【手拭い】しっし1
 てのしごとがおそい【手の仕事が遅い】しー
 にふつはん
 てのゆび【手の指】しんび1
 てばやい【手早い】しー1ペしゃ1はん
 てばやく【手早く】さっと
 【でぶ】ばたぶたー1
 てぶね【出船】んじふに1
 てま【手間】しいま1
 てまちゃん【手間賃】しいま1
 てまどる【手間取る】しまはかるん1
 てらす【照らす】あがらすん1
 てりはぼく【テリハボク】やらぶ1
 てる【照る】〔太陽が～〕しるん1
 でる【出る】んじん1
 てをあわせる【手を合わせる】しー1うさぎる
 ん1
 てをつける【手をつける】ししきるん
 てん【天】じん1
 てんき【天気】おしき1、わしき1
 てんきがわるい【天気が悪い】やなわしき1
 てんこう【天候】おしき1、わしき1
 でんごんする【伝言する】くとうしきるん1
 てんじょう【天井】しんじょー1
 でんせんびょう【伝染病】はやりやん1
 てんてこまい【てんてこ舞い】ぱったらげー
 てんとうする【転倒する】まるぶちん1
 てんぷら【天ぷら】しんぷら1、ぽんべー1
 てんません【伝馬船】ていんま1
 と【戸】やどう1
 とあみ【投網】うちあん1
 といきく【問い聞く】とういすくん1
 といし【砥石】とうし1
 といせめる【問い責める】とうしみるん1
 【どいつが】たるぎー1
 といつめる【問い詰める】とういしみるん1、
 とうしみるん1
 とう【唐】とー1
 とう【問う】たじいになるん1、とーん1
 とう【籐】くち1
 【どう】ねー1、「ねー」や
 【どうか】たんでー1、「ちゃー」が
 【どうかね】「ねー」や
 とうがらし【トウガラシ】ぐす1
 とうがん【冬瓜】すぶりん1
 とうき【冬季】ふっひ1
 どうきせい【同期生】まーじい1
 とうきび【唐黍】や「た」ぶ
 どうぐ【道具】だーぐ1
 どうくつ【洞窟】いん1
 どうけつ【洞穴】いん1、〔海中の～〕がまん1
 とうじ【冬至】とんじー1
 とうじき【陶磁器】やぎむぬ1
 【どうして】ねーき1、ねーきる
 【どうしても】ぬーしん、「のー」しん
 【どうぞ】「どー」でいん
 どうたい【胴体】どー1
 【どうだい】「ちゃー」が
 とうちする【統治する】うさみるん1
 とうちゃくする【到着する】すくん1
 どうとう【同等】まーたき
 どうどうとあるくさま【堂々と歩くさま】だ

- つふあだっふあ
 どうねん【同年】ゆぬとぅし
 どうはつ【頭髮】あまじ
 どうひょう【投票】ふだいり
 どうぶ【頭部】あまっすくる
 どうぶつ【動物】いすむし
 どうほう【東方】あーり、ありかた
 どうぼうする【逃亡する】ぴんぎるん
 どうめい【童名】やらびな
 どうり【道理】どーり
 どうりょう【頭領】かしら
 どうろ【道路】みちい
 どうろしゅうり【道路修理】みちいくせー
 とお【十】とー
 とおい【遠い】とぅさはん
 とおいところ【遠い所】とぅけー
 とおす【通す】とーすん
 とおのく【遠のく】ぬぎるん
 とおりにくい【通りにくい】〔刺、木やつるが
 多くて〜〕あざらはん
 とおる【通る】とーるん
 とおれない【通れない】〔荒れて〜〕あざらは
 ーん
 とが【咎】ぼつあ
 とかげ【トカゲ】ぼずら
 とかす【溶かす】たらすん
 とがめる【咎める】とぅがみるん
 とがらせる【尖らせる】ぴんとまらすん
 とがる【尖る】ぴんとまるん
 とがをかぶる【咎を被る】ぼつあかぶん
 ときがたつ【時が経つ】んぐん
 とききかせる【説き聞かせる】えにすかすん
 【どきどき】どんどん、ふとぅふとぅ
 とぎれる【途切れる】しっしるん
 とく【得】とぅく
 とく【徳】とぅく
 とぐ【研ぐ】あーらすん、とぅぐん
 どく【毒】どぅく
 どくしん【独身】たんがーむぬ
 とくそくする【督促する】いみるん
 とげ【棘】じい
 とける【溶ける】たりるん、とぅきるん
 とける【融ける】とぅきるん
 どこ【何処】ざー
 【どこの】ざぬ
 どこの【何処の】ざーぬ
 とこのま【床の間】ざとく、とぅく
 とこのまのかみだな【床の間の神棚】ぶざす
 けー
 とこや【床屋】だんぼちーやー
 ところ【所】とぅくる
 とさつする【屠殺する】ぼずらすん
 とし【年】とぅちい
 とし【歳】とぅちい
 としうえ【年上】しじゃー、しゃま
 とししたのきょうだい【年下の兄弟】うとぅ
 ーとぅ
 としより【年寄り】うしとぅ
 とじる【閉じる】ふーん、ふさぐん、〔目を〜
 〕ふつあるん
 としをとる【年を取る】ういるん、とぅちい
 とぅるん
 としをとる【歳を取る】うしとぅ なるん
 【どすん】だーんた
 【どたあんと】だーんた
 どだい【土台】びしじ
 とち【土地】じい
 どっかと【どかっと】どっふあつた
 【どっかり】どっふあつた
 【どっくに】きさ
 とつぜん【突然】あた
 とってすてる【取って捨てる】とぅり っし
 ーん、'とぅり' っしん
 とつべんだ【訥弁だ】ふちいくばはん

とてもいたい【とても痛い】あがよー
 とどく【届く】とうとうぐん1
 とどける【届ける】とうとうぎるん1
 とどのう【整う】とうとうのーん1
 とどろかせる【轟かせる】とうゆますん1
 【どなた】たー1
 どなる【怒鳴る】たけーるん1、どうげーるん1
 【どの】ざーぬん、ざぬ
 とのしろ【登野城】とうぬすく1
 【どのような】ぬ「ー」しゃる
 【どのように】ねーる1
 とび【鳶】ぺふつあ1
 とびうお【飛魚】とうびゆ1
 とびおりる【跳び下りる】ぶんちうちん1
 とびこえる【飛び越える】とうびくいるん1
 とびこむ【飛び込む】とうぷちん1
 とびでる【飛び出る】とうんじるん1
 とぶ【跳ぶ】ふんつん1
 とぶ【飛ぶ】とうぶん1
 とぼしい【貧しい】ぴんそー1
 【どぼんと】だぼんた
 【とまどう】すまどうるん1
 とまらせる【泊まらせる】とうまらすん1
 とまる【泊まる】とうまるん1、やどとうる
 ん
 とめる【止める】やみるん1
 とも【鱸】とうむ1
 ともだち【友達】どうし1
 どもりがちだ【吃りがちだ】ふちいくばはん
 どもる【吃る】したくぼるん1
 【どやしつける】しゃみしきるん
 【どやす】うどやがすん1
 【とよます】とうゆますん1
 【とよむ】とうゆまりん1
 とら【虎】とら1
 どら【銅鑼】どらん1
 とらえる【捕える】すかむん1
 とらせる【取らせる】とらしみん
 とり【酉】ととり1
 とり【鳥】ととり1
 とりあつかう【取り扱う】むたすくん1
 とりかえす【取り返す】ととりかいすん1、と
 とりけーすん1
 とりかえる【取り替える】ととりかいるん1
 とりくむ【取り組む】ととりくむん1
 とりこむ【取り込む】ととりくむん
 とりさる【取り去る】「ととり」っしん1
 とりしまる【取り締まる】ととりしまるん1
 とりだす【取り出す】ととりんだすん1
 とりたてる【取り立てる】ととりたちん1
 とりちがえる【取り違える】まちがいん1
 とりにがす【取り逃がす】ととりぴんがすん1
 とりのす【鳥の巣】しー1
 とりのぞく【取り除く】ととり1 っしるん1
 とりはからう【取り計らう】ととりはかるー
 ん1
 とりはずす【取り外す】ととり1ばんつん1
 とりまぜる【取り混ぜる】ぶくむん1
 とりもどす【取り戻す】ととりかいすん1、と
 とりむどうすん1
 どりょくする【努力する】ぎぼるん1
 とりよせる【取り寄せる】ととりゆしるん
 どりーね【ドリーネ】あぶ1
 とる【取る】とるん1
 【どれ】ざー1
 【どれほど】いかすく
 どろ【泥】どらーる1
 とろう【徒労】んなあわり1
 【とろかす】たらすん1
 だろだらけになる【泥だらけになる】どらる
 びちゃー1 なるん1
 だろぼう【泥棒】ぬすととり1
 だろみち【泥道】どらるみち1
 どんてん【曇天】あまおしき1

- 【どんと】だーんた
 【どんどん】みっ「ふぁ」ん
 【どんな】ぬ「ー」しゃる、ねーん、ねーしゃる
 ん
 どんなふう【どんな風に】ねーるん
 どんぶり【丼】どんぶりん
 とんぼ【蜻蛉】あいじん
 な【名】なーん、なんん
 な【菜】なんん
 ない【無い】ねーぬん
 【ないがしろにする】かるんじるん
 ないしむら【長石村】なすむらん
 ないぞう【内臓】ばたん
 ないちじん【内地人】やまとうんぶいとうん
 ないふ【ナイフ】しぐん
 なう【綱う】なーすんん、なすんん
 なえる【萎える】だーりるん
 なおす【治す】のーすんん
 なおす【直す】のーすんん
 なおる【治る】のーるんん、みしゃーん なるんん
 なおる【直す】のーるんん
 なか【中】なが
 ながあめ【長雨】ながあみん
 ながい【永い】なーんはん
 ながい【長い】なーんはん
 ながい【長居】ながびりん
 ながいあいだ【長い間】なげーくとう
 ながいき【長生き】ながいきん
 ながいきする【長生きする】ながいぎん すんん
 ながいこと【長いこと】なげーくとう
 なががいい【仲がいい】むつまっんさーん、む
 つまっさんはん
 ながさ【長さ】なぎん
 なかす【泣かす】なーがすんん
 ながす【流す】なんぶらすんん、〔血、汗など
 を〜〕ばらすんん
 なかど【中戸】ながやどんん
 なかなおりする【仲直りする】すむびらすんん
 ながながとした【長々とした】な「ー」なー し
 ゃんん
 なかなかみることのない【中々見ることのな
 い】みーどろーんさーん
 なかに【中に】なが
 ながびく【長引く】ながびくんん
 なかま【仲間】ぐーん
 なかみのないしるもの【中味の無い汁物】ん
 なすーん
 ながめる【眺める】ながみんん
 ながもち【長持ち】なーばぐん
 ながもちする【長持ちする】たむつんん
 ながれだす【流れ出す】なんぶりんん
 ながれぼし【流れ星】ゆーべーぷち
 ながれる【流れる】なーりんん
 ながわずらい【長患い】ながやみん
 なきかかる【泣きかかる】なぎすかりん
 なきくたびれる【泣きくたびれる】なぎぼた
 りるんん
 なきこがれる【泣き焦がれる】なきくがりん
 【なぎさ】すーぬん ぶちん、「ばま」ぶちい
 なきしおれる【泣きしおれる】なぎぼたりる
 んん
 なぎたおす【薙ぎ倒す】けーりん とーすんん、
 なぎとーすんん
 なきつかれる【泣き疲れる】なぎぼたりるんん
 なきつく【泣きつく】なぎすかりん
 なきまね【泣き真似】なぎまーべん
 なきむしだ【泣き虫だ】なちぶさーん
 なく【泣く】なーぐんん
 なく【鳴く】なーぐんん
 なく【凧ぐ】とーりるんん、なだらぐんん
 なくさめる【慰める】なくさみんん
 【なくす】うすなすんん、ねーなさんん
 【なくなる】ねーん なるんん
 なくなる【亡くなる】まらすんん

なぐる【殴る】くらすん、すなすん、たたぐ
 ん、ばみがすん、やーらぎるん
 なげあみ【投げ網】うちあん
 なげいれる【投げ入れる】だくむん
 なげきかなしむさま【嘆き悲しむさま】あが
 よーあがよー
 なげくさま【強く痛み嘆くさま】あがよーあ
 がよー
 なげこむ【投げ込む】うちくむん
 なげすてる【投げ捨てる】すか っしりん、な
 んが、ししるん、なんが、っしん、ぼん
 ぎるん
 なげてたたきつける【投げて叩きつける】た
 たしきるん
 なげる【投げる】なんぎるん
 なこうど【仲人】なかだち
 なごりおいしい【名残惜しい】なぐりしゃはん
 なさけ【情け】なさき
 【なじむ】なすうくん
 なすび【茄子】なしび
 なぜ【何故】ねーきん、ねーきる
 なぞなぞ【謎々】ぬーとう
 なだかい【名高い】うとうだがはん、なー
 たかはん
 なだめる【宥める】なだみるん
 【なだらかだ】なだらぎゃーん
 【なだらかにする】なだらぎるん
 なつ【夏】なちい
 なつかしい【懐かしい】なすかっさはん
 なつぎ【夏着】なちすうぬ
 なつく【懐く】なすうくん
 なづけおや【名付け親】なーしきうや
 なつまけ【夏負け】なちいまき
 なでる【撫でる】しっつあーすん
 ななじゅう【七十】ななず
 ななつ【七つ】ななち
 なに【何】ぬー
 なにが【何が】ぬー¹や
 なにごと【何事】ぬーぐとう
 なにも【何も】ぬー¹ん
 なのか【七日】なんが
 なのる【名乗る】なん、えぬん
 なべ【鍋】なび
 なべをこがす【鍋を焦がす】なびふつあらす
 ん
 なま【生】なま
 なまえ【名前】なー、なん
 なまき【生木】なまき
 なまぐさい【生臭い】おーふつあはん、な
 まふささーん、なまふつあはん
 なまけ【怠け】ふゆー
 なまけもの【怠け者】なまふつありむぬ、ふ
 ゆーむぬ
 なまこ【海鼠】しきり
 なまごめ【生米】なまぐみ
 なまもの【生物】なまむぬ
 なまる【鈍る】なまるん
 なみ【波】なん
 なみうちぎわ【波打ち際】すーぬ、ふち
 なみだ【涙】なだ、なんだ
 なみだがでる【涙が出る】なんだ、んじるん
 なみだぐむ【涙ぐむ】なんだ、んじるん
 【なめらかだ】なふこはん
 なめる【舐める】しいぴるん、すぷるん、ぬ
 っふえーるん
 なやむ【悩む】すむ、やむん
 【ならい】なれー
 ならう【習う】ならすん
 ならず【均す】なだぎるん、なだらがすん
 ならず【鳴らす】ならすん
 ならぶ【並ぶ】ならぶん
 ならべる【並べる】すながるん、ならびるん
 なりわい【生業】むぬへーずく
 なる【鳴る】なーるん

【なるほど】えーなー
 なれる【慣れる】なーれるん、ならずん
 なわ【縄】すな
 なわしろ【苗代】なっす
 なわしろいちご【ナワシロイチゴ】てーし
 なわしろだ【苗代田】なっすだー
 なをつける【名を付ける】なーしきん
 なん〜【何〜】うー
 なんかい【何回】うーむし
 なんぎ【難儀】あわり、なんぎ
 なんきんぶくろ【南京袋】「かしがー」ふくる
 なんさい【何歳】うーちい
 なんせいほう【南西方】「さん」ば
 【なんたることか】あきさみよー、はっさみ
 よー
 なんちょうになったひと【難聴になった人】み
 んとーりむん
 なんちょうになる【難聴になる】みんとーら
 【なんでも】ぬ「ー」やぼん
 【なんと】ぬ「ー」た、ぬーたる
 なんとっててるか【何とっててるか】ぬ「ー」
 た、ぬーたる
 なんにん【何人】うたーり
 なんぼう【南方】ペー、¹「ペーぬ」かた、¹「ペ
 ったぬ」かた
 なーらぼん【ナーラボン】なーらぼん
 にあう【似合う】うつるん、ばいるん
 にいさん【兄さん】びらま
 にえたぎらせる【煮えたぎらせる】たぎらす
 ん
 にえたぎる【煮えたぎる】たぎるん
 にえる【煮える】ねーるん
 におい【匂い】かー
 においがする【匂いがする】かーすん
 においがつよい【匂いが強い】かーぬ すさは
 ぬ
 におう【匂う】かーすん

にかい【苦い】ざーはん
 にかえす【煮返す】ふつあーすん
 にかおもい【荷が重い】にんぬ んさはん
 にかがす【逃がす】ぴんがすん
 にかたけ【苦竹】ざーだぎ
 にぎやかにさわぐ【賑やかに騒ぐ】はなやか
 すん
 にぎわす【賑わす】はなやかすん
 にく【肉】にく
 にくい【憎い】にたはん
 にくしん【肉親】うや
 にくまれぐち【憎まれ口】ぼたふちりむぬ
 にくらしい【憎らしい】みっふあはん
 にげまわる【逃げ回る】ぴんぎまーるん
 にげる【逃げる】ぴんぎるん
 にこにことわらう【にこにこと笑う】さにさ
 に しゃん
 にごる【濁る】やなごるん
 にし【西】いり
 にじ【虹】のーじん
 にしめる【煮しめる】んぶすん
 にじゅう【二十】にんず
 にしゅうき【二週忌】ふたなんが
 にじりよる【にじり寄る】しきつあーすん
 にせる【似せる】にーらすん
 にたつ【煮立つ】ふつん
 にちぼつ【日没になる】しな¹いるん
 にっすう【日数】ぴんちい
 にっちゅう【日中】ぴいす、まーびる
 にている【似ている】にししゃはん
 にとうぶん【二等分】ふたばぎ
 にばい【二倍】まーおーび
 にぶる【鈍る】〔切れ味が〜〕なまるん
 にほん【日本】やまとう
 にほんご【日本語】やまとうむに
 にほんじん【日本人】やまとういとう
 にほんほんど【日本本土】やまとう

にもつ【荷物】にむちい¹
 にゅうどうぐも【入道雲】たかふもん¹
 なら【葎】びら¹
 ならむ【睨む】みーしきるん
 なる【似る】にししゃ¹はん
 なる【煮る】ねっすん¹、ぼがすん¹
 にわ【庭】みなー¹、みなが¹
 にわかあめ【俄雨】あたあみ
 にわとり【鶏】ごっか¹
 にわたりのたまご【ニワトリの卵】ごかけー¹
 にんげん【人間】にんぎん¹、ぴいと¹
 にんじょうがない【人情がない】すむ¹ ねー
 ぬ¹
 にんじん【ニンジン】あがでーぐに¹
 にんしんする【妊娠する】ぼるむん¹
 にんずう【人数】にんずー¹
 にんたい【忍耐】がー¹
 にんたいりよくがつよい【忍耐力が強い】が
 ーずさはん
 にんにく【大蒜】びる¹
 にんむ【任務】しゅくぶん¹
 ぬいもの【縫い物】ぬいむぬ¹
 ぬう【縫う】ぬーん¹
 ぬか【糠】ぬが¹
 ぬきだす【抜き出す】ぴき¹ぬぐん¹
 ぬきや【貫き家】ぬきひー
 ぬきんでる【抜きんでる】ぬぎんだん
 ぬく【抜く】ぬぐん¹
 ぬぐ【脱ぐ】ぬぐん¹、〔着物を～〕ぼちるん¹
 ぬくく【温く】あ¹てー¹し
 ぬける【抜ける】ぬぎるん¹
 ぬすっと【盗人】ぬすとうり¹
 ぬすむ【盗む】ぬすむん¹
 ぬの【布】ぬぬ¹
 ぬのさらし【布晒し】ぬのさらし¹
 ぬま【沼】あなぶ¹
 ぬらす【濡らす】ぞっふわらすん¹、ぞっふわ
 るん¹
 ぬりたくる【塗りたくる】ぬりだっくわーす
 ん
 ぬりつける【塗りつける】だっくわすん
 ぬる【塗る】ぬるん¹
 ぬるくする【温くする】ぬるみるん¹
 ぬれる【濡れる】ぞっふわりん¹
 ね【子】にー¹
 ね【根】にん¹
 ねいる【寝入る】たーりん¹、ぬっふたりるん
 ねがいでる【願い出る】にげー¹ んじるん¹
 ねがう【願い】にげー¹
 ねかしつける【寝かしつける】ぬふちるん
 ねかせる【寝かせる】ぬふちるん
 ねぎ【葱】しびる¹
 ねこ【猫】まゆ¹
 ねこそぎとる【根こそぎ取る】こーすん¹
 ねこそぎにとる【根こそぎに取る】〔ヘラで～
 〕そーるん¹
 ねじまがる【ねじ曲がる】むじかるん¹
 ねじまがる【振じ曲がる】むじかーるん¹
 ねじまげる【ねじ曲げる】むじまーすん¹
 ねしょうべん【寝小便】ゆすぱり¹
 ねじる【振じる】むじまーすん¹
 ねじれる【振じれる】むじかーるん¹、むじか
 るん¹
 ねそべる【寝そべる】ゆくたーるん¹
 ねたましい【妬ましい】にた¹はん
 ねたむ【妬む】にたむん¹
 ねだやしになる【根絶やしになる】〔作物が～
 〕たに しさん
 【ねだる】いみるん¹、きぬん¹
 ねだん【値段】でん¹
 ねつ【熱】にちい¹
 ねつがでる【熱が出る】にち¹ んじるん¹
 ねづく【根付く】にんうりん、にん¹すくん¹
 ねっしん【熱心】すむ¹いり¹

ねっちゅう【熱中】まーぷりⅴ
 ねっとう【熱湯】あちいゆⅴ
 ねつびょう【熱病】ぷーきⅴ、やきーⅴ
 ねどこ【寝床】とぅくⅴ
 ねばつく【粘付く】むっつあるんⅴ
 ねばっこい【粘っこい】むっつあⅴはん
 【ねばねばする】むっつあⅴはん
 ねばりけのないさま【粘り気のない様】さば
 さば
 ねぼう【寝坊】にーぶやーⅴ
 ねぼすけ【寝坊助】にーぶやーⅴ
 ねむたい【眠たい】ぬふたⅴはん
 ねむる【眠る】ぬっふんⅴ
 ねもと【根元】にんむとぅⅴ
 ねる【寝る】ぬっふんⅴ
 ねわけする【根分けする】にんばぎるんⅴ
 ねん【年】にんⅴ
 ねんぐ【年貢】ぞーぬん、にんぐⅴ
 ねんずる【念ずる】にんじるんⅴ
 ねんちょう【年長】しじゃーⅴ
 ねんど【粘土】んたⅴ
 ねんねん【年々】にんにん
 ねんぶつしゃ【念仏者】にんぶちⅴ
 ねんりょうゆ【燃料油】あばⅴ
 ねんれい【年齢】とぅちいⅴ
 の【野】ぬーⅴ
 のいちご【野いちご】てーしⅴ
 のう【脳】のーⅴ
 のうこう【農耕】むぬすくりⅴ
 のうこうだ【濃厚だ】かたⅴはん
 のうさぎょう【農作業】ぴてーⅴするんⅴ
 のうさく【農作】さくほーⅴ
 のうにゅうする【納入する】うさみるんⅴ
 のうべんだ【能弁だ】ふちいⅴやばⅴはん
 のうりつがあがる【能率が上がる】だっつあ
 ぐんⅴ
 のからむし【ノカラムシ】ばごーⅴ

のきさき【軒先】あまばんぎⅴ
 のきば【軒端】あまばんぎⅴ
 のこぎり【鋸】ぬぎりⅴ
 のこす【残す】のがすんⅴ
 のこり【残り】ぬぐりⅴ
 のこる【残る】のがるんⅴ
 のせる【乗せる】ぬしんⅴ
 のぞみ【望み】ぬずみⅴ
 のぞむ【望む】ぬずむん
 のど【喉】ぬどぅⅴ
 のどがかわく【喉が渴く】ぬどぅⅴかりるんⅴ
 のどもと【喉元】ぬぶしんⅴ
 のばす【延ばす】ぬばすんⅴ、ぬびるんⅴ、ぴそ
 ーぎるん
 のはら【野原】ぬーⅴ
 のびる【伸びる】ぬぶんⅴ
 のぶどう【野ブドウ】かなぶⅴ
 のべる【伸べる】ぬびるんⅴ
 のべる【延べる】ぴそーぎるん
 ～のほうへ【～の方へ】が
 のぼせる【逆上せる】ぬぶしるんⅴ
 のぼりざか【上り坂】さかⅴ
 のぼる【昇る】あがるんⅴ
 のぼる【登る】ぬぶるんⅴ
 のみ【蜜】ぬんⅴ
 のみ【鑿】ぬんⅴ
 のみおろす【飲み下ろす】ぬみ うらへ
 のみこむ【飲み込む】ぬみくむんⅴ
 のみつくす【飲み尽くす】ぬぶたんⅴ
 のみのこす【飲み残す】ぬみのがすんⅴ
 のむ【飲む】ぬむんⅴ
 のらぎ【野良着】ぴてーすうぬⅴ
 のらんそう【卵巣】〔鯉など魚の～〕はらみⅴ
 のり【糊】ぬりⅴ
 のりおくれる【乗り遅れる】ぬりうくりるん
 のりと【祈詞】ばんⅴ
 のりはずす【乗りはずす】ぬりうくりるん

- のりもの【乗り物】ぬりむぬⅴ
 のる【乗る】ぬぶるんⅴ、ぬるんⅴ
 のる【載る】ぬるんⅴ
 のろい【呪い】いきろーⅴ
 のろい【鈍い】どうなはん
 【のろのろしている】どうなーⅴさーん
 は【歯】ぱんⅴ、ふちいぬⅴ ぱんⅴ
 は【葉】ぱーⅴ
 ばあさん【おばあさん】うしとうぱーⅴ
 【ばあっと】ぱーった
 【はあはあ】はーはー
 【はい】おー
 ばい【倍】まーおーび
 はいからだ【ハイカラだ】はいからⅴさーん
 はいきび【ハイキビ】にんどーしいⅴ
 ばいしゃくにん【媒酌人】なかだちⅴ
 はいしょ【拝所】うがんじゅ、わーⅴ
 はいすいこう【排水溝】みぞーりⅴ
 はいせつしちらかす【排泄し散らかす】〔大便
 を〜〕ふつⅴ まりぼーるんⅴ
 はいせつしちらす【排泄し散らす】〔大小便
 を〜〕まりぼーるんⅴ
 はいぞう【肺臓】ふくⅴ
 はいつくぼう【這いつくぼう】ペーつあーる
 んⅴ、ペっつあるんⅴ
 はいべんする【排便する】ふつⅴまるんⅴ
 はいりこむ【入り込む】ペーりくむんⅴ
 はいる【入る】ペーるんⅴ、ペるんⅴ
 はう【這う】ペーつあーるんⅴ、ペっかるんⅴ
 はえ【蠅】ペーⅴ
 はえきび【ハエキビ】なざぎⅴ
 はえる【映える】ぱいるんⅴ
 はえる【生える】むいるんⅴ
 はか【墓】ぱかⅴ
 ばか【馬鹿】ふらーⅴ
 はがす【剥がす】ばがすんⅴ
 ばかす【化かす】ぎまどうらすんⅴ
- はかせる【吐かせる】ばかすんⅴ
 【はかどる】だっつあぐんⅴ
 ばかにする【馬鹿にする】うせーんⅴ、ばっく
 るんⅴ
 はがね【鋼】はーがにⅴ
 はかま【袴】ばかまⅴ
 はがま【羽釜】ぱんがまⅴ
 ばかもの【馬鹿者】ふらーⅴ、ぷりむぬⅴ
 【〜ばかり】がーし
 はかる【計る】ばかるんⅴ
 はかる【謀る】はかるんⅴ
 はがれる【剥がれる】ばがりるんⅴ、ばなりる
 んⅴ
 ばかわらい【馬鹿笑い】ぷりばーりⅴ
 はきけがする【吐き気がする】〔胸がむかつい
 て〜〕いがぼりゃん
 はきだす【吐き出す】ばきんだすんⅴ
 はぎとる【剥ぎ取る】ばぎとるんⅴ、ばぐんⅴ
 はきもの【履物】ふむむぬⅴ
 【はく】〔履物を〜〕ふむんⅴ
 はく【佩く】ぱくんⅴ
 はく【吐く】ぱくんⅴ、むどうすんⅴ
 はく【掃く】はくんⅴ、ぼーぐんⅴ
 はぐ【剥ぐ】ばぐんⅴ
 はくじょう【薄情】すむⅴ ねーぬⅴ
 はくめい【薄命】ぬちいまるⅴはん
 はげあたま【禿頭】ばぎすぶるⅴ
 ばけつ【バケツ】ばぎしⅴ
 はげる【禿げる】ばぎんⅴ
 はこ【箱】ぱくⅴ
 はごたえがある【歯ごたえがある】こーⅴはん、
 こすぱり
 はさき【刃先】ぱんⅴ
 はさみ【鋏】ぱつあんⅴ
 はさむ【挟む】ぱつあむんⅴ
 はし【橋】ぱちⅴ
 はし【端】ぱたⅴ、ぱんたⅴ

- はし【箸】まーし¹
 はし【隅】ゆごー¹
 はじく【弾く】ぼんくん¹
 はじける【弾ける】ぼしゅくりん¹
 はしご【梯子】ぱち¹
 はしっこ【端っこ】ぼんた¹
 はじまる【始まる】はじまるん¹
 はじめる【始める】はじみるん¹
 【はしゃぐ】ばざるん¹
 ばしょ【場所】とうくる¹、ばしゅ¹
 ばしょう【芭蕉】ばーさ¹
 ばしょうふのきもの【芭蕉布の着物】ばさす
 うぬ¹
 はしら【柱】ばら¹
 はしらせる【走らせる】ばらすん¹
 はしる【走る】はきしいきるん¹、ばるん¹
 はずかしい【恥ずかしい】〔人に対して～〕ば
 すうか¹さーん、ばすかはん
 はずす【外す】ぼんつん
 はすのはぎり【ハスノハギリ】さこだち¹
 はずれる【外れる】ぬぎるん¹、ぼんちん¹
 はぜのき【ハゼノキ】ぼんじ¹
 はた【ハタ】にばり¹
 はた【旗】ぱた¹
 はたおりき【機織り機】ぱたむん¹
 はだか【裸】あばだり¹
 はたけ【畑】ぴてー¹、ぴてーぎ¹
 はたけごや【畑小屋】ぴてーひ¹
 はたけしごと【畑仕事】ぴてー¹するん¹
 はだし【裸足】からぼん¹
 はたす【果たす】うむいきすん¹
 はたち【二十歳】ぱたち¹
 はたらく【働く】ぱたらぐん¹
 はち【蜂】ぱーち¹
 【ばち】〔大鼓の～〕ばち
 はちじゅう【八十】ぱちず¹
 はちまき【鉢巻】さち¹
 ばつ【罰】とうが¹、ぱち¹、ばつあ¹
 はつじょうする【発情する】ずーぶるん¹
 ばつする【罰する】とうがみるん¹
 ばった【バッタ】かたん¹
 はったいこ【はったい粉】〔小麦の～〕ゆぬぐ¹
 はってすすむ【這って進む】ぴゃっかるん¹
 はってんする【発展する】ひらきるん¹
 はつどうきせん【発動機船】きかんしん¹
 はつねつする【発熱する】にち¹ んじるん¹
 はつほまつり【初穂祭】すくまん¹
 はつもの【初物】ぱち¹
 ばつをかぶる【罰を被る】ばつあかぶん
 【はて】あい
 はてるま【波照間】ぱちるま、はてろー¹、ば
 てろーま¹
 はてるまじま【波照間島】はてろー¹、ぱてろ
 ーま¹、〔島民間で～〕ベーすま
 ほと【鳩】ぱとん¹
 ほとま【鳩間】ぱとーま¹
 ほとまじま【鳩間島】ぱとーま¹
 はな【花】ばな¹
 はな【鼻】ばな¹
 はないけ【花生け】ばないぎ¹
 はなし【話】ばなし¹
 はなじる【鼻汁】ばなだり¹
 はなす【話す】かたるん¹、ばなすん¹
 はなす【離す】ばがすん¹、ばなすん¹
 はなつ【放つ】〔糞を～〕まるん¹
 はなづな【鼻綱】〔牛の～〕ばなじな¹
 ばなな【バナナ】ばーさ¹
 ばななのみ【バナナの実】ばーさぬ¹ なーり¹
 はなよめ【花嫁】あいなー¹
 はなれ【離れ】ばなり¹
 はなれのしま【離れの島】ばなりぬ すま¹
 はなれる【離れる】ぬぎるん¹、ばなりるん¹、
 ばなりん¹、ひだみるん¹、ひだみん¹
 はね【羽】ばに¹

はねかえす【跳ね返す】〔物に突き当たって～
 〕はにかいすん1
 はねかえる【跳ね返る】はにかいるん1
 はは【母】あぶわ1
 ばばいあ【パイア】まんじょー1
 ははおや【母親】あぶわ1
 ははかたしんせき【母方親戚】じーかたうや
 ぐ、ちーかたうやぐ1
 はへん【破片】はきV
 はま【浜】ばま1
 はまおもと【ハマオモト】さでいふか1
 はまかに【浜蟹】ばまかん1
 はましたん【浜紫檀】すばんこっち
 はまじゃり【浜砂利】な'り'さ
 はまゆう【浜木綿】やたかび
 【はまる】ばまるん1
 はめこむ【はめ込む】ばみるん1
 【はめる】ばみるん1
 ばめん【場面】ばしゅ1
 はやうまれ【早生まれ】はやまり1
 はやく【早く】がんがん、ぴく、ぴくだりV、ペ
 ーしゃな1
 はやくする【早くする】はやみるん1
 はやくなる【早くなる】はやまるん1
 はやじにする【早死する】はやじに1 すんV
 はやしのかなか【林の中】きぬ1 みーV
 はやす【囃す】ばーすん1、ばやすん1
 はやす【生やす】〔草を～〕むやすん1
 はやまる【早まる】はやまるん1、ペーまるん1
 はやめに【早めに】ぴくだりV
 はやめる【早める】はやみるん1
 はやらせる【流行らせる】ひるみるん1、ひる
 みるん1
 はやり【流行り】はやり1
 はやる【流行る】はやーるん1
 はら【腹】ばた1
 はらいっぱいになる【腹一杯になる】ばた1ん
 ち1
 はらう【払う】ばらすん1
 はらう【祓う】〔不吉を～〕ばちるん1
 はらがしぼるようにいたむ【腹がしぼるよう
 に痛む】すぶりやみ
 はらがふくれる【腹が膨れる】〔消化不良で～
 〕ばたふくりるん1
 はらがもたれる【腹がもたれる】ばたふさり
 ー
 はらぐあいがわるい【腹具合が悪い】ばたふ
 くら、ばたふさりー
 【ばらす】ぼつつあらすん
 【ばらばらにする】ぼつつあらすん
 【ばらばらになる】ぼつつあーるん1
 ばらばらにわれる【ばらばらに割れる】ざん
 ざらごー
 はらまない【孕まない】やじまるんV
 はらむ【孕む】ばるむん1
 はらわた【腹わた】ばた1
 はり【梁】かむい1
 はり【針】ばり1
 はりせんぼん【ハリセンボン】いしかぼ1
 はる【張る】ばるんV
 はる【春】うりじん1
 はるののげし【ハルノノゲシ】ふくなV
 はれがひく【腫れがひく】しぴりんV
 はれつする【破裂する】ばしゅくりん1
 はれもの【腫れ物】にーぶた1
 はれる【晴れる】〔天気～〕ばりん1
 はれる【腫れる】ふくりるんV
 はろう【波浪】なんV
 はわす【這わす】〔釣り糸などを～〕ペーすん1
 ばん【番】ばん1
 はんえい【繁栄】はんじょー1
 はんえいする【繁栄する】さかいるんV
 ばんく【バンク】すねー1
 はんこうする【反抗する】たい1 すんV

- ばんざくろ【バンザクロ】〔野生の～〕とつき
 ん、ばんしゆるⅴ
 はんじょう【繁昌】はんじょーⅴ
 はんせん【船舶】ふにⅴ
 はんにあ【半煮え】なまにーⅴ
 はんにあ【半日】ぱんにちⅴ
 はんばいする【販売する】かしみるんⅴ
 はんぶん【半分】ぱんぶんⅴ
 はんぶんわけ【半分分け】ぱんぶんばぎⅴ
 はんもする【繁茂する】かぶんⅴ
 ひ【日】しなⅴ、ぴんⅴ
 ひ【火】ぴーⅴ
 ひえ【稗】しんⅴ、ぴんⅴ
 ひえらび【日選び】ぴーる
 ひえる【冷える】ぴーるんⅴ、ぴしゃⅴはん、ぴ
 りⅴ、ぴんぐるんⅴ
 ひかくする【比較する】くらびるんⅴ
 ひかげ【日蔭】けー
 ひがし【東】あーⅴⅴ
 ひがしがわ【東側】ありかたⅴ
 ひがしずむ【日が沈む】しなⅴいるんⅴ
 ひがてる【日が照る】しなⅴしっすんⅴ
 ひがのぼる【日が昇る】しなⅴあがるんⅴ
 ひからせる【光らせる】ぴからすんⅴ
 ひかり【光る】ぴかるんⅴ
 ひがん【彼岸】ぴんがんⅴ
 ～ひき【～匹】がら、ら
 ぴき【引き】ぴきⅴ
 ひきあう【引き合う】ひきあうんⅴ
 ひきあげる【引き揚げる】ひきあんぎるんⅴ
 ひきうける【引き受ける】うきとるんⅴ、ひ
 きⅴうきるんⅴ
 ひきうす【引き白】ぴきうしⅴ
 ひきおろす【引き下ろす】ぴきうらすん、ぴ
 きうるすん
 ひきかえす【引き返す】ぴきけーすんⅴ
 ひきさく【引き裂く】ぴきさくんⅴ
 ひきしお【引き潮】ぴきすーⅴ
 ひきずる【引きずる】さふくんⅴ、そんぐんⅴ
 ひきたおす【引き倒す】ぴきとーすん
 ひきだす【引き出す】ぴきだーすん、ぴきん
 だすん
 ひきたてる【引き立てる】むちあんぎるんⅴ
 ひきつける【引き付ける】ぴきしいきんⅴ
 ひきつれる【引き連れる】ぴきそーるんⅴ
 ひきど【引き戸】ぴきやどーⅴ
 ひきとる【引き取る】ぴきとるんⅴ
 ひきなわりょう【曳き縄漁】ぴきなんⅴ
 ひきぬく【引き抜く】ぴきぬぐんⅴ
 ひきのばす【引き伸ばす】ぴきぬばすんⅴ
 ひきはなす【引き離す】ばがすんⅴ
 ひきやぶる【引き破る】ぴきやぶるんⅴ
 ひきよせる【引き寄せる】ぴきゆしるんⅴ
 ひく【引く】〔潮が～〕ぴいすんⅴ、ぴくんⅴ
 ひく【弾く】ぴくんⅴ
 ひく【挽く】〔木を～〕ばぐんⅴ、〔白を～〕ぴ
 くんⅴ
 ひくい【低い】まろⅴはん
 ひげ【鬚】ぴにⅴ
 ひご【庇護】かたがⅴ
 ひこうする【飛行する】とうぷんⅴ
 ひざ【膝】すぶしんⅴ
 ひさし【庇】あまだりⅴ
 ひさしくあわない【久しく会わない】みーど
 うーⅴさーん
 【ひざまずき】べしきびりⅴ
 ひしゃく【柄杓】にぶⅴ
 【ひしゃげる】ぴさんたらすんⅴ
 びじんだ【美人だ】あばりしゃⅴはん
 ひせ【干瀬】ぴーⅴ
 ひせのわれめ【干瀬の割れ目】「ぴーぬ」ばり
 ひたい【額】ふてーⅴ
 ひだり【左】ぴなりⅴ
 ひだりかた【左方】ぴなりⅴ

ひたる【浸る】すかるんⅴ
 ひっかく【引っ掻く】はかじるんⅴ、〔爪で～〕
 はかずるんⅴ
 ひっかける【引っ掛かる】はかるんⅴ
 【ひっかぶる】ばくんⅴ
 ひっくりかえす【引っくり返す】ぐるっけー
 すんⅴ
 ひっくりかえる【引っくり返る】ぐるっけー
 らんⅴ
 ひづけ【日付】びんちいⅴ
 ひっこす【引っ越す】うつるんⅴ
 【びっこになる】ないぐんⅴ
 【びっこをひく】ないぐんⅴ
 ひっさげる【引っ提げる】びきさんぎるんⅴ
 ひつじ【未】びちいⅴ
 ひっしゃ【筆者】びっしゃⅴ
 【びっしょり】けった ぞっふあら
 【ひつつかむ】かみしきるんⅴ
 ひつつく【ひっ付く】だっくわーるんⅴ、むっ
 つあーるんⅴ、むつつあるんⅴ
 ひつつける【ひっ付ける】むつつあーすんⅴ
 ひつつける【引つつける】だっくわすん
 【ひっばたく】〔鞭で～〕だすますんⅴ
 ひっばる【引っ張る】びきしいきんⅴ
 ひつようだ【必要だ】いるんⅴ
 ひでり【日照り】ペーりⅴ
 ひと【人】にんぎんⅴ、ぴいとうⅴ
 ひどい【酷い】どうぐ
 ひといき【一息】ぴいとういしⅴ
 びどう【美童】みやらびⅴ
 ひとつね【一畝】ぴいとうきばⅴ
 ひとえぐさ【ヒトエグサ】あーさⅴ
 ひとえまぶた【一重瞼】かーみんⅴ
 ひとおじする【人怖じする】ぴいとうごはす
 ん
 ひときれ【一切れ】ぴいとうっしⅴ
 ひとさしゆび【人差し指】ぴいささしーⅴ

ひとしごと【一仕事】ぴいとうしごとうⅴ
 ひとだのみ【人頼み】ぴいとうたなぐん
 ひとだま【人魂】ぴんだまⅴ
 ひとつ【一つ】ぴとうちⅴ
 ひとなみに【人並に】ぴいとうだぎⅴ
 ひとにたよる【人に頼る】ぴいとうたなぐん
 ひとばん【一晚】ぴいとうゆーⅴ
 ひとばんじゅう【一晚中】ゆどうし
 ひとみしりをする【人見知りをする】ぴいと
 うごはすん、ぴとうみしり すん
 ひとよ【一夜】ぴいとうゆーⅴ
 ひとり【一人】ぴいとうりⅴ
 ひとり【独り】ぴいとうりⅴ
 ひとりごと【独り言】ぴいとうりふちⅴ
 ひとりっこ【一人っ子】ぴいとうりたまⅴ
 ひとりもの【独り者】たんがーむぬⅴ
 ひとをつかう【人を使う】ぴいとうすこーん
 ひなた【日向】しなぬⅴ みーⅴ
 ひなわ【火縄】ぴーなんⅴ
 ひなんする【非難する】しみるんⅴ
 ひにち【日にち】ぴんⅴ
 ひねる【捻る】びにるんⅴ、むじまーすんⅴ
 ひのかみ【火の神】ぴなかんⅴ
 ひのたま【火の球】ぴんだまⅴ
 ひのでになる【日の出になる】しなⅴあがるんⅴ
 ひはつもどき【ヒハツモドキ】ぴばちいⅴ
 ひばんもり【火番盛】「ひばん」むり
 【ひびる】しかむんⅴ
 ひま【暇】ぴまⅴ
 ひまご【曾孫】またまーⅴ
 ひまんしゃ【肥満者】ばたぶたーⅴ
 ひまんになる【肥満になる】ばなたるんⅴ、ば
 んたるんⅴ
 ひも【紐】ぶーⅴ
 【ひもじい】やーはⅴ すんⅴ、やーⅴはん
 【ひやかす】ばくるんⅴ
 ひゃく【百】ぴゃーぐⅴ

ひやくしょう【百姓】ぶざ¹
 ひやす【冷やす】ぴらすん¹
 ひやとい【日雇い】ひよー¹
 ひやみず【冷や水】ぴーみじい¹
 ひやめし【冷や飯】ぴりふつありむぬ
 【ひゅうひゅう】びゅーびゅー
 【びゅうびゅう】ぼーぼー
 びょうき【病氣】ばなしき¹、やみ¹、やん¹
 びょうきにかかる【病気に罹る】やむん¹
 びょうじゃくだ【病弱だ】びな¹さーん
 びょうじゃくなこども【病弱な子供】びーら
 ー
 ひょうじゅんご【標準語】やまとうむに¹
 ひょうたん【ヒョウタン】かなぼりん¹
 ひょうはくする【漂白する】さらすん¹
 ひょうばん【評判】さた¹
 ひょうりゅうする【漂流する】なーりん¹
 ひよくなはたけ【肥沃な畑】めーりぴてー¹
 ひより【日和】ぴんちい¹
 ひよわ【ひ弱】びーら
 ひらえ【平得】ぴいせー¹
 ひらきど【開き戸】まーしと¹
 ひらける【開ける】ひらきるん¹
 ひらたい【平たい】ぴいさんたり¹
 ひらたくなる【平たくなる】びさんたらすん¹
 ひらてでうつ【平手で打つ】ぱちみがすん¹
 ひらべったい【平べったい】ぴいさんたり¹
 ひらみれもん【ヒラミレモン】ざがふなぶ¹
 ひりょう【肥料】こい¹
 【ひる】〔屁を〜〕ぴいすん¹
 ひる【昼】ぴる¹
 ひるご【昼後】ぴいすあと¹
 ひるね【昼寝】ぴいすまぬっふい¹
 ひるのうちに【昼の内に】ぴるぬ うち
 ひるま【昼間】ぴいす¹、ぴる¹、ぴるぬ うち
 【ひるむ】たんきるん¹
 ひるめし【昼飯】ぴいすまりむぬ¹

ひるやすみ【昼休み】ぴいすまり¹やしみ¹
 ひれ【鰭】ばに¹
 ひろい【広い】ぴいそ¹はん
 ひろいもの【拾い物】「ぴいしゃー」むぬ
 ひろう【拾う】と¹みるん¹、ぴいすん¹
 ひろう【疲労】くたんでー¹、ぼーがり¹
 びろう【ビロウ】くば¹
 ひろうぎみだ【疲労ぎみだ】だる¹さーん
 ひろうする【疲労する】ぶがりるん¹、ぼたり
 ーるん¹
 ひろがる【広がる】ひるまるん¹、ぴるまるん¹
 ひろげる【広げる】ぴそーぎるん、ひるみる
 ーん¹、ひるみる¹
 ひろまる【広まる】ひるまるん¹、ぴるまるん¹
 ひろめる【広める】ひるみるん¹、ひるみる¹
 ひんじゃくだ【貧弱だ】びな¹はん
 びんしょうだ【敏捷だ】からぼっさ¹はん
 びんぼう【貧乏】ぴんそー¹
 びーちろく【ビーチロック】なんだら¹
 ぴーなつ【ピーナツ】じいーまーみ¹
 ふあん【不安】しわー¹
 ふいごまつり【ふいご祭】かつえーぶな¹
 ふうしん【風疹】とーしんべー¹
 ふうすい【風水】ふんしー¹
 ふうすいがく【風水学】ふんしー¹
 ふうたい【風袋】ふーたい¹
 ふうとう【封筒】じょーぶくろ¹
 ふうふ【夫婦】と¹んぶと¹
 ふうんだ【不運だ】うんぬ¹、ねーぬ¹
 ふえ【笛】ぴん¹
 ふえる【増える】ぶーさ¹なるん¹
 ふか【鱻】さば¹
 ぶか【部下】しんか¹
 ふかい【悪口を言うこと】ばたふちり¹
 ふかい【深い】ふか¹はん
 ふかくおもう【深く思う】うむいくがりん¹
 ぶかっこう【不格好】やなかたち¹

- ふかむら【富嘉村】ふかむらⅴ
 ふかれる【吹かれる】〔風に～〕ふかりるんⅴ
 ふきあれる【吹き荒れる】ふきありるんⅴ
 ふきでもの【吹き出物】に一ぶたⅴ
 ふきとる【拭き取る】しっするんⅴ
 ふきまくる【吹きまくる】ふきありるんⅴ
 ふきようだ【不器用だ】くばⅴはん、しーⅴく
 ばⅴはん
 ふく【拭く】しっするんⅴ、すするんⅴ
 ふく【葺く】〔屋根を～〕ふくんⅴ
 ふくぎ【福木】ふこんⅴ
 ふくつう【腹痛】ばたⅴやみⅴ
 ぶくぶく【ブクブク】ぶくぶく
 ふくませる【含ませる】ふくますんⅴ
 ふくむ【含む】ふくむんⅴ
 ふくめん【覆面】こーがきⅴ
 ふくや【福屋】とーらⅴ
 ふくらます【膨らます】ふくらすんⅴ
 ふくらませる【膨らませる】ふくらますんⅴ
 ふくらむ【膨らむ】ふくりんⅴ
 ふくれあがる【膨れ上がる】むりあがるんⅴ
 ふくれる【膨れる】ふくりるんⅴ、〔水を含ん
 で～〕ふくりんⅴ
 ふくろ【袋】ふくるⅴ
 ふくろう【梟】すくくⅴ
 ふけつだ【不潔だ】すぶたⅴはん、すぶⅴつあ
 ーん
 ふけつになる【不潔になる】〔湿って～〕しみ
 ーるんⅴ
 ふこう【不幸】やなくとーらⅴ
 ふごうかく【不合格】ふごーⅴ
 ふさい【負債】うかⅴ
 ふさがる【塞がる】ふさがるんⅴ、ふつあるんⅴ
 ふさぐ【塞ぐ】ふさぐんⅴ
 ふし【節】ふしⅴ
 ぶし【武士】ぶしⅴ
 ふしうた【節歌】ふしうたⅴ
- ふしぎだ【不思議だ】ぴるまさん、ぴるまⅴは
 ん、みずらⅴはん
 ふしゅう【腐臭】ふつありかー
 ぶしょう【不精】ふゆーⅴ
 ぶしょうだ【不精だ】しびんさⅴはーん
 ふしょうちだ【不承知だ】ふつくれー
 ぶしょうもの【不精者】ふゆーむぬⅴ、ふゆな
 むぬ
 ふせぐ【防ぐ】ふしぐんⅴ
 ふせる【伏せる】うすふかすんⅴ
 ふそく【不足】ふすくⅴ
 ふそくする【不足する】たらーぬⅴ
 ふた【蓋】ふたⅴ
 ふだ【札】ふだーⅴ
 ぶた【豚】うわーⅴ
 ふだいれ【札入れ】ふだいりⅴ
 ぶたごや【豚小屋】うわんⅴひーⅴ
 ふたたび【再び】またⅴ
 ふたたびふっとうさせる【再び沸騰させる】ふ
 つあーすんⅴ
 ふたつ【二つ】ふたーちⅴ、ふたちⅴ
 ふたつとも【二つとも】ふたーちいⅴばぎⅴ
 ふだにん【札人】ふだにんⅴ
 ぶたのえさいれ【豚の餌入れ】とーにⅴ
 ふたまた【二又】ふたまたⅴ
 ふたまた【二股】ふたまたⅴ
 ふたをする【蓋をする】ふーんⅴ
 ふだんぎ【普段着】ひーすうぬⅴ
 ふち【縁】ふちいⅴ
 ぶちあたる【ぶち当たる】だっさが
 ぶちあてる【ぶち当てる】だっさが
 ぶちこむ【ぶち込む】だくむんⅴ、ぶくむんⅴ
 ぶちこわす【ぶち壊す】すくっふわすんⅴ
 【ぶっかける】〔水を～〕いがふちるんⅴ
 ふっくらとしたさま【ふっくらとした様】ふ
 くるふくる
 ぶつぜん【仏前】ぶとうぎんぬⅴめーⅴ

ぶつだん【仏壇】とぅくⅴ

【ぶつつける】うったち

ふっておとす【振って落とす】ふいⅴ っしんⅴ

ふっとうさせる【沸騰させる】たぎらすんⅴ

ふっとうする【沸騰する】たぎるんⅴ、ふつんⅴ

ふっとうするさま【沸騰する様】ぶとうぶと
う

【ぶつりと】ぶちんた

【ぶつんと】ぶちんた

ふで【筆】ふちⅴ

ふとい【太い】みちさはん

ふところ【懐】ふちくる

ふとる【太る】ぼなたるんⅴ、ぼんたるんⅴ、〔芽
などが〜〕めーるんⅴ

ふとん【布団】うずⅴ

ふなうら【船浦】ふのーらⅴ

ふなだいく【船大工】ふなでーぐ

ふなたび【船旅】ふなたびⅴ

ふなだま【船霊】ふなだまⅴ

ふなだまり【船溜り】ふなだまりⅴ

ふなよい【船酔い】ふねーⅴ

ふにんだ【不妊だ】やじまるんⅴ

ふね【船】ふにⅴ

ふねのていはくぼしょ【船の停泊場所】ふな
だまりⅴ

ふねのよこいた【船の横板】ふなばにⅴ

ふねのりゅうこつ【船の竜骨】かーらⅴ、まつ
らⅴ

ふはいする【腐敗する】ふつありんⅴ

ふびじん【不美人】うきしゃⅴはん

ふみつける【踏みつける】ふんしきるんⅴ、ふ
んつあーすんⅴ

ふみつぶす【踏み潰す】うすびらがすんⅴ、ふ
んびらがすんⅴ

ふみにじる【踏みにじる】ふんつあーすんⅴ

ふみはずす【踏み外す】とぅぶちんⅴ、ふんぼ
んちるんⅴ、ふんぼんつあすんⅴ

ふむ【踏む】〔足で〜〕ふむん

ふやす【増やす】ぶーさⅴ なすんⅴ

ふゆ【冬】ふっひⅴ

ふゆう【富裕】うやぎⅴ

ふゆうしゃ【富裕者】「うやぎ」ひー

ふゆうする【浮遊する】おーがるんⅴ

ぶよう【舞踊】ぶどぅりⅴ、ぶんどぅり

ぶらさがる【ぶら下がる】さがるんⅴ、さんが
るんⅴ

ぶらさげる【ぶら下げる】すきーらすんⅴ、ぴ
きⅴさんぎんⅴ

【ぶらぶらっと】ぶらぶら

ふりあてる【振り当てる】ぼりあていんⅴ、わ
りあていんⅴ

ふりかえる【振り返る】とぅんけーるん

ふりかける【振りかける】ふりはきんⅴ

ふりすてる【振り捨てる】ふっひ ししるん

ふりはらう【振り払う】ふっひ ししるん

ふりまわす【振り回す】ふりまーすんⅴ

ふりむく【振り向く】とぅんけーるん

ふる【振る】ふっふんⅴ

ふる【降る】〔雨が〜〕ふっふんⅴ

ふるい【篩】しーⅴ

ふるう【振るう】ゆらすんⅴ

ふるぎ【古着】ふーすうぬⅴ

ふるくする【古くする】ふーⅴ なすんⅴ

ふるくなる【古くなる】ふーⅴ なるんⅴ

ふるさと【故里】まりじまⅴ

ふるびる【古びる】ふーⅴ なるんⅴ

【ぶるぶる】ふとぅふとぅ

ふるむ【古む】ふーⅴ なるんⅴ

ぶれい【無礼】ぶりーⅴ

ふれる【触れる】さーるんⅴ

ふろ【風呂】ゆふるⅴ

ふろしき【風呂敷】うしびⅴ

ふんがいする【憤慨する】くさむくんⅴ

ぶんけ【分家】きにぼがらⅴ

- ぶんけする【分家する】きにばがりるんA
 ぶんじばる【ぶん縛る】ぶんさまるんV
 ぶんそん【分村】むらばぎんA
 ぶんどう【分銅】びきぬ ふり
 ふんどし【褌】さねーV
 ぶんなぐる【ぶん殴る】ばみがすんV
 ぶんばいする【分配する】くぼるん1
 ぶんべつ【分別】じんぶんA
 ぶんべつする【分別する】ばぎんA
 ぶんまつ【粉末】く1、ふく1
 ぶんまつにする【粉末にする】ふくなすん1
 【ぶんわりする】ふくらVさーん、ふくるさ1
 はん
 へ【屁】ぴん1
 べいじゅ【米寿】とーかち1
 へいたんだ【平坦だ】なだらがVはん
 へいたんなしま【平坦な島】ぴいさじまV
 へいたんにする【平坦にする】なだらがすんV
 へいたんになる【平坦になる】なだらぐんV
 べいはん【米飯】めーぬV いー1
 へいみん【平民】ぶざ1
 【へえー】べー
 へくさい【屁臭い】ぴんふつあ1はーん
 【へこむ】とうまるんV
 へしこむ【へし込む】うしくむんV
 へそ【臍】ぷつV
 へただ【下手だ】くぼ1はん
 へだてる【隔てる】ひだみるん1、ひだみん1
 へたなのうふ【下手な農夫】ぴらすか1
 べたぼれ【べた惚れ】まーぷりV
 へちま【糸瓜】なーびらA
 べつ【別】びちいA
 べったりすわる【べったり座る】しきだーす
 んV
 べつに【別に】ふかな
 べつの【別の】びちいぬA
 べつべつ【別々】びちいびちい
 へび【蛇】ぱくV
 へら【篋】ぴら1
 べら【ベラ】ふつあび1
 へる【減る】びなるんV
 へんかする【変化する】かわるんV
 べんきょう【勉強】むぬなれーA
 へんじ【返事】ひんとーV
 べんじょ【便所】ふーる1、ふるや1
 べんしょうさせる【弁償させる】はかすんV
 べんしょうする【弁償する】ぱくんV
 へんずつう【片頭痛】かたすぷる1やみA
 へんだ【変だ】いふなーV、いふなー やっさ
 ーV
 へんたんにする【平坦にする】なだぎるんV
 へんとう【返答】ひんとーV
 べんとう【弁当】びんとーV
 へんなぐあいだ【変な具合だ】〔胸のあたりが
 何となく〜〕いがぼりゃん
 ほ【帆】ぼーV
 ほ【穂】ぶー1
 ～ほう【～方】た
 ぼう【棒】ぼーA
 ぼうがい【妨害】わしくA
 ぼうかんぎ【防寒着】ふくた1
 ほうき【箒】ぼーち1
 ほうきぼし【ほうき星】ぼーぎぶしい1
 ほうげん【方言】すま1むにA
 ほうげん【暴言】あらVむにA
 ほうこう【奉公】ふーく1
 ほうじ【法事】こっこー1、しょっこー1
 ぼうしゅ【芒種】ぼーすA
 ほうしゅう【報酬】しいま1
 ぼうじゅつ【棒術】ぼーA
 ほうじょうでへいわのよ【豊穰で平和の世】み
 るくゆーV
 ほうじょうのよ【豊穰の世】かんぬ1 ゆーV、
 むがしいAゆーV

- ぼうず【坊主】ぼーず
 ほうちする【放置する】だすたすくん
 ほうちょう【包丁】かたな、ぽっつあ
 ほうねん【豊年】のーりゆ、ゆがふ
 ほうねんさい【豊年祭】ぷーりん
 ほうねんさいじのかみつかさたち【豊年祭時
 の神司達】みなすけぬ ぼんだー
 ほうふう【暴風】かちふき
 ほうほう【方法】しかた
 【ぼうぼう】ばーばー
 ほうよう【法要】こっこー、しょっこー
 ほうりこむ【放り込む】うちくむん、だくむ
 ん、たたつくむん、ぶくむん
 ほうりなげる【放り投げる】ぼんぎるん
 ほおかぶり【頬かぶり】こーがき
 ほか【他】ふか
 ほかに【外に】ふかな
 ほかの【他の】びちいぬ
 ほかんする【保管する】「あためー」すん、かち
 みるん
 【ぼきっと】ぶちんた
 【ぼきりと】ぶちんた
 ぼくじゅう【墨汁】しん
 ぼくとしちせい【北斗七星】にしななち
 ぼくとせい【北斗星】にしななち
 ぼくほう【北方】にした
 ぼこり【埃】ふくじい
 ほし【星】ぶち
 ほしい【欲しい】ふつあほん
 ほしがる【欲しがる】ふつあほん
 ほす【干す】ぶつん
 ほせん【帆船】ぼーしん
 ほそい【細い】ばちさはん
 【ぼたぼた】すとーりすとーり
 ほたる【蛍】しっすぴかり
 ほっきょくせい【北極星】にんぼぶち
 ほっする【欲する】ぬずむん
 ほったてごや【掘っ立て小屋】「あなばり」ひ
 ー
 【ほっておく】だすたすくん、だすだすくん
 【ほっとする】〔心配事がなくなり〜〕うな
 ーぐ シャーん、「うなー」ぐ なるん
 ほづな【帆綱】しーなん
 ほっぼう【北方】にし
 ほどく【解く】ぷとうぐん
 ほどけ【仏】ぷとうぎん
 ほどけのまえ【仏の前】ぷとうぎんぬ、めー
 ほどける【解ける】ばんちるん、ぷとうぎる
 ん
 ほね【骨】ぶに
 ほねおしみ【骨惜しみ】どーたんき
 ほねやすめ【骨休め】ぶにやしみ
 ほほえむ【微笑む】ばーりゃん
 ほめあげる【褒めあげる】ふみあぎるん
 ほめたたえる【褒め讃える】ふみあぎるん
 ほめる【褒める】ふみるん
 ほら【法螺】〔楽器の〜〕ぶら
 ほらがい【法螺貝】さぶら、ぶら
 ほりとる【掘り取る】こーすん
 ほる【彫る】ぷるん
 ほる【掘る】ぷるん
 ほれる【惚れる】ぷりるん
 【ぼろ】やるはく
 ぼろきれ【ぼろ切れ】やるはく
 ぼろのきもの【ぼろの着物】ふくた、やりす
 うぬ
 ほろぶ【滅ぶ】とーりるん、ふるぶん
 ほろぼす【滅ぼす】ふるぼすん
 ほろよいになる【ほろ酔いになる】さーふー
 ふー すん
 ほん【本】すむち
 ほん〜【本〜】まー
 ほんき【本気】まーすむ
 ほんけ【本家】やーむとら

- ほんけんちく【本建築】ぬきひー
 ほんじつ【本日】きゅー1
 ほんしん【本心】まーすむV
 ほんとう【本当】ふんとー1
 ほんとうだ【本当だ】ましんV
 ほんのしょにち【盆の初日】むげーぴんV
 ほんむすび【本結び】まーむしいびV
 ほんもの【本物】まーむぬV
 【ぼんやりする】うかっと すんV、ぶ¹り¹ぶ
 り すんV
 ま【間】まーV
 まいとし【毎年】にんにん、めーどうしA
 まいにち【毎日】めー¹が¹めーにち、めーに
 ちA
 まいる【参る】うがんちゅむん1、んぐんV
 まう【舞う】ぶんどうるんV
 まうしろ【真後ろ】まとむV
 まえ【前】めーA
 まえあし【前足】めーぱんA
 まえがり【前借】めーがりA
 まえさと【真栄里】みざとぅA
 まえにおく【前に置く】めーA なすんA
 まえにする【前にする】めーA なすんA
 まえば【前歯】めーぱんA
 まえむら【前村】なーむらV
 まえもって【前もって】めーむち
 まえをいく【前に行く】めーA なるんA
 まかす【負かす】まかすんV
 まかせる【任せる】まかすんV
 まがたま【勾玉】がーら1だまV
 まがりくねって【曲がりくねって】まんかり
 かんかり
 まがる【曲がる】まんかるんV
 まきおどり【巻き踊り】ますぶどぅりV
 まきちらかす【蒔き散らかす】ぽーりすくん
 まきちらす【蒔き散らす】まぎぼーるんA
 まきつける【巻き付ける】からまぐん1
 まぎり【間切】まぎりV
 まく【巻く】まーぐんV
 まく【幕】まくA
 まく【播く】まーぐんV
 まく【蒔く】まーぐんV
 まくら【枕】まっふぁA
 まくる【捲る】からぎるん1
 まくれる【捲れる】〔男の包茎の皮が〜〕ぱん
 きん1
 まぐる【鮪】しびV
 【まけ】まぎV
 まける【負ける】まきるんV
 まげる【曲げる】まんきるんV
 まご【孫】まー1
 まごころ【真心】まぐくるV
 【まごつく】ざまどうるんA
 まこと【誠】まくとぅA
 【まさか】がーん
 まさる【勝る】すぐりんV、まさるんV
 まざる【混ざる】まんざるんA
 【まし】〔〜より〜〕まーしA
 ましょうめん【真正面】まそーみV
 ます【増す】ぶーさ1 なすんA
 ます【杵】しゃー1
 まずい【不味い】にしゃVほん
 【まずいこと】ざーふえーA
 まぜあわせる【混ぜ合わせる】あいるん1、ま
 んざーすん
 まぜる【混ぜる】あいるん1、まんじるんA
 また【又】またV
 また【又】またV
 また【股】またV
 またいとこ【又従兄弟】またいちふV
 またがる【跨る】またんがるんA
 またした【股下】またびしA
 まだらかになる【なだらかになる】なだらぐ
 んV

- まちがい【間違い】ばっぺーん、まちげーん
 まちがう【間違う】ばっぺー すん
 まちがえる【間違える】まちがいん、まちげーるん
 まちかにせまる【間近に迫る】めーぬすかるん
 まちこがれる【待ち焦がれる】まちくがりん
 まちどおしくおもう【待ち遠しく思う】まちぼさーん
 まちわびる【待ちわびる】まちぼさーん
 まつ【待つ】まつん
 まつ【松】まーち
 まっくら【真っ暗】やみ
 まつげ【睫毛】まちゅ
 まっさかり【真っ盛り】ばんじいん
 まっすぐ【真っ直ぐ】まんが
 まっすぐにする【真っ直ぐにする】たみらすん、たみるん
 まっすぐになる【真っ直ぐになる】〔曲がっている物が〜〕たまるん
 まったく【全く】ぬ「ー」ん、むっとう
 まったくりこうでない【全く利口でない】まーぱからさー ねーぬ
 まっち【隣寸】しきだぎ
 まつのねのしん【松の根の芯】あがしい
 まつり【祭】ぶなが、まぢり
 【〜まで】ばぎ
 【まとまる】まとうまるん
 【まとめる】まとうみん
 【まとも】まとむ
 まどわす【惑わす】ざまどぅらすん
 まないた【まな板】まんつあ
 まなぶ【学ぶ】ならすん
 まにあう【間に合う】まにあうん
 まにあわせる【間に合わせる】〔時間に〜〕まにあーすん
 まぬがれさせる【免れさせる】ぬがーらすん
- まぬがれる【免れる】ぬがーるん
 まぬけ【間抜け】ほーらきし
 まね【真似】まーべー
 まねする【真似する】まーべー すん
 まねる【真似る】まーべー すん
 まひる【真昼】ぴいすまり、まーびる
 まぶしい【眩しい】ぼちまはん、ぼちまはん
 まぶた【瞼】みんぬ かー
 まみず【真水】あまみじ
 まむかい【真向かい】たんか
 まむすび【真結び】まーむしいび
 まめ【豆】まーみ
 まもの【魔物】まぞむん、やなむん
 まもる【守る】まむるん
 まゆ【眉】まちゅ
 まゆ【繭】まゆ
 まよう【迷う】ざまどぅるん、すまどぅるん
 まよけのむすび【魔除けの結び】さん
 まよなか【真夜中】ゆなが
 まよわす【迷わす】ざまどぅらすん
 まらりあ【マラリア】ぶーき、やきー
 まるい【丸い】む「る」むるし
 まるっこい【丸っこい】む「る」むるし
 まるでおろかだ【まるで愚かだ】まーぱからさー ねーぬ
 まるはだか【丸裸】まるばい
 【まるぶ】まるぶん
 まわす【回す】まーすん、みぐらすん
 【まわり】まーましい
 まわり【周り】まーり
 まわる【回る】まーるん、みぐるん
 まん【万】まん
 まんいち【万一】まんいち
 まんいっさいのたんじょうび【満一歳の誕生日】たんかー
 まんげつ【満月】ぶーしけん
 まんさい【満載】まんしん

- まんた【マンタ】かまんたㄱ
 まんちょうになる【満潮になる】すーㄱんつんㄹ
 まんなか【真ん中】まㄹんなーㄱが
 まんぱいになる【満杯になる】まんしん なる
 ん
 まんぷくになる【満腹になる】ばたㄹんちㄹ
 【まんまと】みしーみし
 まーらんせん【馬艦船】まーㄹらんㄱぶに
 み【実】なーりㄹ
 み【巳】みーㄱ
 み【箕】そーぎㄱ、〔選別用の〜〕ゆらしㄹ
 みあやまり【見誤り】みーぼっぺーㄹ
 みおとす【見落とす】みーうとすん、みぬが
 すんㄹ
 みおぼえがない【見覚えがない】みりㄹ みら
 ぬㄹ
 みがく【磨く】とーびくんㄱ
 みかたする【味方する】かたすんㄹ
 みがなる【実がなる】なーるんㄹ
 みがまえる【身構える】かまいるんㄱ
 みがるだ【身軽だ】からばっさㄱはん
 みかん【蜜柑】ふなぶㄱ
 みき【幹】むとㄹㄹ
 みき【神酒】みしㄹ
 みぎ【右】ねーりㄹ
 みぎがわ【右側】ねーりㄹ
 みぐるしい【見苦しい】うかさㄱはん、みー
 ぐりしゃーん、みぐりしゃㄹはん、みっとㄹ
 はん
 みごと【見事】みぐとㄹㄹ
 みさき【岬】さきㄹ、ぱなㄹ
 みじかい【短い】まろㄹはん
 みじめなおもいがする【みじめな思いがする】
 すむㄱぐりしゃㄱはん
 みず【水】みじいㄹ
 みずあたり【水当たり】みじいがーりㄹ
 みずあび【水浴】みずあみ
 みずおけ【水桶】うきㄱ、たんぐㄱ
 みすかされる【見透かされる】みーふかさり
 んㄹ
 みすかす【見透かす】みーふかすんㄹ
 みずがめ【水甕】みじいがーみㄹ
 みずがわく【湧く】〔水が〜〕ばぐんㄹ
 みずがんび【ミズガンピ】すぱんこっち
 みすてる【見捨てる】みーㄹ しちんㄹ
 みずのこう【水の香】みずぬ こー
 みずぼうそう【水疱瘡】みじいがーさㄹ
 【みすみす】みしーみし
 みずをきる【水を切る】すたらすんㄱ
 みせ【店】まちやーㄹ
 みせもの【見せ物】みーむぬㄹ
 みせる【見せる】みしるんㄹ
 みそ【味噌】みしゆㄹ
 みぞ【溝】みぞーりㄹ
 みそこなう【見損なう】みまちごーんㄹ
 みだしなみ【身だしなみ】すがいㄱ
 みたす【満たす】んつあすんㄹ
 みたてる【見たてる】みたてているんㄱ
 みだらだ【淫らだ】さんごなーㄱ すんㄹ
 みち【道】みちいㄹ
 みちぶしん【道普請】みちいくせーㄹ
 みちる【満ちる】んちんㄹ
 みつかる【見つかる】めすかるんㄹ
 みつける【見つける】とうみるんㄱ、とうみんㄱ
 、みしきるんㄹ
 みっしゅうしている【密集している】かたㄹは
 ん
 みつつ【三つ】みーちㄹ
 【みっともない】みぐりしゃㄹはん、みっとㄹは
 ん
 みてゆるす【見て許す】みのーすんㄹ
 みとおす【見通す】みーとーすんㄹ、みーふか
 すんㄹ
 みとどける【見届ける】みーとうどうきるんㄹ

、みとうどうぎるん
 みとめられる【認められる】とーるん
 みとめる【認める】みとうみるん
 みどりいろに【緑色に】お「ー」し
 みとれる【見とれる】みーぶりん
 みなおす【見直す】みのーすん
 みなさま【皆さま】けーらねーら
 みなみ【南】ペー
 みなみかぜ【南風】ペーかち
 みなみがわ【南側】ペった
 みなみなさま【皆皆様】けーらねーら
 みなみむら【南村】ペーむら
 みならい【見習い】みなれー
 みならう【見習う】みーならすん
 みなり【身なり】すがい
 みなれる【見慣れる】みーなりゃん
 みにくい【見にくい】みーぐりしゃーん
 みにくい【醜い】うかさねーん
 みにこたえる【身に応える】あたるん
 みの【蓑】めんさ
 みのがす【見逃す】みーぬがすん、みぬがす
 ん
 みのり【実り】のーり
 みのる【実る】のーるん、めーるん
 みはりする【見張りする】ぼん
 みぶるいする【身震いする】ふいーつあるん
 みほれる【見惚れる】みーぶりん
 みまちがい【見間違い】みーぼっペー
 みまちがえる【見間違える】みまちごーん
 みまわる【見回る】まーり、みるん
 みみ【耳】みん
 みみがとおい【耳が遠い】みんとーさーん
 みみず【ミミズ】みみじい
 みみずく【ミミズク】ましかく
 みみたぶ【耳たぶ】みしくるみん
 みもの【見物】みーむぬ
 みゃく【脈】みゃぐ

みやこ【宮古】みゃーぐ
 みやすい【見やすい】みーやっさーん
 みやら【宮良】めーら
 みょうだい【名代】みょーでん
 みょうばん【明晩】あつあゆ
 みる【見る】みるん
 みるにしのびない【見るに忍びない】すむや
 むーん
 みろくがみ【弥勒神】みるく
 みろくぼさつ【弥勒菩薩】みるく
 みをつける【目を付ける】みーしきるん
 みんな【皆】「がす」た、けーら、むーる
 みんなよう【民謡】うた
 むいに【無為に】あだり
 むかいかぜ【向かい風】むげーかち
 むかう【向かう】むぎゃん
 むかえのひ【迎えの日】むげーぴん
 むかえる【迎える】むげーるん
 むかし【昔】むがし
 むかしから【昔から】むがしいがら
 むかしのひと【昔の人】むがしいびいとう
 むかしのふなまちごや【昔の船待ち小屋】い
 なさねー
 むかしのよ【昔の世】むがしいゆー
 むかしばなし【昔話】むがしいばなし
 むかで【百足】むがじ
 むぎ【麦】むん
 むぎわら【麦わら】むんぐる
 むく【剥く】〔皮を～〕むぐん
 むこ【婿】むぐん、むぐぶざ
 むこきょうだい【婿兄弟】むぐちよーでー
 むし【虫】むし
 むしば【虫歯】ふとうちばん
 【むしる】むっすん
 むしろ【蓆】むっす
 むす【蒸す】あーらすん
 むずかしい【難しい】むすかっさはん

- むすぶ【結ぶ】むすぶん、ゆうん
 むすめ【娘】みどうんたま、みやらび
 むだい【無代】いたんだ
 むだぐち【無駄口】んなふち
 むだづかい【無駄遣い】むだすけ
 むだぼね【無駄骨】んなあわり
 むち【鞭】すむと
 むちうつ【鞭打つ】すんぐるん
 むつつ【六つ】むーち
 むつまじい【睦まじい】むつまっ、さーん、む
 つまっ、はん
 むなさわぎ【胸騒ぎ】すむあーり
 むね【胸】にちい
 むねのいたむおもいがする【胸の痛む思いが
 する】すむやむーん
 むねやけ【胸焼け】いがぼり
 むねん【無念】いなむん
 むよくだ【無欲だ】ゆぐぬ、ねーぬ
 むら【村】むら
 むらじむしょ【村事務所】おーしゃ
 むらのぎょうじ【村の行事】むらぐとう
 むらぼんしょ【村番所】おーしゃ
 むらびとのしゅうかい【村人の集会】むらた
 たまり
 め【目】みん
 め【芽】ふき、べー
 めあて【目当て】みあてい
 めい【姪】ぶい、ぶいふあー
 めいにち【命日】みーにち
 めいめいする【命名する】なーしきん
 めいれい【命令】ぎし
 めいわく【迷惑】やっけー
 めうえ【目上】うい
 めうし【牝牛】ういなん
 めおと【夫婦】とんぶとう
 めがかたい【目がかたい】みんすさ、はん
 めかくしのいしがき【目隠しの石垣】なーふ
 く
 めかけ【妾】ゆーべー
 めがさえる【目がさえる】みんくぼり
 めがね【眼鏡】がんきょー、みーかんがん
 めがまぶしい【目が眩しい】みーん、ぱちま
 はん
 【めくら】みっくわ
 【めぐらす】みぐらすん
 【めぐる】みぐるん
 めざし【目差】みざし
 めざめる【目覚める】うぎるん、うぎん、さ
 まるん、みん、さまるん
 めし【飯】いー
 めしあがる【召し上がる】おーし、おるん、ん
 げーるん
 めしぢゃわん【飯茶碗】いーまーり
 めじろ【メジロ】ふなどうり
 めずらしい【珍しい】ぴるまさん、ぴるま、は
 ん、みずら、はん、むぬみずらはん
 めだつ【目立つ】みだつん
 めだま【目玉】みっちん、みんたま
 めつぼうする【滅亡する】とーりるん
 めとる【娶る】あいなー、すん、そーるん、
 【妻を〜】そるん、とんそるん
 めりけんこ【メリケン粉】むんぬ、くー
 めるい【温い】ぬるさ、はん
 めん【綿】ぼた
 めんどう【面倒】みんどうー
 めんどうだ【面倒だ】みんどうな
 も【喪】いみ
 もあい【模合】むえー
 【もう】とー
 もういちど【もう一度】まー、ぴいとうむし
 【もういやだ】まきしょー
 もうけ【儲け】もーが、もーぎ
 もうしあげる【申し上げる】すさりん
 もうしいれる【申し入れる】にげー、んじる

- ん1
もうしょ【猛暑】ぶーき
もうじん【盲人】みっくわ1
もうすこし【もう少し】ま「べ」ー
もうたいへん【もう大変】さっていむ
【もうちょっと】ま「べ」ー
もうひつ【毛筆】ふち1
もうふ【毛布】きつー1
もうろく【毫碌】ういぷら1
もうろくしている【毫碌している】そー ねー
ぬ
もえだす【燃えだす】〔火が〜〕てすかるん1
もえる【燃える】めーるん1
もぎとる【もぎ取る】ぶるん1
もくざい【木材】ざいぎ1
もくたん【木炭】たん1
もくひょう【目標】みあてい1
もぐらせる【潜らせる】すますん1
もぐる【潜る】すむん1
もじ【文字】じー1
【もしかしたら】ゆー1さんちゃ1
【もしも】まんいち1
【もたげる】〔顔を〜〕むち1 あんぎるん1
もたす【持たす】むたすん1
【もたれかかる】ゆりはかるん1
【もたれる】むたーりるん1
もち【餅】むち1
もちあがる【持ち上がる】むりあがるん1
もちあげる【持ち上げる】むちあんぎるん1
〔上へ〜〕むちあんぎるん1
もちごめ【もち米】むすめー1
もちなおす【持ち直す】むちのーすん1
もちなおる【持ち直す】むちのーるん1
もちぶん【持分】たまち1
もちもの【持ち物】むちいむぬ1
もつ【持つ】むつん1
もっこ【畚】おんだ1
- もっていく【持っていく】むち んぐん
【もっと】まーび
【もつとも】むつ「とう」む
【もつれる】あんぎーりるん1、あんぎるん1
もてあそぶ【遊ぶ】だーぶん1
もてなす【持てなす】とうりむつん1
もと【元】むとう1
もとごえ【元肥】むとうぐい1
もどす【戻す】むどっすん1
もどめる【求める】くいるん1、とうみるん1、
むとうみるん1
もともと【元々】むとうがら1
もどりかぜ【戻り風】ゆーべーかち1
もどりみち【戻り道】むどっりみち1
もどる【戻る】むどるん1
もにふくする【喪に服する】いみはかるん1
もの【物】むぬ1
ものおと【物音】うとー1
ものおぼえ【物覚え】むぬうぶい1
ものおもい【物思い】むぬむい1
ものかんがえ【物考え】むぬかんげー1
ものごと【物事】むぬぐとー1
ものごとをきく【物事を聞く】むぬ1すくん1
ものさし【物差し】じょーぎ1
ものしり【物知り】むぬしり1
【ものすごい】うすまさん
ものならい【物習い】むぬなれー1
ものめずらしい【物珍しい】むぬみずらはん
ものもち【物持ち】むぬむち1
【ものもらい】いっふえー1、みんぜー1
ものわすれ【物忘れ】むぬぼっさ
ものわらいになる【物笑いになる】ばーらい
るん1
ものをおぎなう【物を補う】たらーすん1
もみ【粃】もみ1
もみがら【粃殻】すくぶ1
もみつぶ【粃粒】〔白米中の〜〕あら1

もみほぐす【揉みほぐす】むむんⅴ
 もむ【揉む】むむんⅴ
 もめん【木綿】ばたん、むみんⅴ
 もも【腿】むんだらすいⅴ
 もやし【モヤシ】まーみなんⅴ
 もやす【燃やす】めーすんⅴ
 もよう【模様】むよーⅴ
 もらいもの【貰い物】「たぼらり」むぬ
 もらす【漏らす】もーらすんⅴ
 もり【森】むりⅴ、やまⅴ
 もり【銚】ういⅴ
 もりあがる【盛り上がる】むりあがるんⅴ
 もりあげる【盛り上げる】むりあぎるんⅴ、む
 るん
 もる【漏る】もーるんⅴ
 もる【盛る】むるん
 もれる【漏れる】もーるんⅴ
 【もろみ】むるんⅴ
 もん【門】ぞーⅴ
 もんどう【問答】むんどうーⅴ
 もんぱのき【モンパノキ】すさぎぎⅴ
 もんめ【刃】むんみⅴ
 や【矢】やⅴ
 【やあー】やー
 やいば【刃】ぱんⅴ
 やえやま【八重山】やいまⅴ
 やえやまあおき【ヤエヤマアオキ】ぶ「が」き
 【やかましい】やがまっさⅴはーん
 やかましい【喧しい】かつあまⅴはーん
 やかん【夜間】ゆるⅴ
 やぎ【山羊】ぴみざⅴ
 やきすてる【焼き捨てる】やぐんⅴ
 やきもの【焼き物】やぎむぬⅴ
 やぎょう【夜業】ぶなび
 やく【厄】やくⅴ
 やく【焼く】あぶるんⅴ、やぐんⅴ
 やくしょ【役所】やくばⅴ

やくしょく【役職】やくⅴ
 やくそく【約束】かーきⅴ
 やくどし【厄年】やくどうしⅴ
 やくにたつ【役に立つ】やくⅴたつんⅴ
 やくば【役場】やくばⅴ
 やくひん【薬品】ふちりⅴ
 やけどをする【火傷をする】やびくんⅴ
 やける【焼ける】やがりるんⅴ
 やさい【野菜】やせーⅴ
 やさいばたけ【野菜畑】やせーびてー
 やし【椰子】やしⅴ
 やしがに【やし蟹】むごんⅴ
 やしき【屋敷】はこーⅴ、やしきⅴ
 やしない【養い】やしねー
 やしないおや【養い親】すかなーうやⅴ、やし
 ねーうや
 やしないご【養い子】やしいねーふあ
 やしなう【養う】すかのーすんⅴ、やすなすんⅴ
 やすい【安い】やっさⅴはん
 やすっばい【安っばい】そーべーⅴ
 やすませる【休ませる】よがーしみるん
 やすみ【休み】やしみⅴ
 やすむ【休む】どーーⅴよがすんⅴ、やすうむ
 んⅴ、よがすんⅴ
 やすもの【安物】やしむぬⅴ
 やすり【鑢】やしりⅴ
 やすんじる【安んじる】やすんじるんⅴ
 やせおとろえる【痩せ衰える】がんどらんⅴ
 やせち【痩せ地】ぱぎじⅴ
 やせる【痩せる】やちるんⅴ、よーがりるんⅴ
 、よーがりんⅴ
 やっかい【厄介】やっけーⅴ
 【やったー】したい
 やっつ【八つ】やーちⅴ
 【やっつける】しゃーみるんⅴ
 【やっど】やっとう
 やど【宿】やどうⅴ

やとう【雇う】やとすんⅠ
 やどかり【ヤドカリ】あまんⅠ
 やどや【宿屋】やどやⅠ
 やどる【宿る】とうまるんⅡ、やどとうるん
 やね【屋根】ぴいさⅡ
 やはん【家判】やーばんⅠ
 やぶってすてる【破って捨てる】やりしちる
 Ⅰ
 やぶのなか【藪の中】きぬⅠ みーⅡ
 やぶりちらかす【破り散らかす】やりぼーる
 Ⅰ
 やぶる【破る】やぶるんⅠ
 やぶれる【破れる】ざりるんⅠ、やーりんⅠ、や
 ぶりんⅠ、やりるんⅠ
 やま【山】だきⅡ、むりⅡ、やまⅠ
 やまい【病】ばなしきⅡ、やみⅠ、やんⅠ
 やまいも【山芋】かりょんⅠ
 やまがたな【山刀】やまかたなしⅠ
 やまぐに【山国】やまじいまⅠ
 やましごと【山仕事】やましごとⅠ
 やまじま【山島】やまじいまⅠ
 やまと【大和】やまとうⅠ
 やまどめ【山止め】やまどうみⅠ
 やまのないへいたんなしま【山のない平坦な
 島】ぬぐじまⅡ
 やまほさ【山補佐】やーぶさⅠ
 やみ【闇】やみⅡ
 やむ【止む】〔風雨が〜〕やむんⅡ
 やもり【守宮】ふたしみⅠ
 【やらない】しぼへぬ
 やり【槍】やりⅡ
 やりこめる【やり込める】しゃーみるんⅡ
 【やる】すんⅡ
 【やるもんか】まきしょー
 やれめ【破れ目】やりふちいⅠ
 やわらかい【柔らかい】やらⅠはん
 やわらかくする【柔らかくする】くすんⅡ、
 やーらぎるんⅡ、やらふあーⅠ すんⅡ
 やわらかくなる【柔らかくなる】やらふあーⅠ
 なるんⅠ
 やわらかになる【柔らかになる】やーらぐんⅡ
 、やふあらぐん
 やわらぐ【和らぐ】やふあらぐん
 やわらぐ【柔らぐ】やーらぐんⅡ
 やわらげる【和らげる】やーらぎるんⅡ
 やんばるせん【山原船】やんばるしんⅠ
 ゆ【湯】あちいゆⅠ
 ゆい【結】ゆいⅡ
 ゆいごん【遺言】んなん
 ゆう【結う】ゆうんⅡ
 ゆうがおのみ【夕顔の実】かなぼりんⅠ
 ゆうかく【遊廓】さかなやーⅡ
 ゆうがた【夕方】ゆねんⅠ
 ゆうき【勇気】いじいⅡ
 ゆうぐれ【夕暮れ】ゆねんⅠ
 ゆうしょく【夕食】ゆむぬⅠ
 ゆうじん【友人】どうしⅡ
 ゆうせいだ【優勢だ】すさⅠはん
 ゆうだち【夕立ち】ペーしゅらⅠ
 ゆうな【ユウナ】ゆだⅡ
 ゆうなぎ【夕凧】ゆーどーりⅠ
 ゆうのうな【有能な】かねー
 ゆうはん【夕飯】ゆむぬⅠ
 ゆうべ【夕べ】ゆーびⅠ
 ゆうめいだ【有名だ】うとーだがⅡはん、なーⅡ
 たかⅠはん
 ゆうれい【幽霊】まざむんⅡ
 ゆか【床】ふんたⅡ
 ゆがく【湯がく】ゆびくんⅠ
 ゆかした【床下】いためーⅠ
 ゆがむ【歪む】ゆがむんⅡ
 ゆがめる【歪める】ゆがみるんⅡ
 ゆきあう【行き会う】いげーるんⅡ
 ゆくすえ【行く末】あとうあとうⅠ

- ゆげ【湯気】きぶⅴ
 ゆする【揺する】くいつあーすんⅴ、ゆらすんⅴ
 ゆずる【譲る】ゆずるんⅴ
 ゆだんする【油断する】うくたるんⅴ
 【ゆっくり】よんなよんな
 【ゆっくりと】や「まー」し
 ゆでる【茹でる】ゆびくんⅴ
 ゆのみ【湯呑】さばんⅴ
 ゆびぶえ【指笛】しーふきⅴ
 ゆびわ【指輪】うるんがにⅴ
 ゆみ【弓】ゆんⅴ
 ゆめ【夢】いみⅴ
 ゆらい【由来】いわりⅴ
 ゆらす【揺らす】くいつあーすんⅴ、すくふあ
 すんⅴ
 【ゆらりと】よんなよんな
 ゆるい【緩い】ゆるさⅴはん
 ゆるされる【許される】ぬがーるんⅴ、ゆるさ
 ーるん
 ゆるし【許し】ゆるしⅴ
 ゆるす【許す】ぬがーらすん、ゆるすんⅴ
 ゆるむ【緩む】ふきつつあーるんⅴ
 ゆるめる【緩める】ゆるみるんⅴ、ゆるみんⅴ
 ゆれうごくさま【揺れ動くさま】がたがた
 ゆれる【揺れる】ふっふんⅴ
 よ【世】ゆーⅴ
 よあけまえ【夜明け前】あぎさり
 よい【良い】まーしⅴ、みしゃⅴはん
 よいこと【良いこと】「いー」くとう
 よいつぶれる【酔いつぶれる】びーたこりる
 んⅴ
 よいのみょうじょう【宵の明星】「しかま」ぶ
 ち
 よいもの【良い物】しよーむぬⅴ
 よういくする【養育する】すかなすんⅴ、やす
 なすんⅴ
 よういする【用意する】しこーるんⅴ
- よういに【容易に】よーにⅴ
 ようかい【妖怪】まごむんⅴ
 ようがさ【洋傘】かぶるさなⅴ、さなⅴ、だんが
 さⅴ
 ようき【容器】いりむんⅴ
 ようきめい【容器名】がいじいⅴ
 ようし【養子】やしいねーふあ
 ようじ【幼児】いしゃがーたまⅴ
 ようじ【用事】ゆーじⅴ
 ようす【様子】むよーⅴ
 ようせき【陽石】びっちゆるⅴ
 ようち【幼稚】すうなⅴはん
 ようはい【遥拝】たんかにげーⅴ
 ようふぼ【養父母】すかなーうやⅴ、やしねー
 うや
 ようみょう【幼名】めらびなー、やらびなーⅴ
 【ようやく】やっとう
 よがわり【世変り】ゆーがーりⅴ
 よく【好く】すくんⅴ
 よく【欲】ゆぐⅴ
 よくあう【よく合う】ゆーⅴ あうんⅴ
 よくいく【よく行く】しゃーⅴ んぐんⅴ
 よくいたずらをする【よく悪戯をする】がん
 まり しゃーん
 よくがない【欲がない】ゆぐぬ ねーぬ
 よくかむ【よく噛む】かんだるんⅴ
 よくちょう【翌朝】あつあすとうむちⅴ
 よくない【良くない】ばからっさーⅴ ねーぬⅴ
 よくなる【良くなる】みしゃーⅴ なるんⅴ
 よくにあう【よく似合う】ゆーⅴ あうんⅴ
 よくねむる【よく眠る】ぬっふたりるん
 よくはたらく【よく働く】ぎぼるんⅴ
 よくばりだ【欲張りだ】ゆぐⅴさん
 よくばる【欲張る】ゆくすかⅴ、ゆくぼるん
 よくぶかい【欲深い】ゆぐⅴさん
 【よくよく】よーⅴ
 よこうえんしゅう【予行演習】しらすⅴ

- 【よこす】 やらすんⅴ
よごす【汚す】 ゆぐすんⅴ
よこたえる【横たえる】 くるばすんⅴ
よこたわる【横たわる】 ゆくたーるんⅴ
よこになる【横になる】 ゆくたーるんⅴ
よこべり【横舷】 ふなばにⅴ
よごれ【汚れ】 ふたりⅴ、 ゆぐりⅴ
よごれている【汚れている】 やにっしゃⅴはん
よごれる【汚れる】 ゆぐりるんⅴ
よさめ【夜雨】 ゆーあみⅴ、 ゆるあみⅴ
よすみ【四隅】 ゆーかどうⅴ
よせあつめる【寄せ集める】 ぴきゆしるんⅴ
よせる【寄せる】 ゆしるんⅴ
よだれ【涎】 ゆだりⅴ
よちょう【予兆】 むぬしらしⅴ
よつかど【四ツ角】 ゆーかどうⅴ
よつつ【四つ】 ゆーちⅴ
よっぱらい【酔っ払い】 びーちゃーⅴ
よつぼし【四つ星】 ゆさしⅴ
よてい【予定】 しゃーみⅴ
よどおし【夜通し】 ゆどうし
よどむ【淀む】 ゆどうむんⅴ
よなあべごや【よなべ小屋】 ぶなびやーⅴ
よなか【夜中】 ゆながⅴ
よなぐに【与那国】 むしいま、 ゆのーⅴ
【よなべ】 ぶなび
よになりひびく【世に鳴り響く】 とうゆまり
んⅴ
よねがい【世願い】 ゆにげーⅴ
よのなか【世の中】 しきんⅴ
よぶ【呼ぶ】 ゆぶんⅴ
よぶん【余分】 あまりⅴ、 おーばーⅴ
よみがえらせる【蘇らせる】 いがすん
よむ【読む】 ゆむんⅴ
よめ【嫁】 とうんⅴ、 ゆみⅴ
よめにいく【嫁に行く】 ぶとうむち
よめをさがす【探す】 [嫁を～] とうみんⅴ
- よもぎ【蓬】 やたふちい
よりあう【寄り合う】 ゆるんⅴ
【よりかかる】 ゆりはかるんⅴ
よりかかる【寄り掛かる】 むたーりるんⅴ
よる【夜】 ゆるⅴ
よる【寄る】 ゆるんⅴ
よろこぶ【喜ぶ】 あまいるんⅴ、 さにしやー す
ん
【よろしい】 みしゃⅴはん
よわい【弱い】 よーⅴはん
よわくなる【弱くなる】 よーるんⅴ
よわむし【弱虫】 よーばⅴ
よわめる【弱める】 よーみるんⅴ
よわる【弱る】 よーるんⅴ
よんじゅう【四十】 しんずⅴ
よんちゅ【与人】 ゆんちゅⅴ
らいおん【ライオン】 しーしⅴ
らいねん【来年】 えんⅴ、 げん
らいねんのなつ【来年の夏】 くなちいⅴ
らいめい【雷鳴】 かんなりⅴ
らく【楽】 らくⅴ
らくをする【楽をする】 らくⅴ すんⅴ
らたい【裸体】 あばだりⅴ
らっかせい【落花生】 じいーまーみⅴ
らっきょう【ラッキョウ】 だっきょんⅴ
らんがさ【蘭傘】 かぶるさなⅴ
らんそう【卵巣】 [魚の～] ぱりゃんⅴ
らんぷ【ランプ】 とうりⅴ
らんぼうもの【乱暴者】 やまぐⅴ、 やまんぐ
らんぼうをはたらく【乱暴を働く】 やまぐⅴ す
んⅴ
りえき【利益】 もーがⅴ、 もーぎⅴ
りかいする【理解する】 ばがるんⅴ
りきむ【力む】 んくむんⅴ
りくつ【理屈】 りくちⅴ
りこう【利口】 そーいりⅴ
りこうな【利口な】 めふなⅴ

りこんする【離婚する】ばがりんA
 りちぎだ【律義だ】ぎりかたAはん
 りっば【立派】ぞーとぅん、ばからっ1さ、みぐ
 とぅA
 りっばだ【立派だ】だーさAはん、まだVはん
 りっばなもの【立派なもの】しょーむぬV
 りっばに【立派に】けーし、こーし
 りとく【利得】とぅく1
 りはつ【理髪】だんぱち1
 りはつてん【理髪店】だんぱちーやー
 りはーさる【リハーサル】しらすV
 りゅうきゅうこくたん【琉球黒檀】きなV
 りゅうこう【流行】はやり1
 りゅうこうする【流行する】はやーるん1
 りゅうしゅつする【流失する】なんぶりんA
 りゅうぜつらん【竜舌蘭】るがい1
 りょうがえする【両替する】かれーるんV
 りょうしん【両親】ふたうやV
 りょうて【両手】ふたしV
 りょうてい【料亭】さかなやーV
 りょうてで【両手で】ふたしV
 りょうほう【両方】ふたかたV
 りょうほうとも【両方とも】ふたーちいVばぎA
 りょうめ【両目】ふたみんV
 りょこう【旅行】たびV
 りんげつ【臨月】まりしきV
 りーふ【リーフ】じりA
 るす【留守】ひなA のーぬA
 るすばん【留守番】ひぬばんA
 れいかんのうりょくがたかい【靈感能力が高
 い】さーだがVはん
 れいぎ【礼儀】りーぎV
 れいげんあらたかだ【靈験あらたかだ】さー
 だがVはん
 れいこん【靈魂】たましい1、たまち1、まーぶ
 りA
 れいはいする【礼拝する】しー1うさぎるんV
 れつあくだ【劣悪だ】やなV
 れつをととのえる【列を整える】するいるん1
 れんしゅう【練習】きっく1
 ろ【炉】すか1
 【～ろ】り
 ろうえき【労役】すかま1
 ろうがんになる【老眼になる】みんみりA
 ろうじん【老人】うしとぅ1
 ろうじんになる【老人になる】うしとぅ1 な
 るんA
 ろうば【老婆】うしとぅばー1
 ろうや【老爺】うしとぅぶや
 ろくじゅう【六十】るくずA
 【ろくでなし】やびむんA
 【わあわあ】わーわー
 【わぁー】べー
 わが【我が】べーA
 わかい【若い】ばがAはん
 わかいさせる【和解させる】ばぎるんA
 わかがえる【若返る】ばがけーるA
 わがしま【我が島】べーすま
 わかしらが【若白髪】ばがっせーA
 わかす【沸かす】〔湯を～〕ふかすん1
 わかつき【若月】ばがすけんA
 わかなつ【若夏】ばがなちA
 わかば【若葉】ばがばA
 わがまま【我がまま】ふんでーV
 わがままだ【我がままだ】ふんだやー
 わかもの【若者】ばがむぬA
 わかる【分かる】ばがるんA
 わかれる【別れる】ばがりんA、ばなりるん1
 わき【脇】ぐちみんA、やたA
 わきでる【湧き出る】ばーぐんA
 わきのした【脇の下】ぐちみんA
 わきみず【湧水】ばぎみじV、ぱりみじい1
 わきめ【脇芽】またべーA
 わけまえ【分け前】くまた1、ばぎだまA

わける【分ける】ばぎるん、ばぎん
 わざ【技】わざ
 わざ【業】わざ
 わざわい【災い】やく、やふ
 わし【驚】ばしい
 【わずか】いきらさん、べー、べーな、「
 べーび
 わずらう【患う】はかるん
 わすれっぽい【忘れっぽい】ばっしめさ
 ん
 わすれもの【忘れ物】ばっしむぬ
 わすれる【忘れる】ばっしるん、ばっしん
 わたし【私】ばー、ばぬ
 わたしたち【私たち】ばいま
 わたしの【私の】ばー
 わたしのいえ【私の家】ばっひー
 わたしのこ【私の子】ばー うたま
 わたす【渡す】ばたすん
 わたる【渡る】ばたるん
 わってしまう【割ってしまう】ばり っしん
 わら【藁】ばら
 わらう【笑う】ばーるん
 わらざん【藁算】ばらざん
 わらじ【草鞋】ふちい
 わらせいのわらじ【藁製の草鞋】ばらふちい
 わらたば【藁束】ばらふた
 わらなわ【藁縄】ばらじいな
 わらべ【童】やらび
 わらむしろ【藁蓆】みなぶ
 わらわれる【笑われる】ばーらいるん
 わりあて【割当て】たまち
 わりあてる【割り当てる】ばりあていん、わ
 りあていん
 わりくたく【割り砕く】ばりくたくん
 わる【割る】さくん
 わるい【悪い】やな、わっさはん
 わるいかたち【悪い形】やなかたち

わるいくせ【悪い癖】やなくしー
 わるいこと【悪いこと】あく
 わるいしゅうかん【悪い習慣】やななれー
 わるぐち【悪口】あく、やなふちい
 わるさ【悪さ】がんまり、わしく
 わるじえのもの【悪知恵の者】りくちいむち
 わるだくみ【悪だくみ】やなたくみ
 わるもの【悪者】やなむん
 われ【我】ばぬ、べー
 われめ【割れ目】ばーり
 わん【湾】うら
 わん【碗】まーり
 わんぱくだ【腕白だ】がまさん、やまんぐ
 さん
 わんぱくもの【腕白者】やまぐ、やまんぐ

参考文献

- 麻生玲子 (2020) 「南琉球八重山語波照間方言の文法」 博士論文 (未公開), 東京外国語大学.
- 麻生玲子・小川晋史 (2016) 「南琉球八重山語波照間方言の三型アクセント」 『言語研究』 150, 87-115.
- 麻生玲子・セリックケナン・中澤光平 (2022) 「日琉諸語の記述言語学を対象としたメタ研究の試み: 南琉球諸語の過去 40 年間の語彙研究の評価と課題」 『国立国語研究所論集』 (23), 75-98.
- 池間苗・池間龍一・池間龍三 (1998) 『与那国ことば辞典』 池間龍一.
- 大野眞男 (1989) 「琉球波照間方言の音対応と音変化」 『岩手大学教育学部研究年報』 48 (2), 1-17.
- 沖縄県教育委員会 (1975) 『波照間の方言—琉球方言緊急調査 第 2 集』 沖縄県文化財調査報告書 第 3 集.
- 加治工真市 (1996) 「波照間方言の音韻研究」 『沖縄文化研究』 22, 137-181.
- 加治工真市 (2020) 『鳩間方言辞典』 国立国語研究所.
- 狩俣繁久 (2008) 『琉球八重山方言の比較歴史方言学に関する基礎的研究』 平成 17 年度～平成 19 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書.
- セリックケナン・大浦辰夫 (2022) 『『みんなふつ語彙集』 電子データ (220331 版)』 .
- 中松竹雄 (1987) 『琉球方言辞典』 那覇出版社.
- パッパラルドジュゼッペ (2012) 「波照間方言 2 変種の音響音声学的比較」 『音声研究』 16 (1), 6-15.
- Pappalardo, G. (2016). Conservative and Innovative Features in the Phonology of Hateruma Dialect. *Annali di Ca' Foscari. Serie orientale*, 52.
- 平山輝男 (1983) 『琉球宮古諸島方言基礎語彙の総合的研究』 桜楓社.
- 平山輝男 (1988) 『南琉球の方言基礎語彙』 桜楓社.
- 平山輝男 (2013) 『奄美方言基礎語彙の研究』 角川学芸出版.
- 平山輝男・大島一郎・中本正智 (1967) 『琉球先島方言の総合的研究』 明治書院.
- 本田昭正 (2019) 『波照間方言語彙集』 私家版.
- 前新透・波照間永吉・高嶺方祐・入里輝男 (2011) 『竹富方言辞典』 南山舎.
- 松森晶子 (2015) 「南琉球の三型アクセント体系: その韻律単位に関する考察」 『日本女子大学紀要. 文学部』 (64), 55-92.
- 宮城信勇 (2003) 『石垣方言辞典』 沖縄タイムス社.
- 宮里俊治 (2018) 『クモーマ スマヌ, クトゥバ』 私家版.
- 宮良当壮 (1930) 『八重山語彙: 附八重山語總説』 東洋文庫叢刊 (第 2) 東洋文庫.
- ローレンスウエイン (2000) 「八重山方言の区画について」 石垣繁 (編) 『宮良當壮記念論集』 宮良當壮生誕百年記念事業期成会 pp. 547-559.

受理日 2023 年 4 月 11 日